W-1、PRIDE、K-1。そして12.31猪木祭り開催決定！

平成14年11月28日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第4巻・23号・通巻82号

SRS DX

Special Ring Side

No.82
2002
11・28
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

野獣 愛猫

拝啓 サップ&トリニティ殿

W-1 K-1 まもなく

完売御礼

んにゃあ〜

本誌から初のムック本
『ザ・ビースト』
12月5日㈭発売決定
独占！シアトル家庭訪問成功！

SRS DX 11・28 No.82

特集『PRIDE 23』直前情報

定価680円 本体648円

「UWF青春論」

見よ、この写真……

髙田VS田村戦を前に Uが死んだとは誰にも言わせない

文◎ターザン山本

1996年3月1日に行われた田村潔司VS桜庭和志戦。この頃、新日本との対抗戦を拒否した田村は、前座でUインターのリングに復活。桜庭と連戦を行った

©平工幸雄

突然、偶然、誕生

青春とは少数派の情念のことなのだあ！

▲1984年6月27日、都内のホテルで藤原喜明と髙田延彦のUWFへの移籍発表記者会見が行われた。会見には入院中だった前田日明も駆け付けた　©新大阪新聞社

ＵＷＦについて考えることは青春とは何かについて、考えることである。もう、私はそれでいいのではないかと思っている。

なぜなら私は青春について今、誰よりも語りたいからだ。私のように56歳のような高齢になると、青春とは過去と同義語である。だからＵＷＦが青春だったというなら、それはＵＷＦを過去形のものとして語ることになる。

およそプロレス団体が旗揚げした時、そこに〝青春〟を感じさせたのは、新日本プロレスとＵＷＦの二つのような気がする。

その二つの団体に共通しているものは、ゼロ、ゼロ、ゼロから出発していることだ。新日本はマイナスからの出発。ＵＷＦは完璧にゼロからの出発だった。

ＵＷＦにはマイナスという財産もなかった。また、新日本とＵＷＦの旗揚げには、古い価値観の否定、アンチテーゼとしての強い主張があった。これを一般的には青春の反抗と呼んでいる。

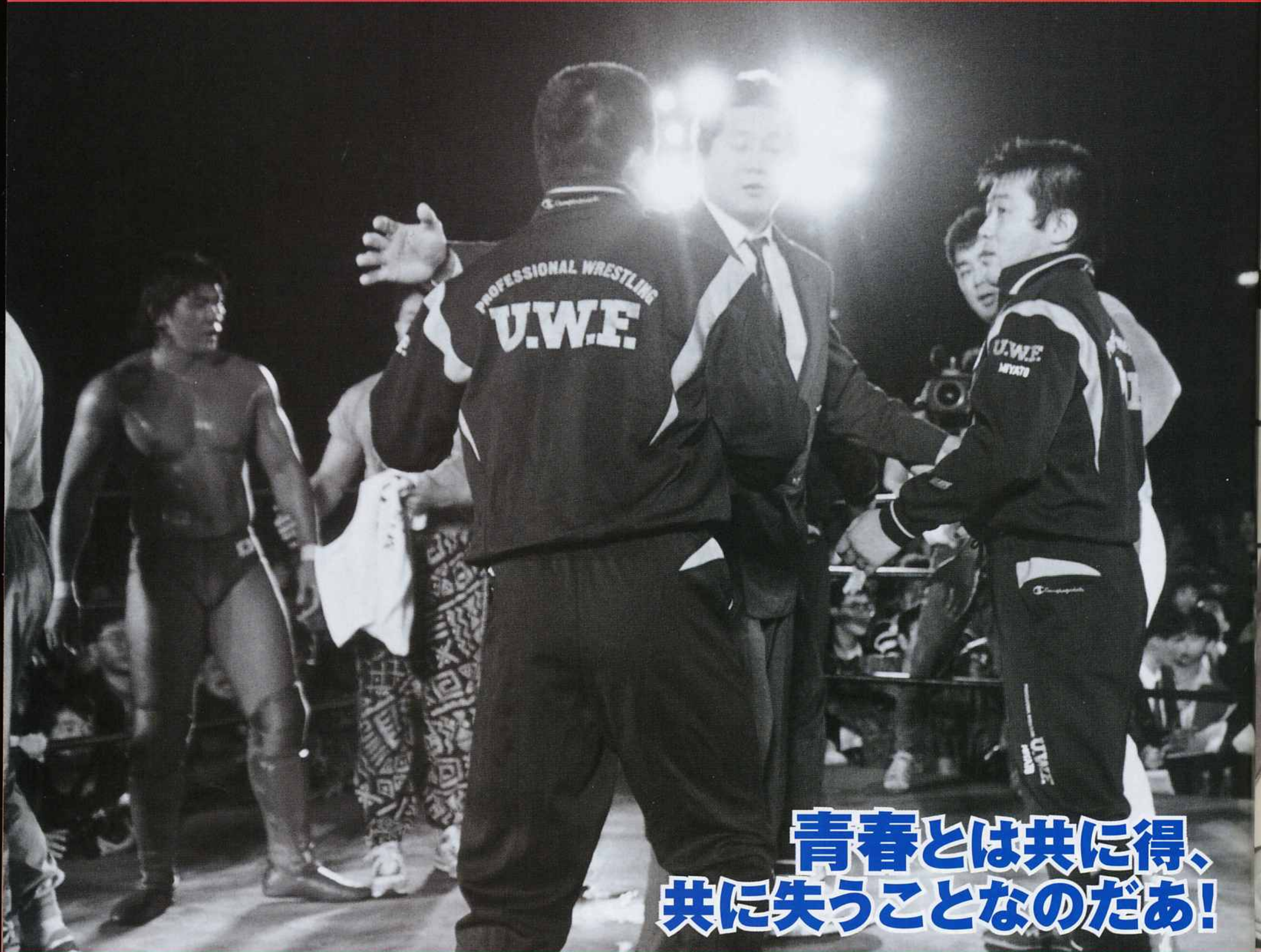
今や反抗という言葉そのものが社会的に〝死語〟になっている。古いと言われるかもしれないが「少年（若者）は大志を抱く」ものなのだ。大きな志（こころざし）を持ってこそ若者である。

両親、大人、世の中、権力に対して、一つぐらい〝ＮＯ〟と言ってもいいのではないか？

右ページ上の写真を見てもらいたい。第一次ＵＷＦが旗揚げした時のもの。前田日明、藤原喜明に髙田延彦の3人が合体したのだ。

この3人はいずれも新日本を飛び出した男たち。今から、18年前の写真だからみんな顔が若い。

一夜限りの復活"Uインター"!
11.24 PRIDE.23
東京ドーム大会直前情報

団結、分裂、解体

青春とは共に得、共に失うことなのだあ!

▲1990年12月1日、長野・松本運動公園総合体育館大会で、メイン終了後船木誠勝が出場停止期間中の前田日明をリングに呼び寄せ、選手全員がリング上に集まり、一致団結を誓って万歳三唱を行った。しかし、この日が第二次UWFの最後の大会となった。また、この日より宮戸成夫が優光に改名　©新大阪新聞社

ここで重要なことは彼らが安定した生き方を蹴っていることだ。新日本にいればとりあえず生活は保証される。何も好き好んでリスクの大きいものに入っていく必要は、どこにもない。

実際、UWFは1年半持たずにその後、崩壊している。じゃあなぜ彼らは動いたのか？　賭けに出たのか？　これはもう衝動というしかない。自分の心の中にあった〝何か〟がそうさせたのだ。

それって具体的には本当に実体のないもの。でも、心にひっかかっているものがある。それが彼らの心を揺さぶってくる。問い掛けをしてくるのだ。「お前、何をやっているんだ！　それでいいのか？」というプレッシャーでもある。

そうなるともう衝動という手しかない。青春とはその衝動を持てるか、どうかなのだ。UWFは前田、藤原、髙田の3人の男たちの衝動の産物だったのだ。

衝動への誘惑。青春の根拠となるものは、絶対に衝動である。

「汝、もし青春を生きているとしたら、みずからの中の衝動に注目せよ！」と言いたい。

青春は得体の知れないものに突き動かされていってこそ、初めて青春と言えるのだ。UWFは生まれた時から今でも、ずっと得体の知れないもので有り続けている。

この衝動がタイトルにあるように「突然、偶然、誕生」という形でUWFを出現させた。計算したり、計画してUWFは誕生したものではないのだ。ここのところを分かってほしい。計算したら絶対にできない。青春にそんなものは、およそ必要ないのだ。

追想、記憶、郷愁

青春とは未来を夢見、やがて過去に生きることなのだあ！

▲1993年12月5日、神宮球場でプロレスリング世界ヘビー級選手権試合として行われた髙田延彦VSスーパー・ベイダー。髙田がベイダーに腕ひしぎ逆十字固めで勝利を収めた。試合後、髙田は向井亜紀との婚約を発表

©平工幸雄

ＵＷＦが面白かったのは共同作業というか、複数の人たちによる共同体になっていったことだ。

前に何回も書いたがこれを〝運動体〟という。運動体は団体になったら終わりである。あくまでそれはローリングストーンズのように、時代の中で転がる石でなければならない。

前ページ左の写真は第二次ＵＷＦ最後の興行、長野県松本大会の写真。前田日明とフロントの対立が表面化して、存続があやぶまれたが、レスラーが一致団結することで、再出発を誓い合ったシーン。

だが、その直後、今度は選手間で意見の対立が起こり、あえなく第二次ＵＷＦは終わりを告げた。

分裂、解体してしまったのだ。

このように運動体はそれ自体が完成品ではないので分裂は、あって当然であると考えるべきなのだ。

その時点で第二次ＵＷＦは限界を見せていたということである。運動体として失格だったとしたら解体していったほうが正しい。

運動体に参加した者はそのことによって、共に何かを得、共に何かを失い、再び彼らは転がる石になるべくあらたな運動体を探し求めていくのだ。

私が「青春とは青春の延長戦をやり続けていくことだ！」と言ったのは、そういう意味でもある。

第二次ＵＷＦ崩壊のあとリングス、Ｕインター、藤原組の三つに分かれていったが、これは運動体が三つの形態に変化していって動き始めたと考えればいいのだ。

興味深いことにはその三つがまたまた今、存在していないことである。運動体はハードルの高さを

輪廻、再生、復権

青春とはその奥に秘めたる力、信ずべしなのだあ!

▲1996年5月27日に行われた田村潔司VS桜庭和志戦。田村は、この試合を最後にリングスへ移籍した

©平工幸雄

要求される。それに耐えられなくなったものは滅んでいくしかないのだ。それが運動体の宿命というものでもある。

ＵＷＦが運動体であったという証明は『プライド』へとつながっていったことである。『プライド』は第一次ＵＷＦ、第二次ＵＷＦ、リングス、Ｕインター、藤原組が存在したことを受けて、マット界に出現したのだ。

『プライド』もまたそういう意味では、運動体と言える。そこでも一定レベルを維持できなくなったら消えていく宿命にあるのだ。

これは進化という言い方は適切ではない。ＵＷＦは進化しているのではなく、次々と形を変えていっているだけなのだ。

だから過去が美しく見えてしまう。思い出や記憶に影響されやすい。なぜなら運動体はその時点で燃焼してしまうからだ。Ｕインターがまさにそういう団体だった。

髙田延彦はビッグバン・ベイダーや北尾光司と激突。そのたびにハイテンションの試合をやってきた。その時にしかできないことをその時にやる。この生き方もまた青春である。

髙田選手はそれを40歳までやり続けた。これがもう限界だ。『プライド』のリングで現役生活を終えたいと願った髙田選手は、青春のピリオドを『プライド』のリングに賭けたのだ。

最近のプロレスラーで髙田選手ほど、青春を生きた人はいないのではないだろうか? 今、初めて我々は〝髙田イズム〟なるものがなんであるかを知ったような気がする。少し気が付くのが遅かった……。■

日本格闘技界の正念場！ 最強の隠し球・金原弘光（ひろみつ）ついに見参!!

――やっと『プライド』のリングに登場ですね、待ってましたよ（笑）。

金原　ボクも待ってましたよ。SRSさんなんて全然取材に来てくれなかったですからね（笑）。

――やっぱり試合がないと（笑）。

金原　でも、久しぶりの試合だっていう意識がそんなにしないですね。今でもなんかこの前、試合やったような感じしますもん。リングスで連戦して、その延長で上がるような（笑）。

――まだ休みたいんですか（笑）。

金原　いや、もうそろそろ試合したいと思ってますからね。

――バッチリ充電して（笑）。練習もじっくりできたみたいですね。

金原　嫌々ですけどね（笑）。9月にムエタイ修行に行ってたんですけど初日で帰りたくなりましたね。暑さといい、街の排ガスといい、全てがイヤなんですよ。

――タイ好きじゃなかったんですか。

金原　結局、タイに行くと試合するか、練習するかどっちかなんでいい思い出が何もないんですよ。だから、嫌いですね。タイ人のあの人なつっこい性格もみんな嫌いですね（笑）。

――そんな嫌いなのに、自費で行ったんでしょ？（笑）。

金原　そうだけど、嫌ですね（笑）。↖

▼金原が着ているのが自費で制作したオリジナルTシャツ。金原のオフィシャルサイト上で販売されているので、詳しくはインターネットのホームページを見よう。アドレスはhttp://www.hiromitsu-kanehara.com/

金原弘光改め金原弢がいよいよ『プライド』のリングに上がる。総合格闘技の選手の誰もがその実力を認める彼がようやく登場となったわけだ。対戦相手はヴァンダレイ・シウバ。『プライド』ミドル級のタイトルがかかった大一番だ。日本人格闘家最後の砦とも言うべき金原は今、最高のコンディションでこの試合を迎えようとしている。期待せよ！

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎乾晋也

現在、横浜にあるボクシングジム・大橋ジムで集中的に打撃の練習を積んでいる金原。これまで以上にスパーリングに力を入れるなどし、シウバ対策はほぼ完成の域に達しつつあるようだ

——分からないなぁ（笑）。ということで、金原さん得意の愚痴も出たところで、改めてシウバはどうですか？

金原 ビデオを見てたら、これは強えなって思いましたね。気付くのは遅かったですけど（笑）。

——しかもタイトルマッチ（笑）。

金原 参りましたね（笑）。

——1回はタイトルマッチは勘弁してくれって断ったんですよね。

金原 いろいろ怖いですからね（笑）。

——「まずはニンジャから」って髙田さんに言われるのは怖いですもんね（笑）。

金原 でも、今回、報告したら「良かったね」っていう感じで嬉しかったですね。

——で、どうですか、シウバは？

金原 ミルコ戦とアレク戦は会場で見てるんですけどやっぱり強いですよ。ヘンダーソンとやった時も一回、目がバーッと腫れたでしょ。でも、インターバルで回復してきたんで怖いですね。体力がみんなありますね。ボクセの連中は。

——ボクセの選手は、1日中練習していて、休日もないって言ってましたね。

金原 へぇ～、若いっていいことですね。シウバなんか26歳ぐらいでしょ？ ボクが26の時は新日と対抗戦をやってましたけど、あの頃、動けたもんなぁ、いっぱい。動きが速いですよね、ビデオを見ると「今とは明らかに違うなぁ」って思って（笑）。

——でも、大橋ジムのほうで相当練習してるじゃないですか。

金原 リングス辞めてともかく身体をオーバーホールしようと思ってて、それが終わって練習しようと思った時に、レスリングは髙田さんのところでさせてもらえますから、打撃ができるところを探していて、大橋さんのお世話になったんですね。蹴りもリングス時代のトレーナーに来てもらっていい練習をさせてもらってますね。

——特にスパーリングに力を入れてるって大橋会長はおっしゃってましたね。

金原 ミドル級の強い人とやってますけどキツイですよ、やっぱり（笑）。

——でも、ミドル級のボクサーと遜色なく打ち合ってるって会長は言ってましたよ。パンチ力もあってって。

金原 いやぁ、それはどうなんですかねぇ（笑）。

——いや、凄いでしょう（笑）。ところで、シウバの打撃ってどんなふうに分析してますか？

金原 シウバの打撃って全然違うんですね。ビデオで研究してたら分かりますけど（ニヤリ）。

——記者会見でシウバは穴がない選手だって言ってましたけど、突破口は見えた感じですか。

金原 まあ、多少はね（自信ありげに）。あとは緊張しないことですけどね、久しぶりで。

——緊張なんかしないでしょ、何年選手ですか（笑）。

金原 もう丸11年やってますけど、ボク、この前の記者会見でアガって（笑）。

——アガった？（笑）。

金原 なんか、言葉が出なくて名古屋弁が出ちゃうし、アレって思って。その時に「オレって、もしかしてブランクあるのかな」って思いましたよ。それまでは全然ブランクなんかないと思ってたんですけど（笑）。

——ちょっと心配ですね（笑）。だけど、あの時と違って穴は見えてきてるようなんで、試合の展開もある程度予想できてる感じじゃないんですか。

金原 でも、あんまり予想はしないようにしてるんですけどね。違うことをされた時にこんがらがっちゃうんですよ。シウバって研究家だと思うんですよね。

——基本的にはシウバじゃなくて、フジマール会長が研究して指示を出すみたい

ですね。

金原　いい会長がいるんですね。いいなぁ（笑）。シウバって意外とタックルにいくんですよね、殴り合うフリして。だから、それほど立ち技にこだわってる選手じゃないんですよね。でも、一番怖いのは体力ですよ。

――っていうか、金原さん自身が一番自信ないんじゃないんですか、それって（笑）。

金原　多少はついてきたと思うんですよ（笑）。

――たっぷり休んだじゃないですか（笑）。

金原　でも、あのブラジル人の体力は凄いですね。スポーツ医学的に見ておかしいと思うぐらいありますからね（笑）。

――それで打撃にこだわります？　それとも寝技で仕留める方向で行きますか？

金原　いきなりタックルに行きますね（笑）。

――これだけ打撃の練習をしてるのに（笑）。

金原　ゴング前のにらみ合いでは、低姿勢でブラジル語で挨拶しようかなって（笑）。「先生」とか言ったら、向こうも悪い気しないでしょ？

――チャンプとか言ったり（笑）。ただ、今回は特に髙田さんの引退試合もありますし、勝って華を添えたいですよね。

金原　それはありますよね。

――Uインター同窓会についてはどうですか。

金原　控室の雰囲気が楽しみですね。なんか昔を思い出しそうで。安生さんも来るって言ってたし、高山さんも試合に出れないけど来るって言ってましたし。ヤマケンもいるし、ゴールデンカップスですからね（笑）。

▲「金原君の打撃はミドル級のボクサーと比べても遜色ない」と太鼓判を押す大橋秀行会長。金原はムエタイ修行も終えており、蹴りもパンチもシウバに打ち負けない

ビデオで研究してたらシウバの穴が見えてきたね（笑）

――桜庭さんも、松井さんもいて、田村さんは別のところにいて、ホントにUインターですよね（笑）。

金原　そうですね。今思うとUインターって凄かったですね。なんで続かなかったのかと思っちゃいますけどね。この『プライド』ができたのだって、安生さんがヒクソンの道場破りに行ったからですからね（笑）。

――総合格闘技の原点であり、歴史を作ってきたところですよ。その中にいられたってことは光栄……。

金原　光栄なんですかね（笑）。でも、いい先輩がいて、そこで揉まれて強くなったっていうのはありましたからね。練習の内容も変わらないですからね、基本的に今と。

――選手は桜庭さん、金原さん、安生さん、高山さんたちがいて、コーチ陣にはレスリングの安達さんがいて、ムエタイのコーチもいて、最後のほうにはエンセンさんが仲間に加わって柔術の技術まで入っていたんだから凄いですよね。最高のクオリティでしょ。

金原　だって、ボクがキックを始めたのはUインターに入ってからですし、レスリングもそうですからね。ボクなんか格闘技経験なかったですからね。

――実は金原さんって天才肌だったんですか（笑）。

金原　実はそうなんですよ（笑）。でも、そうだよな、だってキック4戦目でチャンプアと当たりましたからね。英才教育をバッと受けたって感じですね。宮戸さんからはしょっちゅう足の運動をさせられましたしね（笑）。

――それが今に生きてるんでしょうね（笑）。

金原　根性つきますもんね。リングスに入った時も前田さんに千本タックルに行けって言われたし（笑）。

――もう十分やってきてるのに（笑）。

金原　しかも、1カ月に2試合した時ですよ、それ（笑）。大阪で試合して、その3日後にロシアに行って帰ってきて、マッサージを受けようと思って道場に行ったら、前田さんが「金原、千本タックルに行け！」って（笑）。

――怖ろしいですね（笑）。

金原　そこにUWF魂を見ましたけどね（笑）。

――で、千本やりました？

金原　いや、千本を超えるぐらいやりましたよ。ただ、次の日休みましたもん、さすがに（笑）。前田さんは基礎練習をバンバンやらせるのが好きみたいですね。

――新日イズムですね。だから、基礎体力って絶対に強制する人って必要だと思うんですよ。Uインターではそういうのを宮戸さんがやって、スパーリングに関してはトップどころが集まって、もみくちゃにやっていたんでしょ？　強くなりますよね。

金原　凄い集まりだったと思いますね。

――それが今また再評価され、髙田さんの引退とともにまた集まるというのは感慨深いものがありますね。

金原　でも、髙田さんが引退するってい

うのが自分の中で信じられないものがありますよね。今でもスパーリングさせてもらうんですけど力とか凄い強いし、肉体が凄い強いんですよね。ボクらはいろんな人とスパーリングするじゃないですか。でも、髙田さんって飛び抜けて力とか強いんですよね。

—今でもボクはホイスやヒクソンになぜ勝てなかったのか不思議に思いますから、ホントに。ところで、東スポに書いてあった髙田さんの凍傷は大丈夫ですか（笑）。

金原 昨日会いましたけど、普通に練習してましたね。

—アイシングパックの手違いで凍傷ってことですけど、そういうことってあるんですか？

金原 あるんですよ。アイスパックのアイスによってあるんですよ。

—実は多々あることなんですか？

金原 ありますよ、ボクもちょっと気付いたら凍傷になってたことってありますよ。それに圧迫してギンギンに巻くじゃないですか。だから、分かりにくいんですよ。

—そういうもんなんですか。さすがは東スポだな、なんでも記事にする（笑）。で、今後は『プライド』中心にやっていく予定ですか。

金原 そうですね。だから、スタートですね。だけど、強い選手が多いですからね、なんか見たことあるような連中ばっかで（笑）。

—マリオにしても、ダン・ヘンダーソンにしても、ヒカルド・アローナにしても金原さんに勝って名を挙げていった選手ばかりですからね。金原さんはケガだらけだったのに。

金原 みんな、オレを踏み台にしていきましたからね（笑）。

—だけど、今、『プライド』の外人は倒しがいあるでしょう。今の金原さんならコンディションもいいんですから、踏み台にしてやりましょうよ！

金原 ヘンダーソンにしても名前もできてますからね（笑）。

—だから、もう一回やって決着をつけたい選手はいっぱいいますからね。

金原 そう言っちゃうと、また、やらなきゃならないから（笑）。

—やってくださいよ。シウバに勝って『プライド24』でも。

金原 ボクはやりませんよ。

—いや、稼ぎましょうよ。

金原 それを言われるとやりたくなるんですよねぇ。でも、またそうしたら身体が壊れるからなぁ。でも、夏が嫌いだから冬の間にバッと試合やりたい気もするんだけど（笑）。

—稼ぎましょう（笑）。

金原 その言葉に弱いなぁ（笑）。今年は厳しかったですからね。車売る寸前まで行きましたからね。

—ともかく前回の『プライド』では日本人が全敗でしたから、ここらで金原さんに勝ってほしいって気持ちが凄くありますね。

金原 そうですね。頑張んなきゃなって気はしますね。外人はハングリーなんですかね。タイとか行くとハングリーになんなきゃって気がするんですけど、日本に帰って3週間ぐらいすると元に戻っちゃうんですよね（笑）。8月にはハワイに行きましたしね。

—練習ですか？

金原 バケーションで（笑）。

—まだ、ちょっと早かったんですかね、試合するのが（笑）。

金原 まだ早かったかなぁ。ホントにせっぱ詰まらないと（笑）。だけど、フリーの厳しさはよく分かってきましたね。

—チャンピオンになってほしいですね。

金原 なりたいですね。ベルトがほしいですよ。あれを巻いて歩きたいですよ、ホントに（笑）。

—ベルト好きですもんね（笑）。

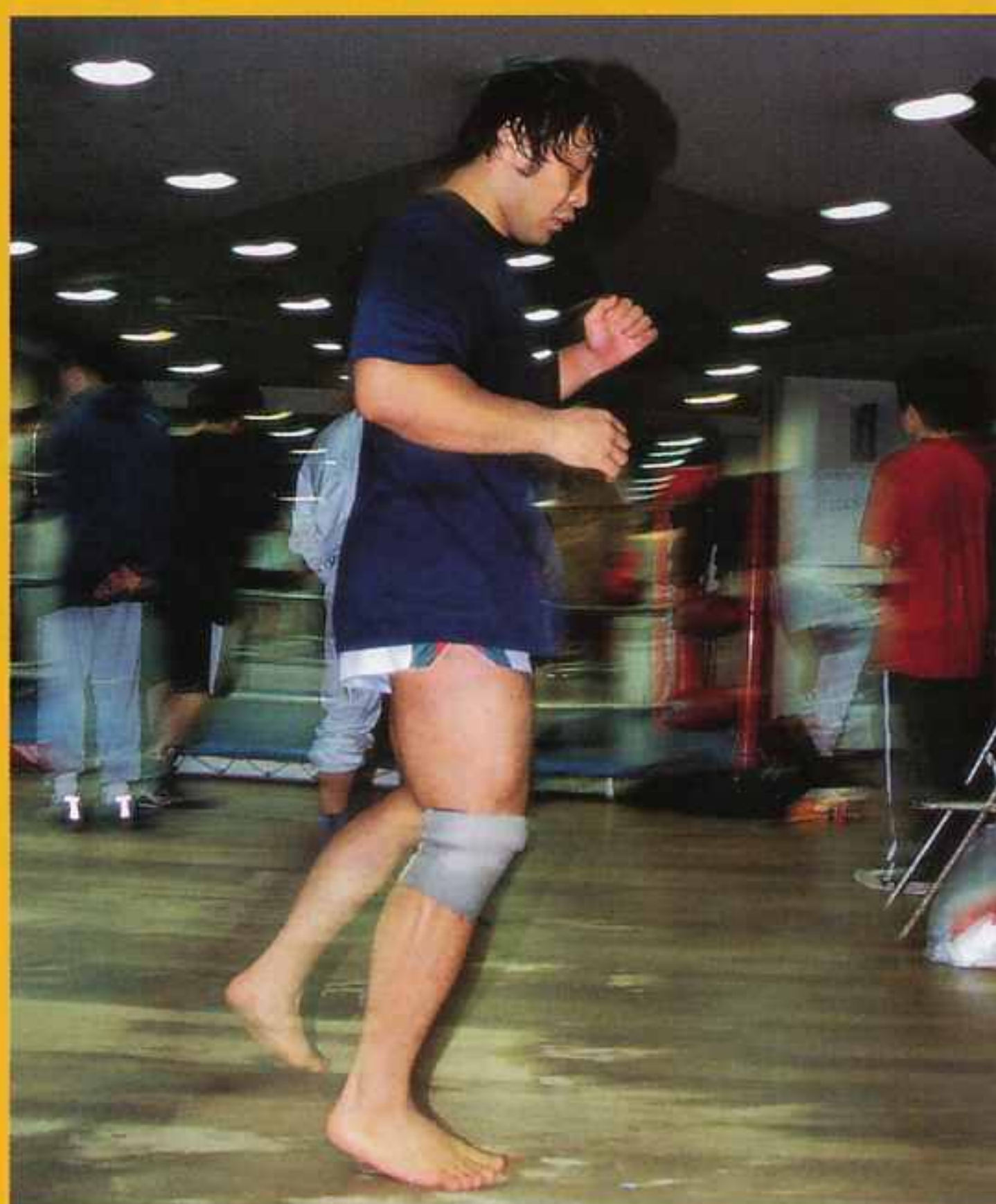
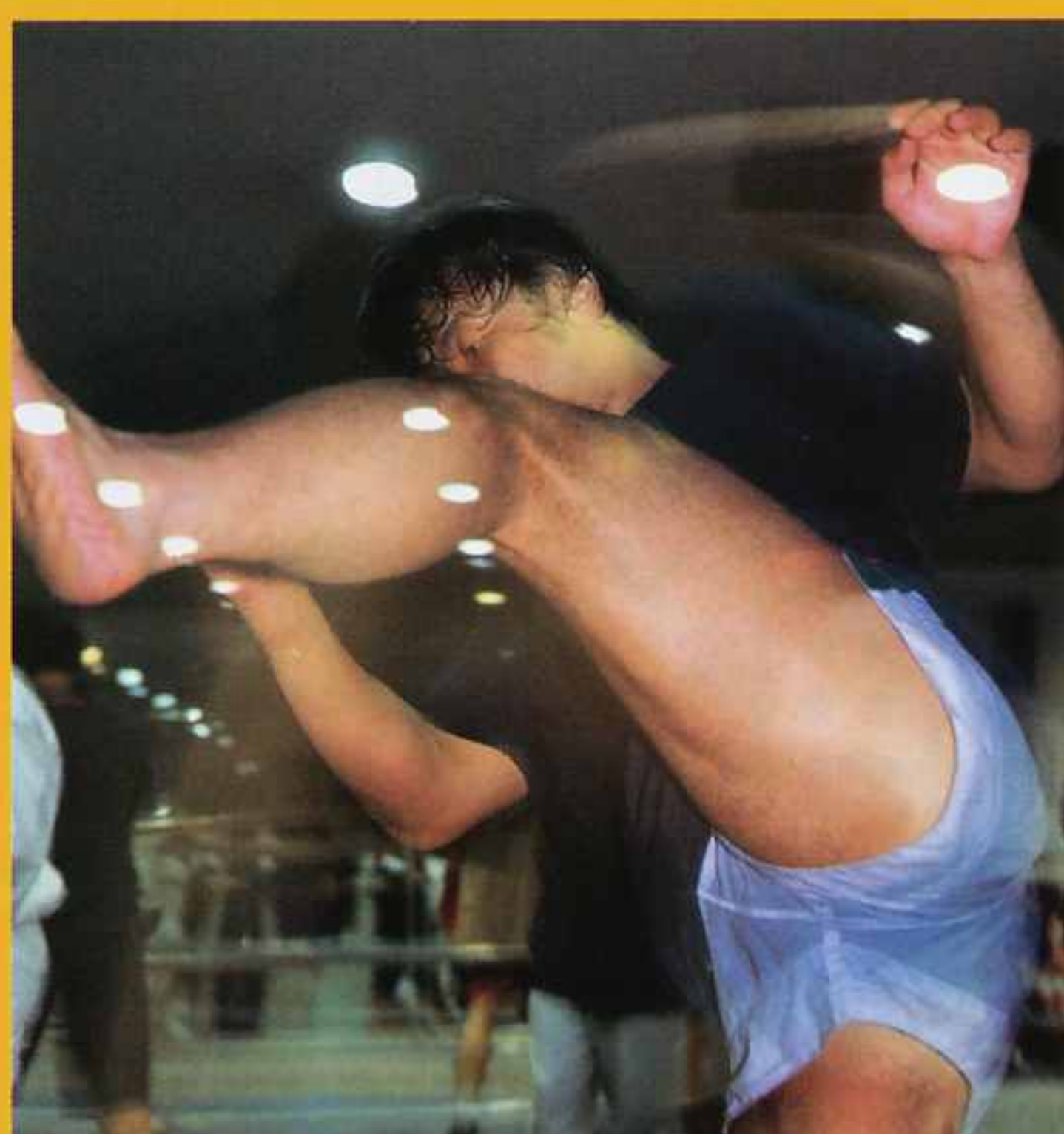
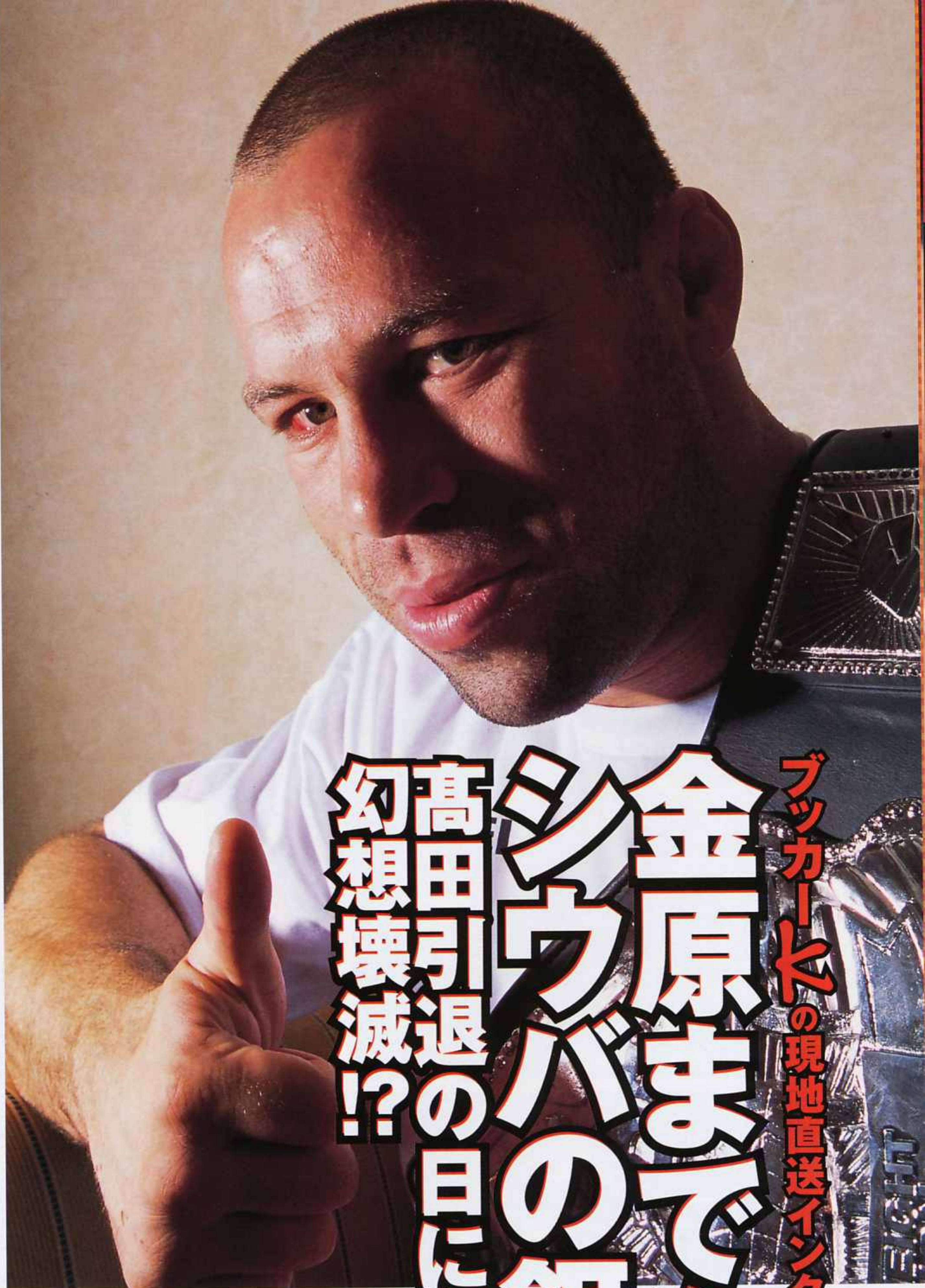
金原 Uインターのほかの選手は安生さんも、高山選手にしても山本喧一もみんなベルト取ってるじゃないですか。Uインター時代にみんなベルトを持ってて「いいなぁ」って思ってたんですよね。桜庭はサクベルトを巻いてたし（笑）。

—それは違うでしょ（笑）。

金原 まあ、でも、タイトルマッチをやってますからね。ベルトってこの世界に入った時から憧れますよね、やっぱり。

—ベルトに対するモチベーションは高いですね。ぜひとも、チャンスをモノにしてください。

金原 これから金原弘光のゴールドラッシュですよ、ゴールドラッシュ！（笑）。■

これからが金原弘光のゴールドラッシュですよ！（笑）

ブッカーKの現地直送インタビュー

金原までもシウバの餌食か 高田引退の日にUインター幻想壊滅!?

取材◎川崎"ブッカーK"浩市

金原を迎え撃つヴァンダレイ・シウバの最新インタビューが、ブッカーKから届いた。いつもながら謙虚に、しかし自信たっぷりで試合に臨むシウバ。いつ何時、誰とでも闘う姿勢で桜庭、田村など日本人選手をことごとく潰してきたこの男、今度は金原も凶拳の餌食にしてしまうのか。

——『プライド23』で金原戦が決まりましたが、今の心境は?

シウバ　自分はいつだって試合が来るのを待ってるんだ。誰が相手でも、常に気持ちは変わらないよ。

——試合に向けては、どんな練習をしているんですか?

シウバ　実際、相手がどんな選手か知らないから、いつもと同様だね。いつもどおりのハードなトレーニングさ。どんなポジションでも、オレのTシャツに書いてあるように"アグレッシブ"に闘うように練習してるよ。

——8月の『Dynamite!』では、あなたと闘う日本人がなかなか出てこなくてカードが最後まで決まりませんでした。挑戦者不在の状況は寂しい?

シウバ　オレのウェイト・カテゴリーには、いい選手がたくさんいると思うんだけどな。だから問題はないはずなんだけど……。

——問題があるとしたら、あなたが強すぎるってことでしょう(笑)。今回は初参戦の選手があなたのタイトルに挑むことになりましたが、その点はどう思いますか?

シウバ　オレは、何試合も闘ってきて、『プライド』のスターであるサクラバに2回勝ってやっとタイトルを手にしたんだけどね。でもまあ、いきなりタイトルマッチができるってのは、カネハラにとっては、とてもいいことじゃないか。でも、悪いこともある。カネハラは『プライド』での経験がないわけだ。その状態でオレに挑んでくるんだから、オレが短時間でヤツを殺ってしまう可能性も高いと思うね。オレはまだずっとベルトを持っていたいしね。

——そういえば2月の田村戦も同じ状況でしたね。相手は初参戦で、タイトルマッチで。

シウバ　たしかにタムラ戦の時もそうだった。だけど、それは彼らにとっては重要なことかもしれないけど、オレにとってはたいした問題じゃない。オレにとって大事なことは相手とかシチュエーションじゃなく、ファンのみんなにいい試合を見せることだから。

——金原選手の試合は見たことがありますか?

シウバ　いや、まったく見たことがないね。チームのみんなも見たことがないみ

たいだ。

——金原選手はブラジルでも名前を知られているんですよね？

シウバ　ああ、いい選手だって評判は聞いてるよ。ただオレは、彼に関しては名前しか知らないし、はっきり言うとどんな顔をしているかさえ知らないんだよ（笑）。相手が問題じゃないんだ。『プライド』に出てくるくらいだから強い選手に決まってるしね。カネハラが、タムラのように向かってくればいい試合になると思うよ。

——金原選手は元Uインターの選手なんですが、そのことについては？

シウバ　ん〜、分からない（笑）。実際にUインターの試合を見たこともないし、あんまりイメージが湧かないなぁ。

——実は、あなたと闘った桜庭選手や田村選手もUインター出身なんですよ。それに髙田選手や高山選手もそうです。何か彼らに共通する部分は感じますか？

シウバ　いい選手だってことかな。それ以上は特にない。

——金原選手はこれまでリングスで闘ってきて、グラウンドでの顔面パンチに慣れていません。それはあなたにとって有利ですよね？

カネハラも打撃が得意なのか？ならボクセで練習するともっといいぞ（笑）

シウバ　それはたしかにそうだろう。ただ、今はどんな選手でもバーリ・トゥードの闘い方を知っているからな。もちろんカネハラだってグラウンドパンチの打ち方は知ってるだろうし、ディフェンスだってできるだろう。

——金原選手は「パンチは右ストレートなど、自分のほうが痛い。当たれば倒せる」と言っています。

シウバ　ん、どういう意味だ、それは？

——あなたをKOする自信があるってことでしょう。

シウバ　ふ〜ん。そいつはグレートなことだね。だがオレも同じことが言えるよ。オレはどこがターゲットか、そうすれば敵が倒れるかを知っているからね。

——それと、金原選手は「勝ちたい意欲は僕のほうが上」とも言っています。

シウバ　それはまあ、ノーマルな感情なんじゃないか？　ファイターだったら誰もがそう思っているはずだし、もしそう思わないヤツがいたとしたら、そいつはリングに上がってくる資格はないと思ったほうがいい。

——金原選手はタイでムエタイの修行もしているんですよ。だから試合が打撃戦になる可能性が高いです。それは望むところですよね？

シウバ　そのとおり。ムエタイの練習ということであれば、オレだって負けてないよ。カネハラも打撃が得意なら、ここ（シュート・ボクセ）で練習すればいいんじゃない？　そしたらもっと強くなれるよ（笑）。

——しかしこの試合でも勝ったら、いよいよ対戦相手がいなくなってしまいますね。

シウバ　ミスター・カワサキ、それを見つけてくるのもキミの仕事じゃないか。頼むよ（笑）。

——分かりました（笑）。ところで、同じ大会で試合をするニンジャ選手の調子はどうですか？

シウバ　もちろん絶好調だよ。我々シュート・ボクセは、チームとしてどこのリングに立つ時でも、ベストの状態になるようにしてるんだ。ニンジャだってそうだよ。

——それからこの大会では、髙田選手が引退試合を行うんですよ。彼に対するメッセージがあればお願いします。

シウバ　うん。ミスター・タカダが『プライド』という素晴らしいイベントの土台を作ってくれたということには、オレも本当に感謝しているよ。今度の大会ではタムラとの試合と聞いているけども、アグレッシブにステップインしていけば、絶対に凄くいい試合になると思う。ミスター・タカダ、これまでおつかれさまでした。最後の試合も応援するからガンバッテ！　■

▲車も買い替えて公私ともに絶好調のシウバ

▲先日はサッカー番組に出演。シュート・ボクセの大会『メッカ・ワールドVT』の宣伝に務めた

▲練習後、円陣を組んで気合いを入れるシュート・ボクセ軍団。練習の激しさと結束の固さは増すばかり

▲『プライド23』でヒカルド・アローナと対戦するムリーロ・ニンジャもコンディションはいいようだ。隣にいるのはニンジャの弟で、リングネームはマウリシオ・ショーグン（！）。さらにこの下に16歳の弟もいて、もう彼らより背が高いんだとか

眼窩底骨折の桜庭、強行出陣！

「勝って髙田さんの引退試合に華を添えたい」

▶眼窩底骨折を押しての参戦ながら、桜庭はおどけたコメントで記者の笑いを誘った

森下社長のコメント

「桜庭選手は、10月25日に精密検査の結果が出まして、ドクターからは『大丈夫だ』という太鼓判を押していただいたわけではないんですけど、DSEと髙田道場で検討した中で、そこから5日後、10月30日にですね、桜庭選手本人から、髙田選手の引退興行ということもありまして、本人の意思で『なんとか出場したい』と。それを受けて、対戦相手を探し始めたと、そんな経緯がありました。この試合が第1試合ということに関しては、桜庭選手の意向もありまして、こちらで検討させていただいた結果、試合順はこういう形で決めさせていただきました」

桜庭和志あいさつ

桜庭 桜庭です、こんにちは。今までちょっとケガが多かったんで、ケガに気を付けて…、気を付けたいんですけど、相手の選手の肩書きが〝ハイパー・リトル・サイボーグ〟ということで、サイボーグとやるのは初めてなんで、そこらへんに気を付けて、勝って髙田さんの引退試合に華を添えられればいいなと思っています。よろしくお願いします。

質疑応答

――第1試合への意識、そのあたりの気持ちについてお伺いしたいのですが。

桜庭 第1試合っていうのがねぇ、やっぱり僕が入ったUインターの試合でですね、髙田さんがメインの時は僕、第1試合をやっていましたんで、そういう意味で髙田さんの引退試合の時は「オープニングで僕がやってみたいなというか、やりたい!」っていう希望がありまして、第1試合を希望させてもらいました。試合当日までにケガをしないようにしたいと思います。

――右目の負傷の回復具合については、どういう感じなんでしょうか? 再起戦に向けて、焦りとかそういうのはありますか?

桜庭 まだ微妙にちょっと二重に見えるのが残ってるんで、今日も記者の人たちが倍ぐらいに見えるんですけど、そのぐらいです。まあ、練習に関しては少しこう右目に気を遣いながら練習しています。焦り……負けることとかへの焦りというのは、特にないんですが、サイボーグってことで人間じゃないっていう、そのことに焦りはありますけど。

――試合に出場することに対して、多少無理をして出るという感じでは?

桜庭 いま試合をしろって言われたらちょっと厳しいですけども、あと3週間ちょっとぐらいあると思いますんで、そのぐらいには回復していると思います。

――対戦相手のデータっていうのは?

桜庭 まだないです。これから……。

――(データが)手に入らないかもしれないっていう……。

桜庭 たぶんある、……少しはあるっていう話ですけど。

――ジル選手のほうが桜庭選手とやりたがっているという話なんですが?

桜庭 あっそうですか?

――まったく知らない選手とやることに関して不安みたいなものってありますか?

桜庭 そうですね、少し。

――後ろにバンナ選手が控えているということに関しては?

桜庭 べつにタッグではないので、タッチされたらちょっと厳しいですけど。

――相手(のデータ)がよく分からないので、対策とかなかなか立てづらいというのはありませんか?

桜庭 毎回特にそんな対策とか立てていないので、相手は何でもできる選手だと思ってやってますんで。

――ケガをしてから、どのくらいで通常のトレーニングができるぐらいに戻れたんでしょうか?

桜庭 1カ月ぐらいかな。

――たとえば打撃の練習で、顔に当てたりとかそういった練習はやっているんですか?

桜庭 打撃は少し入れてやったりもしてますけど、自分で気を付けながら当たらないようにやってます。

――試合に向けての仕上がり具合っていうのはどうなんですか?

桜庭 これから少しずつ進めていきます。

――ちょっとノドがガラガラしているようですが、風邪かなんかか?

桜庭 違います。カラオケ。

――今回は新技で決めようっていうのはありませんか?

桜庭 ありません。

――メインではやはり髙田選手のセコンドに付くんですか?

桜庭 そうですね。(自分が)ケガをするかもしれないので、ケガをしなければ付きたいと思います。

――Uインターの当時っていうのは、髙田選手とスパーリングをやられていたとは思うのですが、現在はどうなんですか? ラストマッチの前ということで髙田選手とスパーリングとかは?

桜庭 今もしてますよ。

――髙田選手が、桜庭選手をメインにという話があったのですが、そういう話は髙田選手のほうから桜庭選手のほうにはあったのでしょうか?

桜庭 少し聞きましたけど、けっこう前だったんで。飲みながらだったんで、あんまり……(笑)。

――自分で第1試合を選んだっていうことですよね?

桜庭 はい。

――あらためてお聞きしますけど、髙田選手というのは桜庭選手にとって、どういう存在だったのですか?

桜庭 社長で、先輩で、そうですね……。

――サイボーグ対策とかは?

桜庭 これから考えます。電池が入っていると思いますんで、電池を抜こうかなと。■

「Uインターの試合では、髙田さんがメインの時、僕が第1試合をやっていましたんで、そういう意味で髙田さんの引退試合の時は、第1試合をやりたいという希望がありまして」

▼都内のホテルで行われた記者会見には多くの報道陣が駆けつけた

対戦相手のジルはバンナのスパーリングパートナー!

◀K―1ワールドGP開幕戦では、バンナのセコンドについていた桜庭の対戦相手のジル・アーセン。未知の選手だけに怖い

11・24 PRIDE23 全カード決定!

『Dynamite!』で時代を感じた新しいファンも 髙田vs田村、Uという青春の終着駅をとくと体感せよ!

今年の夏に国立競技場で行われた『Dynamite!』は、いまだに強烈なインパクトとしてファンの脳裏に焼き付いている。しかし、その余韻か、期待感か分からないが、W—1、『プライド』、K—1と、非常にチケットの売れ行きがいいのだ。

そんなムードの中で行われる11・24『プライド23』東京ドーム大会。その一番のコンセプトは、『プライド』創始者・髙田延彦の引退記念イベントである。しかも、髙田のラストマッチは、髙田VS田村というカードになった。これは単に純『プライド』のカードというよりも、『プライド』がなぜできたか、その背景には何があったかという記憶を甦らせるマッチメイクと言えよう。

正直、髙田VS田村は『Dynamite!』で実現した、究極の他流試合のような遠心力的なマッチメイクではない。どちらかと言えば、マニアのファンが喜ぶ求心力的なマッチメイクと言える。逆に言えば、『Dynamite!』では、絶対に実現しないウェットな試合、ウエットな結末が待ち受けている試合だ。

つまり、『Dynamite!』では絶対に味わえない気分を作り出す、そういうコンセプトで、今回の『プライド』東京ドーム大会は勝負する。最近『プライド』のファンになった人には、Uの歴史を学習するイベントにもなっているはずだ。

『プライド』はUWFという運動体がなかったら実現しなかったイベントである。UWFというプロレス界のアンチテーゼが生まれ、UWFインターという先鋭的な武闘派集団が出現した。そして、彼らは思想を売ることで社会現象にもなったが、あまり現実的な団体経営、イベント運営がうまくなかったために崩壊した。それは、まさに「青春」そのものだった。

それに対し、『Dynamite!』や『プライド』、K—1のようなイベントは、超リアルな資本主義の世界である。その画期的なイベント方法で、今やプロレスをも打ち負かしている。その超リアルな資本主義の世界で大切なのは、いかに世間に届く夢のカードを作るかということ。逆に、唯一の欠点は、選手たちのそういう「青春」が見えにくいことだ。なぜなら、資本主義の世界では、全てが消費されてしまうからである。

髙田ラストマッチは、そうした「青春」を思い出させるイベントである。弟分の桜庭和志も負傷を押してジル・アーセンと第一試合で復帰。金原弘光も『プライド』初参戦し、ヴァンダレイ・シウバとミドル級タイトルマッチを行う。髙田は「Uインター出身の選手にできるだけ声をかけたい」と言っていたが、あとはヤマケンが初参戦し、ケビン・ランデルマンと対戦することになった。高山、安生、垣原、中野は出場を辞退したそうだ。

その他には、ノゲイラVSシュルト、ヒーリングVSヒョードル、ニンジャVSアローナの超ハイレベルなマッチメイクが、そして締め切り間際になって、元リングスの横井宏考VSジェレル・ヴェネチアンのカードも追加された。本当にどの試合も、さすがドーム大会というものばかりだ。

しかし、今回の『プライド』でもうひとつ大きなテーマになっているのが、吉田秀彦VSドン・フライの『Dynamite!』級カード。この吉田VTデビュー戦こそ世間に大きく届いている遠心力的マッチメイクだ。そんな『プライド23』東京ドーム大会を見逃すな! ■

第9試合
田村潔司〈U-FILE CAMP.com〉 VS 髙田延彦〈髙田道場〉

第8試合
ドン・フライ〈アメリカ/フリー〉 VS 吉田秀彦〈吉田道場〉

第7試合 PRIDEミドル級選手権試合
挑戦者 金原弘光〈フリー〉 VS 王者 ヴァンダレイ・シウバ〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉

第6試合
セーム・シュルト〈オランダ/ゴールデン・グローリー〉 VS アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉

第5試合
エメリヤーエンコ・ヒョードル〈ロシア/ロシアン・トップチーム〉 VS ヒース・ヒーリング〈アメリカ/ゴールデン・グローリー〉

第4試合
ヒカルド・アローナ〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉 VS ムリーロ・ニンジャ〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉

第3試合
ケビン・ランデルマン〈アメリカ/ハンマーハウス〉 VS 山本喧一〈フリー〉

第2試合
ジェレル・ヴェネチアン〈オランダ/ボスジム〉 VS 横井宏考〈チーム・アライアンスGスクエア〉

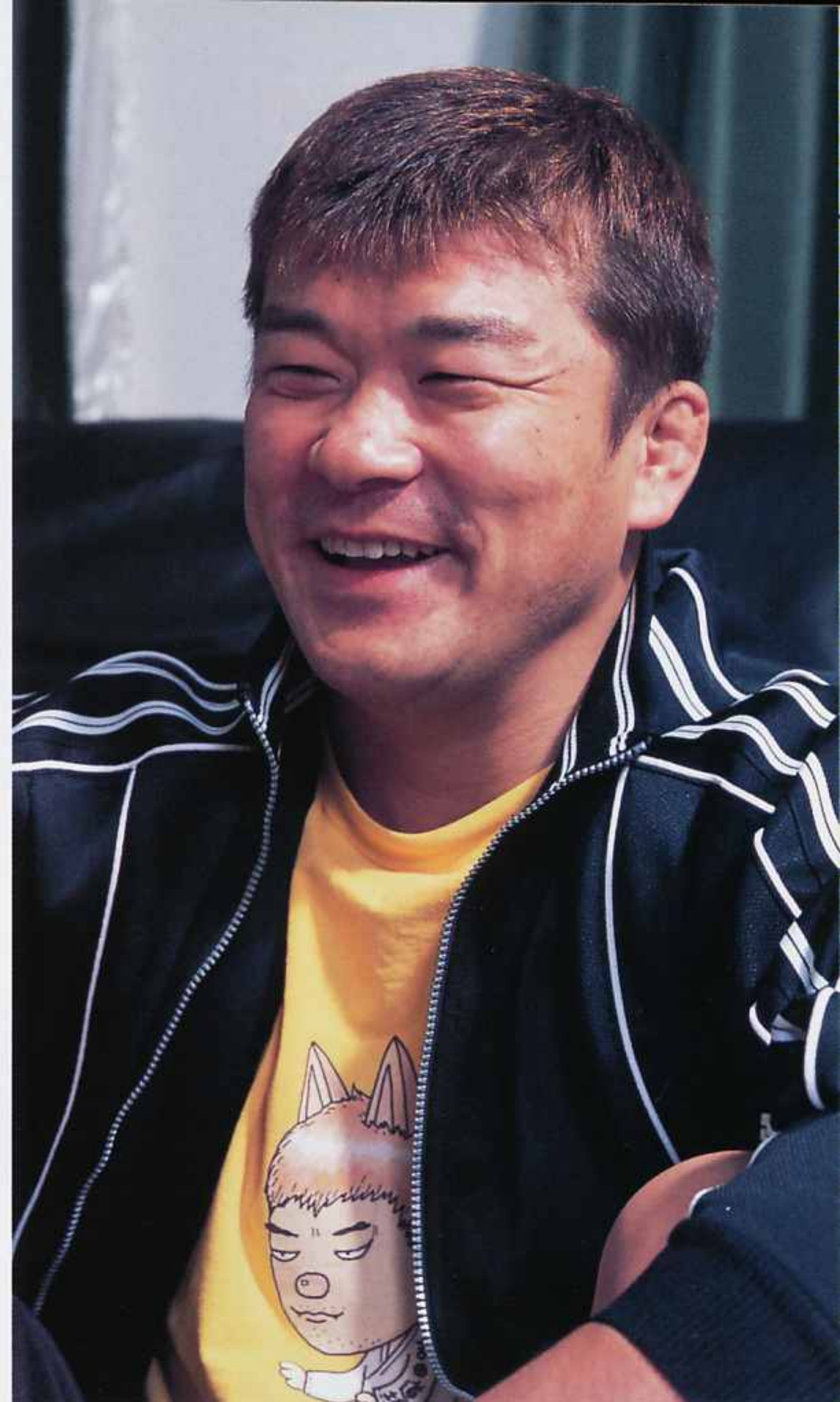
第1試合
ジル・アーセン〈フランス/チーム・レ・バンナ〉 VS 桜庭和志〈髙田道場〉

「正々堂々、真っ向勝負するフライが好きなんですよ」（吉田）

「フライを選ぶとは、吉田さん、したたかだねえ〜」（ターザン）

吉田秀彦×ターザン山本

スペシャル対談

吉田秀彦×ターザン山本 スペシャル対談

「プロでいつまでやるか？ 先のことまで考えてないです」（吉田）

山本　吉田さん、ボクはターザン山本って言うんですけど……。

吉田　知ってます知ってます。この前、道場でもお会いしましたし、その前から知っていますよ。

山本　そうですか。それではさっそく質問しますが、吉田さん、柔道の世界からプロの世界に入ってくるのはなかなか難しいでしょ？

吉田　いろいろと言われますからね。

山本　吉田さんはすんなり入ってきたんですか？

吉田　はい。

山本　周りの人たちに聞くと、吉田さんはズバ抜けて強くて、柔道では天才と言われていたといいますけど。

吉田　いやいや、天才じゃないです。天才なんていないですよ。

山本　でも、世界一でしょ？

吉田　ま、一応。

――オリンピックも、世界選手権も優勝していますからね。

山本　吉田さん、ズバリお聞きしますが、吉田さんは今後、どのくらいプロとしてやろうと思っているんですか？　いろんな対戦相手とやろうと思っているのか、それとも、ある程度、2～3年くらいに区切ってやろうと思っているのか？

吉田　いやぁ、考えてないです。

山本　出たトコ勝負？

吉田　はい。あんまり先のことまでは考えてないです。

山本　はぁ～っ。1回ごとに楽しんでやるという感じですか？

吉田　……そうできれば一番いいなと思いますけどね。

山本　それは、いいですよね。ホイス戦は楽しめましたか？

吉田　初戦でしたからね、楽しむとか、そこまでの余裕はなかったですね。どのくらい強いのかなぁという不安もありましたし。

山本　でも、余裕こいてましたよね？

吉田　余裕じゃないですよ、必死こいてやってましたよ（笑）。

山本　いやいや、見てたら、余裕こいて、周り見ながらやってましたよね？

吉田　いえいえ（笑）、やってないですやってないです。

山本　いや、そんな感じしたけど……。

吉田　そんなことないですよ。

山本　でも、僕から見たら、強いというか、強すぎるなぁという印象を受けたんだけど。

吉田　いやぁ、そんなことないですよ。ホント、一生懸命やんないと勝てないと思っていたんで。投げ技で一本とって終わりってわけじゃないじゃないですか、寝技で取るしかないんで、どう攻めたらいいのかなぁとか考えていましたね。

山本　あれはやっぱり作戦どおりだったんですか？

吉田　いえいえ、全然作戦外です。

山本　作戦外～ぃっ？

吉田　だって、ホイスが足（関節）なんて取ってくると思わなかったですからね。

――ああ、たしかにホイスはあまり足関節はやらないですもんね。

吉田　どっちかって言うと、引き込んで三角とか狙ってくると思っていたんで。そのへんはちょっと予定外でしたね。

山本　でも、最後はあっさり勝ちましたよね。

吉田　いやぁ、あっさりでもないですよ。ちょっと後味悪かったですね。まあ、終わったことだからいいですけど。

山本　どうなんですか、あの時、もの凄い数の観客がいたでしょ？

吉田　それは気にならなかったですね。

山本　気にならなかったぁ～？

吉田　観客のことは全然覚えてないです。

――やっぱり大舞台に強いんでしょうね。

山本　僕は、あそこでエリオの表彰をしたんですけど、あの時は本当に気持ち良かったんですけどね。もう、ガーッと人がたくさんいて……。

吉田　たしかに気持ちは良かったですね。外だったんで、風も心地良かったですし。

――フライ戦が決まってから、どんな練習をしているんですか？

吉田　今日は、（髙阪）剛と一緒に、髙田道場に行って練習したんですよ。髙田さんとか松井君とか、あと、練習生と。

山本　打撃の練習はどうですか？

吉田　難しいですねぇ。いやぁ、なかなかうまくいかないです。

――この前は、藤田選手とも練習したそうですが。

山本　藤田選手はごっついでしょ？

吉田　力強いですよ。

山本　タックル凄いですよね。

吉田　速いですよ。

山本　触れた感触はどうなんですか？

吉田　いやぁ、凄いパワーありますね。チョークスリーパーが入らないんですよ、首が太くて（笑）。

山本　ハッハハハハハ、ホントに～ぃ。

――でも、噂に聞いたところでは、グラウンドではかなり押してたらしいじゃないですか。

吉田　いや、そんなことないですよ。

山本　どっちのほうが先輩なんですか？

吉田　僕のほうが上ですね。僕は髙阪と一緒ですから。

――桜庭選手とか髙阪選手と同い年なんですよ。

山本　でも吉田さん、30歳過ぎてから新しいことに挑戦できるというのは凄いことだね。

吉田　いやぁ、30歳過ぎたから挑戦でき

「出たトコ勝負？ 1回ごとに楽しんでやるという感じですか？」（ターザン）

たんですよ。僕は、柔道選手としては、一応満足いくだけやって、大学（明治）の監督もやったし、やることは全部やって、柔道界には筋を通したんで。

山本　ああ、アマチュアでやるべき段階を全部踏んできたと。

吉田　はい。やってないのは全日本のコーチだけですから。「やれ」って言われたんですけど「いやです」って（笑）。

山本　それをやっていたら、今の吉田さんはなかったですよね。

吉田　そうですね。

山本　そこで、全日本のコーチとして柔道界に残るか、プロに進むかという選択をして、こっちに来たわけですね。

吉田　というか、会社に残って、このままサラリーマンとして安定した生活を送るか、プロになるかですね。

山本　絶対にプロになったほうがいいですよ。

吉田　チャンスがあるんだったら……そうですね。まあ、一つ言えるのは、僕には背負うものがなかったから、奥さんとか子供とかいなかったから、勝負できたというのはありますね。もし、結婚していたら分からなかったです。

山本　でも、この年まで独身だったんだから、このまま行っちゃうでしょ。

吉田　えっ？　このまま？

山本　やっぱ結婚されます？

吉田　いや、まだ全然考えてないですけど……。これをやっているうちは結婚するつもりはありませんけどね、いつ死ぬか分からないから。

山本　え、それじゃ吉田秀彦のＤＮＡがなくなっちゃいますね？

吉田　いや、どこかにいるかもしれない、ハッハハハハハハ。

山本　それはフォーカスしなきゃいけないよぉ、ハッハッハッハッハ。吉田さんは面白い人ですねぇ（笑）。吉田さんはどんな人なのかイメージが湧かなかったんだけど、会ってみたら、ホントにけったいな人だねぇ。

吉田　いやぁ、普通ですよ。

山本　普通じゃないよぉぉぉ。

吉田　でも、客観的に考えて、大企業に入って、そこそこの給料もらっていたら、なんでそんなことをするのかって思いますよね、やっぱり。

山本　でも、どっちを取るかですよね。どうせ１回しかないんですもんね、人生なんて。

吉田　僕もそう思っているんですよ。明日死ぬかもしれないですし。だから、試合に関しても、何年やろうとか考えてないですね。

山本　いいねぇ、吉田さん。個人としての自由な生き方を選んでいるんですね。

吉田　自分の人生ですから。

山本　いやぁ、素晴らしい！　それを言ってほしいんですよ。それはいいよぉ、男だったら当然ですよ。野郎だったらそう生きるべきですよぉぉぉぉ（興奮気味）。

吉田　ハッハハハハハ。

山本　どうですか？　自分にとっての野望の第一歩を踏み出してみて。

吉田　勝負の世界だから、もちろん勝ち負けとかにもこだわってやってはいますけど、やっぱり、そういう場に立った時の緊張感を味わえるのがいいんですよね。僕はそれが好きだから。

山本　それは男の特権ですよね。

吉田　はい。で、勝ち負けは必ず付いてくるんですけど、勝った時の喜びの味を知っちゃってますから、それを求めているんだと思うんですよ。もう柔道では、それが味わえないと思った時に、たまたま『プライド』という世界があって、そこでも、そういう緊張感とか勝つ喜びが味わえるんじゃないかと思って。

山本　『プライド』がなかったら、そういう道はないですもんね。

吉田　そういう意味では、いいタイミングだったとは思いますね。物事にはタイミングもあると思うんですよ。

山本　タイミングと偶然ですよ、出会いというか。

吉田　だから、（バルセロナ）オリンピックで優勝したのもたまたまだと思うし、いいタイミングだったと思うんですよ。

山本　アトランタオリンピックで手を突っ張って、ケガしたのも偶然ですか？

吉田　あれも、偶然です。

山本　あれはドラマチックでしたね？　勝ったよりも印象に残りましたよ。

吉田　変な意味で（苦笑）。

山本　なんでこんなふうに曲がってるんだろうって、自分でも不思議そうでしたよね？　でも、あれで吉田さんは記憶に残りましたもんね。そういうところでも、吉田さんは強運ですね。

吉田　いやぁ、強運って、それはあんまり嬉しくないですけどね（笑）。

山本　いやいや、プラスのこともマイナスのことも記憶に残るから。

吉田　どっちかと言ったら、勝って残りたかったですけどね。

山本　でも、２連勝することよりも、僕ら見る側からすると、勝ちと負けという２つの面を見られたので、そういった意味では、印象強いですよぉ。

吉田　そうですか。

山本　プロになる土壌ができてますよ。オリンピックで２連勝するより、そっちのほうがいいですよ。どう思います？

吉田　いやぁ、でも自分としては優勝するためにやっていたわけですから、納得

いかなかったですよ。周りからすれば印象に残ったかもしれないですけどね。

山本　でも、本当にあの時の顔は良かったですよ。

吉田　痛そうな顔が、ですか？

山本　いやいや、茫然自失とした、なんでこんなことになってしまったのかなというような表情でしたね。

吉田　あんまり見たくない映像なんで、自分では見ないんですよ。

山本　見ない？

吉田　僕、ほとんど見ないんですよ、雑誌とかテレビとか。

山本　試合もですか？

吉田　試合も。

山本　相手のビデオとかも？

吉田　はい。

山本　凄い自信家ですね？

吉田　いや、自信家じゃないですよ（笑）。あまり相手のことを気にしすぎると、自分のいいところが出せないんですよ、そればっかり気にしちゃって。

山本　ああ、日本シリーズの西武ライオンズみたいに、データを研究していて裏目に出ちゃうみたいな感じですね。

吉田　はい。だから、そういうのを気にしてもしょうがないし、自分のいいところを出して負けたら、自分が弱いから負けたんだと納得いくし。

山本　一発勝負というか、現場に強い人だねぇ。でも、僕たちプロレスファンというのは、心配をかけるような選手のほうが好きなんですよ。

吉田　心配かけるって？

山本　勝てるのかなぁとか、どうなるんかなぁとか、心配かける人のほうが、ファンになっちゃうんだよね。やばいよぉ、吉田さん、人気出ないかも分からんよ。

吉田　いや、で、出なくても……。

山本　出たほうがいいじゃない、プロなんだから。

吉田　それはそうですけど、僕としては試合で見せるしかないじゃないですか。

山本　ところで、吉田さんがドン・フライを選ぶというのは、誰も予想していなかったんですが、フライを選んだのはどうしてなんですか？

吉田　どうせやるんだったら、ああいう強くて男らしい選手がいいかなと。僕は、ドン・フライが好きなんで。

山本　ドン・フライのどこが好きなんですか？

吉田　やっぱり正々堂々として、真っ向勝負をするところですかね。

山本　高山選手とのファイト、迫力ありましたよね、ガンガン殴り合って。あの試合も見たわけですか？

吉田　見ました、テレビですけど。ああいうのを見ていると、本当に男らしいなぁと思いますね。で、どうせだったらそういう人とやって、教えてもらうというか、根性を入れ直してもらおうかなと。

山本　吉田さんがあっさり勝っちゃうんじゃないですか？

吉田　いやいや、それはたぶん、厳しいでしょう。

山本　でも、捕まえてしまったら……。

吉田　だって掴むところないじゃないですか、裸なんだから（笑）。

――タイプとしては吉田選手もドン・フライみたいなタイプですよね。柔道時代は、体重無差別の全日本選手権で、80キロそこそこの身体なのに、130キロくらいの相手とガップリ組んで真っ向勝負にいってましたもんね。

山本　それだったら、やっぱりドン・フライしかいませんよぉ。

吉田　それにフライ選手は『プライド』のリングにもう上がらないって聞いたんで、それだったら、なんとかフライ選手とやって、『プライド』最初の試合ですし、いいところを吸収したいなと。やっぱりカリスマ的じゃないですか。

山本　うん。アメリカ人の一番いいところを持っていますよ。

吉田　そういう人とやって、身体で教えてもらいたいなと。

山本　謙虚ですね。う〜ん、これは意外だったねぇ。

吉田　いや、僕、そういうところは謙虚なんですよ（笑）。人から学ぶ時は凄い謙虚なんです。

山本　でも、オリンピックで金メダルを取っているわけだから、みんなは吉田さんのことをあらゆる点でハイレベルな選手だと思っていますよね？

吉田　それは周りじゃないですか。周りは関係ないです。僕がどう思うかです。

山本　ああ。これからは、吉田さんがどう思うかというのを、取材して載せなきゃいかんね。

吉田　まあ、でも主催者側には喜んでもらえたかなと（笑）、僕がドン・フライを選んで。

山本　大喜びですよ。それだけでMVPですよぉぉぉ。

吉田　ハッハハハハハハ。周りからは「なんでドン・フライなんて選んだの」ってよく言われますけどね（笑）。

山本　言われるでしょうねぇ。

吉田　でも、これもたまたまっていうか、偶然だと思うんですよ。

山本　フライは正義感があるし、見せるということを分かっているし、狡さも持っている。多様性を持っていて、いかにもプロ中のプロ。昔の映画で言うと、ガンマンのヒーローみたいな、『プライド』の保安官みたいな男ですよ。

吉田　それは分かります。僕もファンとして見ていましたから。やっぱりやりた

「主催者側には喜んでもらえたかなと。僕がフライを選んで」（吉田）

くてもやれない相手ですからねぇ。

山本 吉田さんはしぶといというか、なかなかしたたかですね。ドン・フライが吉田選手のことをどの程度考えて、どういう試合をしようとしているのか、それを知りたいね。

――ドン・フライ自身は、『プライド』に出てほしいという話を持っていった時、始めは「もうやらない」と言っていたらしいんですけど、「吉田選手がぜひフライ選手とやりたいと言っている」という話をしたら、二つ返事で「OK」って言ったらしいですよね。

山本 なんか響くもんがあったんだねぇ。日本語で言ったら〝阿吽の呼吸〟じゃないですか。吉田さん、人を見る目がありますねぇ、さすがは勝負師だ。

吉田 いやぁ、運ですよ。

山本 吉田さん、アーティストとか天才と言われるような人はみんなそう言うんですよ。自分の作品とかも、運ですよとか、たまたまですよって。だから、やっぱり吉田さんは天才ですよぉぉ。

吉田 天才じゃないと思うんですけどねぇ……。天才だったら今頃、大企業の社長になってたんじゃないですか（笑）。

山本 いやぁ、大企業の社長になるのは、俗っぽい野望でなれるんだから、そんなのは天才とは言いませんよぉ。吉田さん、最後に2つ聞きたいんですけど、人生にとって大事なのは、お金と男女関係だと思うんですね。吉田さんの金銭哲学はどうなんですか？　プロとして。

吉田 金は天下の回りもの、ですかね。

山本 使うことを喜びとするか、貯めることを喜びとするかどっちですか？

吉田 僕は使うほうです。

山本 僕もそうですよぉ。使った時の快感は一番ですよねぇ。

吉田 後で、ああ、なんであんな物を買っちゃったんだろうって後悔することもあるんですけど、また次、使っちゃうんですよね（笑）。

山本 使うのは最高に気持ちいいですもんね。

吉田 まあ、あるうちは、ですね（笑）。

山本 でもね、使っていると入ってくるんですよ、不思議なことに。

吉田 みんなそう言いますけど、もし使ってなかったら貯まっていたのかなぁと思うと、悔しいんですよね（笑）。

山本 でも、貯めてたら貯めてたで、病気になったり、テレビが故障したり、風が吹いてアンテナがこけたり、いらん金が必要になったりして、結局はなくなるんだよねぇ。

吉田 ああ、それはありますね。

山本 それだったら積極的に、先に使ったほうがいいもんねぇ。どう思います？

吉田 たしかに（笑）。まあ、いつ死ぬか分からないですから、使えるうちに使ったほうがいいですよね（笑）。

山本 消費型人間になるほうがいいですよ。今の日本が最悪なのは、お金を使わないからですよ、みんな。貯めてどうするんですか、そんなもん。吉田さんは食うほうはどうですか？

吉田 食うことは好きです。僕はみんなを連れて食いに行くのが好きなんですよ。

山本 あ～、みんな連れて行く。それで吉田さんが払うんですか？

吉田 はい、払います。後輩が多いじゃないですか、で、後輩連れて飲みに行くとやっぱり払わないと……。

山本 体育会系ですね。

吉田 お金がないからって電話かけてくる後輩もいますからね（笑）。それで、お金を払いに行くんですよ。

「大喜びですよ、それだけでMVPですよぉお。」（ターザン）

山本 ホントにいい人なんだねぇ。

吉田 いやぁ、その後輩がまた頑張ってくれると思いますから。

山本 吉田さんは、そういう同志的な、仲間的な人が好きなんですね。

吉田 みんなで頑張ろうという雰囲気は好きですね。

山本 馬場さんも猪木さんも美食家だったんですが、吉田さんは美味いもん食いですか？

吉田 僕は、あんまり……、お腹がいっぱいになればいいです。

山本 焼き肉とか寿司は好きですか？

吉田 焼き肉は大好きです。焼き肉大好きですけど、お茶漬けしかなかったらお茶漬けでもいいです。

山本 僕は年が56歳なんですけど、女の子が大好きで、キャバクラがメチャクチャ好きなんですけど、吉田さんは若い女の子は好きですか？

吉田 嫌いじゃないですよ。

山本 嫌いじゃないよね。

吉田 でも、キャバクラとかは、なんか訳の分からない話をされるんで、ちょっと俺はこの子らとは合わないなというのは、ありますけどね（笑）。

山本 違うんですよ、吉田さん。キャバクラっていうのは、僕ら客がサービスするところなんですよ。とにかく、からかって遊びまくるんですよ。借金がある女の子や心にキズのある女の子、ヒモがいるとかホストクラブに通っているとか、そんな女の子ばっかりですもん。

吉田 みんな寂しがり屋なんですよね。

山本 日本人みんなそうですよ。都会に生きている人はね。

吉田 そこでストレスを発散して。また次の日を頑張ると。

山本 そういうことです。いやぁ、僕は今日初めて吉田さんと話したんだけど、いっぺんに吉田さんのことが好きになってしまったよぉぉぉぉ。■

え、何、吉田戦は道衣マッチ？

これぞPRIDE男塾！

吉田の指名を受けて『PRIDE23』での対戦が決まったドン・フライ。一時はVT引退宣言したものの、『Dynamite!』でバンナと闘い、さらに今回の吉田戦と、その男気は再び燃え盛っている。PRIDE男塾塾長の男節を聞け！

――『Dynamite!』のバンナ戦以後は、どんな生活をされていましたか？

フライ　おとなしくしていたよ（笑）。試合の結果を残念に思いながらね。KO負けしてしまったわけだが、あの試合でいったい何が起こったのか、理解しようと努めていた。2週間の休暇を取って、それからトレーニングに戻ったよ。

――吉田選手との対戦をオファーされた時はどう思いましたか？

フライ　凄く興奮したよ。とても名誉なことだと思った。私はヨシダというファイターが好きだ。彼はこれまで日本から出てきた最高のアスリートの1人だと思うね。ヨシダのような選手と技術を競い合うことはとても名誉なことだし、私自身、この試合ではかなりの動きを要求されるだろう。

――この試合を受けるにあたって、何か条件は出しましたか？

フライ　いいや、まったくない。彼は私を対戦相手として指名した、ならば受けるしかないだろう。他に何か必要なものはあるかい？

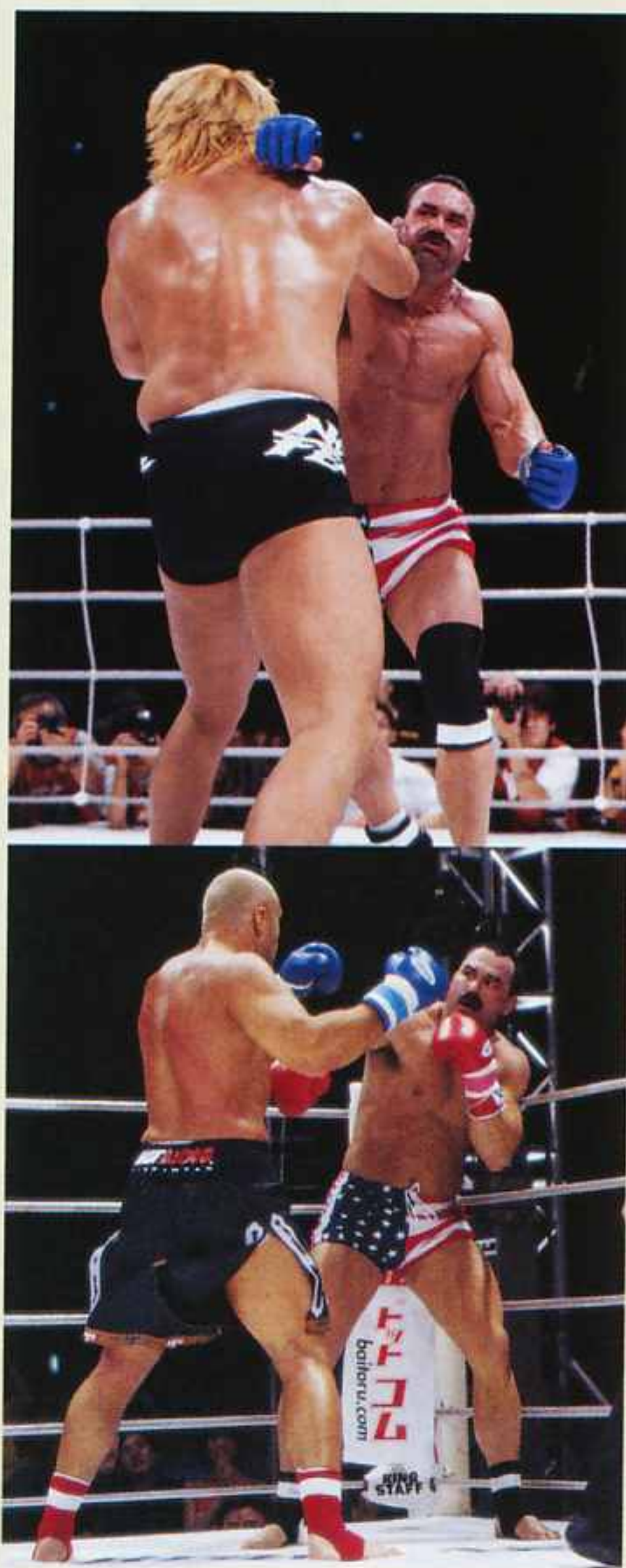
――6月に高山選手と闘った後、あなたは総合格闘技の世界から引退すると言っていましたよね。なぜ今回カムバックすると決めたのですか？　あれから何か気持ちの変化が？

フライ　というか、リタイヤしないことにしたのはバンナと闘った時点でだね。実際にオファーが来て、また自分のモチベーションも高まっている。ということは、神がまだ私に「まだ引退するな」と言っているんだろう。

――吉田選手の印象は？

フライ　ヨシダはオリンピックのゴールドメダリストで世界チャンピオンだ。そんな男とリングで対峙できることは、一生に一度のチャンスだろうね。

――吉田選手があなたと闘いたいと言ったのを聞いた時、どう思いましたか？

フライ　本当に興奮したね。私との試合を望んだということは、彼が私の能力をリスペクトしているということだから。柔道の世界チャンピオンであり、またオリンピックチャンピオンでもある人間と

闘うってことは、誰でもができることじゃない。

――吉田選手とホイス選手の試合は見ましたか？

フライ　ああ。

――あの試合をどう思いますか？　試合後に、いろいろと揉めたわけですが。

フライ　私はユウジ・シマダに自分の試合を裁いてほしいと思う。それが私のポリティカリー・コレクト（政治的に正しい）な答えだ。

――あなたも知っているように、吉田選手は柔道の金メダリストです。あなたとの対戦では、それがどう有利に働くと思いますか？

フライ　ヨシダがオリンピックでも世界選手権でも優勝しているというのは大きいね。ということは、みんな彼をルーキーと言うけど、彼はルーキーじゃないってことだ。彼は少年時代から合わせれば2000から3000もの試合を経験しているわけだし、何年もの間、1日8時間もトレーニングしているんだろう。それだけでも、彼は準備万端だ。彼にはルーキーの面なんてないよ。彼はプロのトレーニングをしている、まぎれもないプロフェッショナルだ。

――この試合は吉田選手にとって、本物の打撃と向かい合う初めての試合です。打撃の初心者でありながらあなたとの闘いを希望した彼をどう思いますか？

フライ　彼は総合格闘技に転向した中で、最も実績のあるアスリートだ。これまではマーク・コールマンだった。コールマンはレスリングでアメリカのオリンピックチームにいたし、パンアメリカンのチャンピオンだったしな。だけど、今はヨシダだ。なぜなら彼は2回も世界チャンピオンになっているし、オリンピックでも優勝している。最も実績があるということは、つまり彼がトップレベルだということだ。だったら総合の世界でも一番下から始める必要なんてないだろう。私は本当に彼をリスペクトするよ。彼と試合する機会を与えてくれて、正直に嬉しいと思う。

――吉田選手とはどんな試合になりそうですか？　やっぱり殴り合い？

フライ　友人はみんな「彼と柔道はするなよ」と警告してくれる。なぜなら私は、常に相手のスタイルで闘う傾向があるからね。周りからしたら、試合で私が何をするか分かったもんじゃないんだろうな（笑）。

――吉田選手は今回も道衣を着て試合すると言っています。そのことは試合に影響すると思いますか？

フライ　もちろん影響するだろう。だから彼は道衣を着るんだ。それで落ち着くことができるんだろう。心理的な面では、彼は私が思わず道衣を掴んでしまうことを見越しているんじゃないか。そう考えると、道衣は彼に有利に働くよ。だからみんな私に「彼と柔道しないように」と言ってくるんだ。

――そういえばフライ選手も柔道をやっていたがあると聞いたんですが。

フライ　そう。二段だよ。8年から10年はやっているね。

――じゃあ、もしかして吉田選手との対戦で道衣を着るなんてことは……？

フライ　分からないな。ただ、それは私が考えていることの一つではある。

――それは……。男気どころの騒ぎじゃないですね（笑）。

フライ　だからみんな心配するんだよ「ドンはヨシダと柔道で闘う気じゃないか」ってな（笑）。

――吉田選手はあなたに、プロとは何かを教えてほしいとも言っています。何を教えますか？

フライ　何も教えられないな。彼は明らかに一流だ。真のスポーツマンで真の競技者だ。彼は世界でも頂点にいる選手で、総合の世界に来て私との試合を望み、特別なルールも要求しなかった。ヨシダは柔道のトップにいた男だが、柔道は世界で最も厳しいスポーツの一つだ。そんな彼に教えることは何もない。彼はすでにプロフェッショナルだ。彼は私のリスペクトを得たんだよ。

――"プロ"のファイターにとって、何が最も重要だと思いますか？

フライ　たくさんあるが、まず対戦相手をリスペクトし、トレーニングパートナーをリスペクトし、そしてファンをリスペクトする態度。自分を公衆の眼に照らし合わせて行動することだ。プロのアスリートというのは、自分自身だけじゃなく、自分の競技やプロモーターをも代表している存在なんだ。だから恥ずかしい、不名誉なことはできないだろう？　私はそれがプロフェッショナルのあるべき姿だと思う。特にファンに接する時はね。何百万ドルも稼ぐプロ野球選手が、ファンにサインする時20ドル要求するのを見たことがあるだろう。あんなのもってのほかだ！　ヨシダはそうじゃない、本当のプロなんだと感じるよ。だから私も彼をリスペクトできるし、リスペクトしあっている者同士なら、きっといい試合ができると思うね。■

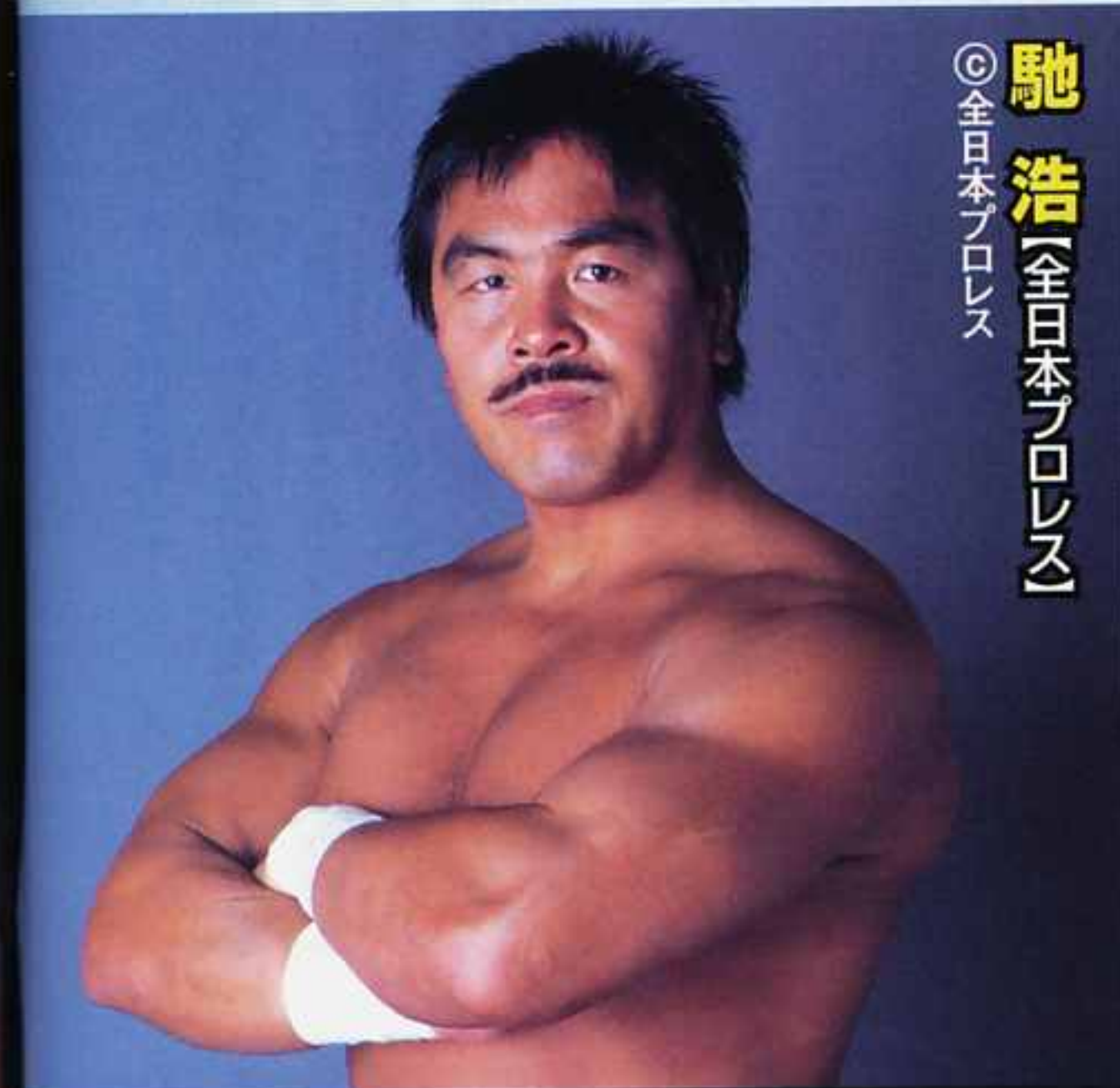
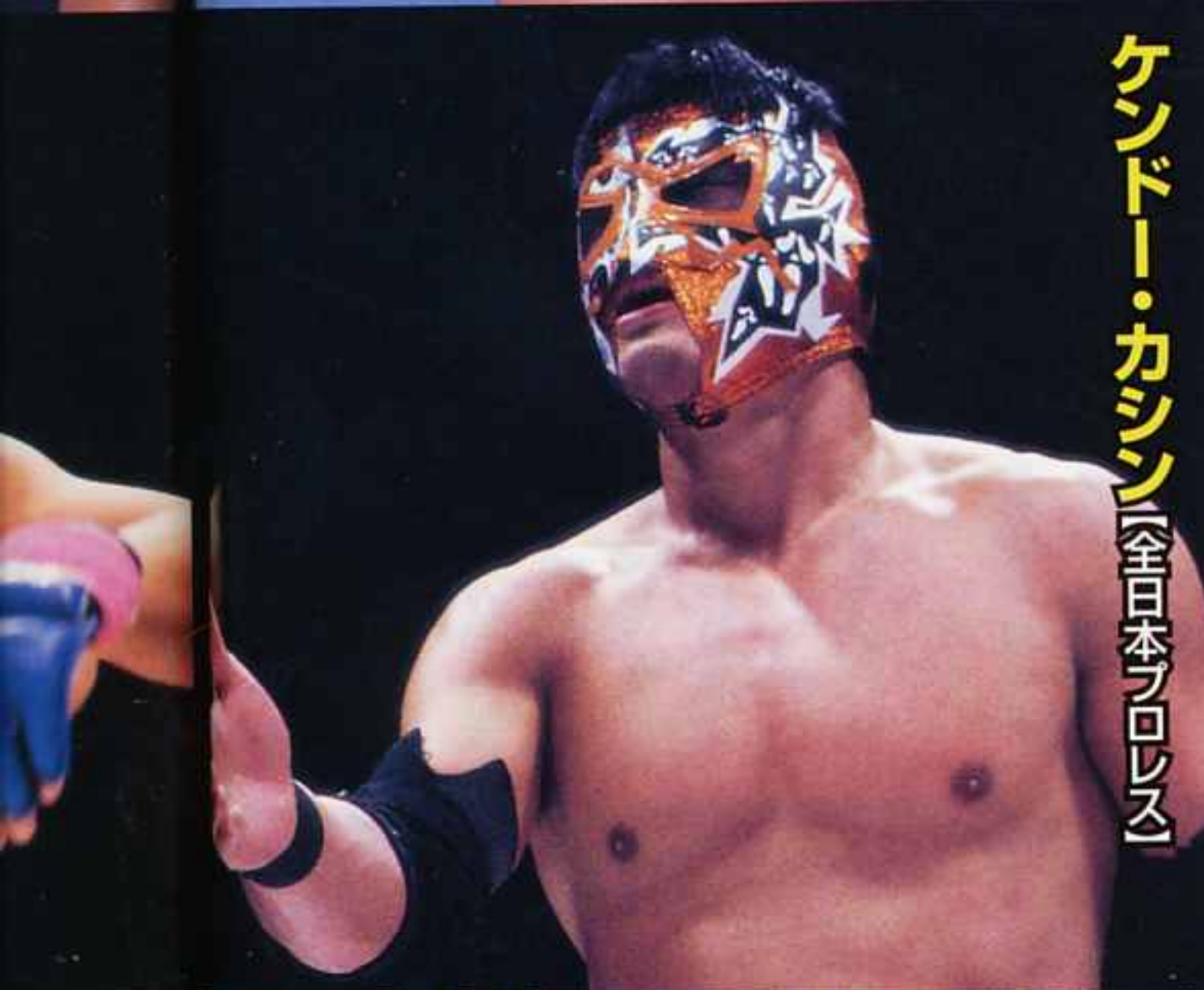
▲高山戦で壮絶な殴り合いを見せ、さらにK－1ルールでバンナとも闘ってしまったフライ。逃げるということを知らないこの男、果たして吉田戦はどう闘うのか？

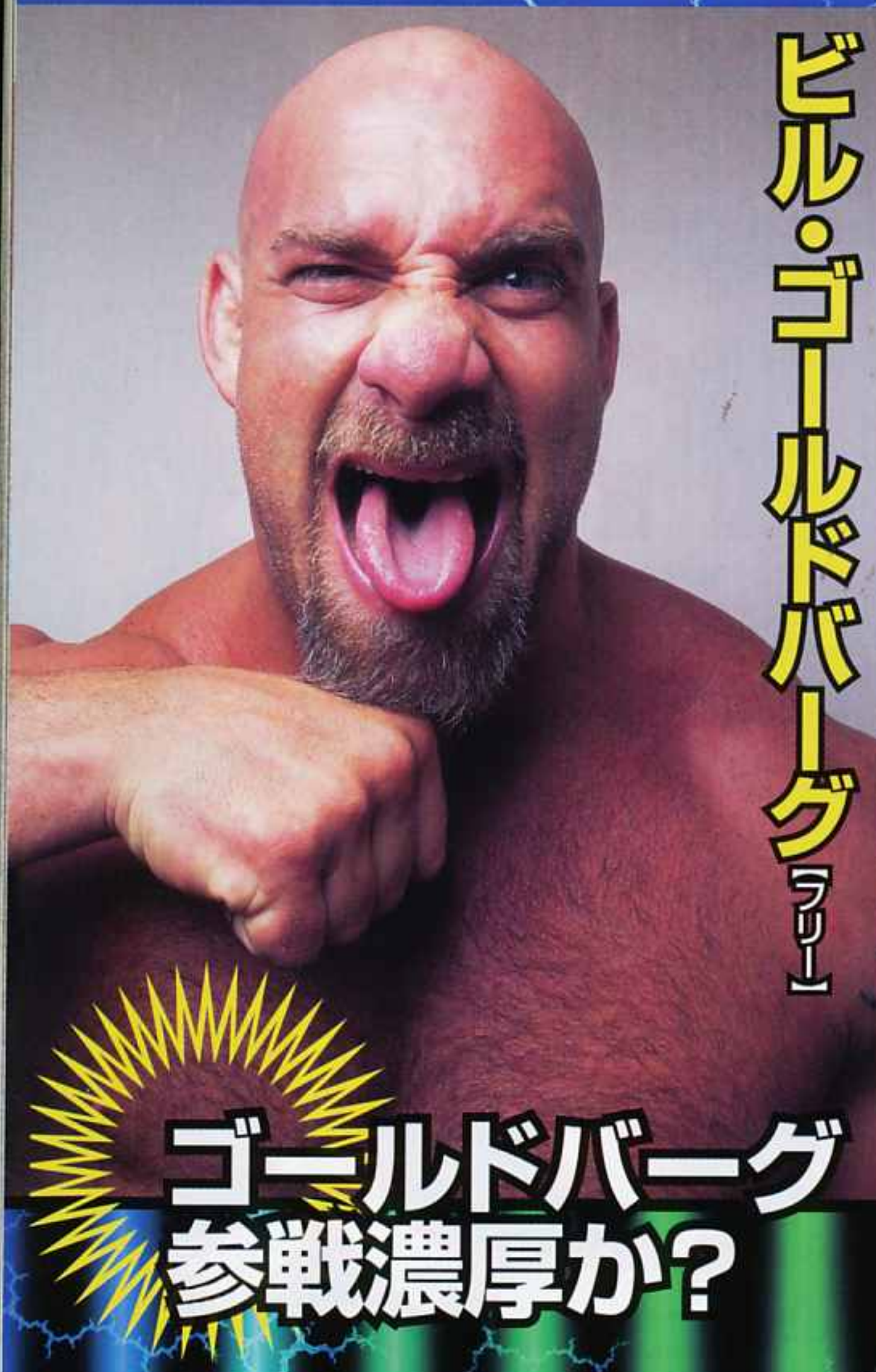
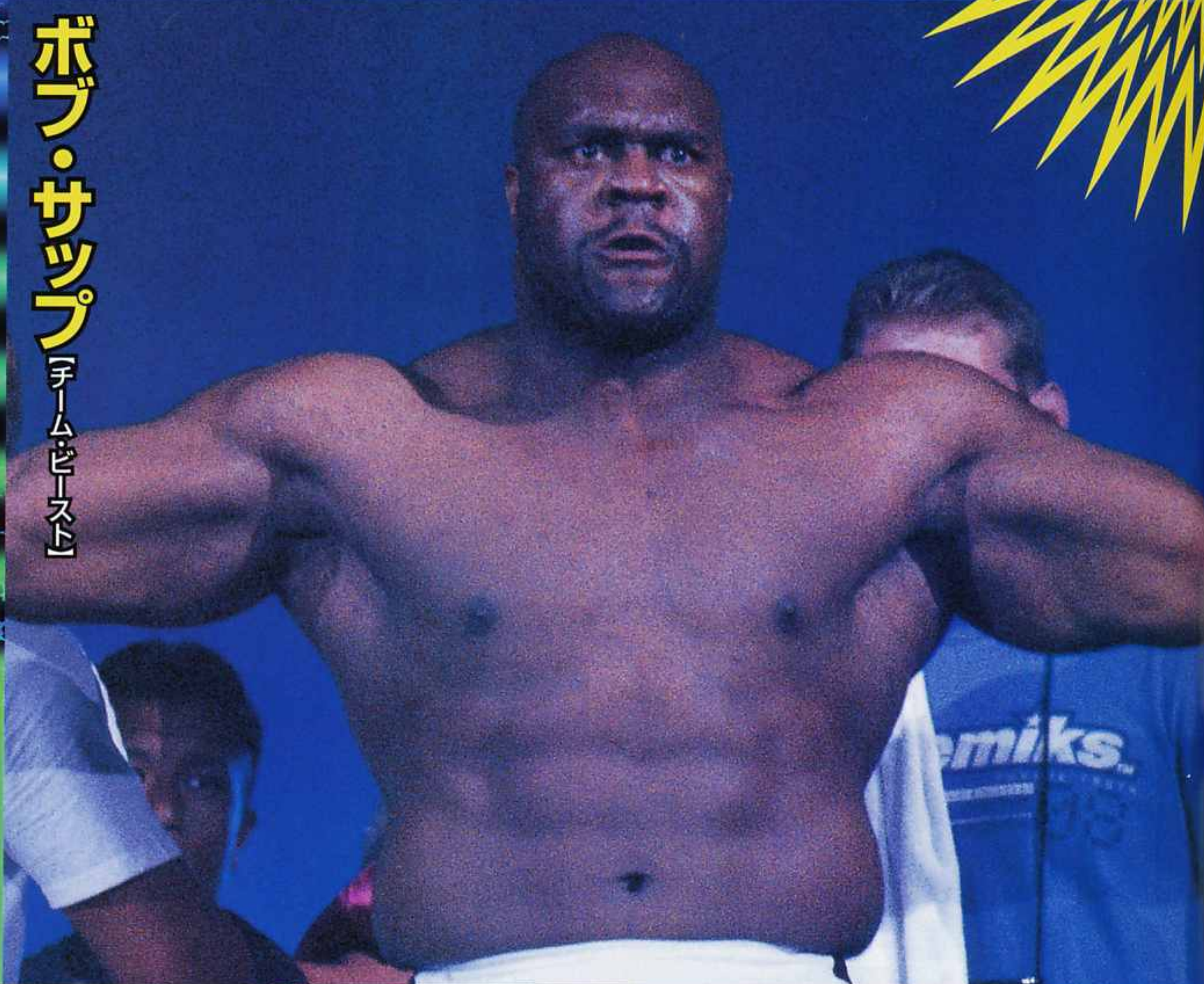
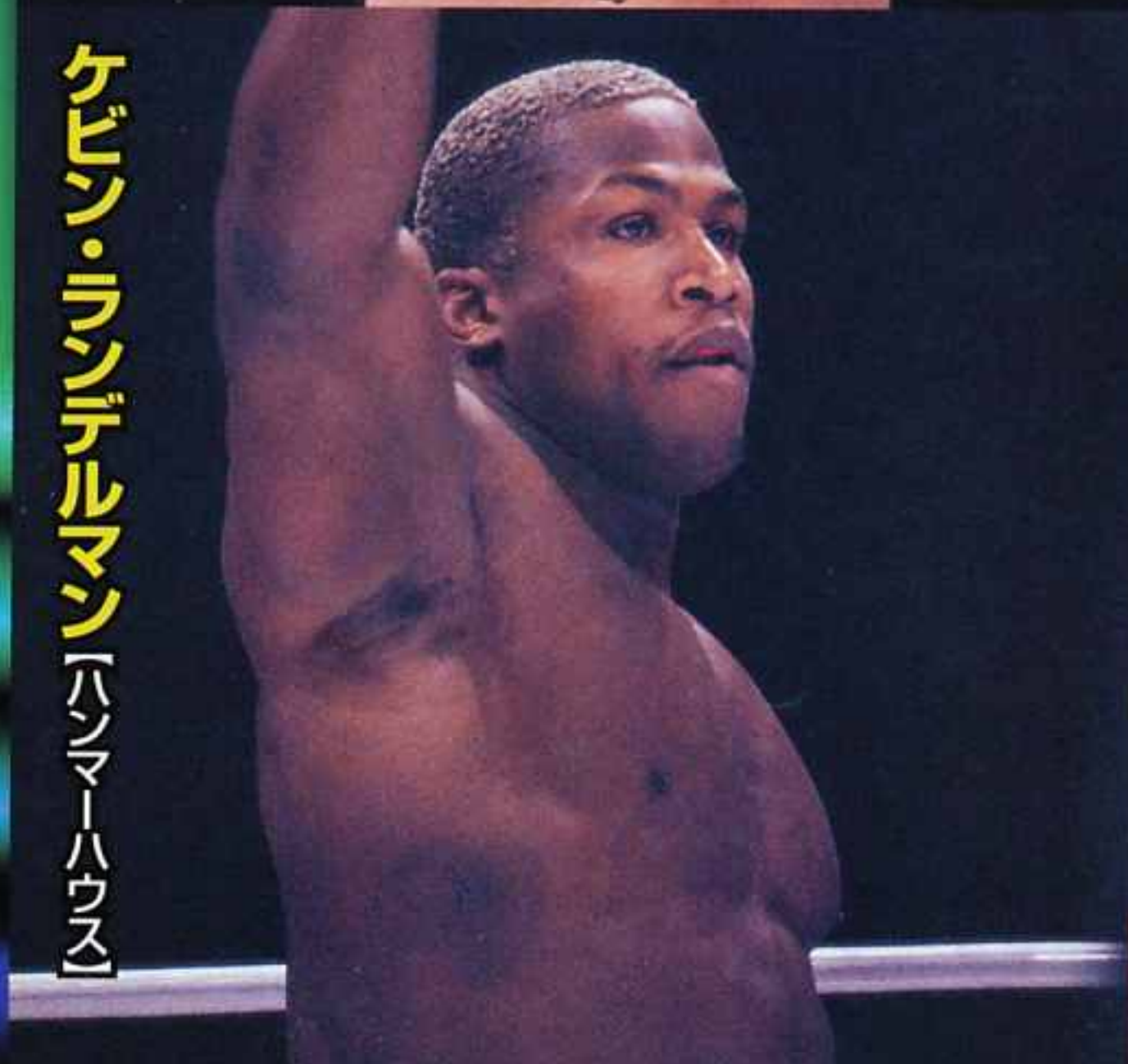
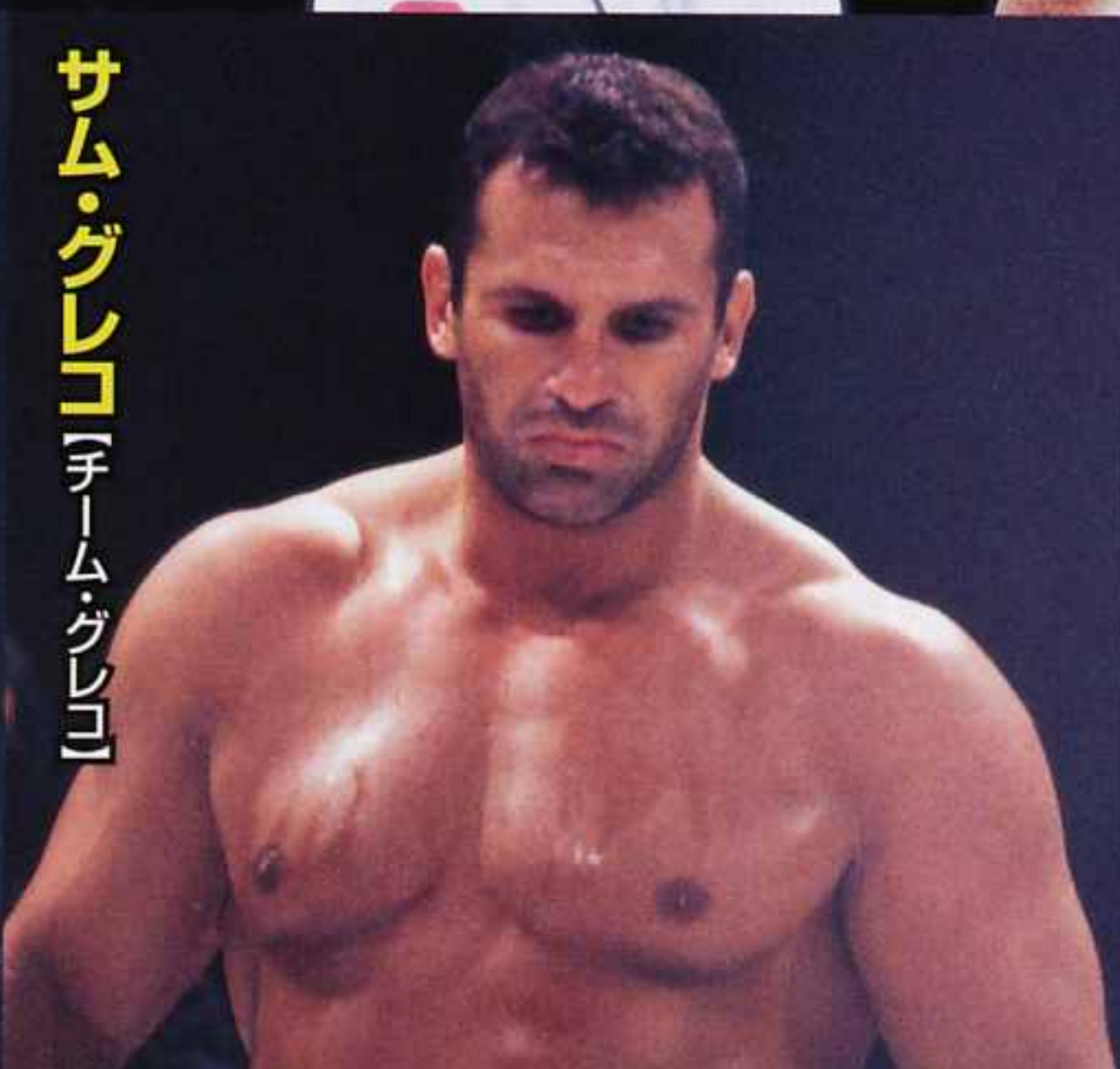
ヨシダが私を指名したなら、受けるしかない
神が私に「まだ引退するな」と言ってるんだ

VS グレート・ムタ

プロレス版『Dynamite!』は彼らが作る？ 11・17『WRESTLE-1』噂の出場〝予想〟メンバー！

グレート・ムタ【全日本プロレス】
©平工幸雄

小島聡【全日本プロレス】
©全日本プロレス

馳 浩【全日本プロレス】
©全日本プロレス

太陽ケア【全日本プロレス】
©全日本プロレス

ケンドー・カシン【全日本プロレス】

見よ、この人だかり……ボブ・サップ異常人気！

ボブ・サップサイン会inグレート・アントニーオ

▲自分のために集まってくれたファンの数の多さに、ご満悦の表情を浮かべるサップ

▲▶サイン会場のグレート・アントニオには300人以上のファンが集まり、ちょっとしたパニック状態になってしまった

神田の街が巨人軍優勝パレード以上のパニックに……

やっと謎掛けが解ける？
11・17『WRESTLE−1』横アリ大会
直前情報！

ボブ・サップに100の質問を聞きました！

Q.1　紅茶とコーヒーどっちが好き？
A　紅茶

Q.2　リンゴとバナナどっちが好き？
A　バナナ

Q.3　ご飯とパンどっちが好き？
A　ご飯

Q.4　肉と魚どっちが好き？
A　肉

Q.5　ステーキとハンバーガーどっちが好き？
A　ステーキ

Q.6　ワインとビールはどっちが好き？
A　飲まないのでどっちも嫌い

Q.7　たばこと葉巻どっちが好き？
A　どちらも吸わない

Q.8　お酒とお茶どっちが好き？
A　お茶

Q.9　うどんとそばどっちが好き？
A　うどん

Q.10　ラーメンとパスタどっちが好き？
A　ラーメン

Q.11　甘いものと辛いものどっちが好き？
A　甘いもの

Q.12　アメリカ料理と日本料理どっちが好き？
A　日本料理

Q.13　中華料理と日本料理どっちが好き？
A　日本料理

Q.14　中華料理とフランス料理どっちが好き？
A　中華料理

Q.15　日本料理とフランス料理どっちが好き？
A　日本料理

Q.16　寿司と刺身どっちが好き？
A　寿司

Q.17　味噌汁とスープどっちが好き？
A　味噌汁

Q.18　アメリカと日本どっちが好き？
A　日本

Q.19　東京とニューヨークどっちが好き？
A　東京

Q.20　ニューヨークとロスどっちが好き？
A　ロス

Q.21　ワールドシリーズでエンゼルスとジャイアンツどっちを応援していた？
A　ジャイアンツ

Q.22　野球とサッカーどっちが好き？
A　野球

Q.23　アメフトと野球どっちが好き？
A　アメフト

Q.24　アメリカの西海岸と東海岸どっちが好き？
A　西海岸

Q.25　ディズニーワールドとユニバーサルスタジオどっちが好き？
A　ユニバーサルスタジオ

Q.26　巨人と西武どっちが好き？
A　巨人

Q.27　クリントン前大統領とブッシュ大統領どっちが好き？
A　クリントン前大統領

Q.28　歴代の大統領で好きなのは？
A　クリントン

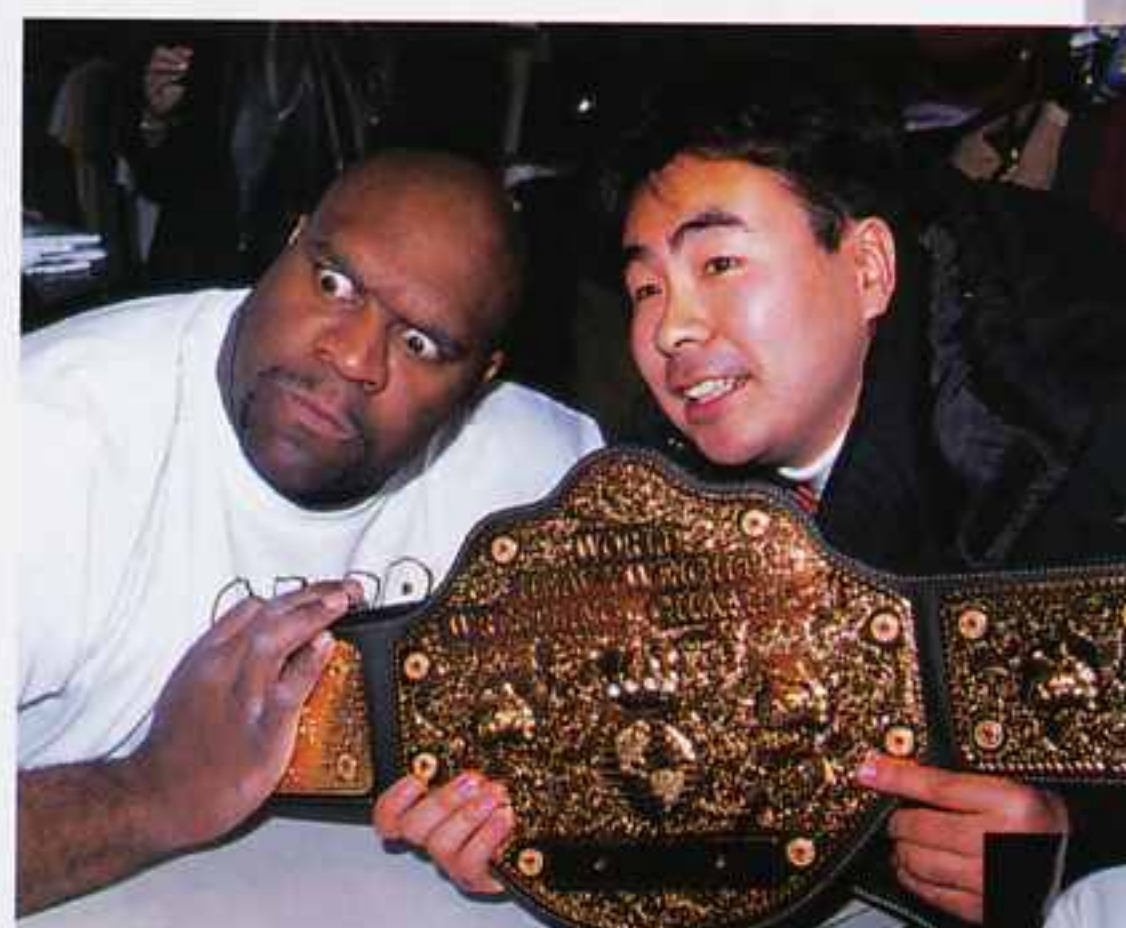
Q.29　サッカーのW杯と野球のワールドシリーズどっちが好き？
A　両方

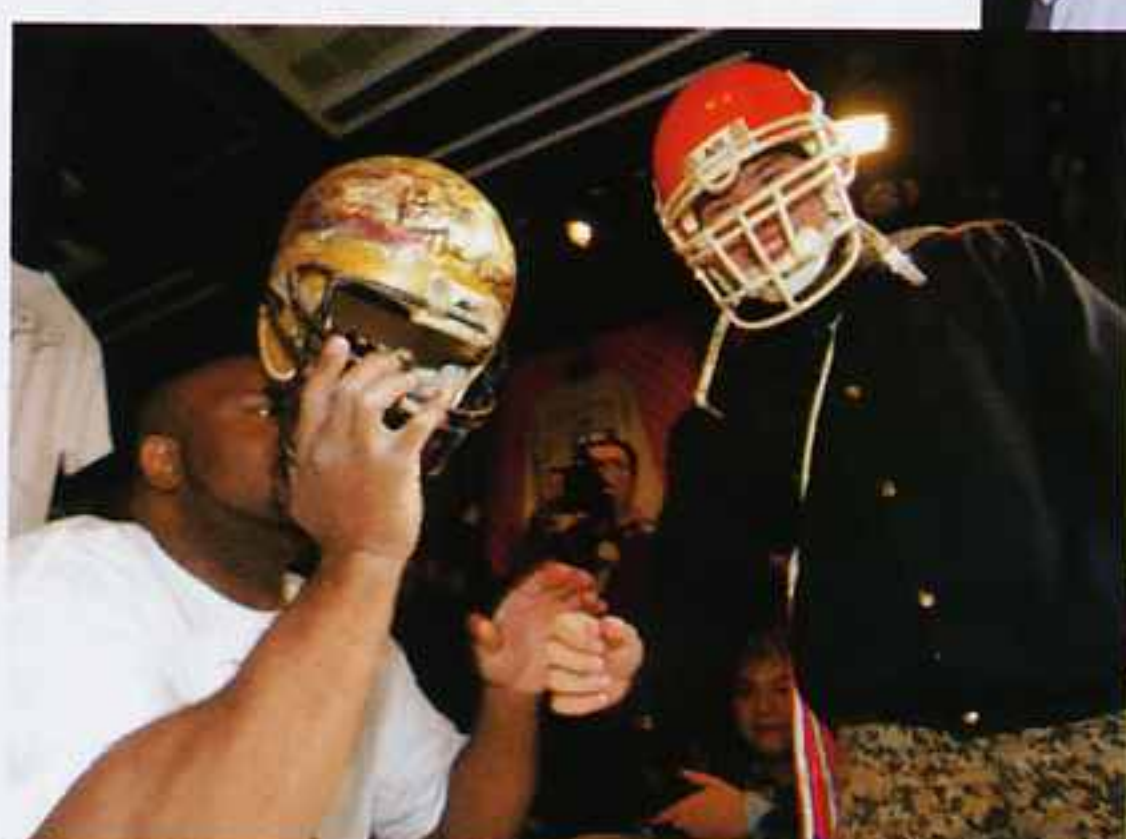
Q.30　ワールドシリーズとスーパーボウルどっちが好き？
A　スーパーボウル

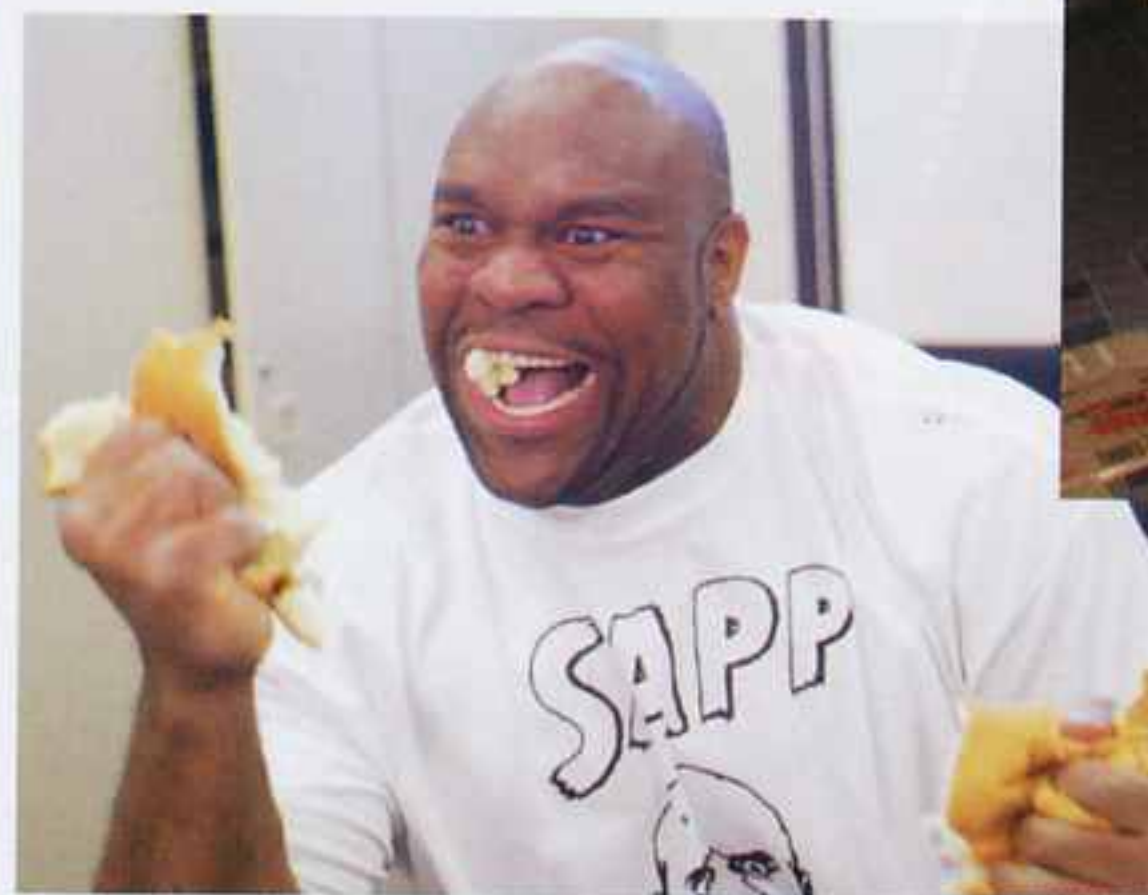
Q.31　長嶋茂雄と王貞治どっちが好き？
A　長嶋茂雄

Q.32　バリー・ボンズと松井秀喜

赤ちゃんから徹夜男まで……いろんなファンがサップの前に出現！

▶サップに抱かれてもスヤスヤと眠りっぱなしの赤ちゃん

▲サップはWCW出身。WCWのベルトを用意してきたファンもいた

▲サップにしがみつき、恍惚の表情を浮かべるおじさん。恐ろしい！

▲NFL出身のサップに、アメフトのヘルメットを装着し、ヘルメットにサインをねだるファン

▶一番乗りはこの人。前日の深夜から徹夜で並んでいた熱心なファンだ

◀グレート・アントニオの売れ筋商品・とうふパンに、ビーストモードでグレート・ムタに見立てて食いつくサップ。11月17日は、『WRESTLE-1』にムタVSサップを見に行こう！

グレート・アントニオにボブ・サップ来襲！　11月3日、グレート・アントニオで、ボブ・サップのサイン会が開催された。グレート・アントニオには、300人を超すファンが押し寄せ、お店の前の通りは完全にパニック状態。現在の、サップのブレイクぶりがよく分かる場面だ。自分を見に来たファンの多さに、サップ本人もよほど嬉しかったのか、お店に着くなり「フヒヒヒヒ」と嬌声を上げていたほど。ファンに対しても徹底したサービス精神で、サインや写真撮影に応じるサップ。このサービス精神こそが、サップ人気の秘密だろう。「これぞ、大盛況！」という大盛り上がりのサイン会だった。■

ボブ・サップに100の質問を聞きました!

どっちが好き？
A　松井秀喜

Q.33　ベーブ・ルースとバリー・ボンズどっちが好き？
A　バリー・ボンズ

Q.34　ベッカムとカーンどっちが好き？
A　知らない

Q.35　オリンピックとワールドカップどっちが好き？
A　オリンピック

Q.36　貴乃花と武蔵丸どっちが好き？
A　武蔵丸

Q.37　野球をするならピッチャーとバッターどっちが好き？
A　ピッチャー

Q.38　アメリカのホテルと日本のホテルどっちが好き？
A　日本のホテル

Q.39　アメリカのテレビ番組と日本のテレビ番組どっちが好き？
A　アメリカのテレビ番組

Q.40　ニュース番組とバラエティ番組どっちが好き？
A　ニュース番組

Q.41　ドキュメンタリー番組とドラマどっちが好き？
A　ドキュメンタリー番組

Q.42　アニメとドラマどっちが好き？
A　日本のアニメ

Q.43　スポーツ番組とバラエティ番組どっちが好き？
A　バラエティ番組

Q.44　テレビを見るのとテレビゲームをするのどっちが好き？
A　テレビゲーム

Q.45　テレビと映画どっちが好き？
A　映画

Q.46　ハリウッド映画と日本映画どっちが好き？
A　ハリウッド映画

Q.47　ハリウッド映画と香港映画どっちが好き？
A　ハリウッド映画

Q.48　ブルース・リーとジャッキー・チェンどっちが好き？
A　ブルース・リー

Q.49　ショー・コスギと千葉真一どっちが好き？
A　両方とも知らない

Q.50　日本の新聞とアメリカの新聞どっちが好き？
A　日本の新聞は読めないので比べられない

Q.51　雑誌と新聞どっちが好き？
A　雑誌

Q.52　東スポとニューヨークタイムズどっちが好き？
A　東スポ

Q.53　マンガと小説どっちが好き？
A　マンガ

Q.54　アメリカの雑誌と日本の雑誌どっちが好き？
A　アメリカの雑誌

Q.55　アメリカのプレイボーイ（雑誌）と日本のプレイボーイ（雑誌）どっちが好き？
A　日本のプレイボーイ（雑誌）

Q.56　飛行機と電車どっちが好き？
A　飛行機

Q.57　車と電車どっちが好き？
A　電車

Q.58　日本のタクシーとアメリカのタクシーどっちが好き？
A　日本のタクシー

Q.59　日本車とアメ車どっちが好き？
A　両方

Q.60　運転免許は持っていますか？
A　持っている

Q.61　自分で車を運転するのと人に運転してもらうのはどっちが好き？
A　人に運転してもらう

Q.62　バスとタクシーはどっちが好き？
A　タクシー

Q.63　普通の電話と携帯電話どっちが好き？
A　携帯電話

Q.64　夏と冬どっちが好き？
A　夏

Q.65　春と秋どっちが好き？
A　春

Q.66　晴れの日と雨の日どっちが好き？
A　雨の日

Q.67　山と海どっちが好き？
A　山

Q.68　ロッキー山脈と富士山どっちが好き？
A　ロッキー山脈

Q.69　自由の女神と東京タワーどっちが好き？
A　どっちも見たことがない

Q.70　キングコングとゴジラどっちが好き？
A　キングコング

Q.71　一軒家とアパートどっちが好き？
A　一軒家

Q.72　犬と猫どっちが好き？
A　両方

Q.73　キツネとタヌキどっちが好き？
A　キツネ

Q.74　宇宙人と遠野の河童どっちに会いたい？
A　遠野の河童

Q.75　吸血鬼と河童どっちが怖い？
A　吸血鬼

Q.76　六本木と歌舞伎町どっちが好き？
A　六本木

Q.77　銀座と六本木どっちが好き？
A　六本木

Q.78　中国エステとトップレスバーどっちが好き？
A　中国エステ

Q.79　アメリカの女性と日本人女性どっちが好き？
A　両方。女性は全部好き

Q.80　胸の大きい女性と小さい女性どっちが好き？
A　両方

Q.81　大柄な女性と小柄な女性どっちが好き？
A　両方

Q.82　本を読むのとスポーツをするのどっちが好き？
A　スポーツ

Q.83　テレビを見るのと出演するのはどっちが好き？
A　出演すること

Q.84　サウナと水風呂どっちが好き？
A　水風呂

Q.85　トランクスとブリーフどっちが好き？
A　ブリーフ

Q.86　裸足でいるのと靴を履いているのはどっちが好き？
A　靴

Q.87　天ぷらととんかつどっちが好き？
A　天ぷら

Q.88　ステーキと焼き肉どっちが好き？
A　焼き肉

Q.89　豚肉と牛肉どっちが好き？
A　牛肉

Q.90　とり肉と牛肉どっちが好き？
A　牛肉

Q.91　アメリカ米と日本米どっちが好き？
A　日本米

Q.92　ファッションモデルと映画俳優どっちになりたい？
A　映画俳優

Q.93　空中ダイブとスキューバダイブどっちをやりたい？
A　どちらもやりたくない

Q.94　太平洋を泳いで横断するのとライオンと闘うのはどっちをやってみたい？
A　ライオンと闘うの

Q.95　ビデオとDVDどっちが好き？
A　ＤＶＤ

Q.96　ｅメールと電話どっちが好き？
A　ｅメール

Q.97　永久電気の発電装置と遠野の河童（賞金１０００万円）手に入れたいのはどっち？
A　分からない

Q.98　北極と南極行ってみたいのはどっち？
A　北極

Q.99　ヨーロッパと日本、移住するならどっち？
A　日本

Q.100　政治家と大富豪、どっちになりたい？
A　大富豪

やっと謎掛けが解ける？
11・17『WRESTLE－1』横アリ大会
直前情報！

さすがは天才・武藤敬司！

『ボブ・サップって意外と簡単でしょ（笑）』

11月17日、W－1でボブ・サップ戦が決定した武藤敬司（というか、ムタ）だが、2メートル170キロのサップを相手にどんな試合を展開していくのだろうか。また、W－1はどんな大会になるのだろうか？　天才・武藤の飄々とした語り口の中から、その答えを探ってみた。

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎乾晋也

サップってフレッシュじゃん！それに中西でも沸いたでしょ（笑）

武藤　どうも、お待たせしました（笑）。

——いえ、こちらのほうこそ、お忙しい中すいません。

武藤　大して忙しくないよ（笑）。

（ここで小島選手がドアを開けて）

小島　これから仕事行ってきます。

武藤　オッ！　忙しそうだねぇ（笑）。どこ行くの？

小島　サムライTVです。

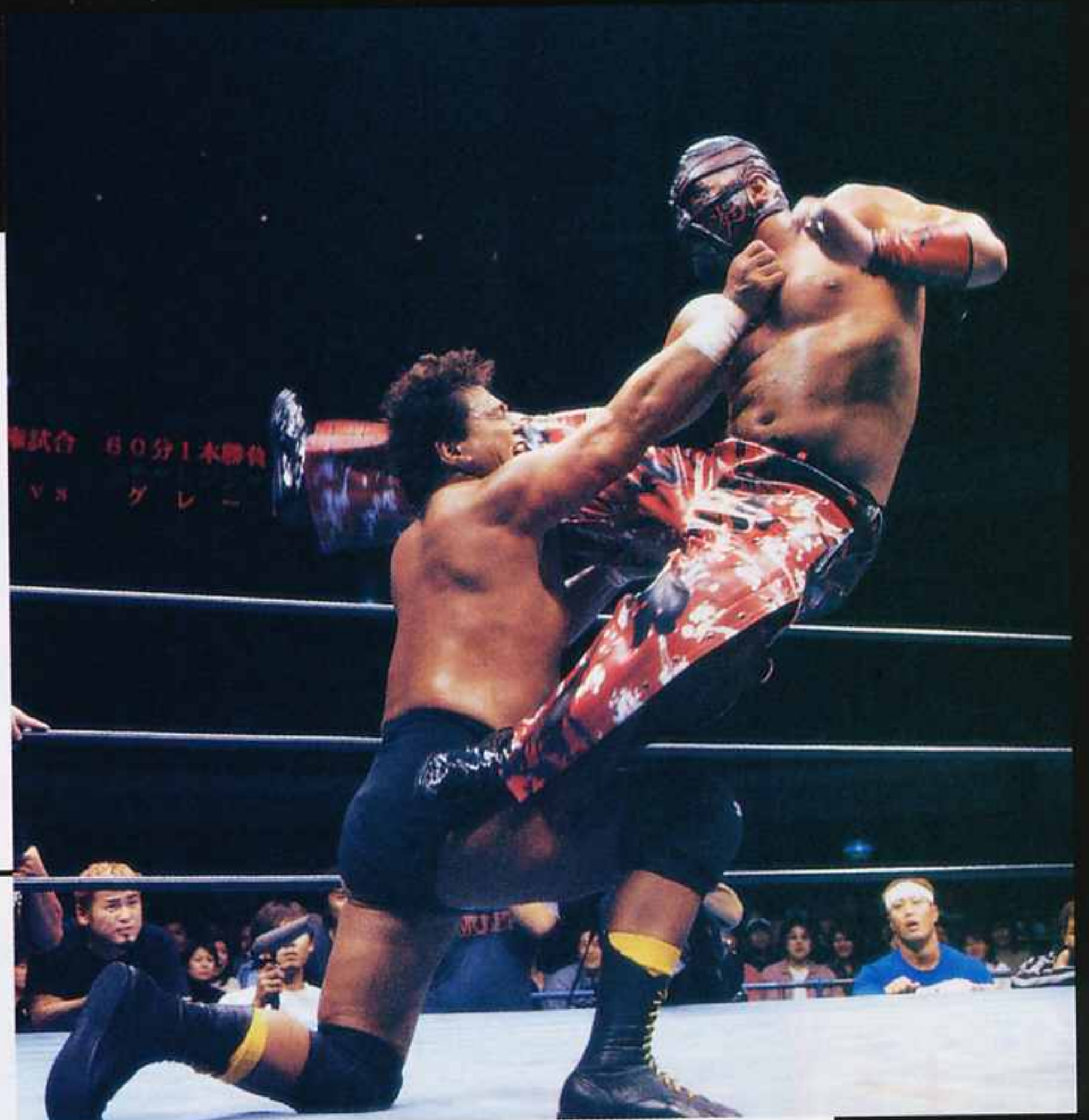
武藤　スッゴイね（笑）。オレのことよろしく言っといて。

小島　は？　誰にですか？

武藤　違う、違う。武藤をよろしくって宣伝してきてよ（笑）。

小島　あ！　分かりました。

——やっぱり武藤さんも小島さんも面白いですね（笑）。

武藤　そう？

——はい。なんか（笑）。ということで、W―1が間近に迫ってきましたね！

武藤　うん。まだ何も決まってない（笑）。

——ワハハハ！　やっぱり（笑）。

武藤　とりあえず、ムタとボブ・サップとだけ決まってるけど。っていうか、マッチメイクとか関わってないからね、オレ。一タレントとしてしか関わってないから。

——できてきたもので勝負すると。

武藤　っていうか、オレがあんまり出しゃばると、変な話、蝶野とか橋本とか引いてくると思うんだよね。それはライバルであり、商売敵でもあるから。

——今回、橋本さんは出ないのかなって流れになってますよね。

武藤　いや、分かんないよ。それもアンダーで、きっと何かやってるでしょ。

——きっと（笑）。じゃあもう完全に一タレントとして、ボブ・サップ戦に集中してるって感じですか。

武藤　うん。ただ、意外とボブ・サップ戦って簡単そうだから。

——え！　そうなんですか！

武藤　簡単でしょ。だって、フレッシュじゃん、アイツ自体が。アイツが何やっても沸いてくれるしさ。

——あのぉ、それはボブ・サップ任せってことですか？

武藤　っていうか、先月、オレ、天龍源一郎とやったけど今年でもう4、5回目だよ。そうなったら、しんどいものありますよ。それに、ボブ・サップ戦って中西でも沸いたんでしょ（笑）。

——もの凄く沸きました（笑）。

武藤　だったら何となくある程度ね（笑）。分かるだろと（笑）。中西VSサップ戦はご覧になりました？

武藤　いや、見なきゃいけねぇかなとは思ったんだけど、ビデオ撮ってないし。凄かったらしいね。見てみようかなぁ。

——試合前に情報とか入れないほうがやりやすいんですか？

武藤　いや、見といたほうがいいでしょ。

——それならもう見ましょうよ、試合まで2週間切ってますよ（笑）。

武藤　っていうかさ、差し当たって、まだビデオも手に入ってないから。

——だって、ムタVSボブ・サップ戦は正式決定こそ最近ですけど、当初から言われてたじゃないですか。

武藤　だ〜けど、さっき忙しそうだって言ったじゃない（笑）。

——ワハハ！　はい、言いました（笑）。全日の社長業もあるし、ヒザの爆弾も抱えてるしとか、いろいろありますからね。ヒザの調子はどうですか？

武藤　調子いいっすね、悪いけど。っていうか、もともと、この前痛めたものに対しては調子いいけど、もともとの悪いものに対しては治るとかって問題じゃないから。

——最初の手術の時、親指のツメくらいの骨が20個くらいポロポロ出てきたって聞きましたね。

武藤　ああ、軟骨ですよ、軟骨。みんな壊れてくるとそうなるんですよ。なんていうの、古い土壁の表面が風が吹いてザっと剥がれちゃうような感じですよ。

——壮絶ですね。で、今回、そこをさらに痛めちゃったと。

武藤　っていうか、治療方法がないですもんね。要はね、オレのヒザって変形しちゃってまっすぐ伸びなくなってるんですよ。

——なってます、なってます。ウワァ！

武藤　だから、この角度がもっとひどくなると足として機能しないって言われましたね。その角度が何度か忘れちゃったけど。

——忘れちゃったって（笑）。

武藤　で、この進行具合が最近どんどん進んでるって。ウチのトレーナーも日に日に悪くなってるって実感してたって言ってたもんな。

——そんな中で、体重170キロのサップとやるのは厳しいですね。

武藤　だ〜から、ボブ・サップ戦は簡単だって言ったじゃん。相手がジャピングしたただけで沸いてくれるんだから（笑）。

——かっこいいですね、武藤さん、ホントに（笑）。もうある程度試合のイメージはできてるんですね。

武藤　いや、プロレスっていうのは何があるか分かんないし、その時のTPOやお客の雰囲気もあるだろうし、全部がマ

オレ、意外とプロレスのポリシーあるよ。昔から変わってないよ

ッチしないと面白くないわけ。だから、現場でお客が何を求めてきてるのかってことを察知しなきゃいけないだろうし。お客は何を期待してんのかなぁ？

――カードにしてもイベントにしても初モノっていうところで、まずは期待してるんでしょうけど。

武藤 いや、初モノっていうか、なんで、今回グレート・ムタで出たかったかっていうと、プロレスってモノを伝えたいから。要は、K―1の選手とかプライドの選手にグレート・ムタみたいのっていねえじゃん。だからあえてムタみたいなものでやりたかったんだよ。だから、初モノっていうより、原点でしょ。プロレスの原点だよね。

――その原点っていうのは猪木さんの言ってる"闘いである"っていうのとはまたちょっと別のものになるんですかね。

武藤 所詮闘いは闘いだからね。その部分で言えば、相手もいるし、お客との闘いにもレスラーは凄く慎重になるからね。ただ、今回ばっかりはスタッフの人たちも闘いでしょ。お客が何を求めにくるかって言ったら、日常と離れた異空間を求めにくるんだから演出も力入れるらしいですけどね。

――"入れるらしい"ですね。他人事みたいですが（笑）。

武藤 ん？ うん（笑）。

――なんか象が出てくるって話もあるらしいですね。

武藤 マジで!? 象なんて言ったっけ？

――前回のW―1のテレビ放送で演出スタッフの方がそんなこと言ってましたね。

武藤 言ってた？ ただ、あんまり期待されると、コケることが多いからさ（笑）。

――今、異常に高まってますよ（笑）。

武藤 ほどほどにしてもらわないと（笑）。

――でも、どんどんよくなってくるのは間違いないと思うんですよ。

武藤 でも、2回目があるとは限らねえじゃん。1回目が成功しないと、2回目はないからね、完璧に。

――じゃ、やっぱり期待以上のものを出さないといけないですね。

武藤 ただこればっかりは、正直な話、レスラーの器量って凄い重要になってくるんですよね。

――例えば、小島選手は多分出ますよね。

武蔵 ケアと多分タッグになると思うけど。あとはハルク・ホーガンかな。

――誰と当たるのか気になりますね。

武藤 ホーガンはいかにもプロレス代表って感じの人だからね、やっぱり、格闘技系の人とやってほしいよね。それも日本人がいいよね。これはフタを開けてからのお楽しみでしょ。

――気になるなぁ。

武藤 これまでのプロレスを超える何かはありますよ。でも、あんまり期待しちゃダメだって（笑）。それに、差し当たってチケットがそこそこ伸びてるからね（笑）。

――売りぬけようとか思ってます？（笑）。

武藤 払い戻しなんてね（笑）。

――ヒドイこと言いますね（笑）。まあ、W―1が凄い大会だっていう、いいモノサシとして猪木さんがかなりジェラシーを燃やしてるっていうのはありますね。

武藤 ジェラシーっていうか、W―1のテレビ放送の最後に出てきたんですね。

――出ましたね。なんか「ニヤけてるから失敗すんだろう、ダメだろう」って（笑）。

武藤 でもね、最近コメント違ってきてるじゃないですか。蝶野にW―1に出て来いって言ってるらしいっすよ。

――その辺の縛りは別にしないみたいな。

武藤 ね、言ったよね、言ったよね。ただ、テレビでは怖い顔してたねぇ（笑）。

――現時点で猪木さんに対してはどんな思いがありますか？

武藤 う～ん、今まではオレみたいなのは、あんまり眼中になかったんじゃねえかなって思ってたんですけど、全日本にきてからは眼中に入ってきたんじゃねえかなって気はしますね。いちいちコメントしてくるもんね、オレのすることに。オレからは何も発信したことないもん。いつも猪木さんのほうからコメント発信してくれるから逆に助かる部分はありますよね。それが親心か何なのかは分からないですけどね。

――微妙に違いそうですけどね。

武藤 まあ多分ね（笑）。でも、変な話、猪木さんがイヤで、新日本がイヤで出たわけじゃないから。多少はイヤなとこはあったけど、だけど、それがイヤで出てきたわけじゃなかったからね、オレ。プロレスがやりたかったし、自分の生きてく道も作りたかったし、野心もあったし。そういう部分も大きくて出てきたわけだから。

――武藤さんって昔からプロレスに対するポリシーは変わってないですよね。

武藤 意外とね（笑）。

――昔、新日にUWFの前田日明さんとかが戻ってきた時も「そんなのプロレスじゃない」って言って、前田さんを殴って（笑）。

W—1に期待しすぎちゃダメ！ 見てからのお楽しみだよ（笑）

武藤　いや、殴ってないよ。前田さんが怒りだして一方的に殴ってきたんだよ。で、その時、髙田（延彦）さんが前田さんを羽交い絞めにして「武藤殴れ」って言ったから、今度はオレが殴り返したんだもん。

——殴ってるじゃないですか（笑）。

武藤　だって、一方的に殴られたんだもん。だから、髙田さんはオレの応援してくれたんだよ（笑）。だけど、あの頃からプロレスに対するポリシーは変わってないよ。だからこそ前田さんのUWFは「あれは違うだろう」って否定したんでしょ。だから殴られたんでしょ。だって、UWFってロープに飛ばない、リングでも地味なプロレスして。その頃、オレ一人でヘルメットかぶって、コーナーでとんぼ返りしてたからな。オレだけ違う次元にいたからね。

——でも、もともと武藤さんは柔道がベースですよね。

武藤　そうですよ。国体の強化選手にも選ばれたからね。

——全日本新人体重別大会では3位にもなってるでしょ。で、その時の2位が須貝（等）さんって人ですよね。

武藤　ああ、知ってるよ！　須貝って、東海大学の。

——その須貝さんて、後に世界選手権2連覇した人なんですよね。

武藤　ああ、そうそうそう。松島ってのもいるんだよ。

——その人も全日本クラスでかなり活躍したんですよね。だから、あのまんまもし、柔道のほうに行ってたら世界を狙えた実力はあったと思うんですよね。

武藤　いや、それはないね（あっさり）。

——でも、ウチの編集部に柔道雑誌の編集長をしていた人間がいるんですけど、話を聞いたら、「結構強くて、期待されていたんですよ」って力説してましたよ。

武藤　そんなことない。っていうか、オレ、ちゃんとしたとこで指導受けてないよ。

——余計凄いじゃないですか（笑）。

武藤　まず、オレの行った高校っていうのが新設高校で、指導者がいないから自分達で勝手に柔道やってるって感じだったんだよ。強いわけないじゃん（笑）。

——でも、その頃、拓大の木村政彦さんにも指導を受けてるんですよね。

武藤　でも、ちょっとだよ。

——ただ、そんなこと言いながら、新日本に入って1年くらいの時に、「おれ、今だったら坂口さんに柔道で勝てると思う」って直接言ったらしいじゃないですか（笑）。

武藤　ワハハハ！　大げさに言ってるだけだって橋本とかその辺が（笑）。

——武藤さんなら絶対言ってると思いましたけどね。新弟子が荒鷲に向かって凄いなって思いました（笑）。

武藤　ウソ、ウソ（笑）。でもね、格闘技はシンドイと思うよ。オレがもし続けてても柔道って決められた部分の中では天下取れなかったよ。

——でも、芯の強さは感じますよ。

武藤　ポリシーあるからね（笑）。

——では、それをW—1でも思いっきり爆発させることになるんですね。それがファンタジーファイトだと。

武藤　っていうか、その言葉は逃げの言葉で言ってるだけで、ファンタジーがなんなのかって分からないですよ。それを探す旅がプロレスじゃないの？　逆に言うと。

——では、単純に武藤さんが考える楽しいことって何ですか。

武藤　麻雀かなぁ。でも、だんだん大人になってくるとなくなってくるんだよね。予想できちゃうんだよな。

——じゃあW—1なんか楽しみですね。予想ができないから。

武藤　あ！　そうだよねぇ。いいこと言うねぇ、そうですよね（笑）。

——楽しいって中に緊張感とか怖さとか。

武藤　全部あるでしょうね。だけど、レスラーっていうのは、格闘家と違って職人じゃないですか、どちらかと言ったら。だからこそ、老獪なレスラー、いくらグリーンボーイでも、優秀でも老獪なレスラーにはかなわないじゃないですか。惹き付けるものを絶対持ってるもんね、長年築き上げた。要は何が楽しいかって言ったら、客を手のひらに乗せられるかどうかだよね。

——やっぱそこにつきますか。

武藤　そこだよね。だから、W—1は視覚から入ってくれればいいかなって。

——ターザン山本さんは「0・1秒で分かるものじゃないとダメだ」って言ってましたね。

武藤　ホントそうだよ。いいこと言うね。

——ところで、最後の質問なんですが、前回のW—1のテレビ番組に昔のムタが出てきましたけど、もしかして、当日は……。

武藤　ん？　そんなの今教える必要ないじゃないですか（笑）。でも、昔のムタがよかったって人が多いんですよ。あのクモムタみんな嫌いみたい。

——なんでクモムタにしたんですか？

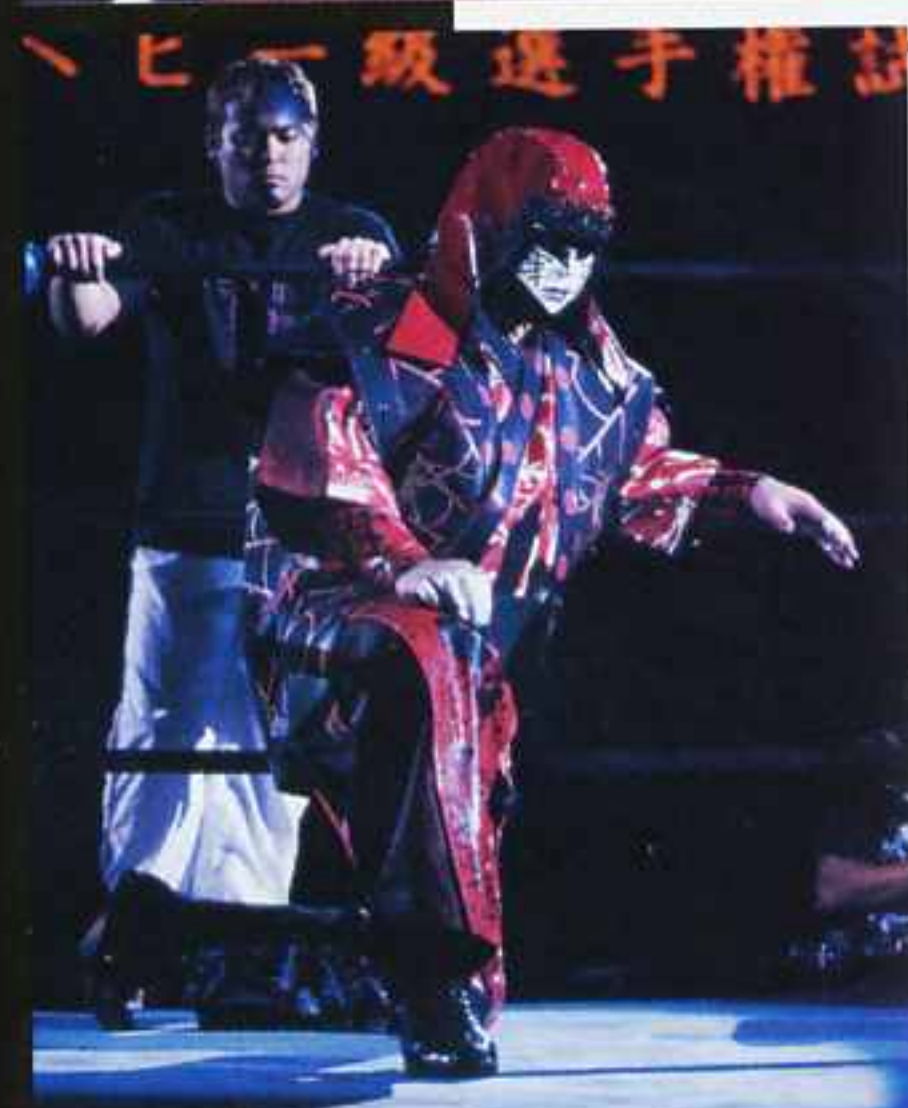
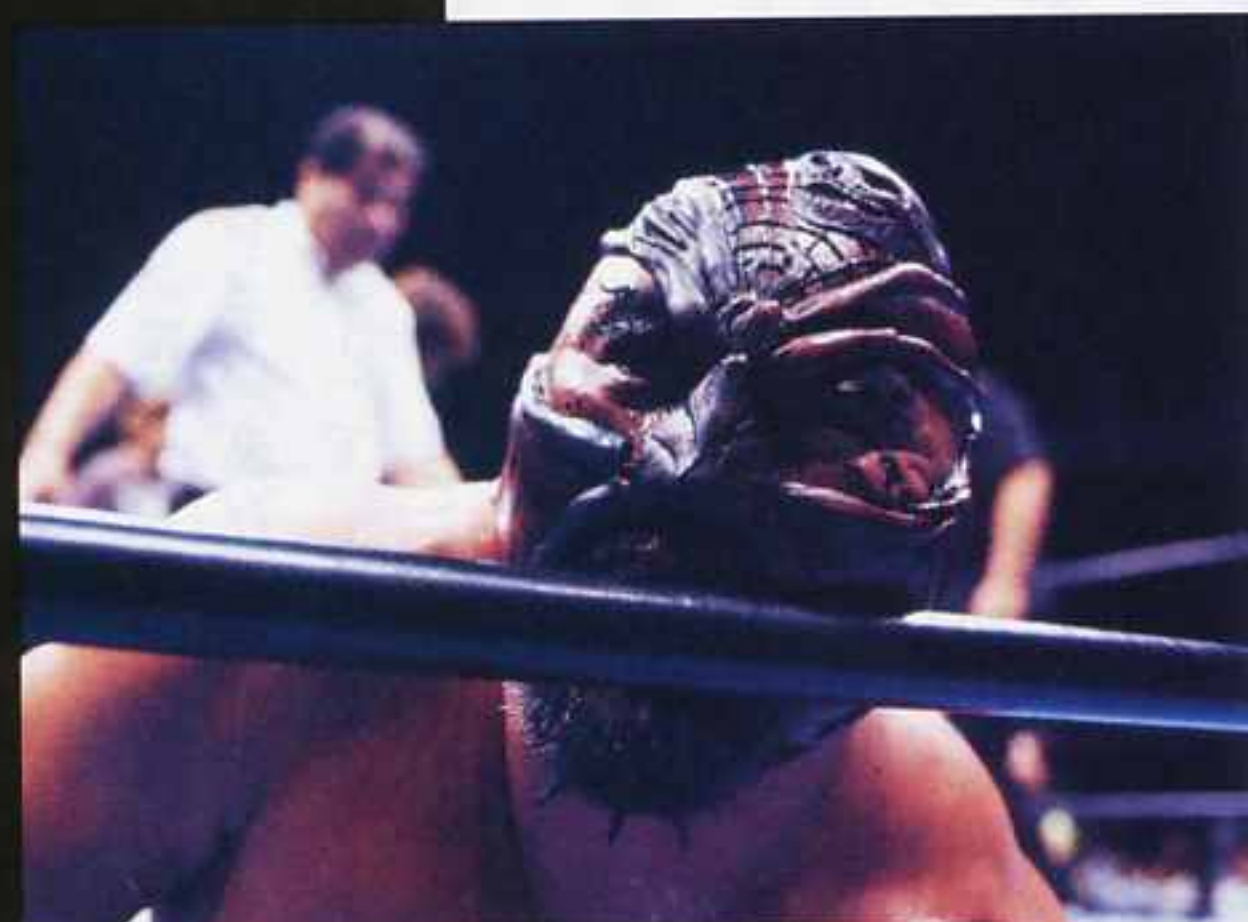
武藤　ん？　頭の毛がないから。

——そうッスねぇ（笑）。

武藤　ともかく割とシンプル。あんまり期待されるとダ～メなんだって（笑）。女のコだってね、付き合う時に100%から入ったヤツは減点しかないでしょ。W—1だって最初は3割くらいの期待でいいよ。■

▲◀W—1では毒グモ・ムタか、人気のある旧バージョンのムタになるのか？　それは当日のお楽しみのようだ

©平工幸雄

やっと謎掛けが解ける？
11・17『WRESTLE－1』横アリ大会
直前情報！

"いっちゃうぞ、バカヤロー!!"の小島聡 本誌初登場！

「正式に出場も決まっていないんですけども（笑）。それもワクワクする部分かなと」

今年、武藤やカシンと共に、新日本プロレスから全日本プロレスに移籍した小島聡。移籍してからの小島は、新日本時代とはうって変わって、足枷が外れたようにノビノビとプロレスをしている。当然、『WRESTLE－1』にも出場が予想されるが、当の小島は『WRESTLE－1』をどう思っているのか？　出場未定段階の小島聡に話を聞いてみた。

撮影◎乾晋也
聞き手◎小松魔裟夫

リング上と違って、普段は実に礼儀正しかった小島

石井館長って、プロレスがお好きな方だなっていう印象が凄い強かったですね

——そういえば、小島さんはファスティングをされていたんですよね。どうですか、体調は。

小島　今のところは（笑）。目的は体調改善だったり胃と腸をキレイにしたりとか、そっちのほうがメインだったんで、いい感じになっていますね。

——そうですか。それは良かった（笑）。で、プロレスファンが一番注目していると思われる『WRESTLE—1』なんですけども、日にちが迫ってきているわけなんですが、出場予想メンバーにも入っていて、絶対に出るだろうと思われる小島選手に今日はお話を聞こうと思って来たわけなんですよ。

小島　なるほど（笑）。

——まず、率直に『WRESTLE—1』という舞台に関してはどう思われていますか？

小島　やっぱり、大きな舞台というのもあるし、プロレスラーとして大きな大会に出られるというのは、非常に興味がありますね。

——『WRESTLE—1』って、やっぱり全日本プロレスが中心になっていると思うんですけども、通常の全日本と『WRESTLE—1』の違いっていうのはなんだと思いますか？

小島　違いっていうのは、実際にやってみていないので、分からないんですよ。でも、その分からない部分が、逆にお客さんも期待感があったり、また自分たちにも不安はあるんですけども、期待感も凄い強いんですよ。まあ、正式に出場も決まっていないんですけども（笑）。それもワクワクする部分かなと。

——はじめ、『WRESTLE—1』をやると聞いた時、これは自分にとってもチャンスになる舞台だと思いました？

小島　そうですね。一番最初の認識だと、全日本プロレスの興行だと思っていたんですよ。でも、聞いていったりすると、随分違う感じっていうか、全日本というより、武藤さんと館長の最初の話し合いから始まったっていうのが、だんだん分かってきたんで。でも、武藤さんと一緒の会社にいる以上、やっぱり出られる機会があるとすれば、出たいなと強く感じるようになりましたね。

——武藤さんと石井館長の合体に関しては、最初どう思われたんですか？

小島　どうっていうかですね……。

——もの凄い意外な組み合わせだと思ったんですけど。

小島　ゴールドバーグが来た時に石井館長のルートで武藤さんと石井館長が話し合って決めたって聞いたんですよ。まあ、プロレス界の新しい未来だったりとか、いい方向に作用していくんであれば、やっぱりいいことなんじゃないかなっていうふうに思ってましたね。

——でも、石井館長みたいなプロレス界の外側にいる人が、プロレスに関わってくることに対して、抵抗感みたいなものってありませんか？

小島　自分はまったくなかったですね。やっぱりプロレスっていうのを大きく宣伝してもらえたりすればいいんじゃないかなって思うんですよね。石井館長という名前って、格闘技界で凄く大きな名前じゃないですか。でも、武藤さんと組んだっていうのも意味があると思うんですよ。武藤さんっていうのは、プロレス界を代表するぐらいのスーパースターだと思っているから。だから、新しい未来のプロレスに自分も乗っかっていければなぁと普通に思いましたけどね。

——石井館長に会われた時は、どんな印象を受けましたか？

小島　石井館長って、やっぱりプロレスがお好きな方だなっていう印象が強かったですね。ご挨拶した時も、自分のことを凄い激励していただいたりとかっていうのがあったんで、これからもそういう感じでうまくいけばいいなぁと思っていますけど。でも、結論から言うと、プロレスを好きな人が、プロレスのことを一生懸命考えてくれているというふうになればいいんじゃないかなと。

——でも、小島さんが新日本を離れてから1年経ってないですけど、展開が凄い急だなっていう感じはしますよね。

小島　そうっすね（笑）。でも、自分はいろ〜んなことを経験したい、このプロレス界で。いろんな対戦相手とも巡り会いたいし、いろんな試合をしたいし、プロレスをやる時間って限られているじゃないですか。

——やっぱり、新日本を出る時に、全日本でこういうプロレスをやりたいっていう理想があったと思うんですよ。

小島　はい。

——『WRESTLE—1』っていうのは、そこに結び付いていくようなものなんですかね。

小島　う〜ん、正直まだそこは分からないっていうか。もしかしたら、自分が思い描いていたプロレスが『WRESTLE—1』ではできないかもしれないですよね。

——エッ？　と言うと？

小島　つまり、よく言われている対戦相手の人が、格闘技系の人であったりすれば。自分が思い描いていたプロレス、自分がやりたいプロレスっていうのを、自分が貫き通せないかもしれないという不安もあるんですよね、正直言うと。

——なるほど。

小島　もしかしたら、自分が今までやってきたプロレスとまったく違うものになってしまって、お客さんを失望させてしまったりとか、もしかしたら自分自身が

ボブ・サップは自分が憧れている プロレスラーの理想像なんです

失望したりとかっていう部分での不安は正直ありますよ。でも、それと同時に今までと違ったプロレスの世界っていうものに対しての期待感っていうのもあるんですよ。

――小島さんなら、そういう格闘家の人たちでも、プロレスに引き込めるような気もするんですけどね。

小島 う〜ん、でも難しいですね。あとやっぱり、『WRESTLE―1』っていう部分での力を借りたい。演出面であるとか、試合以外の周りの部分をうまくデコレーションしてもらって、非日常みたいな感覚の中で試合をしたいな。それが、今までのプロレスになかった部分っていうような気がするんですよね。ちょっとお金は掛かるかもしれないですけど、そういう部分をやってもらうと選手としては凄く嬉しいですね。

――この前の『WRESTLE―1』の第2回の放送では、武藤さんはファンと一体感のあるイベントというようなことを言っていたんですよ。

小島 でも、それが本当にはまるかどうかはやってみないと分からないっていう部分はまだあるんですよね。そういう演出が、従来のプロレスが好きな人には違う物に映ってしまうかもしれないし。

――特に、全日本のファンの人たちにはそういう部分があるかもしれないですね。

小島 今までの全日本を守りたいっていう人たちって、凄い多いと思うんですよ。それは自分的には凄い大事なことだと思うんですけども、そっから新しいことを何かできるような全日本プロレスでありたいなと。昔のいい部分も排除することなく、もう一つの新しい何かをできるようになれば。そのヒントが『WRESTLE―1』に隠れているような気がするんですよね。

――ヒントですか。ところで、今度ムタと対戦するボブ・サップが非常に大ブレイクしているんですけど、これはどう思われます？

小島 僕、凄いと思いますね。自分が憧れているプロレスラーの理想像というか、リング上ではもの凄い強くて、リングを降りたらもの凄い優しくて、紳士だし、素敵だし、かといって自分のキャラクターは、この前も『ワールドプロレスリング』を見ていたんですけど、中西君のポスターを、食っちゃったりとかね（笑）。全てに説得力があるじゃないですか。

――この前の中西戦は見られました？

小島 はい。凄い。

――凄いの一言ですか（笑）。

小島 もう、格好いいですよね。

――小島さんはゴールドバーグと最初にやったじゃないですか。やっぱり、サップも自分が一番最初にっていうのはありましたか？

小島 ハハハハハ。そういう欲もありましたね（笑）。ぶっちゃけて言えば、ゴールドバーグの時も、正直言ったらやる前は怖かったしね、でもやっぱりやって良かったっていうのもあったので、できればサップともやらせてもらいたかったっていうのもありましたよね。

――選手間では、『WRESTLE―1』の評判というのはどうなんですか？ この前のテレビ放送でも武藤さんが言っていたんですけど、社内でも反対派がいるというような話も聞くんですけど。天龍さんなんかはもろに反対派って感じですよね。

小島 ああ、なるほどね。それは選手にも価値観はあるから、『WRESTLE―1』に価値観を感じない人もいると。反対している人たちっていうのは、今までの全日本プロレスを愛していた人たちだと思うんですよ。そういう意見も悪い意見だとは思わないんですよね、正直に言ったことだから。でも、変えていく姿勢というのは、絶対大事になると思うんで、プロレスっていうものを向上させていきたいっていう気持ちは、もの凄い大事だと思うんですよね。そうやって、反対派の意見も合わせてみんなでディスカッションして決めていければなと。まあ、自分にはあんまり発言権はないですけど（笑）。

――今、マット界を見ると、『プライド』とK―1がもの凄い盛り上がっているじゃないですか。今度の『WRESTLE―1』って、それに対抗し得るものになると思いますか？

小島 どうですかね。同じ土俵で争う物じゃないと思うんですよね。競技っていうのを比べるのは違うのかなぁと。でも、リングがあって、四方をお客さんに囲まれている状況って、『プライド』もK―1もプロレスも同じじゃないですか。お客さんをいかに満足させるかっていう部分では、ありだと思うんですよね。その部分で、プロレスのほうが押されているっていう認識は凄いありますね。その部分って、プロレスが最も得意とした部分じゃないですか。『WRESTLE―1』とかでそこを見せられれば凄い嬉しいなと思うんですけど。

――ちょっと話は変わりますけど、全日本に移って10カ月ぐらい経ちますよね。居心地は良くなってきましたか？

小島 フフフ。元々、べつに悪くなかったですよ（笑）。

――それは失礼しました（笑）。元子さ

武藤さんが「あれは俺の番組だから。全日本の番組じゃないから」って言っているんです

んとは、よく話をしたりしましたか?

小島 元子さんは……、そうですね。何回かはお話はさせていただきましたけど。もの凄い暖かい人ですよ。社員の人にはもの凄い厳しかったですけど(笑)。

——ダッハハハハ。

小島 社員の人たちを怒っている姿を見たことがあるんですけど、凄い怖いなって(笑)。でも、心から全日本プロレスっていうものを愛しているというのが伝わってきますよ。もの凄い熱い人ですよ。熱血漢っていうか。

——熱血女なんですね(笑)。

小島 全日本というのを大量離脱があってから、支えてこられた人なんで、そういう部分ではやっぱり、会社を30年やるっていうのはもの凄いことだと思うんですよ。

——その元子さんの体制から、武藤さんの体制になって、ちょっと選手や社員の活気が違ってきた部分ってあります?

小島 そうですね。自分は武藤さんとは付き合いが長いので、武藤さんには意見が言えたりはできるんですけど、もしかしたら、武藤さんとあまり付き合いがない人たちからすると、勝手が違ったりとか、やりづらい部分とかかっていうのはあるかもしれないですね。

——武藤さんって、ノホホンとしている人っていうイメージがあるんですけども、社長っていう重大な職に就いて、端から見ていてどうですか?

小島 やっぱり変わりましたね。自分は昔から武藤さんと一緒にいることが多かったんですけど、経営の部分の話はしたことがなかったですからね。でも、プロレスの話は凄い好きだったんですよ、昔から。今まではそういう話だけだったんだけど、社長になってからは、それプラス「今日の客入りはどうだった?」とか、そっちの経営の部分ですよね。今は社長としての、経営者側の言葉を耳にすることが増えましたよね。いつも悩んでいますもんね、最近。

——そう考えると、今度の『WRESTLE―1』はぜひ成功させたいですね。

小島 そうですね。武藤さんのためにもっていうわけじゃないけど、武藤さん自身が今回は凄い賭けている部分もあると思うし、全日本プロレスの社長になってから、一番の大仕事だと思うんで。武藤さんに協力したいっていうのが半分と、あとは自分自身が上に上がりたい、自分自身の欲が半分ですね。

——プロレスが盛り返す起爆剤になればと思いますよね。

小島 だから、今も『WRESTLE―1』のチケットが凄い売れているって聞いているんですけど、カードが1個しか発表していない状態、出場選手すらも分からない状態でチケットが売れているっていうのは、お客さんが何かを期待していると思うんですよね。

——していますね。こんなことは前代未聞じゃないですか?

小島 でも、その何かが具体化された時に、お客さんが喜んでくれるのか、もしかしたら落胆してしまうのか、そこが賭けの部分っていうか。自分にとっても分からない。でも、やる側の自分も期待しているっていう部分を大切にしていきたいなと。

——『WRESTLE―1』の番組が2回放送されましたけど、感想はいかがですか?

小島 自分が出てなかったのが残念だったなと(笑)。

——ダッハハハハ。

小島 この間2回目の放送を見て、出たと思ったら、ゴールドバーグにやられているシーンだった(笑)。でも、よく武藤さんが「あれは俺の番組だから。全日本の番組じゃないから」って言っているんですけど、ホントそのとおりだなと思いましたね(笑)。

——俺の番組!(笑)。武藤さんらしいですね(笑)。

小島 でも、あのテレビの作り方は凄い面白いです。武藤さんが出て来て、橋本さんが出て来て、「エエッ!蝶野さんまで」っていう。でも、試合はないんだよっていう。試合を見たければ会場に来てっていうワクワクさせるものってありますよね。試合を流さないのも、プロレスファンの心をくすぐりますね。

——『WRESTLE―1』というイベントにファンを惹き付ける役割は果たしていますよね。

小島 あと、『WRESTLE―1』の中継をフジテレビで流してもらえるのかなっていうのはありますね。

——なるほど。では、最後にファンに『WRESTLE―1』を見に来いというメッセージをお願いします。

小島 自分はまだ出るか分からないですけど(笑)、あくまでも出たい。出て、熱い試合、これぞプロレスっていう、プロレスらしいプロレスの試合をしたいと思っていますので、ぜひ来てもらいたいですね。

——横アリでの「いっちゃうぞ、バカヤロー!」の大合唱を期待しています。■

▲ファスティングダイエットで体調が万全という小島。全日本プロレス社内でも、ファスティングはブームとなっているらしい。お求めはグレート・アントニオで

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS・DX
スペシャル・リング・サイド
No.82 11・28号

CONTENTS

直前情報

11・24 PRIDE.23
東京ドーム大会

ターザン山本 特別寄稿 我が青春のUWF —— 3
金原 弘光インタビュー —— 8
ヴァンダレイ・シウバ インタビュー —— 12
桜庭和志も参戦決定! —— 14
スペシャル対談 吉田秀彦×ターザン山本 —— 17
さすが! 東京ドーム大会 全カード発表! —— 16
ドン・フライ インタビュー —— 22

超! 直前情報

11・17 WRESTLE-1 横アリ大会

ボブ・サップ特集第2弾! —— 24
大パニック!『グレート・アントニオ』サイン会/サップに直撃! 100の質問
武藤敬司インタビュー —— 29
小島 聡インタビュー —— 33

大会詳報

11・2〜3 極真カラテ 全日本大会 —— 53
キラー数見、降臨! 数見肇、木山仁との頂上対決を制す

SRS・DXの注目!

11・30パンクラス 横浜大会プレビュー
ターザン山本が斬る! 鈴木みのる×ライガー戦大展望 85
菊田早苗インタビュー —— 88
美濃輪育久インタビュー —— 90
徹底予想!? 12・7 K-1 WORLD GP 2002
あの人にも聞いてみました……。 —— 95
11・14小林 聡タイ遠征プレビュー —— 110

足して129歳の青春対談
ジン・キニスキー×ターザン山本 —— 102

大会レポート&NEWS

11・4 シュートボクシング 後楽園大会 —— 64
11・3 ニュージャパンキック 後楽園大会 —— 68
10・29 パンクラス 後楽園大会 —— 92
最新ニュースフラッシュ —— 106

格闘技パーフェクトガイド

大会ガイド&チケット情報 —— 46
バックナンバーインフォメーション —— 51
浅草キッドの底抜けアントンハイセル —— 52
SRS番組インフォメーション —— 69
TVガイド —— 70
VIDEO&GOODS情報 —— 72
ET CETRA —— 74
SHOP GUIDE —— 75
宇月田麻裕の北斗占い —— 76

連載

ターザン座談会 —— 38
ターザン山本『ザッツ・ムチャリブレ』連載第14回 —— 77
あぶもぐ(読者のページ) —— 78
プロレス版 裏(覆面)座談会 —— 80 編集部トーク —— 84

グレート・アントニオ新作紹介&誌上通販 —— 116
たっつぁん万座ビーチ(読者プレゼント) —— 118

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

VIVA！松井秀喜メジャー挑戦座談会

ターザン山本の愛と青春の旅立ち!?

出席者◎ターザン山本
（青春の蹉跌）
サダハルンバ谷川
（本誌“青春山脈”編集長）
小松魔裟夫改めモグ・サップ
（本誌“青春18きっぷ”編集部員）
司　会◎柳沢忠之
（本誌“青春の小鉄”御目付役）

★★★VIVA！★★★
松井秀喜メジャー挑戦座談会

最近の日本のいちばんの出来事は、やっぱり松井秀喜ですよぉ！

山本　おい、モグタンっ！　おまえ、いったいぜんたい何があったんだぁ！

――ダハハッ！　なんだいきなり（笑）。

山本　モグの野郎、3日ほど編集部から失踪してたんだよぉ。

小松　いえ、ちゃんと行ってましたよ。

山本　だって、編集部で全然おまえの顔を見なかったじゃねえかぁ。

小松　違いますよ、山本さんは僕が帰った後に編集部に来てるだけですよ。

山本　でも、おまえは間違いなく精神が失踪してるっ！

小松　いえいえいえ………。

谷川　なんか最近、山本さんに対してミスを働いたらしいじゃない。

――え？　なんかあったんだ（笑）。

山本　こいつはまず、仕事というものが分かってないっ！　俺がジン・キニスキーを取材することになって、こいつはその根回し役でしょ。で、その根回しがま～ったくできないんだよぉ。それで、全日本の武道館大会が終わってジン・キニスキーがアメリカに帰る日ギリギリに取材ができることになったんだけど……。つまり、突如、突発的、急遽取材が入ったわけ。まず、この「急遽」という言葉を忘れないでね。

――ダハハッ、覚えておきましょう（笑）。

山本　急遽決まって「キニスキーが麻布十番のメキシコ・レストランにいるので来てください」と言われて行ったわけよぉ。そうしたら俺が先に着いて、こいつが後から来て「山本さん、取材場所はどこですか？」って聞くんだよぉ！

谷川　ふんふんふん。

山本　俺はその言葉を聞いてフリーズしたよぉ！　モグが取材を仕切る立場なのに、俺に「場所はどこですか？」って聞くか？

――ズバリ言って、ウチの編集部は非常にそんなのばっかりというか（笑）。

山本　エマージェンシー！　スクランブル発進！　「いざ、鎌倉！」の概念がまったくねえんだよぉ。で、その件にはまだ続きがあるんですよぉ。

谷川　まだあるんだ（笑）。

山本　そんなもん、ほんのイントロですよぉ！　結局、西麻布でキニスキーがつかまらなくて、宿泊先の東京ドームホテルまで行ったら、またとんでもないことが起こった！

――今度は何が（笑）。

山本　キニスキーをつかまえなきゃいけないから、俺はロビーで「常在戦場」態勢になって戦闘モードで待ち構えてるんだけど、こいつは外でボケーッとしてるんだよぉ。

小松　あ、僕だって戦闘態勢でしたよ。

山本　ウソつけ！　ボケーッとしやがって、戦場だったら真っ先に殺されますよぉ！　で、キニスキーがロビーに降りてきたのに、こいつはまったく気が付かない。それでとうとう俺は頭にきてキレて、ホテルのロビーで「てめえ、ふざけんなぁ！」って叫んで大暴れして帰ろうとしたら、モグが「行かないでください！」って、俺の手を引っ張って放さねえんだよぉ。

――ダハハハハッ！　想像するだけでも凄まじい光景だなあ、それは。見ていたかったね、柱の陰から（笑）。

山本　まず、麻布十番まで行った時間がムダ。そこから東京ドームホテルまで移動する時間がムダ。そのタクシー代もムダ。ムダもムダ、大ムダですよぉ、そんな経費を認めたら会社が潰れるぞぉ！

――でもね、サダハルンバは山本さんの遺伝子をしっかり受け継いでるので、見事なまでにチェックしませんから（笑）。

谷川　タクシー代の内容なんて、一回も見たことないもんなあ……。

山本　『SRS・DX』でそれをやったらおしまいよぉ。こういう負の人材の給料や経費を補うために谷川と柳沢氏がさらに働かなきゃいけないということだよぉ。

谷川　キミぃ、いい加減にしろよお！

――ズバリ言いますけど、こんなモグでもウチのエースですから（笑）。

谷川　んあ～！

山本　まだ続きがあるっ！　結局、成田空港まで行くクルマの中で取材することになったんだけど、一緒にいたニック・ボックウィンクルが「ジンと一緒に帰りたい」って言い出して、狭いクルマの中に運転手とキニスキーとニック・ボックウィンクルと俺、それにこいつと通訳が乗ってギュウギュウ詰めなんですよぉ。

――その光景も見たかったなあ（笑）。

山本　俺は成田まで、助手席からずっと顔を後部座席に向けたままで首がつりましたよぉ。俺はもう、腹ぁ立って腹立って。

谷川　で、モグはそのしくじりが元で失踪していたの？

小松　いえ、だから失踪はしてないです。山本さんが腹を立ててたのも今、知りましたし……。

――まったく気にしてないみたいです、山本さん（笑）。

小松　逆に何か不手際があったのか聞きたいぐらいです。

谷川　んあ～！

山本　「急遽」ということにまったく対応できない。『SRS・DX』でこんなヤツらと仕事をしていたら、俺の人格が破壊されますよぉ。

――すでに破壊されてますけどね（笑）。でも知らないうちに、ウチの編集部がそんなに楽しいところになっていたとは。

山本　じゃあ、ここまでが前フリな。

――ダハハハハッ！

山本　ここから本題に入るっ！　最近の日本の一番の出来事は、やっぱり松井秀喜ですよぉ！

――はい、それで行きましょう（笑）。

山本　松井秀喜がFA宣言した。「皆さんはもしかしたら僕のことを裏切り者と思うかもしれませんが……」っていうあの一言が重要なんですよぉ。裏切ったと思われてもメジャーリーグに行くということ。松井がFA宣言したことによって、ジャイアンツが4連勝で日本一になったことが全て吹っ飛んでしまって、話題はずーっと松井ばっかりでしょ。もう、これに勝る大事件はないよぉ。

――でも、今の松井を考えると、格闘技界にもまったく通じる話ですね。

山本　通じますよぉ。まず一つは、巨人軍というチームがブランドでないということを証明したんだよねぇ。これは価値観の大転換ということだよぉ。

谷川　ふんふんふん。

山本　今まで「巨人軍」というのは、日本社会の中で永久ブランドとして戦後社会をずーっと進んできたでしょ。それが崩壊してしまった。つまり、松井はブランドを捨てたわけですよぉ。

谷川　そういうことですね。

山本　今まで、日本のプロ野球選手というのはオールすべてぜ～んぶが「巨人軍」というブランドに寄りかかってきたわけ。選手以外にファンもマスコミも。それを松井が捨てたことで「巨人軍はもうブランドではないよ」と示したことは凄いことだよねぇ。で、プロレス界でも頂点に立った人はそうなっておかしくないわけ

松井はもう日本のプロ野球というジャンルを超えたわけですよぉ！

ですよぉ。ところが、蝶野は新日本プロレスにこだわって、三沢はノアにこだわって「おまえら、何をやってるんだ！」と。とんでもない時代遅れだと言いたいわけですよぉ。

谷川　なるほどお。

山本　もう新日本プロレスとか、全日本プロレスとかノアとか、どうでもいいことなんですよぉ！　松井ひとりで栄光の巨人軍をシュートしたのに、おまえらはいったい何をやってるんだあってことですよぉぉぉ!!

——や、や、山本さん、そんなテンションでしゃべっていたらポックリ逝っちゃいますよ（笑）。

谷川　おい、モグ。このテンションをちょっとは見習えよ。

山本　もう来年は松井の1打席1打席が、日本のペナントレースよりも話題になるのは間違いないもんなぁ。つまり、松井はもう日本のプロ野球というジャンルを超えたわけですよぉ！

——そういうことになりますね。つまり、今はブランドというものが成立しなくなってるんです。

山本　そう！　でも、プロレス界はいまだに新日本というブランド、全日本というブランド、ノアというブランドにこだわってるでしょ。それがバカくさいというか、アホらしいわけですよぉ。

——まあ、プロレスは確実にブランドが成立しなくなってますよね。

山本　でも、成立しなくなっているという事実を誰も理解しようとしてないし、分かってないんだよねぇ。つまり、まだ「ブランドである」と信じてるわけ。よく見てみろよぉ、どこがブランドなんだよぉ！

——だから、今度の『WRESTLE—1』には意味があるんじゃないですか？

山本　そういうことですっ！　ブランドがなくなったから新しいブランドを作るというんじゃなくて、現象的にはリセットしなくちゃいけないことを分からせるために、新たなスタートをしようとしてるのが『WRESTLE—1』ですよぉ。つまり、ブランドが通用しなくなったと分からせるために『WRESTLE—1』が登場したと捉えないとダメなんだよねぇ。

——まったくそのとおりですね。

山本　で、大衆はそれに気付いてるので『WRESTLE—1』に対する期待感というものが膨れ上がりつつあるんだよぉ。それを早く概念化し、早く実体のあるものにしなきゃいけないということで時代は急いでるわけですよぉ。でも、急いで生きるのがいいのか、焦らなければいけないのか、もっと早く進行させなきゃいけないのかというのは分からないわけですよぉ。とにかくフタを開けてみないことには。

谷川　松井の例で言うと、おそらく巨人軍の年間を通した放映権料よりも、松井ひとりの放映権料のほうが勝っちゃうわけですよね。そこが凄いですよね。

——そういう発想がアメリカは自由にできるじゃないですか。日本の場合はやっぱりそれができないですからね。ブランドを壊すっていうのは今までのパターンでいうと選手だったんですよ。野球でも野茂英雄とか長谷川滋利とかが踏み出していったじゃないですか。アメリカはマーケットを壊すという踏み出し方をしますよね。だから、最良の方法を考えたらジャイアンツの取るべき道は、日本のマーケットを捨ててジャイアンツのままメジャーリーグに参加すればいいと思うんですよね。

山本　面白いなぁ、それは。

——でも、日本のプロ野球はそういう意味でのマーケットの壊し方ができないじゃないですか。だけど、格闘技界では猪木さんと石井館長だけはマーケットを壊せたんですよ。

谷川　そういえば、石井館長は野茂がメジャーに行った時に「日本はすぐにハワイかどこかでメジャーのチームを作るべきだ」って言ってましたね。

——石井館長のその発想は正解ってことだよね。だって、任天堂がシアトル・マリナーズを買ってるように「読売」がメジャーに参入すればいいわけでしょ。身売りする球団もあるわけだから。たしかにジャイアンツだけは日本での観客動員のマーケットがちゃんとあるんだけど、観客動員で採算が取れている他の球団なんてないんだからね。日本の観客動員のマーケットなんかバッサリと切り捨てればいいんだよね。

山本　そう、捨てるべきですよぉ！

——プロ野球の興行なんて不良債権みたいなものだもんね。それを全部吐き出して、アメリカにマーケットを持っていって放映権を日本に売ればいいわけじゃないですか。

谷川　松井のFA宣言以前の問題として、そのアメリカの対象が日本になってるところが凄いですよね。

——普通に考えたらアメリカ人にとっては屈辱でしょうけど、マーケットを考えればそっちのほうがいいって、ビジネスとして考えられるところが凄いですよね。

山本　しかし、とんでもないことをしてしまったねぇ、松井は。

——いや、今はそういう流れなんですよ、世界的に。

谷川　K—1も活躍してる選手は全部外国人ですからね。日本人にとっては屈辱的だけど、よく考えればそんなことはどうだっていいじゃないですか。

——ぷぷぷぷっ！

谷川　面白ければボブ・サップで全然オッケーなわけですから。

山本　キラーだなぁ、谷川は。

谷川　だってK—1という場で、日本人選手だけでどうにかしようとしていたら大失敗してたと思いますもん。

「これが時代なんだ！」という一歩が踏み出せないわけよぉ

――その論理に気付いてるのが猪木さんと石井館長だけだってことですよ。でも、その二人が気付いてるっていうことが逆に格闘技界の凄さなんですよ。野球やサッカーは気付いていたとしてもできないんだから。ナベツネ（＝渡辺恒雄・巨人軍オーナー）が「来年からはメジャーだ！」って言って、ジャイアンツをメジャー入りさせるっていう発想を持って突き進んだら凄いことになるんですけどね。

山本 俺がナベツネだったら、瞬時にそういう判断をするけどなぁ。

小松 山本さんとナベツネは、アナーキーさだけは似たものがありますけどね。

谷川 んあ〜！

――でも、中村紀洋に「髪を黒くしたら……」って言ってるくらいですからね（笑）。まぁ、メジャーに進出してアメリカ人にそれを言ったらバツグンに面白いけど。とにかく、松井のメジャー移籍問題は格闘技とリンクしてますよ。

山本 本当にリンクしてるなぁ。

――サッカーの日本代表だって、いったん選手を世界に散らせて、戻すっていう形でやってるでしょ。

山本 その意味ではチンケな存在だなぁ、プロレスは。

――だから、こんなことを言うのもなんだけど既存の「プロレス」は、もうダメですよ。

山本 プロレスの何がダメって、プロレスラーが自分をプロデュースしようとしてることだよね。これは最悪ですよぉ。

谷川 みんな自己プロデュースしようとしてますよね。レスラーや団体が向いている方向はプロレスマスコミだけですからね。やたらと気にするでしょう、専門誌を。

山本 もう死に体も死に体、大死に体ですよぉ！

谷川 専門誌に価値観を求めるから今みたいになっちゃうんでしょうね。

山本 その発想はインディー以下ですよぉ。そういう意味で『WRESTLE―1』というのは、ある種の前衛的な意味合いを持って登場してきたわけでしょ。それがどこにどう届いているのか知りたいねぇ。

谷川 どこに届いてるっていったら、僕はやっぱりプロレスファンじゃないかと思うんですけどね。

山本 プロレスファンもまだ、勘だけはいいっていうことか？

――そういうことですね。

谷川 でも、一般の人たちまではまだ巻き込んでいないですからね。そこまで届くのはこれからでしょう。

山本 もちろん、一番最初はマニアというか求心力の強いファンに届いて、そこからガーッと広がるんだけど、コアの層はちゃんと気付いてるの？

谷川 なんとなく匂いを嗅ぎつけてるというか、期待感みたいなものは……。

――この10年間、彼らはもの凄い絶望と失望を味わってきてるからねぇ。

谷川 コアなファンはもう、いろんなものにダメ出ししてきてるじゃないですか。UWFもダメだし、インディーもダメだし、新日本も全日本も全部ダメ出ししてきたから。

山本 たぶん、それが決定的になったのは新日本の10・14東京ドームだよねぇ。

谷川 そういう状況の中で何かを求めて「ここに期待してみよう」っていうムードが『WRESTLE―1』のチケットの売れ方じゃないですか。

山本 『WRESTLE―1』の煽り番組を見たら、蝶野とか橋本が出てきて闘魂三銃士の揃い踏みがあるかどうか、と。まぁ、あってもなくてもいいことなんだけど、結局は二人とも理解できてない状態でスタンスが引いてるわけよぉ。そこにポーンッと自分を投げ出して「これが時代なんだ！」という一歩が踏み出せないわけよぉ。蝶野にしても橋本にしても、まだまだ自分たちがやっていることのほうにプライオリティがあるでしょ。あれを見たらショックだよぉ。特に蝶野は出遅れも出遅れ、大出遅れですよぉ！

谷川 そういう点ではボブ・サップはサービス精神が旺盛ですからね。

――でも、そのボブ・サップもアメリカでは成功できなかったわけだからね。今のサップは日本というマーケットを見定めた結果でしょう。逆に松井がこのままジャイアンツにいたって、まったく将来性はないからメジャーに行くのと一緒ですからね。

山本 将来性はないよなぁ。だって、今シーズンの野球を見ていて一番驚いたのは、王さんの55号ホームランを超えちゃいけないということですよぉ。

――今さら、そんなことに気付いてどうするんですか（笑）。

山本 去年もローズが55号で止まって、今回カブレラも55号で止まって、あれは全然スポーツでもなんでもない、不文律のアンタッチャブルな触れてはいけないものが存在していて、あんな世界にいたら辞めてしまうよぉ、みんな。

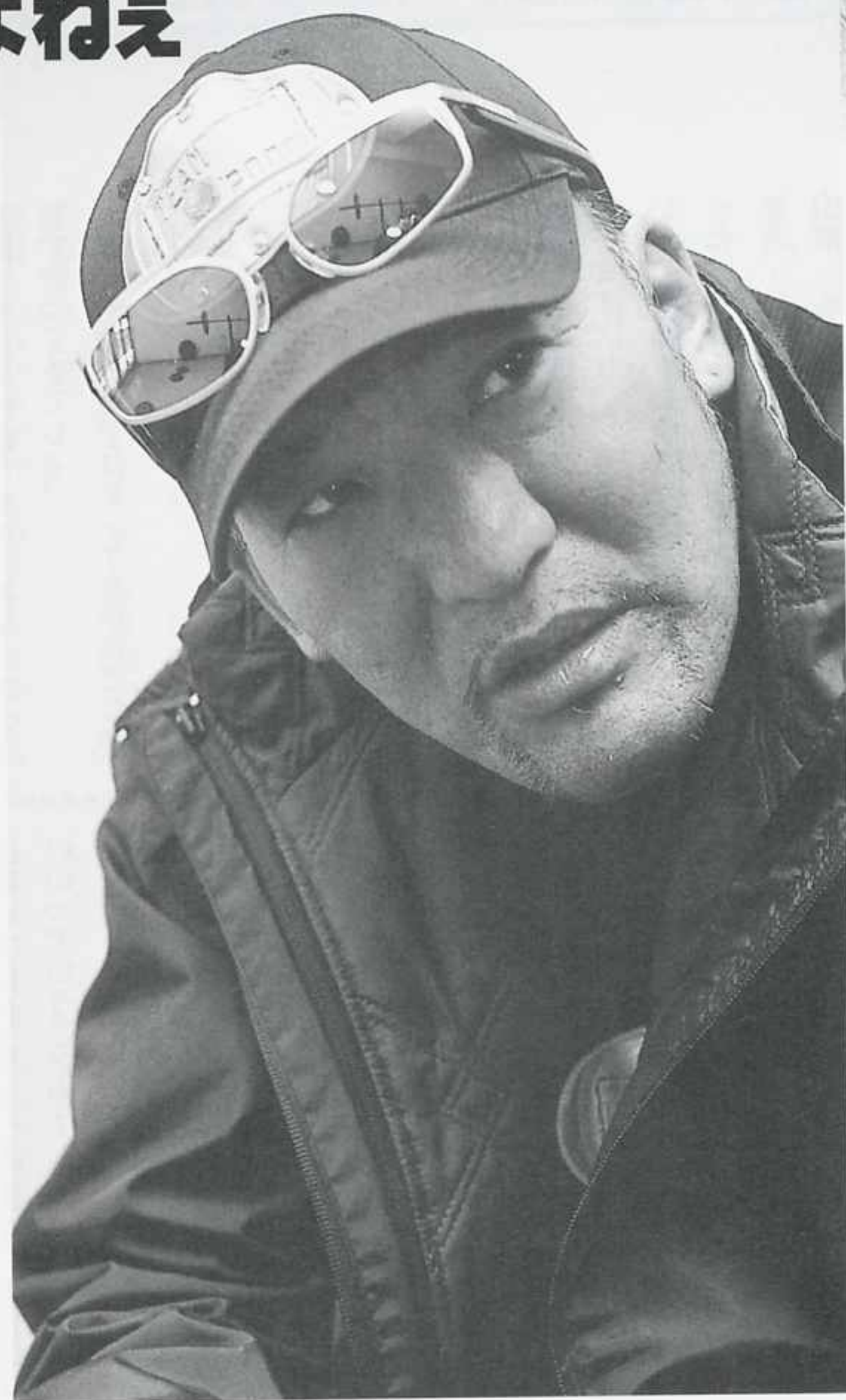
――そんなことはランディ・バースの時で分かってるわけですから（笑）。まあ、日本人選手ならいいんだろうけどね。松井だったら56号を打ってもオッケーなんでしょう。

山本 それって凄い差別感覚だよぉ。最も非インターナショナルな発想ですよぉ。

――このあいだから、他流試合とかの意味で「ジャンルをまたぐ」っていうのがキーワードになってますけど、本当は「マーケットをまたぐ」ってことじゃないとダメなんですよ。松井の存在もそうだし、サッカーもそうだし。だから、ボブ・サップとか『WRESTLE―1』がどこに届いてるかっていうのは凄く重要なことで、いかに遠心力と求心力を見据えてマーケットをまたげるかっていうのが重要なんですよ。本当に思うけど、今回のK―1GPの爆発力はボブ・サップ効果なんだけど、明らかに石井館長がマーケットをまたいだかということの現れですよね。

谷川 K―1の選手でサップほど盛り上がる選手はいないもんねえ。

――K―1っていうマーケットのパイがあって、そこに『プライド』であったり、プロレスであったり、いろんなマーケットを石井館長がまたいだから意味があるっていうか。そこで松井をどう考えるかといったら、マーケットをまたいだと考えなきゃいけないわけですよ。それを選

蝶野とかはそれが見えていても自分のマーケットに引きこもるよねぇ

手がやるだけじゃなくて、団体とかプロモーターがやったとしたら凄いわけですよ。だから俺はナベツネにメジャーリーグに行けって思うわけですよ（笑）。

小松　あ、すいません、ちょっとトイレ。すいません山本さん、ちょっとそっちへ行きたいので、またがせていただきます。

谷川　んあ〜！

山本　まったく失礼なヤツだなぁ。

——まあ、ジャンルをまたぐとか、ジャンルを変えるっていうと、役者が歌を唄うみたいな感覚なんだろうけど、そう考えたらダメなんですよね。歌手がある日突然、マグロ漁船に乗るとかじゃないと（笑）。

山本　またいだら、またがれたほうは崩壊するわけでしょ。限界が見えるというか。俺は今、モグにまたがれるだけで自我が崩壊しそうになったもんなぁ。

——ダハハハッ！　でも、マーケットをまたいでる限りは、そのマーケットは広がってるわけですよ。それを古い価値観のマーケット側は、もっと有効に使えよっていう話で。

山本　でも、蝶野とかはそれが見えていても自分のマーケットに引きこもるよねぇ。

——それがダメなんですよ。マーケットが広がったら、それをどう使うのかっていうことが分かってない。そこは猪木さんが感覚で分かっていて、チャイナとかを引っ張ってきてマーケットを広げようとしてるのは分かるんだけど、それは結果的にマーケットに押し込めてるだけですからね。

谷川　猪木さんは感覚的にマーケットを広げようとしてるんだけど、結局は新日本に封じ込められちゃうんだろうね。K—1は逆にマーケットをまたいで成功してますからね。

山本　大成功ですよぉ！

谷川　それが新日本とK—1の差ですよ。

——でも、いろんな意味でK—1始まって以来のブレイクじゃないですか、今年のグランプリは。去年のグランプリを見た時には「どうなるんだろう?」と思ったでしょう?

谷川　今年もミルコが出ないとなった時点で危なかったんですけどね。

——だから、小難しく考えるんじゃなくて、「マーケット」という意味をもっと理解するべきですよね。

山本　じゃあ、松井がメジャーに行ってどんな成績を残すかとか、どんな活躍をするかということは、価値観の増大というか見る側にはもの凄く広いマーケットなんだなぁ。

——見る側にとっては、こんなにいいことはないんです。そこで日本の野球界っていうちっちゃな村社会がそのマーケットをどう使うかっていうのが全然できないわけじゃないですか。それが問題なんですよ。その姿はまさに今のプロレスと一緒ですから。選手はそうやってまたげるけど、組織としてはまたげない。『プライド』とかK—1とか今回の『WRESTLE—1』っていうのは、単純にそういう閉塞したものに対する解放感ですよ。見る側にしてみれば、お手並み拝見じゃないけどいくらでも批判はできるし、余裕があるじゃないですか。ある意味、コアなファンは叩くことを前提に手ぐすね引いて待ってるでしょう。でも、本来はそういう層を相手にするんじゃなくて、まったく違うマーケットを相手にするってことを考えないとダメですよね。

山本　じゃあ、新聞報道にもあったけど、やっぱりハルク・ホーガンみたいな存在は必要だなぁ。

——ホーガンが出てくるとしたら、逆に昔のマーケットじゃないところに「未知の強豪」としてホーガンというものを見せつけなきゃダメなんですよ。

山本　そういうことです！

——たとえば、今年の猪木祭は何をやるのか分からないけど、猪木プロデュースでサッカーの「日本ドリームチームVS北朝鮮」をやればいいと思うんですよ。そうすれば、また感動の物語が生まれますよ（笑）。それをやれないでどうするのっていうか、格闘技のマーケットをそこまで強引に広げちゃえっていうかね。大晦日のゴールデンタイムのマーケットって考えたら、そういう発想はいくらでもできるじゃないですか。結果的に「これがプロレスだ！」ってなりますからね。

小松　それはプロレスなんですか?

山本　おまえがそれを理解するには、あと20年はかかりますよぉ。

——まあ、マーケットをいかに考えるかですよね。そこでチンケなことをやったってしょうがないんですから。

山本　でも、そういう発想は今のプロレスからは遠いなぁ。

——だけど、それが僕らが学んできたプロレスじゃないですか。とにかく松井のFA宣言を見て、そういうことを考えましたよ。

谷川　モグ、これまでの話を聞いてきて、やる気が出たか。

小松　あ、いや、まったく……。

谷川　んあ〜！

山本　まあ、そう考えた場合にさぁ「プ

俺はもの凄く盛り上がって興奮しまくってるんだけどねぇ

ライド23』の髙田VS田村戦というのは、どういうマーケットなん？

――俺は昔のマーケットで勝負できる最後の機会だと思ってるんですけどね。

山本　記憶のマーケットというかねぇ。

――僕はこれまでの『プライド』はそこで終わると思ってるんですけどね（笑）。

山本　でも、時間軸で考えると決定的な試合でもあるんだよねぇ。「ＵＷＦの最終地点が『プライド』であった」と言うこともできるでしょ。

――だけど、そこまで昔のマーケットに届くかっていうのは疑問ですよね。マーケットをまたいで広げて、Ｋ―１と『プライド』が国立競技場でやって、今年１年進んできたわけじゃないですか。それをいきなり氷水に漬けるように締めるわけですよ（笑）。

山本　『Ｄｙｎａｍｉｔｅ！』の後にあれをやるというのはムチャな展開だよなぁ。

――でも、吉田秀彦の広がりで行っちゃうとダメだとも思いますからね。

谷川　記憶のマーケットに関しては届かないでしょうね。ごく一部だと思いますよ。髙田VS田村の良さが分かるファンは本当に少ないでしょう。

山本　俺は良さが分かるのは少数派でいいと思ってるわけよぉ。

谷川　どれだけ多くの人が学習するかどうかでしょうね。ＵＷＦっていうもの自体、もうファンに記憶がないんですからね。

――まあ、『プライド』から髙田がいなくなったら、もう記憶の装置って何もなくなりますからね。だから、記憶のマーケットに訴えかけられる最後のチャンスでしょうね。

谷川　もう、これからは記憶なんかなくなるだろうからなあ。

――昔からまったくないくせに（笑）。

谷川　んあ～！

――でも、記憶のマーケットっていうのは本当に心許ないですからね。

谷川　それはこのあいだ山本さんと話したけど、それは何がないっていうと、今の新日本プロレスとかには「青春」がないんですよ。記憶は青春にしか残らないですからね。

――俺が不思議でならないのは、髙田VS田村に対するプロレスマスコミの反応ですよね。こんなに反応しないのかって。

山本　俺なんかこのカードだけで大炎上して一冊の本を作ろうとしてるのにねぇ。

谷川　山本さんにとっては青春の証明なのにね。

――プロレスマスコミにとっては本当に最後の村祭りなのに、まったく引っかかってないですもんね。

谷川　青春じゃなかったんでしょうね。でも髙田VS田村戦が「プロレスリング世界ヘビー級選手権」とか、「格闘技世界一決定戦」になったらプロレスマスコミにも響くのかなあ？

――んあ～。

谷川　格闘技に対するコンプレックスもあるんだと思うけどねえ。山本さんが髙田を「Ａ級戦犯」って書いちゃったことがシコってるのかなぁ。

山本　お、俺かぁ…………!?

――ダハハハハッ！

谷川　でも、試合が終わった後には絶対に大きなものが生まれると思いますよ。

山本　俺はもの凄く盛り上がって興奮しまくってるんだけどねぇ。

谷川　モグにとってＵインターっていうのはなんなの？

小松　あ、まったく思い入れはありません。僕は新日本との対抗戦の頃しか知らないですから。●●とかは大嫌いでしたしね。

谷川　●●は今でもみんな嫌いなんじゃないの？

――ダハハハッ！

谷川　僕もＵインターの頃はリングスばっかり見てたからなあ。

――前田日明にリング上から睨まれて（笑）。

谷川　不遇な毎日を送っていました。

山本　俺は『週プロ』でちょっとＵインターの批判記事を書いただけで、髙田と宮戸が殴り込んで来たからなぁ。

谷川　ああ、編集部で山本さんに『週プロ』を投げつけてましたよねぇ。

山本　発売日の前の早売りを見て来たんだよねぇ。彼らは誌面を見た瞬間に編集部まで来てるわけですよぉ。とにかく熱かったし、それと共に俺の青春だったよなぁ。

――あの時代には山本さんの「青春の白骨死体」が確実にありますからね（笑）。

山本　うん、あるっ！　そーゆー意味では「青春とはなんだったのか？」というのが一つの大きいテーマなんだよねぇ。俺の青春は確実にあそこにありましたよぉ！

谷川　そういえば僕もＵインターといえば思い出すなあ。『格闘技通信』で「髙田延彦からボクシングを学ぼう！」っていう企画をやったもん。でも、今考えると、凄い企画だったなあ。

――髙田からボクシングテクニックを（笑）。山本さん、何をチェックしてたんですか？

山本　…………。まあ、青春はなんだったかと考えると、自分たちが考えてることが実現するとは思わないけど、頭の中にある理想とか夢みたいなものを信じて、それに向かって走っていって、衝突しようが激突しようが砕けようがかまわないというイメージに埋没していったんだよねぇ。それによって世の中に勝てるとは思わないけど、反抗する自分をそこに存在させたいというエネルギーなんだよぉ。それがよ～するに青春の証明ですよぉ。僕はプロレスが好きだったがゆえに、「もっと何かがあるはずだ」と思って引かれたのがＵＷＦだったわけですよぉ。かつて存在しなかったイメージとしてのＵＷＦに青春の全てを懸けたというかねぇ。「これは俺のものだ！」という青春の証なんですよぉ！

――それは声を大にして言うべきですよ。他の誰もが言わないことなんだから（笑）。

山本　でも、青春だから結局は挫折するか、崩壊するんだよねぇ。でも、それをやることが青春なんですよぉ！

――〝Ｕ〟とは私の割礼である、と（笑）。

山本　俺はまだまだその夢というか、幻

『プライド23』の髙田VS田村戦は ぜ〜んぶ俺のもんですよぉ！

影を放棄してないからねぇ。

谷川　モグもそういう夢を持ってみろよ。

小松　あ……、はい。

山本　こいつには何もないですよぉ。『週プロ』をやってきたことで俺には確実にそれがあるんですよぉ！

谷川　でも、最近ベースボール・マガジン社から『俺たちの週刊プロレス』という本が出たけど、山本さんは亡き者みたいにされてますよねえ。

山本　俺が築き上げたあの黄金時代のことで本を作ってるのに、俺の存在を抹殺しやがって、抗議しに行こうかと思ったよぉ。で、ご丁寧なことにこれまで何か本が出ても俺のところには送ってこなかったのに、今回は安西があれを作ったらしくて俺の名前が出てるところに付箋を貼って送ってきましたよぉ。それも10冊も。

——10冊！　嫌がらせだ、それは（笑）。

谷川　安西さんは僕のところにも持ってきてくれて、僕の名前が出ているところにも付箋を貼ってくれてましたよ。

——んあ〜！（笑）。

山本　まあ、青春に話を戻すけど、UWFは俺に美しい反抗をさせてくれたんですよぉ。それに対して長州が怒ってこうなってしまったわけ。でも「青春」というのは何かをシュートしてるわけですよぉ。それが存在証明というか、俺はいい時代を生きてきたんだからUWFでつかんだ青春は放さないよぉ。だから、『プライド23』の髙田VS田村戦はぜ〜んぶ俺のもんですよぉ！

——結局は、今日も「俺の勝ち」ってことですか（笑）。

山本　『プライド23』では、俺が「青春のエスペランサ」ですよぉぉぉ！

——忙しいな、ナベツネになったりエスペランサになったり（笑）。

山本　膝小僧だってわがままになりますよぉぉぉ！

——ダハハハッ！

山本　つまり、UWFに愛を持って青春を過ごしてきた俺は「最強」ってことだなぁ。

——「最強」までも（笑）。

小松　ちょっと聞きたいんですけど……、これからの僕の青春は山本さんとの闘いってことですかね？

谷川　それは親子関係の「駅前シリーズ」みたいなもんじゃないの？　でも、これからはちゃんと山本さんに青春を求めていけよ。

小松　あ、はい、できる限りは……。

山本　おまえら、ふざけるなぁ！『格通』時代の谷川でさんざん懲りてるのに、さらにモグタンの面倒を見るのなんか、俺はご免ですよぉ！

谷川　んあああ〜っ！　■

11/14THU～11/28THU
CALENDAR

11/14 THU
★『SRS・DX』82号発売日

11/15 FRI
■修斗/東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p48

11/16 SAT
◆FIGHTING GIRL Ⅳ/チケット一般発売⬅p50

11/17 SUN
■大道塾・北斗旗無差別選手権/東京・国立競技場第2体育館（10:30～）⬅p50
■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール（17:30～）⬅p49
◆PRIDE.24/チケット特別先行電話予約⬅p46

11/18 MON

11/19 TUE

11/20 WED

11/21 THU

11/22 FRI

11/23 SAT
■掣圏道アルティメットボクシング/北海道・室蘭市総合体育館（14:00～）⬅p47
■ZST/東京・ディファ有明（17:00～）⬅p48

11/24 SUN
■ターゲット/東京・ゴールドジムサウス東京ANNEX（16:30～）⬅p49
■NJKF/千葉・木更津市民体育館（16:30～）⬅p48
■PRIDE.23/ 東京ドーム（17:00～）⬅p46
◆PRIDE.24/チケット一斉販売⬅p46

11/25 MON

11/26 TUE

11/27 WED

11/28 THU
★『SRS・DX』83号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

大会ガイド&チケット情報 ……………P.46
バックナンバーインフォメーション …P.51
浅草キッドのイチ押しイベント ………P.52
SRS番組インフォメーション …………P.69
TV GUIDE ……………………………P.70
VIDEO & DVD ………………………P.72
GOODS ………………………………P.73
ET CETRA ……………………………P.74
北斗占い ………………………………P.76

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

DEEP2001

DEEP2001 7th IMPACT
12月8日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/14:30　試合開始/17:00(フューチャーキングトーナメント15:00開始)
◆入場料/VIP席15,000円　SRS席9,000円　アリーナA席7,000円　アリーナB席5,000円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、ファイター☎03-3354-1903、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、TOKYO文庫TOWER6F☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップ東京イサミ☎03-3352-4083、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP2001事務局
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

須田匡昇 vs 長南亮
（CLUB J）　（U-FILE CAMP.com）

石川雄規 vs 滑川康仁
（格闘探偵団バトラーツ）　（フリー）

"ムエタイ戦士VS日本人選抜選手" 3対3対抗戦

—大将戦—
山崎剛vsナルポン・タックホームシン
（チームGRABAKA）　（サックホームシンジム）

—中堅戦—
廣野剛康 vs "ランバー" ソムデート吉沢
（和術慧舟會GODS）　（M16ジム）

—先鋒戦—
TAISHO vs タッパヤー・クロスポイントジム
（パルボーザ&名古屋ブラジリアン柔術クラブ）　（シッオージム）

上山龍紀、大久保一樹 vs 窪田幸生、金井一朗
（U-FILE CAMP.com）　（パンクラスism）

MAX宮沢 vs 伊藤博之
（荒武者総合格闘術）　（フリー）

アステカ vs 一宮章一
（プロレスリング華☆激）　（フリー）

KAZE vs 原学
（プロレスリング華☆激）　（格闘探偵団バトラーツ）

バーリ・トゥードでタッグマッチ実現！

田村潔司率いるU-FILE CAMP.comの上山龍紀と大久保一樹が、バーリ・トゥードのリングでタッグマッチを行う。しかも20分3本勝負というから驚きだ！　対戦するのはパンクラスism所属の窪田幸生&金井一朗。メインイベントでも"修斗vsU-FILE CAMP" 須田匡昇vs長南亮戦が組まれているだけに、U-FILE勢にとっては、重要な大会だ！

▲上山龍紀と大久保一樹のコンビネーションが炸裂するか!?

PRIDE

PRIDE.23
11月24日（日）　東京ドーム

◆開場/15:00　試合開始/17:00　◆入場料/VIP席100,000円、RRS席25,000円、スタンドS席15,000円、スタンドA席7,000円、髙田延彦応援シート15,000円（スタンドS席　応援グッズ付）　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/各有名プレイガイド　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

髙田延彦vs田村潔司
（髙田道場）　（U-FILE CAMP.com）

吉田秀彦 vs ドン・フライ
（吉田道場）　（フリー）

ヴァンダレイ・シウバvs金原弘光
（シュート・ボクセ・アカデミー）　（フリー）

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvs セーム・シュルト
（ブラジリアン・トップ・チーム）　（ゴールデン・グローリー）

ヒース・ヒーリング vs エメリヤーエンコ・ヒョードル
（ゴールデン・グローリー）　（ロシアン・トップ・チーム）

ムリーロ・ニンジャ vs ヒカルド・アローナ
（シュート・ボクセ・アカデミー）　（ブラジリアン・トップ・チーム）

山本喧一 vs ケビン・ランデルマン
（フリー）　（ハンマーハウス）

桜庭和志 vs ジル・アーセン
（髙田道場）　（チーム・レ・バンナ）

K-1 ワールドシリーズ

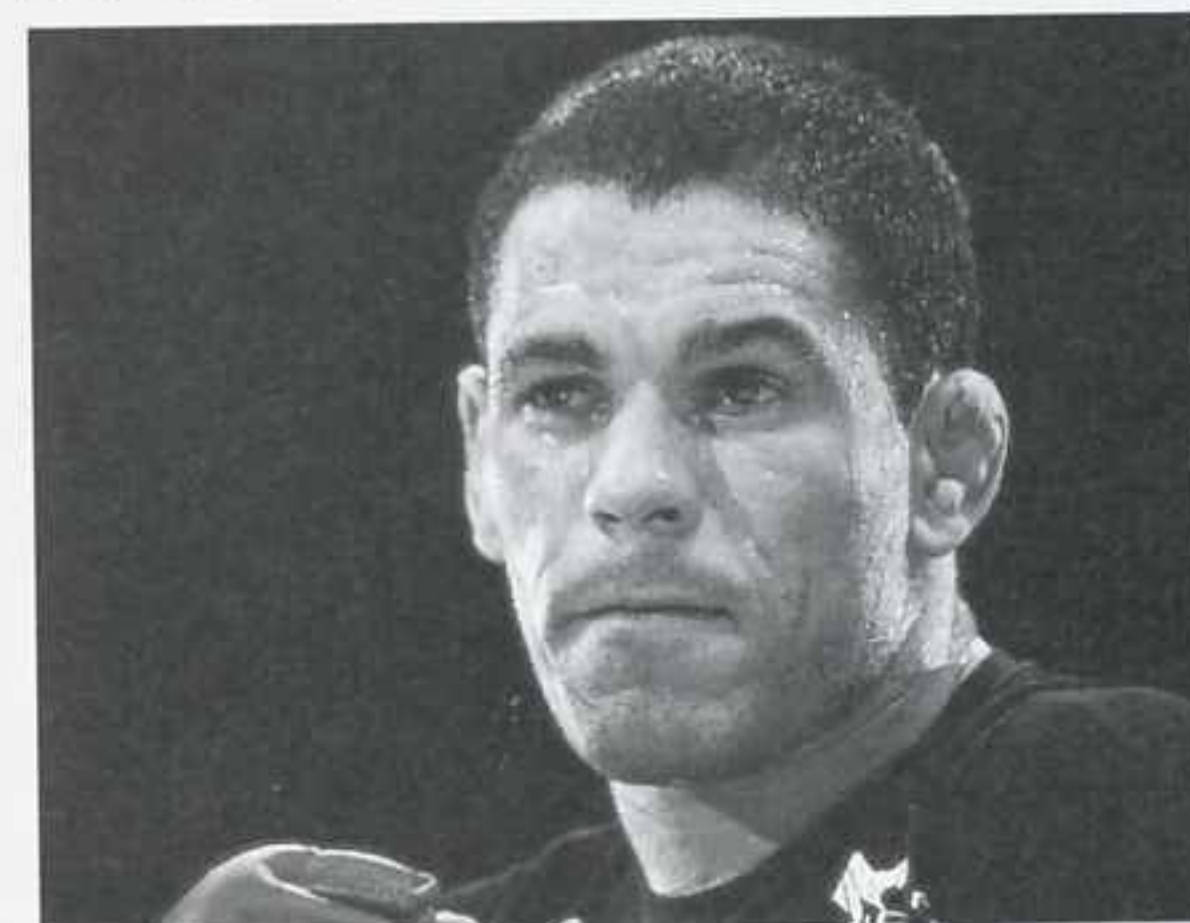
K-1 WORLD GP 2002 決勝戦
12月7日（土）　東京ドーム

◆開場/14:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席35,000円　RS席21,000円　SS席17,000円　S席11,000円　A席7,000円　B席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、キョードー東京
◆チケットに関するお問い合わせ/株式会社キョードー東京☎03-3498-9999
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード

レイ・セフォー（アメリカン プレゼント ボクシングジム）
ピーター・アーツ（メジロジム）
セーム・シュルト（ゴールデン・グローリー）
ボブ・サップ（チーム・ビースト）
ステファン・レコ（ゴールデン・グローリー）
マーク・ハント（リバプール・キックボクシングジム）
ジェロム・レ・バンナ（ボーアボエル&トサジム）
武蔵（正道会館）

PRIDE.24
12月23日（月・祝）　マリンメッセ福岡

◆開場/未定　試合開始/未定
◆入場料/VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付）、RRS席25,000円、スタンドS席15,000円、スタンドA席7,000円
◆チケット発売/ 特別先行電話予約・11月17日（日）10:00～19:00（特電☎052-961-6341）　一斉発売・11月24日（日）10:00～
◆チケット発売所/各有名プレイガイド
◆会場アクセス/天神、博多駅から車で10分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

▲12・23福岡大会ではアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ（ブラジリアン・トップ・チーム）のPRIDEヘビー級タイトルマッチが決定

パンクラス

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
11月30日（土） 神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:00 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席16,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,500円 2F-A席10,000円 2F-B席6,000円 2F-C席4,000円 3F席4,500円 ※当日券は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:594-040）、ローソンチケット（Lコード:38501）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER6F☎03-5784-4900、ゴールドジムノース東京☎03-3917-9434、ゴールドジムサウス東京☎03-5460-3535、ゴールドジム行徳千葉☎047-390-3434、パンクラス☎03-5792-0815 ◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

鈴木みのる vs 獣神サンダー・ライガー
（パンクラスism） （新日本プロレス）

佐々木有生vs美濃輪育久
（パンクラスGRABAKA） （パンクラスism）

菊田早苗 vs エドワルド・パンプロナ
（パンクラスGRABAKA） （ハイアン・グレイシー柔術）

渋谷修身 vs ヒカルド・アルメイダ
（パンクラスism） （ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー）

伊藤崇文 vs 和田拓也
（パンクラスGRABAKA） （SKアブソリュート）

三崎和雄 vs 小島正也
（パンクラスism） （和術慧舟會千葉支部）

砂辺光久 vs 渡邉将広
（HYBRID WRESTLING武∞限） （フリー）

中台宣 vs 岡見勇信
（パンクラスism） （和術慧舟會東京本部）

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
12月21日（土） 東京・ディファ有明

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席10,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,000円 ◆チケット発売／発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:594-040）、ローソンチケット（Lコード:39733）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラス☎03-5792-0815 ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

最新オフィシャルランキング発表！（11/5付）

【無差別級】

無差別級キング・オブ・パンクラシスト
セーム・シュルト（オランダ/ゴールデン・グローリー）

1位 近藤有己（パンクラスism）

2位 髙橋義生（パンクラスism）

3位 國奥麒樹真（パンクラスism）

4位 KEI山宮（パンクラスism）

5位 菊田早苗（パンクラスGRABAKA）

6位 ティム・レイシック（アメリカ/グラジエーターズ・トレーニング・アカデミー）

7位 渋谷修身（パンクラスism）

8位 藤井克久（スタンド）

9位 ロン・ウォーターマン（アメリカ/コロラド・スターズ）

10位 謙吾（パンクラスism）

【ヘビー級/90kg～100kg未満】

初代ヘビー級キング・オブ・パンクラシスト
髙橋義生（パンクラスism）

1位 藤井克久（スタンド）

2位 ジェイソン・ゴドシー（アメリカ/I.F.アカデミー）

3位 空位

【ライトヘビー級/82kg～90kg未満】

第2代ライトヘビー級キング・オブ・パンクラシスト
菊田早苗（パンクラスGRABAKA）

1位 近藤有己（パンクラスism）

2位 KEI山宮（パンクラスism）

3位 佐々木有生（パンクラスGRABAKA）

4位 渋谷修身（パンクラスism）

5位 佐藤光芳（パンクラスGRABAKA）

6位 美濃輪育久（パンクラスism）

7位 石川英司（パンクラスGRABAKA）

8位 石井大輔（パンクラスism）

9位 郷野聡寛（パンクラスGRABAKA）

10位 パウロ・フィリョ（ブラジル/タフ・ブラザーズ）

【ミドル級/75kg～82kg未満】

第2代ミドル級キング・オブ・パンクラシスト
國奥麒樹真（パンクラスism）

1位 クリス・ライトル（アメリカ/I.F.アカデミー）

2位 竹内出（SKアブソリュート）

3位 ネイサン・マーコート（アメリカ/コロラド・スターズ）

4位 三崎和雄（パンクラスGRABAKA）

5位 星野勇二（RJW/CENTRAL）

6位 ショーニー・カーター（アメリカ/AIKIトレーニング・ホール）

7位 高瀬大樹（和術慧舟會東京本部）

8位 伊藤崇文（パンクラスism）

9位 窪田幸生（パンクラスism）

【ウェルター級/69kg～75kg未満】

初代ウェルター級キング・オブ・パンクラシスト
國奥麒樹真（パンクラスism）

1位 伊藤崇文（パンクラスism）

2位 大石幸史（パンクラスism）

3位 長岡弘樹（ロデオ・スタイル）

4位 芹沢健一（RJW/CENTRAL）

【ライト級/64kg～69kg未満】

空位

【フェザー級/～64kg未満】

空位

掣圏道

掣圏道アルティメットボクシング大会
11月23日（土・祝） 北海道・室蘭市総合体育館

◆開場/13:00 試合開始/14:00
◆入場料/R席10,000円 S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ボスフール室蘭☎0143-45-1414、クラウン商会☎0143-43-1006、東輪スポーツ☎0143-44-4621、ぎんやレコード☎0143-24-4333、ミュージックショップ国劇長崎屋中央店☎0143-22-9280、ミュージックショプ国劇長崎屋中島店☎0143-43-3836
◆お問い合わせ/掣圏道協会本部☎0166-27-5788

総合格闘技&ノールール系

ニュージャパンキックボクシング連盟

北流会君津ジム主催興行

11月24日（日）　千葉県・木更津市民体育館

◆試合開始/16:30
◆入場料/SRS席7,000円　A席5,000円　2階立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ニュージャパンキックボクシング連盟事務局
◆会場アクセス/JR木更津駅西口から日東バスソニー木更津行にて市役所下車徒歩1分
◆お問い合わせ/ ニュージャパンキックボクシング連盟事務局☎03-5625-2371

決定対戦カード

中村篤史 vs ナルンチャイ・タニヤマ
（北流会君津）　（タイ）

佐々木功輔 vs 新美友恒
（北流会君津）　（大和）

山本雅美 vs 猪野大輔
（北流会君津）　（千葉ジム）

～引退試合～

相澤吉彦 vs グライガンワーン・オースイブワローイ
（北流会君津）　（タイ）

J-NETWORK

The Magnificent 5

12月1日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/15:00　試合開始/16:00
◆詳細未定
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

"日・タイ5VS5対抗戦"
～5回戦～

増田博正 vs サイナムノーイ・シッパイペチ
（ソーチタラダ）　（タイ）

西山誠人 vs ペチプペヤン・スコータイ
（ソーチタラダ）　（タイ）

ラビット関 vs ポンモンコン・コンゲンスポーツスクール
（MA・山木）　（タイ）

蔵満誠 vs ゲーンペット・パンムイタイ
（JMTC）　（タイ）

浦林幹 vs ポンサワット・デチャマド
（JMTC）　（タイ）

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦

11月15日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30
◆試合開始/18:30
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、KEEL CAFE☎03-5725-7338、フィットネスショップ水道橋、後楽園ホール、書泉ブックマート、大盛堂書店☎03-5784-4900、e-ticket
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

佐藤ルミナ vs タクミ
（SHOOTO GYM K'zFACTORY）　（パレストラ東京）

フェザー級サバイバー・トーナメント1回戦

勝村周一朗 vs アルフィ・アルカレズ
（SHOOTO GYM K'zFACTORY）　（ニックワン・キック・ジム）

〈02年度新人王トーナメント ミドル級決勝戦〉

弘中邦桂 vs 徳岡靖之
（SSSアカデミー）　（パレストラ加古川）

〈02年度新人王トーナメント ライト級決勝戦〉

門脇英基 vs 小松寛司
（和術慧舟會）　（総合格闘技道場コブラ会）

〈02年度新人王トーナメント バンタム級決勝戦〉

漆谷康宏 vs 阿部マサトシ
（RJWセントラル）　（AACC）

ZST

THE BATTLE FIELD『ZST』旗揚げ大会

11月23日（土・祝）　東京・ディファ有明

◆開場/16:00　試合開始/17:00　◆入場料/VIP12,000円　SRS8,000円　S席6,000円　A席4,000円　自由席3,000円　※当日券は1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:505-483）、ローソンチケット（Lコード:38880）、後楽園ホール、書泉ブックマート、ビデオショップチャンピオン　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/『ZST』事務局☎03-5321-9595

決定対戦カード

松本天心 vs 真霜拳號
（SKアブソリュート）　（KAIENTAI-DOJO）

サム・ネスト vs 園田隆
（リングス・オーストラリア）　（A3ジム）

所英男 vs 坪井淳浩
（チームPOD）　（フリー）

佐々木恭介 vs 小野瀬哲也
（U-FILE CAMP.com）　（ストライプル）

プロフェッショナル修斗公式戦

12月14日（土）　千葉・東京ベイNKホール

◆開場/14:00　◆試合開始/16:00　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　SS席10,000円　2階パノラマ席12,000円　2階パノラマ席10,000円　2階S席8,000円　2階A席6,000円　2階B席4,000円　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、KEEL CAFE☎03-5725-7338、フィットネスショップ水道橋、後楽園ホール、書泉ブックマート、チケット&トラベルT-1、大盛堂書店☎03-5784-4900、e-ticket　◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅よりディズニーリゾートラインに乗車、ベイサイドステーション下車、徒歩1分　◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

▲NKで五味VS三島は実現するのか!?

Result!

プロフェッショナル修斗公式戦
10月27日　大阪・NGKホール

第5試合（02年度新人王トーナメント ウェルター級決勝戦　5分2R）
○川尻達也（1R4分40秒腕ひしぎ十字固め）尾松賢●
（総合格闘技TOPS）　（総合格闘技道場コブラ会）

第4試合（5分2R）
○池本誠知（判定2-0）岩瀬茂俊●
（ライルーツコナン）　（総合格闘技TOPS）

第3試合（5分2R）
○桜井隆多（1R3分23秒TKO）北川純●
（総合格闘技TOPS）　（シューティングジム神戸）

第2試合　ウェルター級5分2R
○中蔵隆志（判定3-0）滝田J太郎●
（シューティングジム大阪）　（和術慧舟會）

第1試合（5分2R）
○田中寛之（判定3-0）加納学●
（直心会格闘技道場）　（相補体術）

出場予定選手

今成正和（TEAM ROKEN）
小谷直之（ロデオスタイル）
矢野卓見（烏合会）

全日本キックボクシング連盟

BACK FROM HELL-Ⅰ

11月17日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:30(17:30からオープニングファイトあり)
◆入場料/RS席10,000円 S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円 ※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171 http://www.aj-kick.com

決定対戦カード

小林聡vsロベルト・バッシリ
（藤原） （イタリア）

安川賢vs金相俊
（S.V.G） （韓国）

竹村健二vs前田尚紀
（名古屋J・Kファクトリー） （藤原）

石川直生vsラスカル・タカ
（青春塾） （月心会）

清水貴彦vs千葉友浩
（超越塾） （TEAM-1）

決定対戦カード

新田明臣vsニール・ウッズ
（S.V.G） （イギリス）

花戸忍vs大宮司進
（高橋道場） （シルバーウルフ）

安部康博vsコブス・ハイサマン
（建武館） （南アフリカ）

藤原あらしvs牧裕三
（S.V.G） （J-NET/アクティブJ）

サトルヴァシコバvs山本元気
（勇心館） （REX JAPAN）

Result!

IKUSA その弐「雷襲」
10月27日（日） 東京・Club WOMB

Wメインが突如中止に！

土屋ジョーのキックボクシング復帰ということで、話題となった今大会だが、外国人選手の失踪というハプニングで試合が中止になった。後日、主催者より送付されたリリースによると、予定されていた土屋ジョー（エイワ谷山）VSビリー・ザ・キッド（アメリカ）戦、熊谷直子（不動館）VSヌアンシエン（タイ）戦は両選手とも負傷のため来日不可能となり、土屋ジョーVSホーク戦、熊谷直子VSアリサン・ケーシー戦に変更された。だが試合当日、両外国人選手を代理人が宿泊先へ呼び出しに行ったところ応答がなく、バックステージは「両選手が交通事故にあった」「食あたりにあった」など情報が交錯し一時騒然となった。スタッフを出して捜索したが、一向に選手は見つからず、結局、土屋ジョーVSグライガンワーン、熊谷直子VS早千予の2R2分のエキシビジョンマッチになった。なお主催者側の配慮で隼人（フェニックス）VSデイビッド（真樹ジムオキナワ）がメインとなった。 ※このイベントの半券を持っている方は、来年上旬に行われる次回大会に無料で入場できる。

▲リング内に観客を入れ、目の前でエキシビジョンマッチを行った土屋

BACK FROM HELL-Ⅱ

12月8日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:30(17:30からオープニングファイトあり) ◆入場料/RS席10,000円 S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円 ※当日券は1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171 http://www.aj-kick.com

新田明臣がリングに帰ってくる！

いよいよ新田明臣が12・8後楽園ホール大会で復活する！ 今年2月11日、国立代々木競技場第2体育館で行われた『K-1 WORLD MAX 日本代表決定トーナメント』で大野崇に敗れて以来、試合から遠ざかっていたが、負傷したアゴのケガも完治し、ハードなトレーニングを行っている。新田のファイトから目が離せないぞ！

大宮司のリベンジなるか!?

セミファイナルの花戸忍VS大宮司進の一戦は、3月30日に開催された60kg級日本一決定トーナメント『COMBAT 2002』の1回戦で行われている。勢いのある大宮司が有利と思われていたが、ヒザでダウンを奪われるなど、花戸に完敗を喫した。大宮司にとっては念願のリマッチ。絶対に負けられない一戦だ！

花戸忍VS大宮司進

ターゲット

FIGHTING SPIRIT ～証～

11月24日（日） ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00 試合開始/16:30
◆入場料/RS席6,000円 自由席3,000円 ※当日券はRS席8,000円 自由席4,000円
◆会場アクセス/JR大森駅西口徒歩1分
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆お問い合わせ/ターゲットオフィス☎03-5718-3939

決定対戦カード

AKAMINEvs阿部勝
（ターゲット） （クロスポイント）

上原力vs荒川智哉
（宇留野道場） （クロスポイント）

ヒデミ好vs壷坂健
（ターゲット） （クロスポイント）

ファビアーノ青木vs岡本REY
（ターゲット） （千葉ジム）

小野明洋vs高橋忠一郎
（宇留野道場） （クロスポイント）

奈良健一vs山崎将虎
（宇留野道場） （クロスポイント）

吉原嵩哲vs植松辰弥
（ターゲット） （シーザージム）

古川健太vs秩父正
（ターゲット） （千葉ジム）

その他

リアルディール

格闘イベント リアルディール
12月15日（日） 福岡市民会館

◆開場/15:00 試合開始/16:00(15:00よりアマクラスの試合あり）
◆入場料/SRS席10,000円 S席7,000円 指定A席5,000円 自由席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、リアルディールジム
◆会場アクセス/市営地下鉄線天神駅、西鉄大牟田線福岡（天神）駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/リアルディールジム☎092-845-7027

アマチュア

精龍會中國拳法道場

実践中国拳法&異種格闘技オープントーナメント 第12回闘龍比賽
12月1日（日） 栃木県立北体育館

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR宇都宮線西那須野駅または野崎駅下車、タクシー15分
◆お問い合わせ/精龍會中國拳法道場統括事務局☎0287-29-2063

アマチュア修斗

アマチュア修斗公式戦 八景フリーファイト
11月24日（日） 神奈川・シューティングジム八景

◆詳細未定 ◆会場アクセス/京浜急行「六浦」駅より徒歩10分 ◆お問い合わせ/東京イエローマンズ☎03-3927-5528、シューティングジム八景☎045-786-1818

アマチュア修斗公式戦 鳥取フリーファイト
11月24日（日） 鳥取県立武道館

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR米子駅前からバスで自衛隊正面門下車徒歩7分 ◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

アマチュア修斗公式戦 どえりゃーフリーファイト7
12月22日（日） 愛知県・アライブ

◆詳細未定
◆お問い合わせ/アライブ☎052-719-0133

T.A.M.A.

格闘技サミット・チャンピオンファイト・トーナメント
12月15日（日） 東京・Z-ZONE NAGAYAMA

◆試合開始/12:00 ◆入場料/3,000円 ※当日券は1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆会場アクセス/小田急線永山駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/T.A.M.A.☎042-572-6795

決定対戦カード

―特別エキシビジョンマッチ―

大塚裕一 vs 平直行
（T.A.M.A.） （ストライブル）

スタンディングルール・トーナメント（3階級）
フリーファイトルール・トーナメント（3階級）

女子ボクシング

FIGHTING GIRL Ⅳ
12月18日（水） 東京・代々木第二体育館

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/全指定席5,000円 ◆チケット発売/11月16日（土） ◆チケット発売所/キョードー東京 ◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/協会事務局☎03-3485-4446

対戦カード

シャロン・アニオス vs ライカ
（コンバットドームジム） （山木）

Nicol Cubillo vs 八島有美
（オーストラリア） （ゴールドジム横浜馬車道）

菊川未紀 vs 土田奈緒子
（桶狭間） （入谷）

ミサコ山崎 vs 山口直子
（岩井） （山木）

ジプシー・タエコ vs 渡邊久江
（山木） （LIMIT）

袖岡裕子 vs 八木橋悦世
（SPEED） （MUSTANG）

空手

正道会館

第10回フルコンタクトオープントーナメント 全九州空手道選手権大会 WHO IS NO.1 AT KYUSYU?
11月17日（日） 宮崎市総合体育館

◆開場/11:00 開会式/13:00 ◆入場料/大人2,500円 小人1,000円（中学生以下） ◆会場アクセス/JR宮崎駅東口より徒歩2分 ◆お問い合わせ/正道会館宮崎支部☎0985-25-9670

第14回オープントーナメント 2002東日本新人戦空手道選手権大会
11月24日（日） 戸田市スポーツセンター

◆試合開始/10:00 ◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/正道会館東京本部☎03-5285-1966

極真会館

KOBE'S CUP 2002
12月15日（日） 兵庫県立総合体育館

◆開場/9:00 開会式/10:00 試合開始/10:30 ◆入場料/無料
◆会場アクセス/阪神電鉄甲子園駅より、阪神バス鳴尾浜行きに乗り、県立総合体育館下車
◆お問い合わせ/中村道場☎078-531-0664

大道塾

北斗旗空道無差別選手権
11月17日（日） 国立競技場代々木第2体育館

◆開場/9:30 開会式/10:00 試合開始/10:30 ◆入場料/SS席5,000円 S席4,000円 A席3,500円 （中・高生1,500円） ※当日券は1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ ◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、営団地下鉄表参道駅下車徒歩5分 ◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999
ローソンチケット ☎03-3569-9900
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
オデッセー ☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513
レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
チャンピオン ☎03-3221-6237
書泉ブックマート ☎03-3294-0011
フィットネスショップ水道橋 ☎03-3265-4646
後楽園ホール ☎03-5800-9999
e+（イープラス） http://eee.eplus.co.jp ☎03-5749-9911

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S&T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F&B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4ルーメリ赤坂103
☎03-5775-5700

S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021 東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212

極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

《8・22　76号》

●夏のイベント最新情報/真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは？　8・28『Dynamite!』国立競技場編/8・8 UFO『LEGEND』東京ドーム編/8月、プロレス界編、小林まことvs吉田秀彦、桜庭のハイキック特訓を潜入取材、プロレス者の夏休みの課題＝I編集長&ターザン山本を読もう！
●SRS・DXの注目！/9・7 DEEP有明大会最新情報　田村潔司、美濃輪育久インタビュー、/真夏の極真ニュース/8・25 SB大阪大会情報/柔主vs小松麗裟夫対談/小林聡インタビュー
●特集/9・22 K-1ジャパンGP決勝戦　武蔵、中迫剛、富平辰文、天田ヒロミインタビュー
●大会レポート/7・28パンクラス、7・27新日本キック

《9・12&9・26　合併号　77号》

●いざ、国立10万人の祭典 8・28『Dynamite!』最終情報/桜庭和志インタビュー/決戦直前！　吉田秀彦vsホイス・グレイシー、ホイス来日会見、吉田秀彦、準備OK！/ボブ・サップ インタビュー/ドン・フライ インタビュー
●大会詳報/8・8 UFO『LEGEND』東京ドーム大会&8・10『一撃』NK大会
●特集/9・22 K-1ジャパンGP決勝戦（後編）野地竜太、ノブ・ハヤシ、大石亨
●最新情報/8・25 パンクラス、9・7 DEEP有明大会、9・16 修斗 横浜文体大会
●大会速報/8・17 K-1ワールドGPラスベガス大会
●SRS・DXの注目！/ターザンが斬る、今年のG1とは？

《10・10　臨時増刊号　78号》

●完全速報/8・28『Dynamite!』国立大会 吉田秀彦vsホイス・グレイシー、桜庭和志vsミルコ・クロコップ、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvsボブ・サップほか
●大会詳報/8・25 パンクラス大阪大会
●直前情報/9・7 DEEP有明コロシアム大会
●噂の三面記事/9・22 K-1 JAPAN GP、10・5 K-1 WORLD GP開幕戦、10・11 K-1中量級大会、9・29 PRIDE決定カード
●SRS・DXの注目！/スペシャル対談★シーザー武志×平直行
●スペシャルインタビュー/ビル・ゴールドバーグ

《10・10　79号》

●完全速報/9・22 K-1 ANDY SPIRITS JAPAN GP決勝戦 大阪城ホール大会　K-1の侵略者、サップ大暴れ、JAPAN GP決勝戦は武蔵がジャパン王座奪回！
●特集/Dramatic! 吉田秀彦。インタビュー&証言/SRS・DXスカウト隊 第2の吉田秀彦を探せ！　柔道界★井上康生インタビュー、相撲界★旭道山インタビュー、レスリング界★小林孝至インタビュー
●直前情報/10・5 K-1 WORLD GP 開幕戦、10・11 K-1 WORLD MAX 有明大会、9・29 PRIDE.22名古屋大会 全対戦カード&見どころ
●大会詳報/9・7 DEEP有明大会、9・16 修斗 横浜文体大会

《10・11　80号》

●完全速報/10・5 K-1 WORLD GP 2002 開幕戦　ボブ・サップがK-1を破壊！　スリータイムチャンピオン・ホーストに激勝！
●12・7 決勝大会抽選会&決勝進出選手コメント
●大会詳報/9・29 PRIDE.22名古屋大会、検証◎日本人全敗をどう思う？
●ビッグ対談/ボブ・サップvsターザン山本
●SRS・DXの注目！/『WRESTLE-1』発進！　会見&座談会
●インタビュー/K-1ジャパン王者・武蔵が大宣言！
●大会レポート/9・29 パンクラス横浜大会、9・22 SB 後楽園大会

《11・14　81号》

●最新情報/11・24 PRIDE.23対戦カード最新情報
●ビッグ対談/髙田延彦VSターザン山本
●緊急★大特集/ボブ・サップとは何か？　全試合プレイバック、サップのボディ ほか
●大会詳報/10・11 K-1 WORLD MAX 2002
●インタビュー/K-1 WORLD GP決勝進出7選手に直撃！
●SRS・DXの注目！/アンドレイ・コピィロフVSターザン山本対談、極真カラテ全日本大会プレビュー、新連載/プロレス版・覆面座談会

バックナンバーに関するお問い合わせは……
扶桑社 販売企画部　☎03-5403-8859まで

※バックナンバーはSRS・DX直営ショップ「グレート・アントニオ」でも扱っています。ただし、完売した号もありますので、予めご確認ください。　グレート・アントニオ☎03-3219-9550

WRESTLE-1からPRIDE.23まで、次のSRS・DXは見所タップリだぁ〜っ！

次号予告　NEXT ISSUE

完全速報
東京ドーム大会
11・24PRIDE.23
髙田！桜庭！金原！ヤマケン！Uインター勢の闘いを刮目せよ！
もちろん、吉田×フライ戦も見逃すなっ！

詳報
11・17 WRESTLE-1 横アリ大会
ボブ・サップの闘いぶりに注目！

11/28(木)発売！

2002 12/12号　No.83
SRS DX
スペシャル・リング・サイド

毎月第2・第4木曜日発売　定価680円（税込）　発行・発売/（株）扶桑社　編集/（株）ローデス

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

W−1&『プライド23』直前予想！ 髙田延彦に"幻のカード"浮上か!?

博士 原稿締め切りになっても注目の『W−1』のカードがボブ・サップVSグレート・ムタしか発表されていない。

玉袋 『W−1』とは「レスリング1試合」の意味だったら嫌ですけどね。

博士 女子プロの駐車場興行だって2試合はやるぞおい！

玉袋 とにかく謎だらけですけど、ボブ・サップが出るというだけで会場に行きたくなるのは不思議ですよ！

博士 それだけサップに集客効果があるってことだ。

玉袋 サップ出現まで、それこそ殺風景だったプロレス界が本当の意味のサップゥ景になりましたよ。

博士 ダジャレまでサップ頼みかよ！

玉袋 サップが来てからマット界に大うねり発生ですよ！ 「ボブ・サップ」とはアイヌ語で「波の砕ける所」という意味ですし。

博士 それは、ボブ・サップじゃなくてノサップ（納沙布）だろ！ 『W−1』は新しいプロレスの壮大なる1ページ目となる大会。何が起こるか分からないけども、絶対に何かあるはずの大会だ。

玉袋 開発していないと言い張っていたけど、実際には開発していた北朝鮮の核みたいですね。

博士 何と比べてるんだよ！

玉袋 せめて新しい試みで、芸人としてウドちゃんに絡んだ歌舞伎町の卑怯な5人組の男たちと芸人が闘う5VS5の対抗戦を実現させてほしいですよ！

博士 たしかにウドちゃんを襲った奴らは同じ芸人仲間として許しがたい。

玉袋 あの男たち5人とドリフターズとの団体対抗戦だ！

博士 なんでドリフが芸人代表で出るんだよ！ 全員袋叩きだよ！

玉袋 でも『W−1』には猛烈に惹かれるものがあるんですよ！

博士 どうなるか分からないオモロさなんだよな。

玉袋 『W−1』に限って言えばもうカード発表はいらないですよ！

博士 最近のプロレスはカード発表でオチが読めちゃうカードがほとんどだった。

玉袋 客にその読ませる間を与えないカード発表がいいですよ！

博士 観客は会場に入った瞬間からとんでもないことを体験するってのが最高だ！

玉袋 入るなりモスクワの劇場ぐらいのハプニングが起きるんですよ！

博士 そんな人質になりたくないよ！

玉袋 ZERO−ONEの橋本も小川と組んで魔界倶楽部の向こうを張る破壊倶楽部で登場してくれないかな？

博士 そんなパロディじゃ新しいプロレスと呼べないよ！

玉袋 だったら選手が全員いろんなキャラクターの覆面被ってさ、覆面パーティースタイルで興行するのはどうでしょうか？

博士 それぐらいの発想だったら、わざわざ『W−1』はやる必要ないだろ！ 試合しなくてもプロレスを超えるプロレスを表現してくれたら最高だったりするんだが。

玉袋 伊勢崎の小さな町を恐怖のどん底に陥れたミスター・ポーゴを目指せ『W−1』！

博士 伊勢崎の小さな町よりも世界を照準にするに決まってるだろ！

玉袋 とにかくプロレス業界の封鎖的状況に風穴を開けて、プロレスラーのステイタスの底上げが期待できる場なんだから、「美味しい」と思ってこぞって参加してほしいです！

博士 そして『W−1』から『プライド23』だ！

玉袋 髙田延彦引退試合ですよ！

博士 対戦相手が何度言っても驚くが、髙田延彦因縁の相手……。

玉袋 佐々木健介！

博士 なんでだよ！

玉袋 俺は田村潔司よりも神宮球場で試合が決まっていたはずなのにドタキャンになった髙田VS健介が見たいんですよ！

博士 今更見たくないだろ！

玉袋 オイ！ 永島のたぬきオヤジ！ 実現してみろ！

博士 なんで今更リキ・永島企画に文句言ってんだよ！ 考えてみりゃ、健介ってドタキャンとかそんなカードばっかりだろ！

玉袋 ある意味なつかしのフレーズの「プッツン女優」並みのドタドタぶりですよ！

博士 健介は辞表出したのにもかかわらず復活するわ、最高のプッツンぶりだから、もしかしたら煽られたら今になって突然髙田戦を宣言するかもしれないから煽るな煽るな！

玉袋 だからこそ『W−1』で佐々木健介VS鈴木みのるのマッチメイクを！

博士 だから、『W−1』はそういう旧態依然とした世界観じゃダメだって言ってるだろ！

玉袋 正直スマン！

博士 大人の世界なんだから、もうそれじゃ通じないよ！

玉袋 髙田VS田村が決定して喜んでいたら、ケガを押して桜庭和志選手の参戦も決定！

博士 これは、ファンとしては出てほしいけど、怪我を押しての出場で、また大きなケガをしてしまうんじゃないかと心配で仕方ない。

玉袋 選手寿命に関わることですよ！

博士 この時点で対戦相手はまだ決まっていない。

玉袋 ここは一つ、シビアな相手ではなく、イージーな相手でいってほしいですよ！

博士 そうは言っても、それじゃ『プライド』らしくない、厳しい闘いに挑むからこそ桜庭和志の今回の本気が見えるんだよ！

玉袋 だったら、ボブ・サップあたりと……。

博士 バカ野郎！ できるわけないだろ！ ここは参戦の意思を固めた桜庭和志に拍手だ！ そして「『プライド』参戦か？」と言われ続けて、はや幾年。やっとの思いで元Uインターで元リングスの金原が参戦。

玉袋 実に24年ぶりの参戦！

博士 なんで北朝鮮に拉致された家族の年数になってるんだよ！

玉袋 しかし、金原選手は今度名前を変えたでしょ？

博士 名前というか、読み方は一緒だけど漢字を変えたんだよ。

玉袋 金原弘光改め、

博士 金原弘光改め！

玉袋 金原ヒロミツ！

博士 鈴木ヒロミツじゃねぇんだから違うよ！ 金原弘……この書体じゃまだ印刷所で印刷できないだろ！

玉袋 ったく、これじゃシウバよりもこっちの紙媒体のほうがギブアップですよ！

博士 ほかにUインターの選手は参戦するんだろうか？

玉袋 山本喧一VS菊田早苗の試合も見たい！

博士 知る人ぞ知る、物凄いマニア待望のカードだな。

玉袋 そして、垣原選手VSダチョウ倶楽部寺門ジモンのオオクワガタ捕獲対決！

博士 クワガタマニアの闘いなんて興味ないだろ！

玉袋 安生洋二VS前田日明のバックステージマッチ！

博士 やらないよ！

玉袋 中野龍……また名前変えちゃってるから、ワープロで出てこないよ！

博士 Uインターは名前を変える選手が多いな。中野龍雄改め中野巽耀だな。

玉袋 だったら、中野選手は意外な相手がいいですよ！

博士 ふ〜ん。

玉袋 中野龍雄VSベイダーなんか、『W−1』でないと組まない夢のマッチメイクですよ！

博士 Uインター時代に実現してるだろ！ 誰もが「中野がベイダー？」って思ったカードだよ！

玉袋 そして鈴木健社長がなぜか一億円持って入場！

博士 借金まみれだって本人が言ってたから無理に決まってるだろ！

玉袋 鈴木、宮戸、安生がリング上でリキ・永島企画と対談！

博士 なんで対談する必要があるんだよ！

玉袋 電話握った長州が「よし、東京ドーム押さえろ」。

博士 って、なんで東京ドームリング上で今更会場押さえるんだよ！ そして柔道の吉田秀彦選手の対戦相手がドン・フライに決定！ 吉田選手は男の中の男との対戦を望んだ！

玉袋 いまやスポーツ界の男の中の男といえば、横浜ベイスターズのドラフト1位候補だった立教大学のエースぐらいしか見当たらないですからね。

博士 男の中の男の意味が違うよ！ とにかくこれから年末に向けて爆発力ある大会目白押し！

玉袋 そろそろ北朝鮮から日本に向けて飛んでくる核弾頭積んだテポドンクラスの破壊力ですよ！

博士 それは飛んでこなくていいよ！

玉袋 ウ〜ンDynamite!! ■

極真会館

第34回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
11.2~11.3★東京体育館

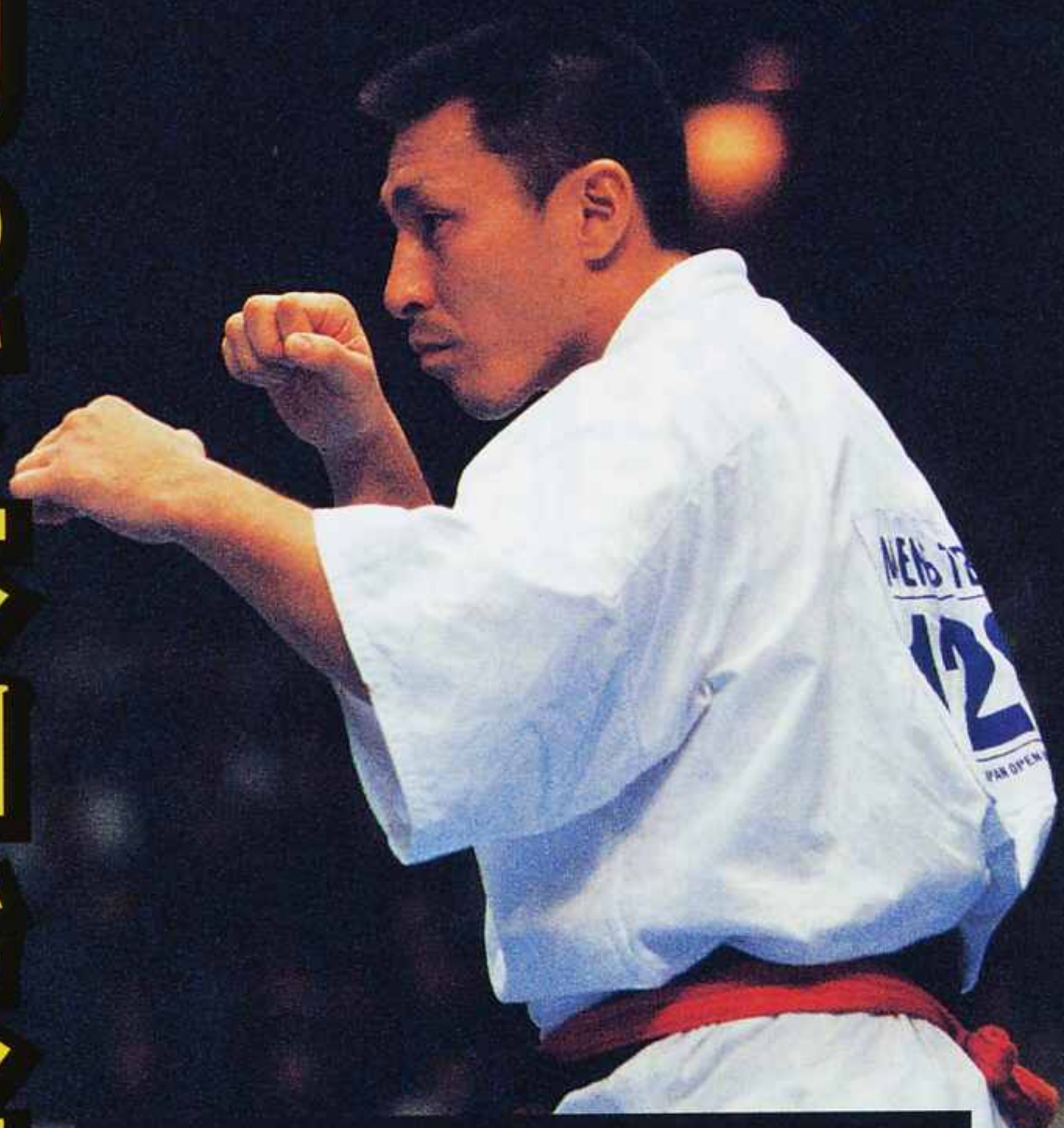
キラー数見、降臨!

左足中指骨折、右足はヒビでこの強さ!こんなに凄い極真王者見たことない!

ディフェンディング王者・木山を破り、見事、王座に返り咲いた数見。両足にケガを負っているとは思えない強さだった

初めて木山を〝潰し〟にいく
不動明王・数見肇を見たっ！

決勝までは無理をせず巧さで勝ち上がった数見だったが、決勝ではキラーに変貌。アグレッシブな攻めで木山をわずかながら圧倒していった

▲2カ月前に中指を骨折した左足も痛くないわけはない。しかし、数見の蹴りにはなんの躊躇もなかった

▲決勝まで使わなかった右足。実は2週間前にヒビが入っていたのだ。それでも、決勝では思い切り蹴りを出していった数見。「折れても蹴る」という悲壮な決意で決勝に臨んでいた

極真は忘れかけた頃に感動がやって来るのか？　ここ最近のK—1や『プライド』、そして『Dynamite！』のようなイベントが乱発されると、かつて〝地上最強のカラテ〟を標榜した極真も、正直、地味に見られがちになってきている。特に、カラテ日本がフランシスコ・フィリォに王座を奪われてからは、外国人に〝あっさりと〝負けていく日本人の姿だけが目立っていた極真だった。

ところが、今回の全日本大会はそんな極真の負のイメージを払拭してくれるほどの素晴らしい大会だった。それを見せてくれたのはここ十年間の極真を支え続けてきた数見肇。この男、本当に素晴らしすぎる——！

今大会は数見VS木山、どっちが真の日本最強かを決するという、分かりやすい対立図式があったため、決勝戦の日は久々に東京体育館に、ファンが長蛇の列を作った。

その中で、私の予想はズバリ、木山の優勝だった。そんな予想をしたのは、木山が昇り調子で勢いがあるからだけじゃない。私がむしろ気になっていたのは、数見が燃え尽き症候群から抜け出しきれていないと思っていたからだ。

3年前の第7回世界大会、数見VSフィリォの死闘。この一戦はまさに互いの全人格、全人生を賭けた極真史上に残る名勝負だった。勝って雄叫びをあげ、K—1でも見せたことのない喜びの涙を流すフィリォも印象的だったが、強烈な記憶として残っているのは、敗れたあとの数見の表情だった。外国人に初めて王座を奪われてしまったあまりにも重い一敗……。あ

極真会館

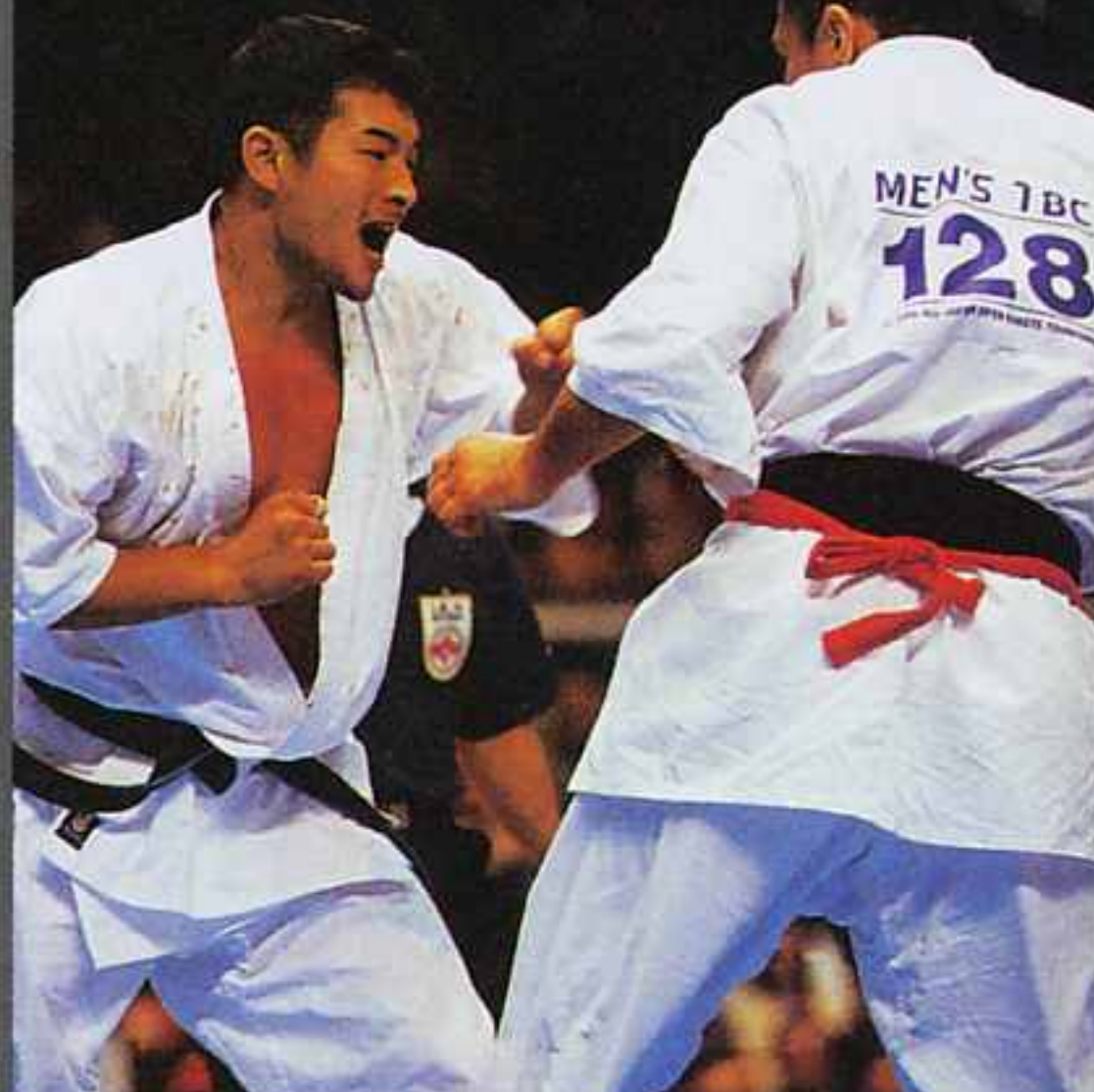
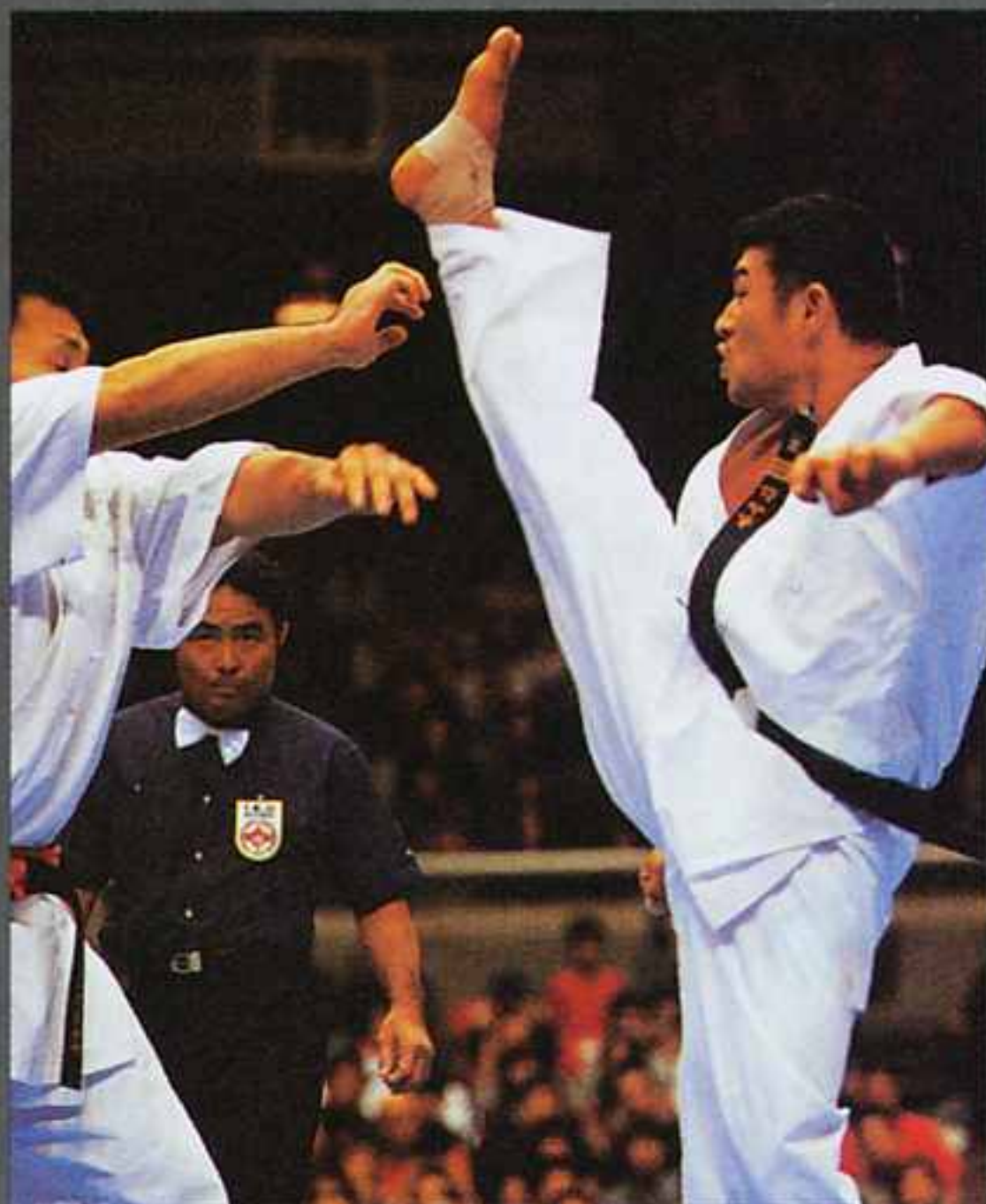
第３４回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会

11.2〜11.3★東京体育館

考えてみたら、フィリオは数見に対し引き分け狙いで勝っただけなのだ

木山も必死に数見を倒しにいった！

上段回し蹴りが数見の顔面をかすめたシーンもあったが、数見は直後に下段回し蹴りを返していった

★決勝戦
○数見肇（再延長戦3-0優勢勝ち）木山仁●
＜千葉中央支部＞ ＜鹿児島支部＞
※本戦2-0、延長1-0（いずれも数見）

▲数見を破って真の王者になりたい木山は、持ち前のアグレッシブネスを出して、数見を倒しに行く

▲数見の重い攻撃に押されながらも、木山は得意のカカト落とし、後ろ回し蹴りなど大技も繰り出していった

▶一発一発に渾身の力と魂を込める木山。「手応えはあった」（木山）そうだが、数見は効いた素振りを微塵も見せなかった

◀再延長の末の判定で、勝負はついた。勝ち負けを決するのが酷なほどの好試合に、いつまでも拍手が鳴りやまなかった。このシーンには胸が熱くなった

んなに深刻に敗北を受け止めた男の表情を見るのは、初めてだったような気がする。

あれ以来、数見は脱け殻のようになっていった。世界ウェイト制で復活した時の数見は、優勝したとはいえ、とてもフィリォと闘った時の数見ではなかった。明らかに、重い一敗のあと、数見は燃え尽き症候群に陥っていたのだ。

そんな数見では、今の木山には勝てない。木山は数見くらい精神力が強いし、日本人のひとつの組手の完成形を見るように強い！数見と比べて、オールラウンドプレイヤーな組手ができるところも、ポイント勝負となっても非常に有利だと見ていたのだ。

そんな木山に対し、驚くことに数見は〝潰し〟にかかった。相手の攻撃を全て見切り、さばいてカウンターを返すのが数見の身上ならば、こんな凄い形相で木山の足でも折ってやろうと潰しにかかる姿は初めて見た。

まさに、キラー数見、降臨！しかも、数見が木山を潰しにかかったのは、自分の位置まで駆け上がってきた若造の鼻をへし折ろうとしたからではない。数見がそれほど鬼の形相に変貌したのは、自分自身と闘っていたからだった。

驚くべきことに、数見は大会2カ月前に左足の中指を骨折しながらも、廣重師範の「辞めるか？」という言葉を制し、さらに大会2週間前に右足のスネまで骨折していたというのだ。

たしかに決勝戦まで、数見は一発も右の蹴りを出していない。左足一本で、レベルの高い極真の決勝まで上がってきたんだから、そ

3年前、日本には数見しかいなかった　しかし、今は木山、田中、野地、洪……

いつの間にか逞しくなったカラテ日本！

数見のコメント

「長い期間、試合から遠ざかっていたので、その間に周りの選手がどんどん伸びてきているし、その中で自分が闘っていけるのかなという不安との闘いでした。木山選手は気迫が凄くて、本当に倒せるのかという不安もよぎりましたが、自分を信じて闘いました。やっとのことで勝てたという感じ、本当にしんどかったです。（左足を2カ月前に骨折、右足は2週間前にヒビが入っていたそうですが？）ケガは自分に限らず選手はみんなしていると思うんで。決勝戦は、もう骨が砕けてもいいという気持ちで蹴りました。今回、優勝という結果でしたけど、反省点が多く見つかったので、それを克服して世界大会に臨みたいと思います」

木山のコメント

「（数見選手は）強かったです。体力とか全てのものが強かったですけど、特にハートが強いと思いました。昨年、一昨年と優勝して、今まで練習してきたことが通用しなかったというのが非常に悔しいです。自分の闘い方はできたと思いますけど、自分のペースまでもっていくことができなかった。まだまだパワー不足です。周りの人にいくら素晴らしい試合だったと言われても、結果が出せなかったので、また一からやり直しです。自分の実力が上がっている感触はありましたし、パワーも付いてきたとは思いました。でも、まだまだです。今回のことを踏まえ、いろいろ反省して悪かった点を直し、来年また優勝を目指して頑張ります」

▲4回戦。住谷統の後ろ回し蹴りに右の下段を合わせる数見。右足での攻撃はほとんどしていなかったが、咄嗟に反応した。さすが数見というべきか

4回戦。いぶし銀・市村直樹を木山は豪快な上段回し蹴りで一蹴。場内を大歓声が包んだ

◀準決勝。数見はこの試合もほとんど左の蹴りだけしか出さなかったが、それでも、新進の徳田邦忠を寄せ付けず、本戦5－0で優勢勝ち

▲試割りは隣同士だった木山と数見。数見が試割り賞だったのに対し、木山は失敗の連続だった。思えば、ここから……

▲準決勝。初のベスト4進出を果たした田中健太郎の進撃もここまで。木山相手に本戦はほぼ互角に渡り合った（1－0）が、延長で5－0と差がついた

入賞者。左から6位・入澤群、7位・市村直樹、準優勝・木山仁、優勝・数見肇、3位・田中健太郎、3位・徳田忠邦、5位・住谷統、5位・洪太星

れだけでも尊敬できるのに、さらに決勝戦では折れた右足も「どうなっても構わない！」とばかりに繰り出していった。この、とても試合に出れる状態じゃない肉体のハンディキャップが、数見をキラーに変えていったのである。

本当に凄い。こんな格闘家見たことがない。あらためて極真に数見がいる幸せを感じつつ、この男に心底惚れてしまった気分である。

しかし、凄かったのは数見だけじゃない。そんなキラー数見に対し、前半は気後れしたものの、後半もの凄い勢いで前に出ていった木山も、やはりただ者ではなかった。あんなに追い込まれた数見を見るのも初めて。フィリォ戦でさえ、数見はあそこまで追い込まれなかった。その意味で、敗れた木山の評価も決して下がることはなかった。

それにしても、美しくも激しい闘いだった。3年前、カラテ日本は数見一人でその牙城を守っているイメージだった。ところが、今はその数見と並ぶ木山というエースが誕生し、さらに田中健太郎、野地竜太、そして今大会で芽を出した徳田忠邦、洪太星といった人材まで揃ってきた。日本はもう王座を奪還できないんじゃないかという絶望の淵に、急に光が差し込んできたような気がする。

しかも、数見の復活は何か絶対的な信頼感の柱が一本立ったような気がする。考えてみれば、あのフィリォでさえ、数見に対しては引き分け狙いで勝ったフシがある（試割り差で勝利）。数見とは、それほど凄い男なのだ。ああ、数見のいる極真に万歳！　（谷川）

極真会館

第34回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
11.2〜11.3★東京体育館

総評◎松井章圭館長

「事実は小説より奇なり。決勝戦は近年稀に見る素晴らしい試合だった」

――予想されていた数見選手と木山選手、二人の決勝となりましたが。

松井　事実は小説より奇なりと言いますけど、小説でもこうはね、べつに仕組んだわけじゃないですけど、ストーリーどおりの決勝戦で。また、試合内容も充実していて素晴らしかったと思います。これを言ったら自画自賛になりますけど、本当に素晴らしい、極真らしい決勝戦でしたね。近年稀にみると言ったら、もちろん木山君の2連覇が価値のないものではまったくないし、立派な全日本チャンピオンだったと思いますけど、やっぱり、今年は素晴らしい決勝戦だったと思います。

――昨日今日と、数見選手をご覧になって、往年の連覇した頃の動きと比べて悪かったように思うんですけど、いかがですか？

松井　まあ、ケガがあったようなんで。逆に言うと、ケガがあったから用心深く順当に勝ち上がれたのかもしれませんね。でも、やっぱり数見君は強いんですね。改めて、この男は大したもんだなぁと思いました。素晴らしいですよ。木山君も素晴らしい選手ですよ。

――決勝が数見選手にとって、2日間で一番いい試合だったんじゃないですか？

松井　それはもちろんそうですね。やはり決勝で一番いい動きができるというのは、王者の条件でしょ。でも、今回の数見君は、往年のとか全盛のとか、そういう表現がありますけど、全盛だと思いますね、ある意味では。その彼と、前回、何年か前にはワンサイドだった木山君がああいう闘いをしたというのは、著しい成長があったということでしょう。木山君本人はどんな言葉を言われても、納得のいかないものは納得いかないと、反省しきりだろうし、悔しさいっぱいでしょうけど、僕らから見たら、ここ何年間の木山君の成長は数見君のそれを上回っていますよね。そういう意味では来年は分かりませんよ。数見君もここで気を抜くような選手ではないですけど、数見君は肉体的には厳しいものがあるわけじゃないですか、その部分、木山君はこれでまた気が引き締まって挑戦者に返れるわけですから、本当に来年が楽しみですよね。

――今回、数見、木山両選手以外で目に付かれた選手は誰かいますか？

松井　田中健太郎君がね、こういう表現をするとあれですけど、久しぶりに田中健太郎を思い出したなという感じですね。アメリカズカップ以降、低迷していた感がありましたけど、田中健太郎はやっぱり期待できるんだなと改めて感じました、彼には申し訳ないけど、忘れかけてました。田中健太郎君も捨てたもんじゃないですね。あとは徳田君。洪太星君は新人賞だけれども、彼に声を掛けてやりたいのは「来年は新人じゃないからな」と。新人だからあんなに慌ててもバタバタしても、振り返って時計を見ても許されましたけどね。田中健太郎君のライバル的な存在として、たしか同じ道場ですよね？

――年も一緒ですし、入門時期もほとんど変わらないみたいですね。

松井　そういう存在だったら、もう少し田中健太郎君のいいところを学べと言いたいですね（笑）。

――好対照ですよね。

松井　好対照っていうか、対照過ぎますよ（笑）。いい素材ですけどね、あのままじゃ大成しませんよ。名前も〝たいせい〟なんだからね（笑）。あと、市村君は地味な存在だけど、着実に勝ってくるし、素晴らしいですね。彼は支部長という責任のある立場で、数見肇に比肩する評価の対象ですよ。来年の世界大会でも頑張ってくれると思いますよ。

――入澤選手はどうですか？

松井　入澤君はねぇ……、いいかなぁと思ったけど、最後に転けましたね。あれがやっぱり入澤君なんでしょうね。入澤君はホントにいい素材ですし、強い選手ですけどね。要は、足立君もそうなんですけど、足立君と試合をやった時に、左足が効いたとみるや、右の下段一本に集中したような試合展開、あれがダメなんですよ。相手の効いた箇所に自分がコントロールされちゃっているわけですよ。自分のバランスを失ってね。彼は突きも強いし、蹴りも強いと、身体もいいし、スタミナもあると。それをどう活かすかということを考えないといけない。足立君も同じことが言えると思いますけどね。足立君は去年3位になりましたけど、その時、市川君もそうでしたけど、満身創痍で上がってきてしまう。それは自分の攻撃を入れるが故に、相手の攻撃をもらい過ぎてしまうという。自分が思うように動きたいが故に、相手の動作を無視してしまうようなところがあるからなんです。自分自身のことばかりでなく、まずは相手の存在を認識することですよね。そして、意識、間合い、力の強弱、動きの緩急、呼吸、そういった物事をちゃんと自分の中に取り込んで、技術的な稽古をしないと、ダメですよ。数見君なんかが、ああいう満身創痍の身体で、しかも久しぶりの試合で、地味な、決して派手に動く組手じゃないと。それでも、あそこまで勝ち上がるのは、他の人にない、相手を取り込んだ組手をするからじゃないですか？　だからこそ、ダメージを相手に与えられる、自分の組手に相手を引き入れられるというかね。そういうことだと思いますよ。前回の世界ウェイト制の時みたいに、自分の攻撃に意識が行くと、相手の存在がおざなりになって、ああいう試合展開になってしまう。彼は彼らしい動きをすれば、こういう結果が出るわけだから、ここで新たに一皮むけて、来年に臨めるんじゃないですかね。ケガをしないで体調を整えることですよ。稽古量に依存することで自信をつけるのではなく、稽古の質。身体は間違いなく消耗しているわけですから、それにムチ打ってやろうとしてもダメです。労りながら稽古の質を高めるということをしないと、骨も折れるし、筋肉も傷めるし、関節も痛める。身体を労りながら、気持ちも労りながら。ずっと彼は、前回の世界大会で負けたことを持ち続けていると思うんですよ。それに対峙して今まで来たから今日の結果があると思うし、来年はまた、それに期待したいと思うんですけどね。でも、もっとそれを感じなきゃいけないのは若い選手ですね。

――正道会館の選手については？

松井　正道の関係者にも言いましたけど、みんな素晴らしいけども、僕自身が子安君のファンなんでね、ラブコールを送りたいですね。世界大会にぜひ子安君を出したいですね。彼はそれなりの成果を残して世界大会に出てくれるんではないかと思いますけど。

――加藤選手ではなく子安選手ですか？

松井　いや、加藤君も素晴らしい選手だし、出畑君も素晴らしいですよ。正道のトップの選手たちは、うちの選手たちを出稽古に行かせたいくらい素晴らしい選手たちですよ。

――全日本大会を終え、来年の世界大会に向けて、王者奪還の手応えはありますか？

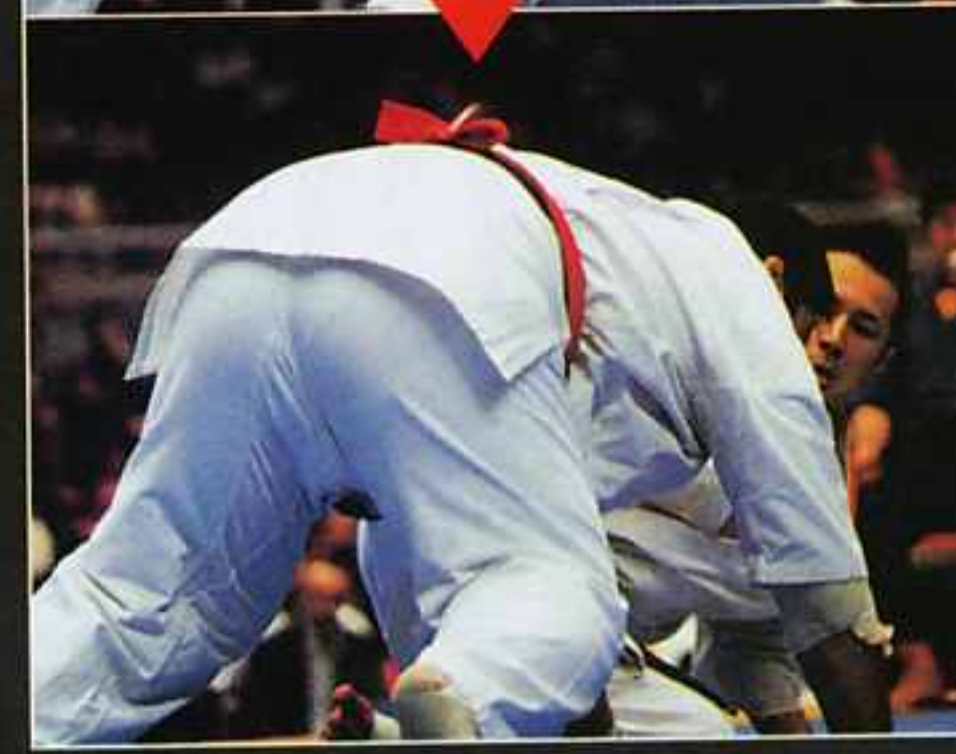
松井　日本は、贔屓目でなく、依然として。でもレベルにあると思いますよ、世界で高い。でも、今回来ていましたけどブラジルのテセイラであるとか、ロシアのオシポフとかレチとか、ブラジルにもロシアにも、優れた選手がそれなりにいるんで、一概に云々とは言えないですね。ここでやっぱり数見君にももちろん期待しますけど、さっき言ったような状況があるから、来年まで、とにかく来年が決戦だから、来年まで身体を労りながら、とにかく来年までもってほしい。強さを維持してね。それは僕の切なる思いですよ、願いというか。それから木山君は今回の結果をカンフル剤にしてさらに伸びていってほしい。彼はそれなりの働きを必ずしてくれると思います。それから野地君、今年の大会には出ていませんけど、彼の今までの活動っていうのは決して無駄にはならないだろうし、彼は全日本の上位に行けるような実力をすでに付けている可能性もあると思うんで、彼への期待も大きいですね。あとは、さっき言ったように、田中健太郎君。もう忘れさせないでくれよと言いたいですね。あとは、今回頑張った徳田君、徳田君に敗れましたけど市川君。若い選手が出てこないといけないですね、洪もですけど。■

大会前半戦を盛り上げた立役者は正道勢！

松井館長も観客も子安慎悟に首ったけ!!

2年ぶりの極真全日本出場となった子安慎悟だが、3回戦で木立裕之に敗退。ここで勝っていれば、大会はさらに盛り上がったはず

◀子安が2回戦で闘ったのは体重125キロの近藤博和。体格差を利して押しまくる近藤だが、子安も必死の反撃、そして……

圧巻！ 35キロ差を大逆転

延髄斬りを彷彿とさせる上段回し蹴りで技あり！ 35キロ差をハネ返す見事な一撃。初日のハイライトとも言える場面だった

昨年は加藤達哉がベスト8入りを果たした正道会館勢だが、今年は子安慎悟が3回戦敗退（ベスト32）、加藤が4回戦敗退（ベスト16）と、昨年以下の成績で終わってしまった。

それでも、正道勢を誉めないわけにはいかない。彼らが成績以上の存在感を示したのは間違いないのだ。数見肇VS木山仁のドラマチックな決勝戦で大団円を迎えた今大会だが、その前半戦を盛り上げたのは、他ならぬ正道勢だった。

まずは加藤。1回戦の相手が北信越大会をオール一本で制した藤田雅幸、2回戦では全日本ウェイト制（中量級）で優勝したこともある進裕治、さらに3回戦では世界ウェイト制重量級準優勝の門井敦嗣か世界ウェイト制中量級3位のホスロ・ヤグビと対戦と、まるで加藤包囲網のような組み合わせだったのだが、これを見事に勝ち上がっていった。

特に1、2回戦の出来は最高に近かった。動き出したら止まらない暴走特急状態のラッシュで相手を何度も場外へ押し出し、文句なしの本戦5―0勝利である。そして4回戦では木山と対戦。本戦で敗れはしたが、前年王者に乱打戦を仕掛け、一度は自分のペースに巻き込んでさえみせた。

他の選手で、ここまで大胆に木山に勝負を挑んだ者はいなかった。「本当のトップとは、まだまだ差がありますね」と語った加藤。だがこの〝完敗〟は決して恥ずべきものじゃない。

その加藤の先輩である子安はといえば、初日のハイライトとも言える場面を作った。近藤博和との

2回戦。180センチ、125キ

極真会館

第34回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会

11.2～11.3★東京体育館

「世界大会にぜひ子安くんを出したい」（松井館長）

土壇場で子安キック！

▶体重判定での不利は承知の子安。思わず憔悴した表情に。結果は木立74・9キロ、子安89・7キロで木立の勝利が決まった

3回戦。子安キックが木立の後頭部を襲う。土壇場であればあるほど大技が出るのが子安という男だ

★3回戦
○木立裕之（体重判定）子安慎悟●
＜本部直轄浅草道場＞　＜正道会館＞
※体重/木立74.9キロ、子安89.7キロ。判定は本戦から再延長まで0-0。

▲子安と木立、お互い一歩も退かない打ち合いは本戦から再延長まで全て判定0−0。勝負は体重判定へ

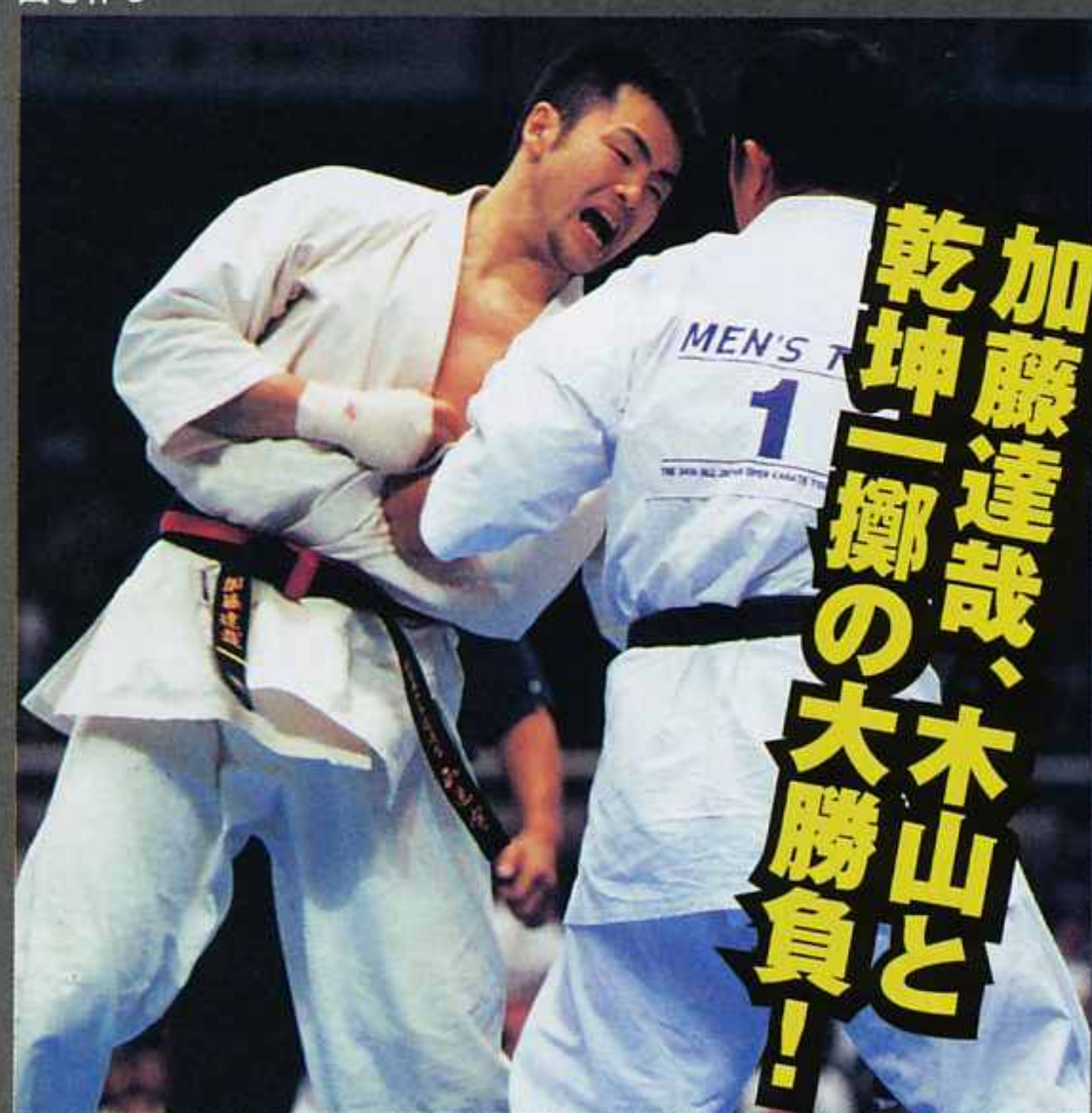
◀1回戦から3回戦までは、怒濤の連打で勝ち上がっていった加藤。1、2回戦は相手を何度も場外に押し出す電車道状態。3回戦はホスロ・ヤグビのステップワークに苦戦したが、延長戦で自分の間合いを掴み、力を見せつけて判定5−0で勝利

▼昨年、ベスト8進出を果たした正道重量級王者の加藤達哉は4回戦で木山仁と対戦。開始直後から捨て身のラッシュを仕掛けて“あわや”の場面を作る

加藤達哉、木山と乾坤一擲の大勝負！

▲試合が進むにつれ、組手巧者の木山がペースを奪い返す。後半は下段で動きを止められて本戦5−0で敗れた加藤だったが、王者・木山にまったく気後れしない闘いを挑んだ姿に、割れんばかりの拍手が送られた

▶もう1人の正道勢、出畑力也は1回戦で住谷統に再延長にわたる激闘の末、敗退（判定5−0）。だが、結果的に住谷がその後全て本戦決着でベスト8入りしていることを考えれば、出畑の力量に疑いの余地はないだろう

▶バックステージで健闘を称え合う木山と加藤。「気持ちが強い選手でした。間合いを崩すつもりだったけど、あそこまで詰められたら打ち合うしかない」と木山は加藤戦を振り返った

★4回戦
○木山仁（本戦5-0優勢勝ち）加藤達哉●
＜鹿児島支部＞　＜正道会館＞

2回戦。180センチ、125キロの体格で突進してくる近藤を捌き、捌き、また捌いて最後は右上段回し蹴り。足に全体重を乗せるような渾身の一撃で技ありを奪ってみせたのだ。体重判定で勝とうなんて気はサラサラなさそうな、この勝負度胸！

　自ら「子安ファン」というほどの松井館長も大喜び。大会終了後の総評でも、とても3回戦で負けた選手に対するものとは思えない絶賛を送っていた。

「身体のバランスが良くて技のバランスも良くて。力には力で応戦するけど、力に依存しない。動けるけどもスピードに翻弄されない。常にきちっと正面からやる姿勢がいい」とベタ誉めである。さらには「子安くんにはラブコールを送りたい。世界大会にぜひ出したいですね。彼はそれなりの成果を残して出てくれるんではないかと思います」とまで。

　ただし、そんな松井館長が唯一、子安に注文を付けたことがある。

「彼に要求されるのは絶対に負けないんだ、極真の大会で絶対に優勝してやるんだという執念」

　なぜか分からないが、子安はいつも悲愴感あふれる表情で試合をする。まるで断崖絶壁から必死で反撃していくような闘い方。そこから子安キックのような大技が飛び出るから面白いのだが、言い換えれば子安のメンタリティは常に〝挑戦者〟なのかもしれない。

　たとえ相手が極真であろうが、圧倒的な勝者のメンタリティで試合に臨むことができたら……。〝日本代表・子安慎悟〟が生まれるのは、その時だ。

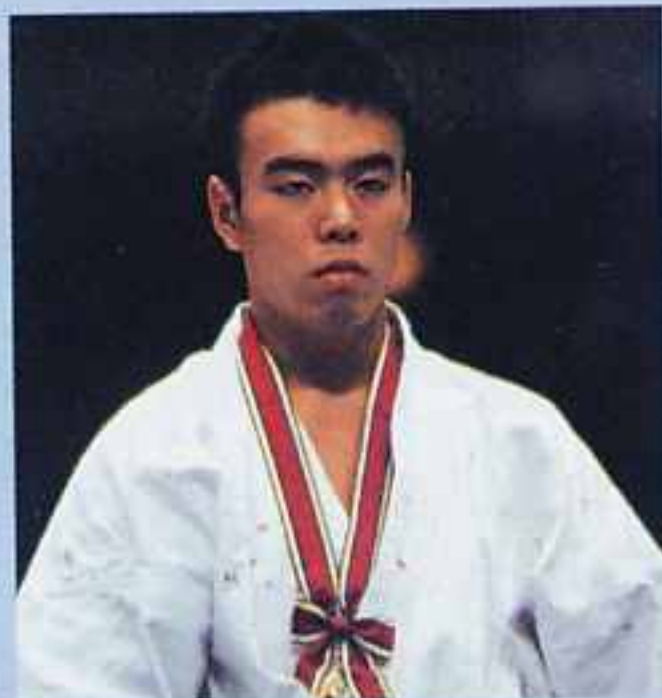
（橋本）

新世代が世界に羽ばたく！ 田中健太郎21歳、

田中健太郎

全日本3位に新空手バカ世代が急成長!!

3位決定戦で闘ったのは田中と徳田。数見、木山の次代を担う若武者の台頭が何よりの収穫だ

田中のコメント

「優勝を目指していたんで、3位という結果はあまり嬉しくないです。動き方とかパワーとか、課題はたくさんありますけど、来年に向けて作っていきたいなと思います。洪君とは同じ道場で年も一緒なんで一緒に世界大会を頑張ろうと思います」

▲▶田中は終始、徳田の足を攻め続け、本戦で勝ちを決めた。21歳の割には枯れた味わいのある組手をする田中に対して、徳田は顔に枯れた味わいがあるのが魅力的

▲上段蹴りも得意な徳田。準決勝では数見を相手にこの蹴りを放っていって頑張った

▲3位決定戦ではちょっと元気がなかった徳田。だが、彼の下段は準々決勝で洪太星から合わせ一本を奪ったほど強烈

★3位決定戦
○田中健太郎（本戦5-0優勢勝ち）徳田忠邦●
（横浜港南支部）　（大阪南支部）

田中健太郎は第3位となった。全日本大会では初の表彰台だが、本人曰く、それほどの喜びはないようだ。その空手スタイル同様、どこか枯れた味わいのある田中らしい発言だろう。

21歳と若いが、3年前には世界大会の代表となり、全日本ウェイト制大会では優勝も経験している田中にとって、3位という結果は満足いくものではないのは当然のこと。

だが、この3位決定戦は非常に意義深いものだと思う。

なぜならそれは、田中健太郎の相手となったのが、新鋭の徳田忠邦だったからだ。21歳の田中と26歳の徳田が全日本選手権の3位を争う場面は、新たな世代の成長をひしひしと感じさせてくれるのが嬉しい。

なにしろ、来年はもう世界大会の年。ブラジルは相変わらず強いときてるし、ロシア勢も台頭してきているわけである。そんな中、日本勢は数見＆木山頼りというのは寂しい話だろう。特に前回の世界大会では完全に数見頼りだったという印象は拭えない。

ところが、田中と徳田は、全日本大会で結果を出すことだけで満足していないことに希望が持てるのだ。はっきりと「オレがやる」という自覚があるのが何よりいいと思う。

つまり、〝頭は低く目は高く〟を体現しているのだ。

この2人には準決勝で数見、木山と思い切り闘ったことを糧として、来年の世界大会での目覚ましい活躍を期待したいと切に願うのである。

（ブチ）

◀ダイナミックな蹴り技を得意とする21歳の

洪水の〝洪〟に太い星で〝洪太

ついに登場した期待の新鋭・徳田、洪にも注目！

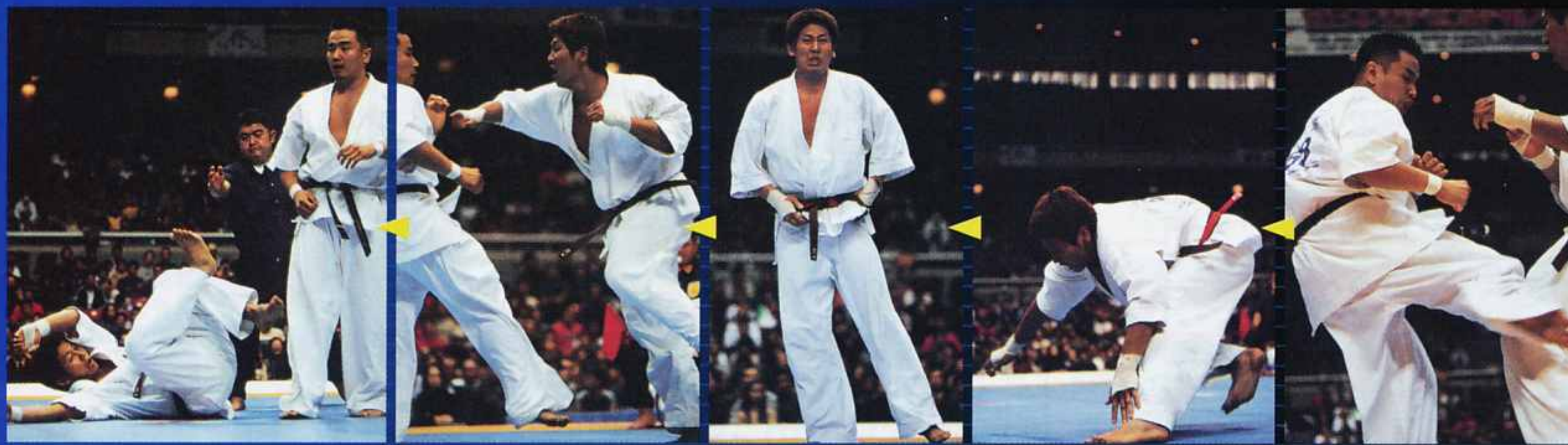
◀▲徳田は2回戦で市川雅也を、4回戦では木立裕之を破って、準々決勝に上がってきた

▲▶4回戦で池田祥規と対戦した洪はブラジリアンキックやヒザ蹴りを駆使して勝ち上がる

木立を倒した底知れぬ地力の徳田忠邦（26歳）

▶26歳にしていぶし銀な顔の徳田。その下段の威力と前に出る圧力は新人離れしている

池田を倒したダイナミックな洪太星（21歳）

◀ダイナミックな蹴り技を得意とする21歳の洪。田中健太郎と同じ横浜港南支部所属

好勝負！！直接対決は徳田が下段で制す！

▲徳田VS洪のクライマックスシーン。下段蹴りで技ありを取られた洪は、ここから捨て身の猛反撃を開始。残念ながら2度目の下段を食らって一本負けに。だが、その若々しいファイトに対して新人賞が贈られる。ただし、松井館長は「来年は新人じゃないからな。あんなバタバタした組手ではタイセイしませんよ」と厳しいコメントとなった

洪水の〝洪〟に太い星で〝洪太星〟。いい名前だ。松井館長が「タイセイという名前どおりに大成してくれるといいけどね」とダジャレを言いたくなる気持ちがよく分かるハツラツとした若者だ。

しかも、伸びのある蹴りを連発するダイナミックな組手も素晴らしい。そして、何より良かったのがこの準々決勝の対徳田戦。一度は下段を効かせられて技ありを取られ、観客の誰もが「終わったな」と思っていたところで、猛烈に攻撃を開始した根性が抜群だった。大山総裁が生きていたら、その日のうちに焼き肉をたらふく食わせていたはずだと断言したい。

極真を始めて6年経つのにいまだに茶帯という、やる気があるんだか、ないんだかよく分からないところも愛しく思えるほど。

結局、気が付けば来年の世界大会代表選手の座を掴み、今一番とまどっているのが本人自身だとは思うが、倒されても向かっていく気持ちさえ忘れなければ、まだ21歳なのだから、これからまだまだ強くなるのは間違いない。

「バタバタした組手」（by松井館長）を矯正し、とはいえ、ダイナミックな面は失わずに、これからあと1年、死にものぐるいの稽古を積んで世界大会を面白くしてほしいと思ったのである。

地力のある徳田に加え、この洪といい、今年の全日本大会は気になる新人が登場した年だと思う。

世界大会を前にして、こういう動きがあったことが今大会の一番の成果であったような気がしたのである。日本勢よ、世界一の座を再び、取り戻せ！

（ブチ）

極真会館
第34回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
11.2~11.3★東京体育館

第34回 全日本空手道選手権大会 全記録

優勝 数見 肇

A Block

No.	氏名	身長	体重	年齢	段位	所属
1	木山 仁	176	92	28	参段	鹿児島支部
2	池端 孝夫	177	80	24	初段	京都支部
3	平野 裕士	179	90	30	弐段	茨城県古河支部
4	倉田 尚彦	175	79	26	初段	兵庫支部
5	加藤 邦顕	174	75	25	初段	東京城北支部
6	伊原 純	169	75	32	初段	山陰支部
7	平尾 敏也	173	74	26	1級	長野支部
8	西村 直也	163	65	38	弐段	東京城西支部
9	進 裕治	176	85	31	初段	城西世田谷東支部
10	飯田 孝久	175	70	27	初段	千葉中央支部
11	加藤 達哉	187	98	26	初段	正道会館
12	藤田 雅幸	180	90	27	初段	石川支部
13	加藤 一博	172	80	33	弐段	横浜港南支部
14	ホスロ・ヤグビ	172	80	34	五段	本部直轄浅草道場
15	冨田 好志	177	80	20	初段	愛知東南知多支部
16	門井 敦嗣	176	92	29	初段	下総支部
17	市村 直樹	175	88	35	参段	城西下北沢支部
18	久住 智洋	167	70	30	1級	青森支部
19	幸田 敏明	182	78	27	初段	奈良支部
20	本間 唯志	170	80	30	参段	総本部
21	竹石 修	172	87	32	参段	千葉中央支部
22	秋本 勝宏	180	80	26	初段	富山支部
23	田ヶ原正文	162	69	36	弐段	大阪南支部
24	田村 隆行	173	88	32	弐段	城西世田谷東支部
25	野加 久詞	175	82	23	初段	城西国分寺支部
26	櫻井 貴光	177	84	26	弐段	群馬県東支部
27	菅野 秀行	173	90	29	初段	東京城南川崎支部
28	渡邉 秀則	188	105	28	2級	広島西支部
29	戸田 直志	168	72	33	参段	神奈川相模原支部
30	佐藤 正博	178	90	27	初段	千葉北支部
31	今井 勇一	166	70	34	弐段	愛知県尾張名古屋支部
32	伊藤 慎	173	77	29	弐段	総本部

B Block

No.	氏名	身長	体重	年齢	段位	所属
33	田中健太郎	180	85	21	弐段	横浜港南支部
34	成田 薫	168	95	25	初段	秋田支部
35	森村 謙信	180	90	20	初段	奈良支部
36	辻本 諭	173	83	25	弐段	総本部
37	斉藤 友康	168	82	23	初段	千葉中央支部
38	上原 慎二	168	85	25	初段	東京城東支部
39	棟本 泰樹	177	75	32	初段	徹武館
40	成田 武治	170	80	37	四段	本部直轄横浜桜木町道場
41	山辺 光英	182	98	28	弐段	東京城西支部
42	赤羽 一之	173	81	29	初段	栃木県南支部
43	村田 達也	173	79	20	初段	埼玉支部
44	上原 秀雄	175	88	25	初段	大分支部
45	菅野 哲也	180	88	27	初段	東京城南川崎支部
46	生川 智大	169	81	24	初段	三重支部
47	渡辺 猛	173	78	32	弐段	静岡西遠支部
48	松岡 朋彦	172	67	24	弐段	兵庫支部
49	御子柴直司	177	88	27	弐段	横浜東支部
50	中田 功章	173	73	27	初段	富山支部
51	宮崎 清孝	171	79	29	初段	山口支部
52	入澤 群	180	100	29	四段	総本部
53	矢島真保呂	180	90	31	初段	東京城南川崎支部
54	高尾 正紀	175	100	32	弐段	大阪東支部
55	小野瀬 肇	178	94	31	初段	千葉北支部
56	金久保典幸	167	82	26	1級	城西世田谷東支部
57	大谷 善次	170	79	33	弐段	城西国分寺支部
58	小竹 一也	182	90	34	初段	茨城県古河支部
59	渡部 篤	175	94	30	弐段	愛媛支部
60	福田 達也	168	74	32	参段	西湘支部
61	中川 正士	186	86	27	初段	大阪南支部
62	小野 篤史	161	65	26	初段	京都支部
63	前田 誠	175	90	25	2級	福井支部
64	足立 慎史	180	95	32	参段	本部直轄浅草道場

C Block

No.	氏名	身長	体重	年齢	段位	所属
65	市川 雅也	180	92	23	弐段	奈良支部
66	川畑 竜一	177	87	30	初段	徳島支部
67	本間 徹	172	89	30	弐段	京都支部
68	徳田 忠邦	180	100	26	初段	大阪南支部
69	夏原 望	178	90	22	初段	東京城南川崎支部
70	大木 大輔	176	73	26	初段	山形支部
71	水木 郁応	174	80	24	初段	秋田支部
72	宇多村大介	188	100	27	初段	本部直轄新宿道場
73	鈴木 憲一	185	98	33	初段	本部直轄横浜桜木町道場
74	藤吉 真吾	175	84	26	初段	駿河支部
75	伊澤 寿人	174	80	21	初段	栃木県南支部
76	木立 裕之	169	77	30	参段	本部直轄浅草道場
77	高橋 恒治	178	96	30	初段	千葉中央支部
78	子安 慎悟	170	88	28	参段	正道会館
79	秋元 孝士	175	82	28	1級	本部直轄岩手道場
80	近藤 博和	180	125	32	初段	城西世田谷東支部
81	高久 昌義	177	90	31	参段	東京城南川崎支部
82	幸 龍敬	170	80	26	弐段	富山支部
83	金森 俊宏	183	78	24	弐段	兵庫支部
84	高本 潤一	180	92	30	弐段	総本部
85	洪 太星	185	89	21	2級	横浜港南支部
86	田村 文郎	175	90	34	初段	福島支部
87	菊野 克紀	170	76	21	初段	鹿児島支部
88	佐藤 誉仁	179	94	25	初段	城西世田谷東支部
89	内藤 慎也	185	90	28	1級	湘南支部
90	井野 真孝	170	83	26	初段	三重支部
91	林 輝明	178	96	27	初段	大阪東支部
92	瀬戸 哲男	174	85	29	初段	本部直轄浅草道場
93	小谷 徹	179	96	30	初段	山陰支部
94	西川 益生	173	93	27	初段	関西本部
95	安芸 晴康	166	68	28	初段	埼玉支部
96	池田 祥規	172	85	29	弐段	東京城西支部

D Block

No.	氏名	身長	体重	年齢	段位	所属
97	池田 雅人	175	85	29	弐段	総本部
98	小山慎太郎	165	64	27	初段	静岡西遠支部
99	村椿 秀幸	170	78	31	弐段	埼玉支部
100	杉山 史紘	174	88	34	参段	横浜北支部
101	東海林亮介	175	73	22	初段	東京城南川崎支部
102	高橋 真次	173	87	28	2級	東京城東支部
103	船先 雄	174	80	22	初段	奈良支部
104	本多 悟朗	174	78	28	初段	城西国分寺支部
105	炭田 一敏	177	83	28	初段	湘南支部
106	木村 一狼	175	81	32	初段	茨城県古河支部
107	山川 知房	169	72	25	初段	千葉北支部
108	大塚 裕樹	175	78	28	初段	横須賀支部
109	住谷 統	175	90	28	弐段	兵庫支部
110	出畑 力也	180	97	30	初段	正道会館
111	谷口 誠	177	105	25	初段	大分支部
112	徳元 秀樹	180	110	29	弐段	横浜港南支部
113	塩島 修	162	70	27	初段	下総支部
114	石井 博裕	173	87	32	弐段	青森支部
115	別府 良建	174	85	21	弐段	鹿児島支部
116	森本 英輔	176	93	28	初段	長野支部
117	須田 敏文	176	87	23	初段	神奈川相模原支部
118	日比野丈二	175	80	32	初段	総本部
119	三善 泰洋	169	80	34	初段	山口支部
120	長谷川泰史	172	70	28	初段	本部直轄新宿道場
121	福井 裕樹	171	70	26	初段	本部直轄柏道場
122	小坪 功昌	163	74	25	初段	富山支部
123	樋口 恵士	177	90	25	初段	京都支部
124	尾崎 亮	165	68	31	初段	城西世田谷東支部
125	外屋敷信宏	165	78	29	初段	大阪南支部
126	寺口 徹	174	86	24	1級	愛知東南知多支部
127	早田 信	170	80	29	初段	熊本支部
128	数見 肇	180	103	30	参段	千葉中央支部

優勝 数見 肇
準優勝 木山 仁
3位 田中健太郎
4位 徳田 忠邦
5位 住谷 統
6位 入澤 群
7位 市村 直樹
8位 洪 太星

敢闘賞 徳田 忠邦
技能賞 木山 仁
新人賞 洪 太星
試割賞 数見 肇・住谷 統（23枚）

土井も後藤も……そして緒形健一も オランダの怪童を止められない！

5度ダウンの完敗。誰が最初に、サワーを美味しく飲んでくれるのか

3R、左ハイを食って倒れたのを最初に緒形は計4度もダウン。その都度、うつろな目で立ち上がってきたが……

地上最強の19歳。世の中には数多くの『こけおどし』あるいは『まやかし』のキャッチフレーズもある。だが、このサワーに限ってはそうではない、と声を大にして言える。本当に強いのだ。この日の前まですでに92戦をこなし、敗戦はたった2度（1引き分け）しかないというのは、決して嘘ではないはずだ。繰り出すパンチ、キックはいずれも切れ味よく、またよく磨き抜かれてテクニカルでもある。そして、その自然体にも近い安定した構えは、いかなる強引な攻めにも、そうはたやすく切り崩されるものではない。

事実、日本のSB勢はここまで総なめにされている。土井広之は左ボディブローであっさり撃沈され、SBの最高峰S—cupの栄光は、はるばるオランダまで持ち去られた。後藤龍治は善戦までがやっとで、判定負けを食らった。この日対戦する緒形健一は、我ら日本の最後の砦と言っていいのだ。だが、その緒形もまた終わってみれば惨敗だった。

3R半ばまで、緒形も負けてはいなかった。左ジャブをタイミングよくヒットして、サワーの鼻頭はたちまち赤くなっていった。主導権をわずかに譲ってしまったように見えた2Rも、その終了寸前、左フックで大きく相手をのけぞらせて、勝負の帰趨はまだどちらのものになるとも言えなかった。

だが、その緒形が3R一気に崩れる予感は、もうこの時からあった。間合いというか、両者のとるスタンスが、緒形にとってはいかにも危なっかしい。かなり接近した状態で、パンチを打ち合う。サ

シュートボクシング
The age of "S" Vol.5
11.4★後楽園ホール

「強すぎる……」と関係者がタメ息 新たな引き出しを開けた地上最強の19歳

サワーのコメント

「オガタに限らず、日本の選手はタフだし、スピリッツもあって、みんな強いよ。ハイキックを狙ったのは、相手のリードパンチがよかったからさ。今日はフィニッシュまで持っていきたかったけど、オガタがよく耐えていたからね。今後対戦してみたい相手？　マサトとやってみたいな。日本で一番いい選手と聞いているからね」

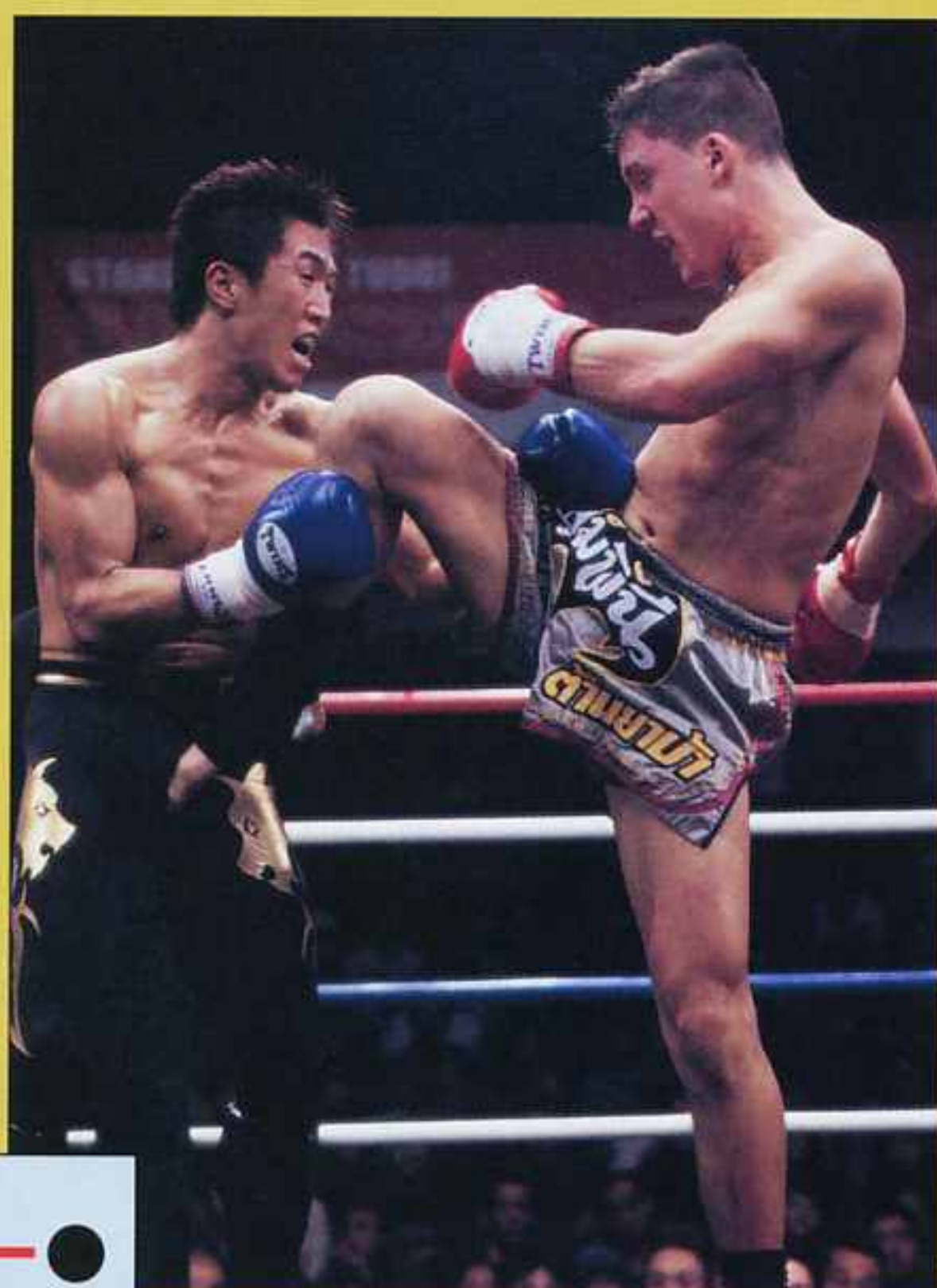
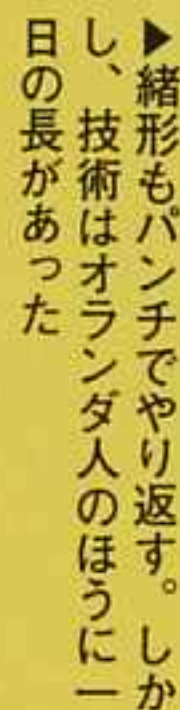
緒形のコメント

「サワーは……強かったです。一発、左ハイをもらってから、その後は何も分からなかった。気が付いたら倒れている自分がいて、悔しかった。調子は……最初はいいと思ったんですが、どうなんでしょう。とにかく一発の後は分からないです。いろいろと作戦もあったけど、全てダメになりました。もう一度？　今はゆっくり考えたい」

▲サワーのパンチは鋭い。徹底して狙ってくる左ボディフックのほかに、この右アッパーも迫力十分

▶緒形もパンチでやり返す。しかし、技術はオランダ人のほうに一日の長があった

◀最終R、一発逆転を狙った緒形の投げ。しかし余力はない。持ち上げることはできない

▼精根尽き果てた緒形は試合後、勝者に慰められてもこの表情

▲いきなり蹴り上げてくるヒザも怖い。サワーは完璧に仕上がりつつあるパーフェクト・ファイターだ

★第8試合/メインイベント(3分5R)

○アンディ・サワー（5R判定3-0）緒形健一●

〈オランダ/リンホージム〉　〈日本/シーザージム〉

※採点…50-42、50-42、50-42。緒形は3Rに左ハイキックと右ストレートで、4Rに顔面へのヒザ蹴りで、5Rに左フックでダウン

ワーの左フックが、ベストの角度で当たりそうな位置での攻防がずっと続いていたのだ。

土井、後藤の両戦を見ても分かるように、サワーの最も恐ろしい武器は左フックのボディブローである。肝臓めがけて深々と埋め込まれる左グローブは、全身をこわばらせるほどの激痛をもたらす。この一発でKOにならなくとも、これがオランダ人が描き込む破壊絵巻の最初の一筆になるのは、これまでの常なるところだった。

緒形もこの左ボディブローを何度も打たれた。「それほど効かなかった」と後で本人は言うのだが、左ミドルも同じ部位に集められ、必要以上に警戒を強めていたことは間違いない。だから3R、不用意にも左ハイを食らったのだろう。サワーが大きな弧を描いて蹴り込んだ左足を側頭部に受け、緒形は踏みとどまろうと頑張ったものの、そのまま大の字に崩れ落ちる。カウントアウト寸前で立ち上がったものの、これで勝負は決まったも同然だった。

あとはサワーの一人舞台だった。4Rには飛びヒザで、5Rには左フックを顔面にカウンターされ、またまた緒形が倒れ込んだ。判定にまで持ち込んだのは、緒形という男の高い精神性を証明しただけに過ぎない。

2月、サワーにはダニエル・ドーソンが挑む。この日のリング上で、緒形も再戦をアピールした。誰がこのヨーロッパの新たなスターに、苦い思いをさせることができるのか。今のところ、サワーがのたうつ姿などまったく想像はできない。

（宮崎）

立ち関節！

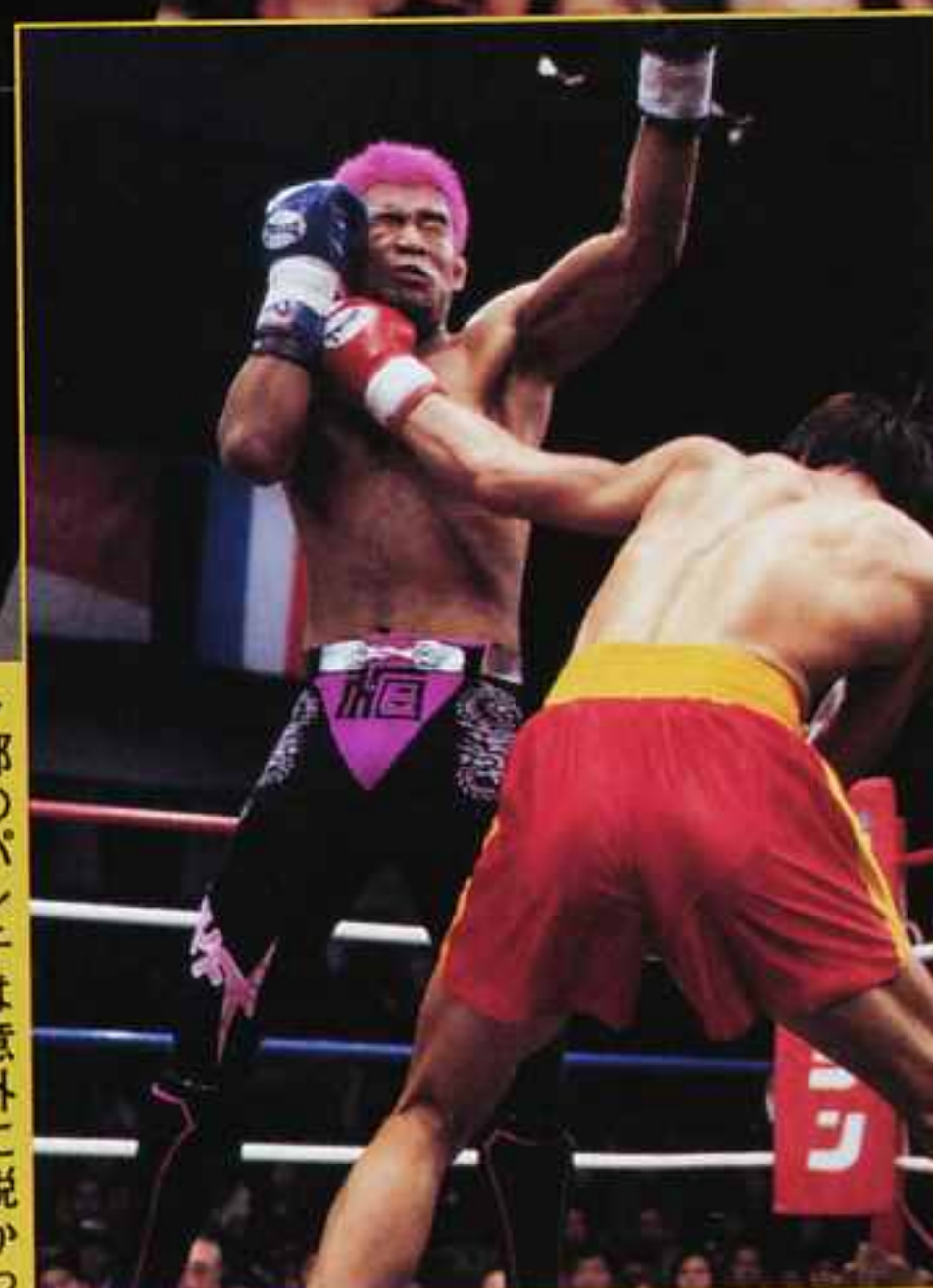
The age of "S"

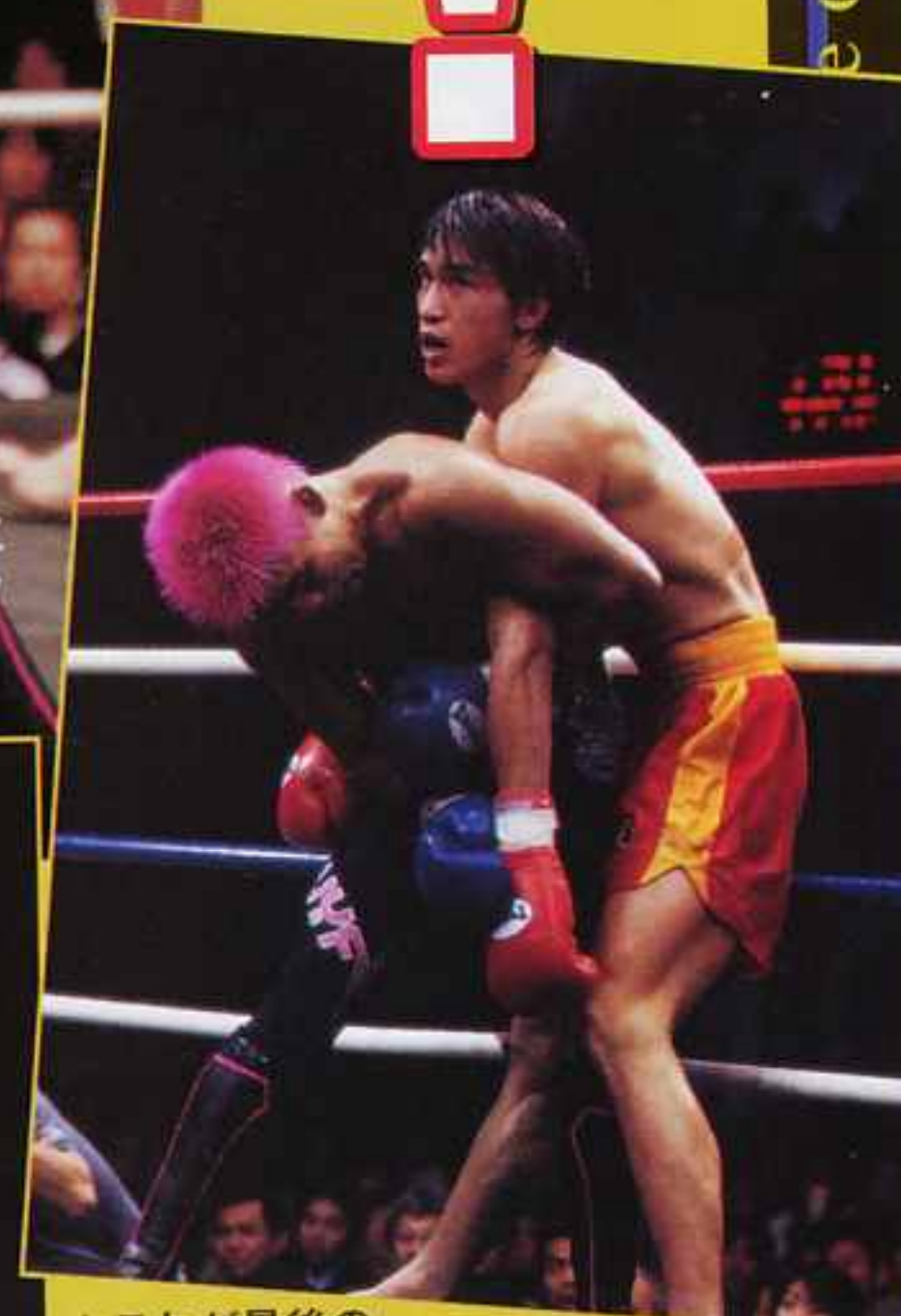
これもSBの神髄だぁ 後藤龍治が散打を撃破！

後藤のコメント

「自分が思っていたとおりに極まりましたね。相手が長身だったので、なかなか極めにくかったんですけど、あと5秒あったらなぁ。それより、投げを完封したところに着目してください。今日はサワーにできなかったことをやろうと思っていたので、それが達成できました。サワー？　もっとお互いに進化したところでやりたいです」

これぞ巧技、アタマの勝利。横蹴りもタックルも完全封殺

▲ボクシング風に言えば、後藤はアウトボクシングに徹した。じっくり間合いを取り、的確な攻めで中国人を追い詰めていった

▶鄭のパンチは意外に鋭かった。この左フックは極めて危ないタイミングで飛んでくる

お待たせ、後藤のこのポーズ。「半年ぶりに言うことができます。これがシュートボクシングです」

▲これが最後のスタンディング・アームロック。30秒近くかけ続け、レフェリーストップとなった

◀この日はマスクをつけて登場。この男、生真面目な闘いぶりとは裏腹に、ビジュアル系がすっかり板についている

★第7試合/セミファイナル（3分5R）
○後藤龍治（5R2分48秒、スタンディング・アームロック）鄭裕蒿●
〈日本/STEALTH〉　〈中国/中国武術協会〉

散打は着実に進歩している。4000年、長い歴史に培われた中国格闘技の集大成は、サイドキックで相手を突き飛ばし、投げでポイントを稼ぐ。これまで、いかにもスタイル重視に見えたのだが、少なくともこの鄭には打撃中心の格闘家としてのいい香りがあった。右ストレートから素早く返される左フックは、もう少しフォームが矯正され、ナックルパートできちんと標的を捉えられるようになったら、一撃KOの破壊力を持つだろうし、ロー、ミドルのキックも威力が増してきている。さすが、S—cupの決勝まで進んだだけのことはあるし、あれから4カ月にしてまた成長のあとが見える。

だが、この日は、後藤の力量のほうが明らかに上だった。何よりプロフェッショナルの打撃家としての場数が違う、奥行きが違う。身長で自分より8センチも高い180センチの長身中国人を、国際式ボクシング風の言い回しをすれば、「アウトボクシングした」。距離をとって、得意の細かいローでリズムを作り、長い右ストレートを飛ばした。鄭は散打特有のタックルや投げを完全に封じられ、2R以降は完全にやり込められていたように、私には見えた。

とどめはやはりSBらしく極めたい。ラスト30秒を切るあたり、後藤は鄭の左腕をとってアームロック。確実に極まっていたかどうかは分からない。それでも、鄭が何の手だてもとれなくなったのはたしかだ。レフェリーのストップは当然だった。

シュートボクシングの鮮やかな勝利である。

（宮崎）

シュートボクシング

The age of "S" Vol.5

11.4★後楽園ホール

植松直哉、念願のSB初登場！ 大久保ちゃんは惜しくも判定負け

▲▶〈第5試合〉修斗のランカー・植松直哉（Kzファクトリー）がSBに初参戦。U－FILEの西内太志郎と対戦した。ここ数年ランバーや山口元気らとキックの修行を積み、タイでも試合の経験がある植松は、右ミドルと右ストレートを主体にした試合運びで終始優勢。2－0の判定で勝利した。修斗ではこのところ内容・結果とも芳しくないだけに、この体験をどうフィードバックできるかが本当の勝負だろう

◀〈第4試合〉母性をくすぐりまくる子犬キャラで人気の大久保一樹（U－FILE）は、ケガで欠場となった滑川康仁に代わっての出場。不慣れな打撃に苦しみながらも判定に持ち込んだが、ジャッジの採点は3－0で鈴木亮司（東京元気大学GG）に

▶〈第6試合〉伊賀弘治（龍生塾）と対戦予定だったネイサン・コーベットが欠場。代わってポール・スロウィンスキー（豪州）が登場したが、コイツが強かった！　SB重量級トップの伊賀から2Rにロー、3Rにヒザでダウンを奪い、最後は伊賀が続行不能と見たレフェリーがストップをかけた（3R1分40秒）

来年2月、キラーロー復活！

◀休憩明けに土井広之がリング上で挨拶。7・7『S－cup』でヒザの靭帯を負傷、長らく欠場が続いていたが、来年2月2日の後楽園大会での復帰を表明した。狙うはもちろん、サワーの首だ

観衆1万人、中国全土に生中継！ 12・1北京で散打VSSB全面対抗戦

日本代表選手はこの9人！

階級	選手（所属）
◎85キロ級	伊賀弘治（龍生塾）
◎80キロ級	港太郎（K.I.B.A.）
◎72キロ級	後藤龍治（STEALTH）
◎65キロ級	宍戸大樹（シーザージム）
◎60キロ級	及川知浩（龍生塾）
◎55キロ級	森谷吉博（シーザージム）
◎52キロ級	今井秀行（シーザージム）
◎女子55キロ級	大沼慶子（シーザージム）
◎女子53キロ級	ジェット・イズミ（アクティブJ）

▲会見には出場する後藤、宍戸、森谷も出席。後藤、宍戸はそれぞれ抱負を語ったが、広報兼任の森谷は会見の仕切りで大わらわであった……

▲11月7日（木）、都内の中国料理店・後楽園飯店で行われた記者会見にて。会見には中国側の関係者も出席。会見後は関係者を囲んでの会食となったのだが、中国の人たちに料理の感想を聞きたかったところだ

かねてから散打と交流を続けてきたSBだが、ついに敵地・中国で全面対抗戦を行うこととなった。散打の国際的な普及活動を行っている中国国家体育総局と中国武術協会は、日本での提携団体としてシュートボクシング協会を正式に認定。12月1日、北京・中国工人体育館において『中国功夫―日本自由博撃争覇賽』の開催が決定した。会場は1万人を収容、中国中央テレビが3時間にわたって生中継するというビッグイベントで、散打側もチャンピオンクラスを揃えたチーム編成になる模様だ。10月16日にはシーザー武志会長が中国で会見を行っており、また10月26日には宍戸と及川知浩が散打の大会に出場している。同じ〝打つ・蹴る・投げる〟の競技ながら、散打は相撲のようにどんな形でも相手を倒せばポイントとなり、闘いの質は当然、別物。そんな中で日本SB勢がどんな闘いを見せるのか、そして10億人を超える中国人民にSBをアピールできるのか期待したい。■

観戦ツアーは3コース！

◎A：11/29～12/5北京・上海・蘇州7日間コース（￥120,000）
◎B：11/30～12/4北京・上海・蘇州5日間コース（￥108,000）
◎C：11/30～12/2北京3日間コース（￥68,000）

お問い合わせ　八方企画株式会社
☎03-3205-7588、03-3205-7587（月～土、9:00～18:00）
※申し込み締め切りは11月20日（水）

ニュージャパンキック
DREAM RUSH Ⅷ
11.3★後楽園ホール

小次郎はまだ生きている！ タイの難敵に競り勝ったぞ

減量地獄を乗り越えて、やっとのリング 不調でも、勝てばこそ道は開ける

小次郎のコメント

「K－1であんな試合をして、自分はまだ精神的に弱いんだな、とはっきりと思いました。今回はとにかく体重が落ちなくて。最後の3日間は絶食で、途中で逃げ出したくなったこともあります。勝ち負けがどういうのではなく、とにかくリングに上がらなければ、とそれだけを考えていました。試合？　自分的にはダメですね」

コンディションは万全ではなかったと言う小次郎。しかし、パンチで懸命に攻め立て、きわどい勝利につなげた　撮影◎吉澤晃

★第12試合/WMC世界ウェルター級タイトルマッチ（3分5R）
○小次郎（5R判定2-1）ラムナムコン・ソーランチャイ●
〈王者/ウィラサクレックジム〉　〈挑戦者/タイ〉
※採点…50-49、48-49、50-48

▲3週間前K－1 MAXで敗れたデフローリンに勇ましく雪辱宣言。「バッティングで6針切られたから、自分は倍返しで12針切ってやる」

▲NJKFの実力ナンバー1、桜井洋平も登場。タイ人のペットマイを速い攻めで圧倒し、危なげなく判定勝ちをもぎ取った

▲ラムナムコンが時折狙ってくるヒジが怖い。さすがにタイ東北部チャンピオンだけのことはある

▲ローキックを打ち込む。小次郎の勝ちたいという気持ちはひしひしと伝わってきた

10月11日、K—1MAXの小次郎は、魅力的かつ先々の可能性を大いに余すファイターに見えた。攻防のタッチはあくまで柔らかく、鋭いヒザや蹴りもある。マリノ・デフローリンに判定負けしたが、それも紙一重の差だった。

その小次郎が早くもリングに帰ってきた。3週間の試合間隔だけに、出来はいいとは言えない。聞けば、減量で大いに苦しんだという。1週間前から固形物抜きで、最後の3日間は完全な絶食状態だった。そういう状態では身の入った練習もできるはずもない。

その上、相手のラムナムコンが強かった。タイ東北部のチャンピオンだ。手練れのムエタイ戦士らしく間合いをうまく使い、小次郎の持ち味をすっかり奪い去ると、鋭いテンカオ、ヒジを投げ込んでくる。

難敵相手にしかも体調不十分。小次郎ができることと言ったら、闘志をむき出しにして攻め抜くことだけ。そういう意味では、見事な闘いだった。「日本のルールだから勝てた」。本人が言うとおりかもしれない。けれど。勝たなければ前に向かって一歩も出ることはできない。

そして「K—1でも闘えるように根本からスタイルを考え直してみたい」という前向きな思考にもなりはしない。

次の小次郎で、もっと違う彼を確認してみたい。（宮崎）

SRS
SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション
11/15,11/22の見どころ

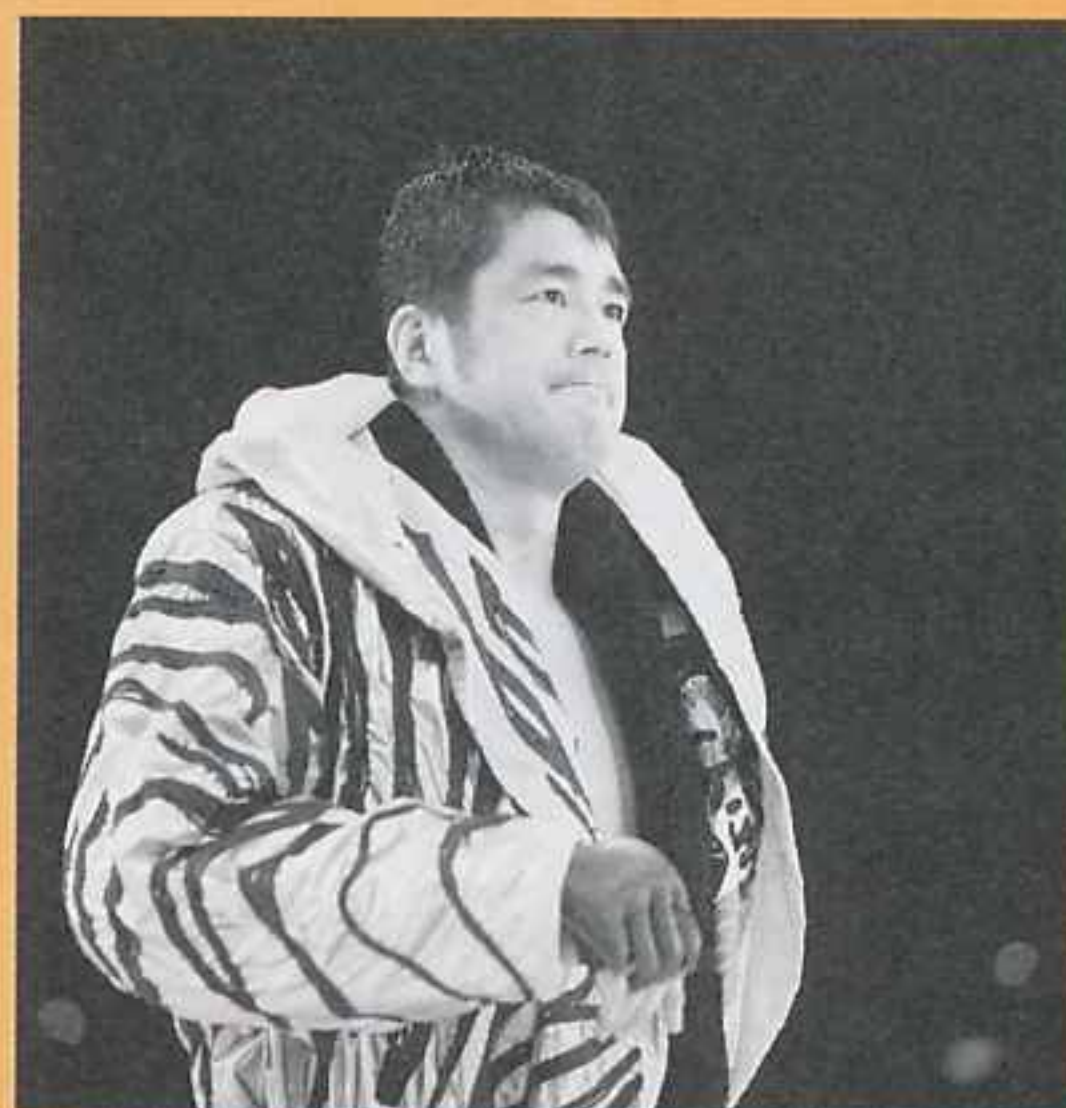
情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは11月8日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

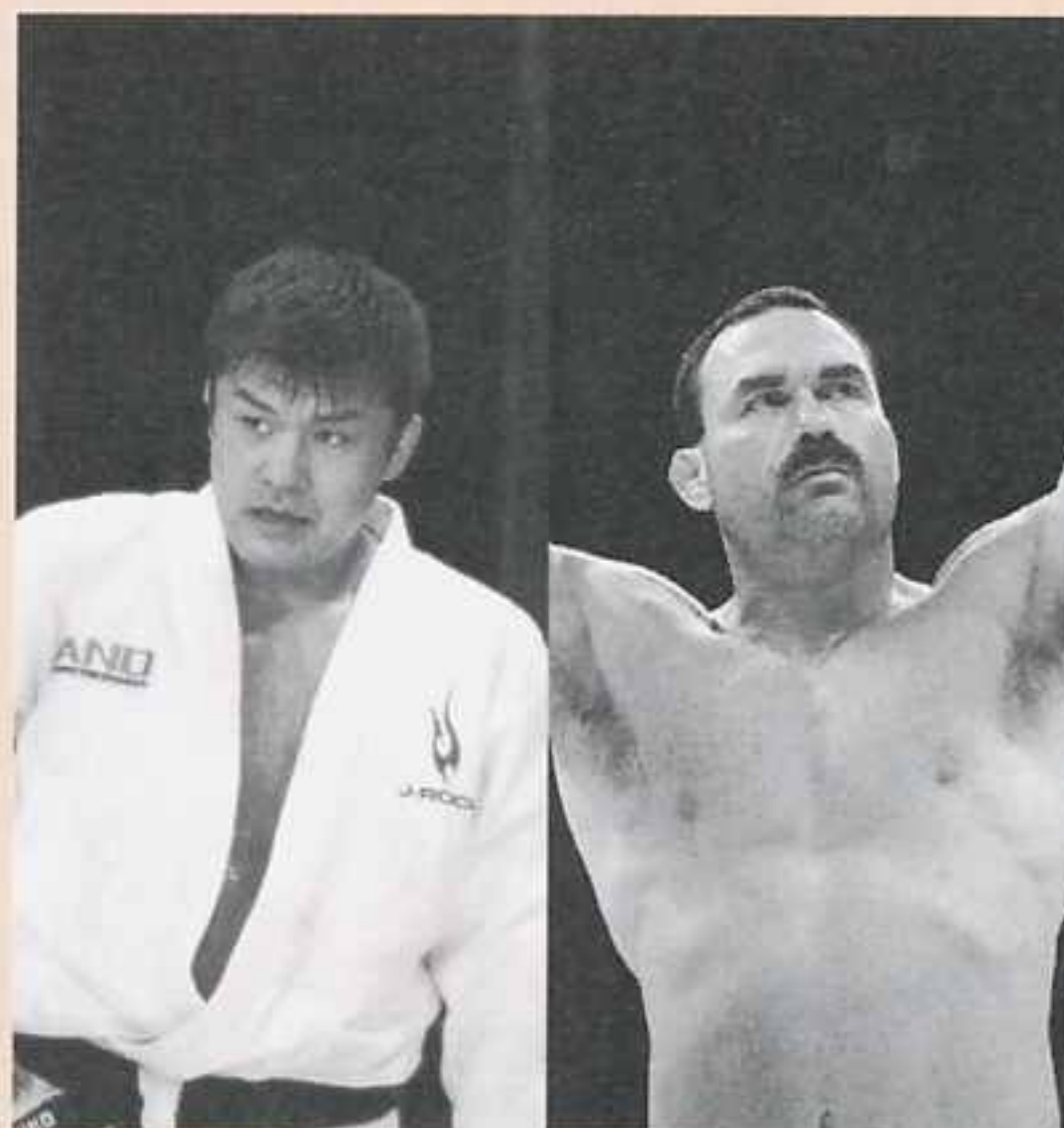
11/15
ありがとう髙田延彦。11月24日引退！
髙田延彦引退ドキュメンタリー『最後の選択』！

11月15日（金）25:45～26:45

11月24日（日）東京ドームで開催される『PRIDE.23』で、最後の闘いに挑む髙田延彦に密着取材！　プロレスラーとして、また格闘家として、歩み続けた22年間の歴史を余すことなく放送する。今回はスペシャル版として、“髙田延彦”をまるごと1時間たっぷり放送します。なぜ最後の闘いに、Uインターの後輩・田村潔司を選んだのか？　今回の試合で引退を決意した心情など、試合直前の近況も含めて、髙田の本心に迫る。そして愛弟子である桜庭和志が語る、髙田延彦の意外な素顔も大公開。格闘技ファンは必見！　はっきりいってこんなドキュメンタリー番組は見たことない。絶対泣いちゃうかも!?　最後に言わせてもらいましょう。髙田延彦は最高のプロレスラーです！

▲『PRIDE.23』髙田の勇姿を見逃すな！

11/22
ビックカードがめじろ押し！
11・24東京ドームまで一直線『PRIDE.23』直前特集！

11月22日（金）25:45～26:15

柔道家からプロ格闘家へ。吉田秀彦がついにバーリ・トゥード初挑戦！　しかも相手は『プライド21』で、高山善廣と身震いするほどの殴り合いを演じた“プライド男塾・塾長”ドン・フライ。SRSはさっそく、この両者に緊急取材してきました。2人の対照的な様子をたっぷりご堪能ください。いったいどんな試合になるのか期待大！　そして、この大会で“アイ・アム・プロレスラー”髙田延彦が『プライド』のリングを引退！　対戦相手はあの田村潔司。両者の衝撃インタビューも見逃せない。とにかく眠れない要素が盛りだくさんの『PRIDE.23』。桜庭和志も第1試合に出場決定！　しかも、いよいよ金原弘光が『プライド』マットに初参戦！　このドキドキをみんなでシェアしよう！

▲吉田はフライに対してどんな技を仕掛けるのか!?

フジテレビ系列の番組から CS721
『K-1 ワールドシリーズ今年の5大会連続放送！』

11月18日（月）～11月22日（金）23:00～

2002年に創立10周年を迎えたK-1。今年は12月7日に東京ドームで行われる決勝戦で、ファイナルを迎える。そこで、今年行われたK-1 ワールドシリーズ5大会を一挙放送する！

11月18日（月）	『K-1 WORLD GP 2002 IN 名古屋』	～25:20
11月19日（火）	『K-1 WORLD GP 2002 IN パリ』	～25:20
11月20日（水）	『K-1 WORLD GP 2002 IN 福岡』	～25:40
11月21日（木）	『K-1 WORLD GP 2002 IN ラスベガス』	～26:00
11月22日（金）	『K-1 WORLD GP 2002 開幕戦』	～26:00

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

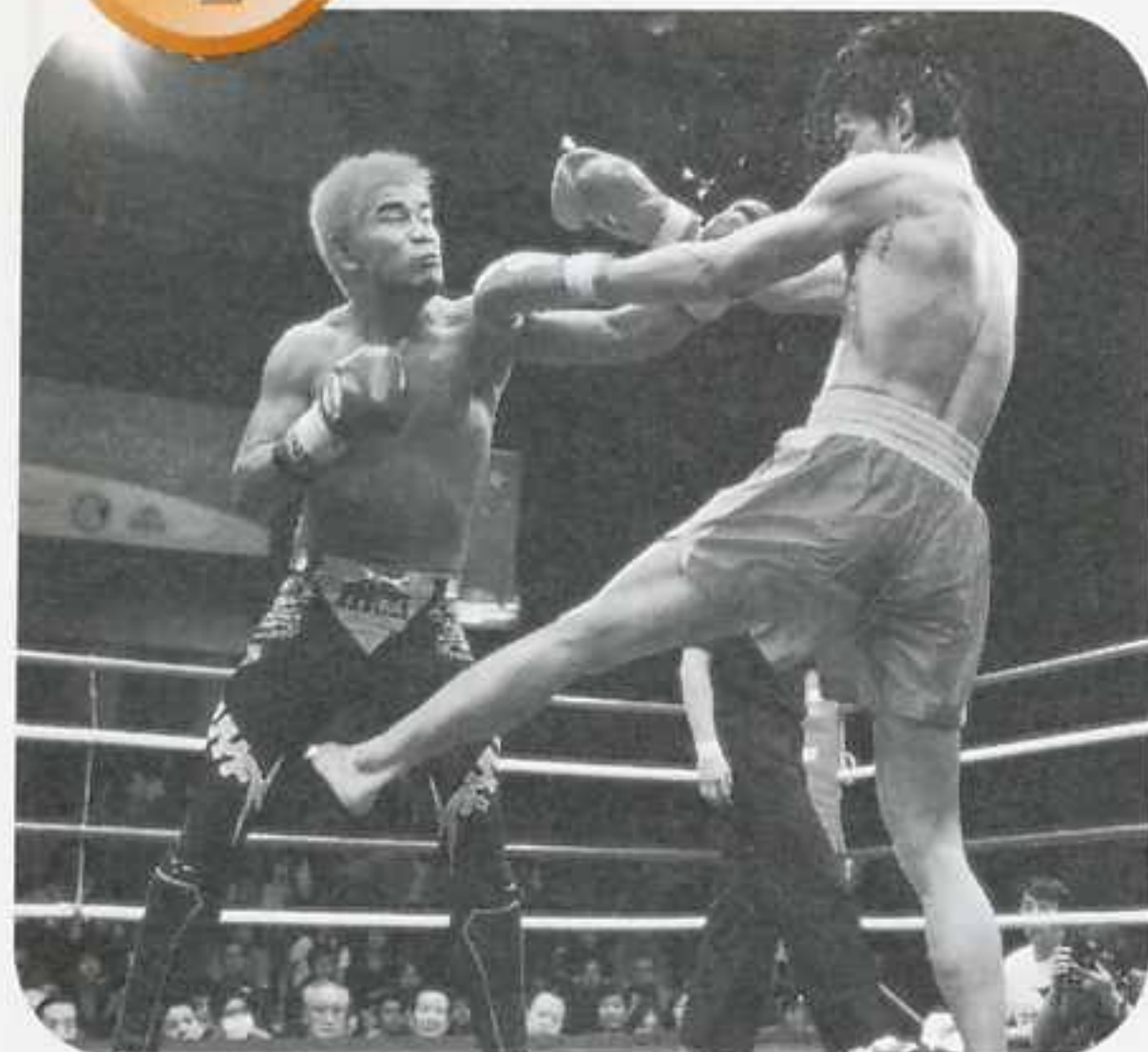
TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
11/14（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5：00～7：00	MAキック連盟、01.9.29後楽園ホール大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	14：00～15：00	世界中で行われている修斗の大会を放送。02.11.3オランダ大会。再放送11/17・9：00～、18・18：00～
	Jスカイスポーツ3	SHOOT 3/60	18：00～19：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する"60分3本勝負"の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。再放送11/15・11：30～
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	19：27～19：57	『愛と涙と感動の浪花男』角田信朗が様々なスポーツを紹介。GAORA独自のインタビュー映像やゲストを迎え内容盛りだくさんの30分。再放送11/19・9：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継 新日本キックボクシング協会	22：00～24：00 26：00～28：00	10.20に後楽園ホールで開催された『ROAD TO MUAY-THAI 2002』大会を中継。再放送11/15・18：00～、16・15：00～
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：30～24：00	内容未定。再放送11/15・19：30～
	GAORA	バトルインフォメーション	24：30～25：00	『週刊格闘JAM』『info@闘龍門』などGAORAのプロレス・格闘技の情報が満載。30分と15分の2バージョンあり。再放送11/15・19：27～19：57、16・9：30～9：45、19・18：00～18：15
11/15（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	11：30～12：00	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。再放送11/16・18：00～、17・20：30～と27：30～、19・19：30～、22・14：30～、23・9：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	『ch.01』	13：00～14：30	橋本真也率いるZERO-ONEによるちょっぴりムチャなバラエティ番組。再放送11/16・8：00～、28・10：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	14：30～15：00	上記参照。再放送11/16・9：30～
	Jスカイスポーツ3	シュートボクシング2002	15：00～17：00	11.4後楽園ホール大会。再放送11/16・5：00～
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。1975.12.11NWF世界ヘビー級選手権、アントニオ猪木vsビル・ロビンソン戦ほか
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	これまでの『PRIDE』シリーズを毎月1大会ずつ放送。『PRIDE.5』③。再放送11/20・25：00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22：00～24：00	船木ヒストリー21。再放送11/22・22：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイ ESPNの『PRIDE REVIVAL』と同内容。『PRIDE.3 』③。再放送11/22・24：00～
	フジテレビ	髙田延彦引退ドキュメンタリー	25：45～26：45	➲P69
11/16（土）	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	13：00～16：00	11/15を参照。『PRIDE.5』①～③
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	16：30～18：55	10.26福岡国際センター大会
	BSジャパン	格闘Xパンクラス	24：30～25：00	10.29後楽園ホール大会
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：30～26：30	内容未定
11/17（日）	Jスカイスポーツ2	SHOOT 3/60	14：00～15：00	11/14のJスカイスポーツ3と同内容。再放送11/19・21：00～、20・10：30～、22・18：00～
	Jスカイスポーツ2	シュートボクシング2002	15：00～17：00	11/15のJスカイスポーツ3と同内容。再放送11/18・12：00～、20・26：00～
	テレビ東京	シュートボクシング 日本vs世界　頂上決戦！	16：00～17：15	➲Pick Up 1
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	22：30～23：00	11/15を参照。再放送11/18・22：30～、19・17：30～、22・11：30～、23・18：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	26：25～26：55	11.14後楽園ホール大会
11/18（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー(再)	10：00～12：00	9.29横浜文化体育館大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	23：00～24：00	11/14を参照。11.3オランダ大会。再放送同日・27：00～、11/21・14：00～、24・9：00～、25・18：00～
	日本テレビ	最強魂	26：05～26：35	K-1 JAPANで活躍する富平辰文がモンゴルで格闘技修行を行う
11/19（火）	TBSテレビ	サイボーグ魂	23：55～24：30	ダウンタウンの松本人志が様々な格闘家とコラボレーションしていく番組
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	『PRIDE.23』直前企画
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	山田学の今夜はしゃべりっぱなし第4弾！　船木誠勝と本音トーク
11/20（水）	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	25：00～26：00	11/15を参照。『PRIDE.5』③
11/21（木）	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	11/14を参照。再放送11/22・21：30～、23・17：30～、26・9：00～
	GAORA	バトルインフォメーション	21：30～22：00	11/14を参照。再放送11/22・15：15～15：30と18：30～19：00、23・8：30～8：45、26・18：15～18：30
	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスストーリー	22：00～24：00 26：00～28：00	船木誠勝が語るパンクラスストーリー＃6。再放送11/22・18：00～、23・15：00～
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：30～24：00	内容未定。再放送11/22・19：30～
	フジテレビ	禁じられた遊び	24：40～25：10	ゲストに浅草キッドを迎え、K-1、『プライド』など、格闘技の魅力を追求する
11/22（金）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	11/15を参照。1977.2.2アントニオ猪木戦vsスタン・ハンセン戦、他2試合
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	➲P69
11/23（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	16：30～18：55	10.27神戸ワールド記念ホール大会
	Jスカイスポーツ3	プロフェッショナル修斗	20：00～22：00	➲Pick Up 2　再放送11/25・17：00～、26・20：00～
	BSジャパン	格闘Xパンクラス	24：30～25：00	11/19のテレビ東京と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：30～26：30	内容未定
11/24（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	22：30～23：00	11/15を参照。再放送11/25・22：30～、26・17：30～
	Jスカイスポーツ1	SHOOT 3/60	25：30～26：30	11/14のJスカイスポーツ3と同内容。再放送11/25・21：00～、26・18：00～、28・25：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：55～26：25	11.20大阪府立体育会館大会
11/25（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	23：00～24：00	11/14を参照。10.26アイアンハートクラウン。再放送同日・27：00～、28・14：00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：20～26：20	8.25梅田ステラホール大会
	日本テレビ	最強魂	26：05～26：35	武蔵のタイ修行の模様をオンエアー

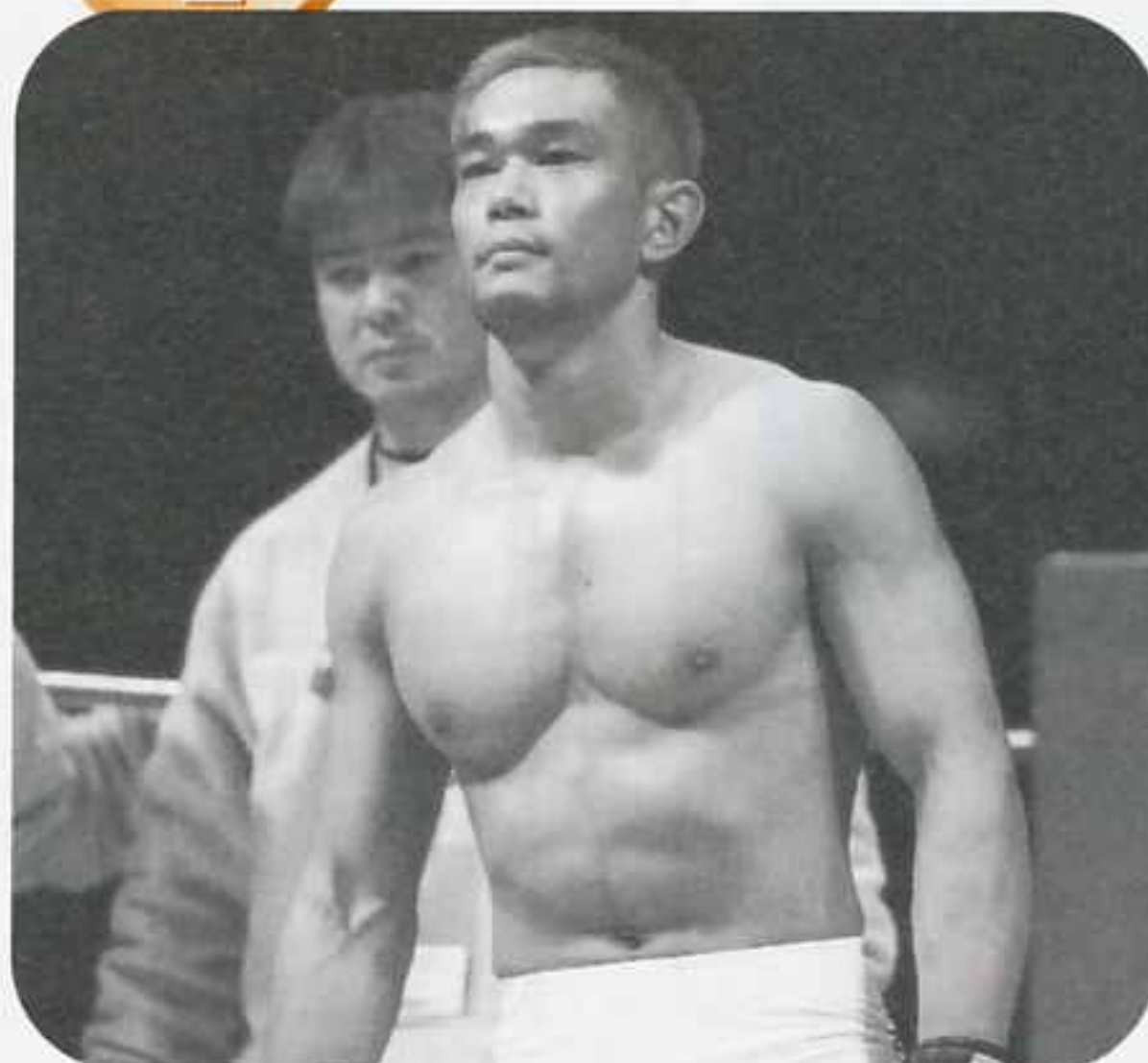
ON THE AIR 11/14～11/28

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1 『シュートボクシング 日本VS世界　頂上決戦』

テレビ東京
11月17日（日）/16:00～17:15

11月4日（月・祝）に後楽園ホールで開催されたシュートボクシング『The age of S vol.5』の模様が、テレビ東京系列にて全国放送される。メインにはS-cup第3代世界王者になり快進撃を続けるアンディ・サワーに、最近まで総合格闘技に挑戦していた緒形健一が挑む。ストップ・ザ・サワーなるか!? 前回の後楽園ホール大会で、サワー相手に好勝負を繰り広げた後藤龍治はS-cup準優勝、中国散打の鄭裕蒿と対決する。後藤の闘いに注目！

Pick Up 2 『プロフェッショナル修斗』

Jスカイスポーツ3
11月23日（土）/20:00～22:00

11月15日（金）後楽園ホールで行われる修斗公式戦の模様をオンエアー。注目はなんといっても佐藤ルミナの復活戦！　6・29大阪大会以来の試合出場となる修斗のカリスマの闘いぶりに大注目！　対するタクミも目ざましく力を付けているだけに、大荒れ必至の試合になりそうだ。その他、フェザー級サバイバー・トーナメント1回戦として、勝村周一朗VSアルフィ・アルカレズ（アメリカ）戦も放送。メイン同様こちらの試合も見逃せない！

Pick Up 3 『パンクラスハイブリッドアワー』

FIGHTING TV SAMURAI!
11月28日（木）22:00～24:00
26:00～28:00

10.29に後楽園ホールで開催された『PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR』大会を放送。メインイベントでは竹内出（SKアブソリュート）がパンクラス初登場！　竹内は元・修斗ライトヘビー級3位の実力者で、第4回・第7回全日本コンバットレスリング選手権85kg級優勝など輝かしい成績を残している。対戦する初代ミドル級王者ネイサン・マーコート（アメリカ）にとっては負けられない一戦。若手主体の今大会でインパクトを残した選手はいったい誰だ!?

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
11/26（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継 修斗	22：00～24：00 26：00～28：00	10.27に大阪NGKホールで開催された『プロフェッショナル修斗公式戦』を中継。再放送11/27・18：00～
	TBSテレビ	サイボーグ魂	23：55～24：30	11/19を参照
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	11.13バトラーツ後楽園ホール大会速報、PRE-PRIDEに髙田道場からの刺客
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	鈴木みのるvs獣神サンダー・ライガー戦直前特集。密着鈴木24時
11/27（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	プライド侍	10：00～12：00	月1回放送の『PRIDE』情報満載の話題のバラエティ番組
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：00～23：30	内容未定
	フジテレビ	すぼると	23：50～24：30	11/20を参照
11/28（木）	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	11/14を参照
	GAORA	バトルインフォメーション	21：30～22：00	11/14を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	22：00～24：00 26：00～28：00	➲Pick Up 3

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『U.W.F. COMPLETE BOX stage.3』

発売：クエスト
DVD21,000円/11月16日発売

『PRIDE.23』引退試合の前に髙田延彦の若かりし頃のファイトを総復習！

現在の格闘技ブームの先駆けとなった奇跡的な格闘技プロレス団体U.W.F.。前田日明、髙田延彦、藤原喜明、船木誠勝、田村潔司、名選手たちが一堂に会して覇を競っていた第2次U.W.F.は社会現象とまで呼ばれた空前の大ブームを巻き起こした。活動期間わずか2年8カ月で終焉の時を迎えたが、格闘技界に与えた衝撃は図り知れない。その後、選手たちはそれぞれの理想を掲げて団体を設立し、いずれも一時代を築いている。stage.3は1990年2月27日・南足柄市体育センター大会から、1990年12月1日・松本運動公園総合体育館までの全10大会53試合を完全ノーカット収録。

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

『K-1 WORLD GP SERIES 2002 IN LAS VEGAS』

発売：フジテレビ映像企画部
DVD3,800円/11月20日発売
ビデオ6,600円/発売中

K-1 WORLD GP決勝戦を目指し、ラスベガスが揺れた！

10・5さいたまスーパーアリーナで行われた『K-1 WORLD GP 2002 開幕戦』に生き残るため、8月17日にトーナメント形式で開催された『K-1 WORLD GP SERIES 2002 世界最終予選ラスベガス大会』が、DVDで登場する！ 世界地区予選を勝ち抜いた優勝者8名によるトーナメント戦には、マイケル・マクドナルドやアダム・ワット、パヴェル・マイヤーが出場。その他、スーパーファイトとして行われた"K-1vsPRIDE" マイク・ベルナルドVSゲーリー・グッドリッジ戦や、アーネスト・ホーストVSヤン"ザ・ジャイアント"ノルキヤ戦も見逃せない一戦だ！

〈新作紹介❸〉 It's HOT!

『K-1 WORLD GP SERIES 2002 IN福岡』

発売：フジテレビ映像企画部
DVD3,800円　ビデオ6,600円/発売中

"K-1vs『PRIDE』"と"純K-1" 面白い試合はどっちだ!?

7月14日（日）に開催された『K-1 WORLD GP 2002 IN福岡』が完全収録されたDVDがリリース。注目はなんといっても『プライド』で活躍しているファイターの参戦！ レイ・セフォーVS"暴走ハリケーン"ギルバート・アイブル戦や、クイントン・"ランペイジ"・ジャクソンVSシリル・アビディ戦は必見だ。橋本真也率いるZERO-ONEマットで大暴れしているジョシー・デンプシーと武蔵の闘いも見逃せない。純K-1のピーター・アーツVSアレクセイ・イグナショフ戦、ミルコ・クロコップVSレミー・ボンヤスキー戦は、K-1の魅力をアピールすることはできたのか!?

RENTAL RANKING（10/10～10/31調べ）

1. 『修斗2002BEST Vol.1』 クエスト
2. 『PRIDE.21』 フォーブリック
3. 『敗者なきゴング』 ZOOM
4. 『木山仁　弾丸ファイター』 メディアエイト
5. 『100人と戦った男 数見肇』 メディアエイト

2位 『PRIDE.21』
どうなる吉田戦!?『PRIDE.23』を前にドン・フライのベストバウトを再確認！

ドン・フライと高山善廣が男のプライドを賭けて激突した6・23『PRIDE.21』。観客の誰もが目を見張り、息を飲み、最後には涙した史上最激の殴り合いを完全収録。『プライド』2戦目のボブ・サップのビーストパワーにも大注目！

SELL RANKING（10/10～10/31調べ）

1. 『修斗2002 BEST Vol.1』 クエスト
2. 『修斗2001』 クエスト
3. 『総合格闘技 SUPER GAME PLAN 戦略練習法』 クエスト
4. 『プロフェッショナル柔術リーグ旗揚げ戦 GI-Um』 クエスト
5. 『DEEP2001 4th IMPACT』 クエスト

1位 『修斗2002 BEST Vol.1』
2002年上半期の試合の中から選ばれた名勝負を大収録！

競技として着実な進化を続けている修斗には、佐藤ルミナ、桜井"マッハ"速人に続く新世代が続々と登場し、今や下克上の嵐が吹き荒れている。2002年1月から6月まで行われた数多くの大会から、厳選された全23試合を収録。

『フィットネスショップ格闘技　水道橋店』

東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

ランキングにご協力いただいている格闘技ショップ『フィットネスショップ格闘技』では、格闘技ビデオレンタルを行っている。ビデオのほかにもTシャツをはじめとする各種グッズや、総合格闘技用のスパッツ、キック用のトランクス、サンドバッグ、サプリメントなど、やる側用品も充実しているぞ。くわしくはお店にお問い合わせを！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介〉 It's HOT!

『猪木ファスティングTシャツ』
グレート・アントニオ/3,500円（税別）

『I'm on Fasting』〜ファスティング中〜

「3日間、俺の前でメシを喰うんじゃねえ！」非常にわがままなTシャツだ……。コレを着てファスティング・ダイエットにチャレンジしよう！　それでこそ、真の猪木信者。我々の上にいる神は、ファスティング中のアナタを応援してくれるはずだ。

〈おすすめグッズ〉 Recommend

『ファスティング・ダイエット』
杏林予防医学研究所/18,000円（税別）

ファスティング・ダイエットが裏原に進出!?

なんと“A BATHING APE”のディレクターが、ファスティングに挑戦したぞ！　そして「やっちゃったぞッ、バカヤロー」つーことで、小島聡選手もファスティングを無事終了。結果はグレート・アントニオHPの『GREAT DIARY』を見てくれ！

グレート・アントニオ
西山千尋店長

「昨年発売された猪木&桜庭G-SHOCKに続き、今年はなんとッ、『武藤敬司 G-SHOCK』が登場!!　発売は12月を予定しております。詳細が決まり次第、グレート・アントニオHPで告知します！」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3219-9550
通信販売受付　☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00〜20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00〜18:00（月〜土曜）

GOODS RANKING

1. 『UWFインターロゴTシャツ』 グレート・アントニオ/3,800円（税別）
2. 『ボブ・サップTシャツver.2』 グレート・アントニオ/4,000円（税別）
3. 『ファスティング・ダイエット』 杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
4. 『ターザンパーカー』 グレート・アントニオ/6,000円（税別）
5. 『TPG パーカー』 グレート・アントニオ/6,000円（税別）

1位 『UWF インターロゴTシャツ』
全てのUインターマニアに捧げる！

『PRIDE.23』髙田延彦VS田村潔司を記念して絶賛発売中。髙田延彦&鈴木健両氏の許諾もしっかり取ったぞ。髙田ファンも、田村ファンも、金原ファンも、東京ドームにはUインターTシャツを着て全員集合！

Et cetra

武士道を抜きにして武道は語れない！堀辺師範の武士道セミナー開催

11月24日（日）より骨法の堀辺正史師範が第2回武士道セミナーを無料公開する。今回のセミナーでは、武士道の本質を個人と組織との関係の中に探り、その真実を明らかにするぞ！　乞う御期待。

◆日時/11月24日（日）から毎月最終日曜日（全8回）13:00～15:00
◆場所/骨法武術館（JR東中野駅前）
◆参加資格/高校生以上、男女問わず
◆参加費/無料
◆申し込み/要予約（20:00～22:00）
◆予約・問い合わせ/日本武道傳骨法會☎03-3362-0010

大道塾大森支部がゴールドジムサウス東京に開設！

11月より大道塾の加藤清尚（北斗旗全日本選手権4階級制覇）がゴールドジムサウス東京ANNEXに大道塾大森支部を開設した。突き、蹴り、投げ、絞め、関節技を加えた総合武道としての空手を各自レベルに合わせ安全に学べるぞ。君もこの道場で大道塾イズムを体感せよ！　入門に関する問い合わせは下記まで連絡を。

◆場所/ゴールドジムサウス東京ANNEX　東京都大田区山王2-4-1 大森駅前ビル6、7階（JR大森駅西口より徒歩1分）
◆練習日/毎週火、木曜日 19:00～21:00
◆入会金/10,000円
◆月会費/10,000円
◆問い合わせ/ゴールドジムサウス東京ANNEX☎03-5718-3939

女性のための総合格闘技スクール『MRC☆DX』が開講！

女子総合格闘技界のエース星野育蒔が主宰するMRC（マアティン・練習・サークル）の拡大版として、MRC☆DXがゴールドジムサウス東京ANNEXで開催されている。参加者、見学者は基本的に女性限定で、打撃から寝技まで、総合格闘技の全ての技術を徹底指導。初心者クラスや護身術講座、技術指導からスパーリングまで自分に合ったレベルで格闘技を楽しめる。選手になりたい、ダイエットしたい、ちょっと格闘技に興味を持ったアナタ！　一緒に楽しもう！

◆場所/ゴールドジムサウス東京ANNEX　東京都大田区山王2-4-1 大森駅前ビル6、7階（JR大森駅西口より徒歩1分）
◆練習日/毎週月曜日 19:30～21:00　スタンド・クラス
　　　　毎週水曜日 19:30～21:00　グラウンド・クラス
◆入会金/10,000円
◆月会費
一般（大学生以上）8,000円　高校生（18歳以下）6,000円
○上記はMRC☆DXのみの参加費用です。（プラス5,000円でゴールドジムサウス東京ANNEXの施設も使用可能）
○入会時には、打撃用練習セット（パンチング・グローブ、レガース）を購入すること
○万が一のケガに備え、スポーツ保険に必ず加入すること。年間1,400円の保険料が必要となる
○ゴールドジムサウス東京ANNEX会員の方や、同所の他の格闘技スクール会員の方は1回1,000円でビジター練習も可能
◆MRC☆DXに関する問い合わせ/☎03-5984-3209 担当・若林　m-r-c-55@mail.goo.ne.jp
◆ゴールドジムサウス東京ANNEXに関する問い合わせ/☎03-5718-3939

ゴールドジム神戸元町に待望の格闘技スクールがスタート！

12月1日（日）ゴールドジム神戸元町に格闘技スタジオを新設。それに伴い極真会館の松岡朋彦、修斗の中尾受太郎、テコンドーの館和男の各スクールをスタートする。有名格闘家が親切に指導してくれる。初心者、女性大歓迎！今ならお得な入会キャンペーン実施中だぞ！

◆場所/ゴールドジム神戸元町（神戸高速鉄道、東海道本線元町駅より徒歩3分、地下鉄湾岸線 大丸前駅より徒歩2分）
◆問い合わせ/ゴールドジム神戸元町☎078-334-3434

限定800セット！『鈴木VSライガー』フィギュア発売

パンクラスから久しぶりにレアものフィギュアが発売！11・30横浜大会で激突する鈴木みのるVS獣神サンダー・ライガーが登場。完売確実なこの商品は、お宝になること間違いなし！　11月30日（土）横浜文化体育館大会会場内で発売が決定。

◆商品名/『鈴木みのるVS獣神サンダー・ライガー』フィギュア　価格3,000円（消費税抜き ※会場販売は消費税サービス）
◆問い合わせ/(株) ワールドパンクラスクリエイト☎03-5792-7077

もう11・30横浜まで待ったなし！

ジャグジーとサウナが完備されたジムで平直行の格闘技クラスがスタート！

ゴールドジム海浜幕張に平直行の格闘技道場『ストライプル幕張』が12月よりオープン！　社会人でなかなか道場に通う時間の取れない人たちのために、夜9時からのクラスを始める。練習が終わったらジャグジーで疲れを癒して、また翌日から頑張ろう！

◆場所/ゴールドジム海浜幕張　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 World Business GardenビルWEST34-35F（JR京葉線海浜幕張駅より徒歩3分）
◆練習日/毎週火曜日 21:00～22:30
◆入会金/15,000円
◆月会費/6,000円
◆問い合わせ/ゴールドジム海浜幕張☎043-299-2711

空手道禅道会横浜道場では女子部を開設！

総合格闘技・空手道禅道会横浜道場では、11月より女子部をスタート。準指導員の大畑綾子が、フィットネス・ダイエットの指導から食品の取り方まで、細かくアドバイスしてくれる。みんなで健康な体作りを進めよう！　一般男性会員も募集しているぞ。一度見学をしてみてはいかがかな？

◆場所/空手道禅道会横浜道場（東急東横線網島駅から徒歩4分）
◆練習日/女子部・毎週水曜日 20:00～
◆月会費/女子部5,800円
◆問い合わせ/横浜事務局☎045-591-1813

第13回グローブ空手オープン選手権大会の試合結果！

10月5日に東京武道館で行われた第13回グローブ空手オープン選手権大会の結果を報告する。みなさんおめでとう！

○55kg以下の部
優勝/畠山悟史（フリー）　準優勝/岩崎道秀（フリー）
3位/栞原稔（留魂塾）　日下部健（健心館）
○60kg以下の部
優勝/高見澤孝夫（BUNGYM）　準優勝/佐藤政人（J-NETWORK）
3位/斎藤英雄（東大門）　井上総（小国ジム）
○65kg以下の部
優勝/川波大輔（小国ジム）　準優勝/丸山祐之（鍛錬会）
3位/中島賢二（フリー）　伊藤勇（東大門）
○70kg以下の部
優勝/林文典（BUNGYM）　準優勝/宮澤宗仁（BUNGYM）
3位/小松崎忍（鍛錬会）　杉山武司（東大門）
○ワンマッチ勝利者・防具なしの部
太田豪（拳桜会）　出口正蔵（フリー）
○ワンマッチ勝利者・防具着用の部
相澤秀行（BUNGYM）　中野信一（Y-P）
○ワンマッチ勝利者・女子の部
勝山舞子（留魂塾）　工藤道子（稲毛道場）
○ワンマッチ勝利者・中学生の部（防具着用）
玉木輝（キングジム）　野村弘樹（小国ジム）　向山竜一（キングジム）
○ワンマッチ勝利者・小学生の部（防具着用）
田村勇太（東京北星）　嶋田翔太（島田塾）　鳥羽歩（キングジム）　笠原司（島田塾）　長島侑心（PITジム）
酒井広行（PITジム）　矢内拓斗（八木橋道場）

第13回グローブ空手オープン選手権大会の入賞者

■お詫び
81号のEt cetraで紹介した正道会館尼崎支部の問い合わせ先の電話番号を誤って掲載しました。読者の方、関係者の方には大変ご迷惑をおかけしました。深くお詫びいたします。
訂正後の電話番号/正道会館・尼崎支部☎0727-71-1788

GOODS & TICKET
ショップガイド

東京イサミ　新宿駅南口徒歩3分

〒101-0061　東京都新宿区新宿4-2-21 相模ビル3F
03-3352-4083
毎週火曜日、祝日定休　営業時間　11:00～19:00

イサミ尚武堂(株)　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町2-18-5京三会館2F
03-5214-6487
年中無休　営業時間　11:00～19:00

チャンピオン　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F
03-3221-6237
年中無休　営業時間11:00～22:20

書泉グランデ　書泉ブックマート　地下鉄神保町駅

〒101-0051　東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

レッスル渋谷　渋谷駅南口徒歩4分

〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル3F（1F茜屋）03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

ファイター　地下鉄新宿3丁目駅　C4出口徒歩1分

〒160-0022　東京都新宿区新宿3-3-9-B1
03-3354-1903
毎月第3水曜日定休　営業時間11:00～19:00

アイドール　西武新宿駅徒歩5分

〒160-0023　東京都新宿区西新宿7-1-3　加藤ビル4F
03-3371-5211
毎週月曜日定休　営業時間　11:00～19:00

主要チケット発売所

チケットぴあ	03-5237-9999	渋谷東急文化チケットセンター	03-3406-1513
チケットセゾン	03-3250-9999	レッスル渋谷店	03-3464-0078
ローソンチケット	03-3569-9900	レッスル池袋店	03-3989-0056
CNプレイガイド	03-5802-9999	板橋大山アメリカン	03-3962-6443
オデッセー	03-3408-0331	チャンピオン	03-3221-6237
書泉ブックマート	03-3294-0011	フィットネスショップ格闘技	03-3265-4646
後楽園ホール	03-5800-9999		

格闘技オフィシャルホームページ

- K-1　http://www.k-1.co.jp/
- UFO　http://www.ufojp.co.jp/
- 極真会館（松井派）　http://www.kyokushin.co.jp/
- リングス　http://www.rings.co.jp/
- アントニオ猪木　http://www.inokiism.com/
- 大道塾　http://www.daidojuku.com/
- パンクラス　http://www.so-net.ne.jp/pancrase/
- UFC　http://www.ufc.tv/index1.asp
- 怪獣王国　http://www.monsterkingdom.com/
- シュートボクシング　http://www.shootboxing.org/
- 日本武道伝骨法会　http://www9.big.or.jp/˜koppo/
- 修斗　http://www.alles.or.jp/˜shooto/index.html
- 新日本キックボクシング協会　http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/
- 全日本キックボクシング連盟　http://www.aj-kick.co.jp/
- J-NETWORK　http://www.kickboxing.co.jp/
- PRIDE　http://www.so-net.ne.jp/pride/
- 高田道場　http://www.takada-dojo.com/　http://www.takada-dojo.com/i/（iモード用）
- 聖拳道　http://www.seiken-do.com/
- 全日本新空手道連盟　http://www.shinkarate.net/

宇月田麻裕の
Mahiro Utsukita

北斗占い®

破軍　武曲　廉貞　文曲　貪狼　禄存　巨門

11/14〜11/27

★北斗占いとは★
古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係が幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンコク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブコク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

貪狼星

全体運
吉兆星が輝いています。理屈より直感が成功のカギ。しかも進路選択などの重要なことほど悩まずに決断してOK。交友関係でも「この人がスキ」と感じたらノリですぐに友だちになってしまおう。意外とよき協力者になる可能性大。

恋愛運
ちょっとマンネリのカップルは逆に今が結婚のチャンス。新生活のスタートで運勢が好転しそう。フリーは過去の清算をしておくと年末に新しい恋の予感。

勝負運 共同で何かをしたり購入をするとツキあり。

健康運 日頃から階段の昇り降りで運動不足解消。

金運 高価な買物には親の援助が期待できそう。

★ラッキーカラー★
ピンク

★ラッキーアイテム★
ビジネスバッグ

★ラッキースポット★
展望台

巨門星

全体運
凶兆星の出現で行き詰りそう。仕事やスポーツでのヤル気がなかなか結果に結び付かない時で、イライラして周囲との関係も悪化しそう。まずはあなた自身が冷静になり、信頼できる人に相談してみると貴重なアドバイスが。

恋愛運
恋のライバル出現の暗示。言葉でストレートに気持ちを伝えるしか勝利への道はなさそう。ただし、強引な態度は逆効果なので、あくまでも紳士的に。

勝負運 集中力が足りないので短期決戦で勝負して。

健康運 硬くなった体はストレッチでほぐそう。

金運 タンス預金は整理してまとめておこう。

★ラッキーカラー★
ゴールド

★ラッキーアイテム★
折りたたみ傘

★ラッキースポット★
書店

禄存星

全体運
精神的に不安定な時。やりたくない仕事をやらされて落ち込み、それが原因でミスも犯してしまいそう。この状況を乗り切るには、職場で笑顔を絶やさないこと。周囲を明るくすることで、あなたを再評価する人が現れそう。

恋愛運
フリーは素敵な人が現れる予感。年上と縁があるので先輩の紹介話は要チェック。カップルはプレゼントで愛情の再確認を。手紙を添えると効果がUP。

勝負運 熱くなりがちなので冷静さを保つのがカギ。

健康運 毎朝軽い運動を心掛けるとグッド。

金運 専門外のうますぎる話に乗らないように。

★ラッキーカラー★
レッド

★ラッキーアイテム★
アルコール

★ラッキースポット★
コンビニ

文曲星

全体運
感情のコントロールに苦労する時。人と口論になったら取り返しのつかないことになるので、仕事の進め方や練習方法で意見が食い違っても相手を非難しないこと。「人それぞれなんだな」と流したり、同調していくのが○。

恋愛運
あなたのさりげない優しさが絆を深める時。プレゼントよりメールのほうが彼女のハートに届きそう。フリーはオシャレな店で知的な女性との出会いの予感。

勝負運 理屈より気合重視で臨むと良い結果が。

健康運 食欲があり過ぎるので暴飲暴食に注意。

金運 プランを立てないと給料日前にピンチに。

★ラッキーカラー★
ブラウン

★ラッキーアイテム★
手帳

★ラッキースポット★
美術館

廉貞星

全体運
新しいことを始めるのに良い時。「やってみたい」と思ったらさっそくトライしてみると、自分でもびっくりするくらいに上達しそう。ビジネスでは、パートナーに恵まれるので、情報交換を密にしておけばチャンス到来の予感。

恋愛運
ジェラシーが顔を出す時。彼女が他の男性と親しくしていても、「アイツに魅力があるからだ」くらいの大人の態度で。信頼が愛情を長続きさせるカギ。

勝負運 数字を使ったギャンブルにカンが冴えそう。

健康運 好調なので筋トレはキツめにしてOK。

金運 ネットの経済情報で投資の時期を見定めて。

★ラッキーカラー★
イエロー

★ラッキーアイテム★
シューズ

★ラッキースポット★
エスニックレストラン

武曲星

全体運
変化が幸運を招く時。ファッションでのイメチェンを図ると、周囲の評価がUP。さらに、あなた自身もハイテンションになれるので、この機会に過去に挫折したプランを再開してみては？　今回はクリアできて自信になるハズ。

恋愛運
恋人から突然別れ話が浮上する暗示。あなたの浮気が原因なら、素直に謝ればやり直せる可能性あり。フリーは、アプローチする前にリサーチをしよう。

勝負運 一発勝負に賭けると低迷期から脱出の期待。

健康運 疲れていると感じたら十分な休養を取って。

金運 大きな財布に変えると臨時収入がありそう。

★ラッキーカラー★
シルバー

★ラッキーアイテム★
名刺入れ

★ラッキースポット★
インテリアショップ

破軍星

全体運
最近のあなたは、ちょっと自分勝手になっていない？　このままでは同僚や友達の中で浮いた存在になってしまいそう。たまにはボランティア精神を発揮してみると、周囲の人たちのありがたさが分かり、人に優しくなれるハズ。

恋愛運
片思いのあなたはそろそろ積極的になってみて。たとえ恋が成就しなくても、その経験があなたを成長させてくれるハズ。カップルは小旅行で愛が深まりそう。

勝負運 イマイチ。無理な勝負は避けたほうが○。

健康運 疲れが足に来ているのでよくマッサージを。

金運 後輩におごると徐々に金運がUP。

★ラッキーカラー★
ブラック

★ラッキーアイテム★
卓上カレンダー

★ラッキースポット★
ゲームセンター

宇月田麻裕プロフィール
ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、TBS「ワンダフル」出演をはじめ、雑誌、webなどで活躍中。NTT Vポータル tel 0570-0033-03「テレフォンナンバー占い」オープン。URL http://www.happiness-f.com/

イラストレーション＝松本晴夫

ザッツ・ムチャリブレ ⑭

山本隆司

〝神様〟ゴッチが渕に言った一言とは

髙田延彦対田村潔司戦が決まったことで「UWFとは何だったのか？」という問いかけをしてくれたのは、我々にとって幸運なことだったと考えている。

UWFは実を言うともう記憶の底にほとんど沈んでいたものだったからだ。ただ、記憶というのは死んでいたものを、急に生き返らせたりする作用がある。

非常にしぶといものなのだ。そこで私はプロレスを「記憶をベースにした思考的快楽または心理的遊び、ゲーム」だと定義したい。

昔、私は「プロレスについて考えることは喜びである」と言ったが、それは豊かな記憶があって初めて成立するものなのだ。

髙田対田村戦のキーワードは試合を〝見る側〟からすると記憶に尽きる。なぜ、人は記憶にこだわるのか？　全てを美化できることが最も大きい。人間は現実的には常に現在を生きているものだがよく観察してみると、ほとんどの人が過去の記憶に引っ張られ、拘束され、こだわりそのことでみんな過去に生きているというパラドックス現象を起こしているのだ。

私は現在を現在進行形としてダイナミックに生きている人は、本当に一握りだと思っている。それが人生における本当のエリートだと思うが、それは全体の3パーセントぐらいだろう。現在を生きる。時代を生きるということは「破壊」「挑戦」「創造」という三つの死闘を、自らに背負うことを意味しているのだ。

そんなしんどいことを誰がやろうとするのか？　物好きか変人に決まっているではないか？

私は今、この〝物好き〟という言葉が一番、好きなのだ。いい言葉である。ただ、好きなのではなく、あくまで物好きなのだ。

まあ、理屈はここまでにしておいて、UWFといったら忘れられない人がひとりいる。カール・ゴッチさんだ。今となっては〝さんづけ〟することがベターだ。

ゴッチさんのニックネームは「プロレスの神様」。まったく我々の大先輩であるプロレス記者の人たちは、プロレスを完全にファンタジーとして見ていた。

だから想像力と発想が飛び抜けている。とてもかなわない。「人間発電所」とか「地獄の料理人」とか「不沈艦」とか凄すぎる。

ゴッチさんはフロリダ州タンパで仙人のような生活をしている。日本から多くのレスラーが、ゴッチさんの所に行き練習している。

全日本プロレスの渕選手もそのひとりだった。ちょうどタンパにアパートを借りて、フロリダをサーキットしていた時の話だ。当然、帰りは遅くなる。寝るのはだいたい朝の4時頃。それなのに毎日のように9時頃、ゴッチさんから電話がかかってくる。

食事を作ったから朝食を食べに来いというのだ。行ったら食事どころかすぐに練習だ。睡眠不足でくたくた。力が入らない。そうしたらゴッチさんに「お前、今までウチに来た日本人では一番力が弱いなあ」と言われた。

「冗談じゃないよ。新日本の選手は練習するためだけにゴッチさんの所に来たんじゃないか？」と反論したくなったが、神様にそんなこと言えるはずがない……。■

〜お客様は神様です〜

あぶもぐ

五月場所 4日目

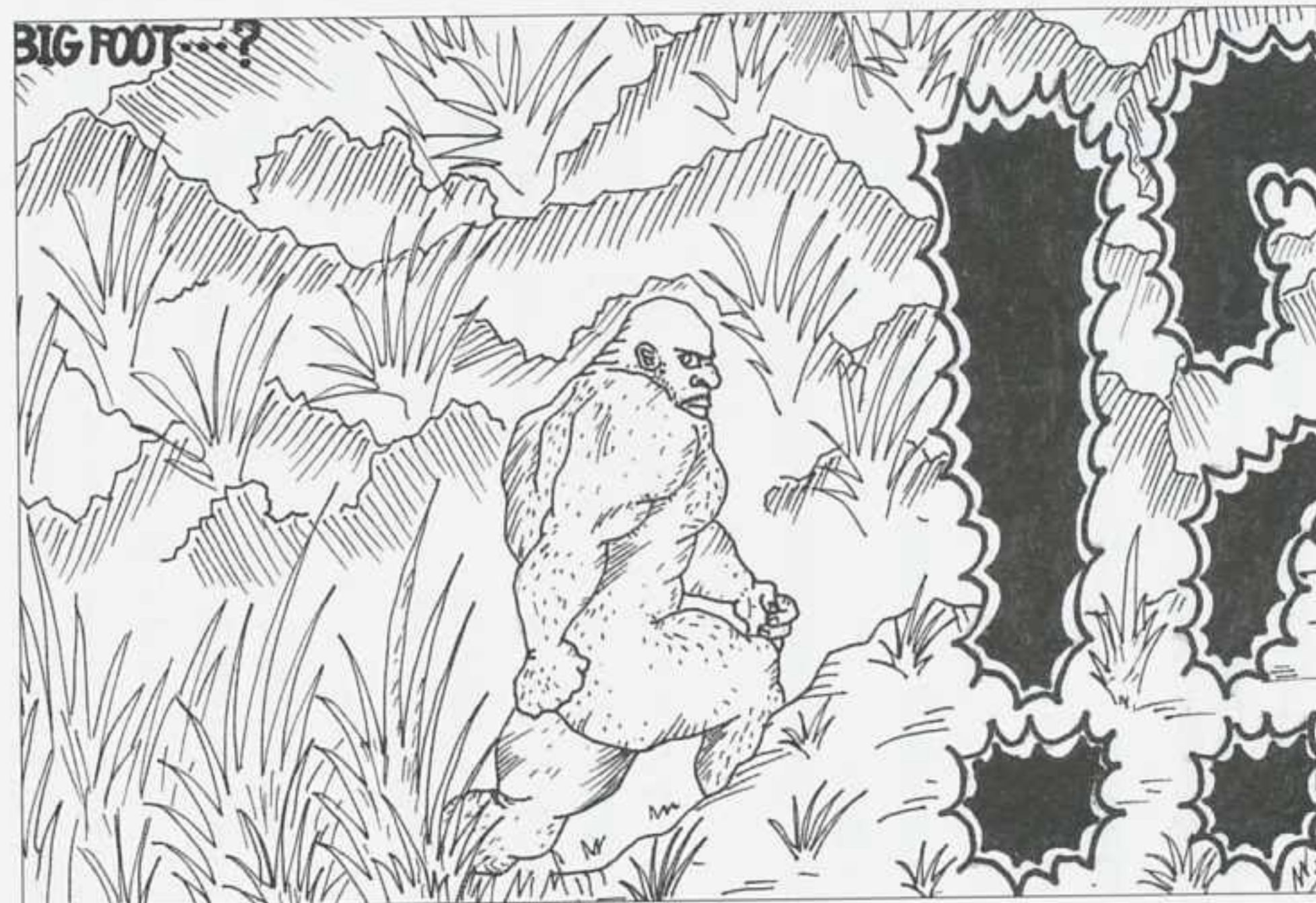
ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

イラストコーナーですよぉ！

（本橋秀直・東京都羽村市・15歳）◆面白いよぉ！

（エリック・東京都江戸川区・17歳）◆おい、傑作だなぁ〜。

（シンペイ・タナカ・東京都世田谷区・？歳）◆俺の勝ちですよぉ！

（桐田英治・？・？歳）◆ムチャだなぁ！

ターザンがすっかり住みついてしまって、編集部の環境がガラリと変わってしまいました。このページもゴキータが終了したので、素晴らしい作品はゴキータのあったスペースにでかく載せるかもしれないぞ。今後もドンドン送ってください！

▲葛飾区在住、山本隆司さんの寝顔を激写！

今回もロシアはターザンだったね。それにしても、コピィロフの言っていることは全て言い訳にしか聞こえなかったね。
（藤井佑樹・埼玉県さいたま市・19歳）
◆言い訳もここまで開き直れれば十分素敵です。

シウバの「ヨシダには投げがどういうものかを俺が教えてやるぜ」という発言に逃げるなよ、吉田秀彦！ 男だろ。ドン・フライと闘うんだろ。勝っても負けても、次はシウバと闘ってね!!
（真野翼・神奈川県横浜市・？歳）
◆シウバが投げを狙うというなら、この試合は柔道ルールでやらなきゃいかんなぁ。

谷川さんは何歳？ K―1の試合会場や『プライド』の試合会場は誰が決めるん？ 来年のスケジュール発表いつ？ 決めるヤツに土日しかやるなと言っておけ。
（田似価和差打刃流・三重県松阪市・12・5歳）
◆谷川さんは何歳だっけ？ 「土日しかやるな」と言っておけって言われても、こっちも誰が決めているのか知らねぇんです。

今回でわいは『あぶもぐ』を引退する。だが、わいのライバルを『あぶもぐ』に送り込むからよろしく。まあ、東京ドームでわいに会ったら声掛けな。『SRS・DX』を買ったから分かるやろ。これからもK―1会場に現れるからな。それじゃ、さいならっきょ。
（レイ・ロニーセフォー・岐阜県・17歳）
◆声を掛けろと言う前に、どんな顔をしているか教えろ！

K―1・7番目の「レイ・ロニーセフォー」、この前はちょっと言い過ぎた…。セフォーは糞だと思ってたけど、『K―1 REVENGE99』のアンディとの試合を考えてみると、金的をもらって悶絶しながらも執念で4Rの終了まで闘ってたな。結局そこでTKOになったけど、あれはよく頑張ったと思うぜ。あいつは根性なしなんかじゃねぇ。悪かった！ おまえ、就職試験受かったのか。オレも受験生だからそれは「おめでとう」と言ってやる。だがな、べつに仲良くなりたいわけじゃねぇぞ。ミルコが逃げただと!? 勝手なことぬかすなボケ！ 俺とミルコはばあちゃん同士が兄弟なんだ！ 悪く言うヤツは許さん!! よし、今年セフォーはちゃんと優勝しろ。そんで、来年帰ってきたミルコと対決だぁー!!
（エリック・東京都江戸川区・17歳）
◆あなたはクロアチアの方ですか？

プロレス版裏座談会はくだらない！ 汚らしい！ 見るだけのプロレスオタクにコビ売るな。こんなの相手にするな。
（水谷順一郎・三重県員弁郡・29歳）
◆コノヤロウ！ あんたにコビ売ってない分、フィフティ・フィフティだろう！

玉×谷

玉 元気があればなんでもできる？
谷 できるわけねーだろ。なめんな。
玉 サップをどう思う？
谷 スモールライトで小さくして殴ればいい。
玉 吉田はどうですか？
谷 『プライド』ルールでやれ。
玉 世界ナンバー1の人は誰？
谷 分からんがナンバー4なら知ってる。
玉 だ～れ？
谷 ひみちゅ。ちなみに「レイ・ロニー」の友達。ヤツはパンチングマシンで200だしね。
（玉置・谷口・岐阜県可児市・18歳）
◆何が言いたいのか分からないけど、良くできました。

髙田VS田村戦に反響続々！

僕の世代もプロレス＝UWFだから髙田VS田村戦最高！ あとは長井（全日）VS垣原（新日）はどうですか？
（井口登・大阪府茨木市・29歳）

引退前の髙田にターザン節で迫っていくインタビュー、とても面白いです。
（船越幸雄・神奈川県川崎市・29歳）

髙田VS田村を"UWF"青春の終着駅と定義するとは、さすがターザン、詩人ですねぇ。試合後にUWFのテーマが高らかに流れるのでしょうか。それとも意表をついて入場曲に使うかも。もしくは試合中にBGMとして聞こえてきて呆気に取られるとか。とにかく凄い楽しみです。
（春名義行・兵庫県明石市・36歳）

髙田VSターザン対談で面倒臭そうに受け答えする髙田選手に、何とも言えない哀愁を感じる。
（長瀬一樹・東京都板橋区・27歳）

髙田の対戦相手がとても気になっていたので、とても良かった。UWFとは何かが分かった。髙田ガンバレ!! 髙田延彦引退!! とても悲しい～!! 髙田よ～、最後ぐらい勝ってくれよ～!! 見に行くからな～!!
（添田正和・東京都足立区・19歳）

髙田ファンなのですぐに買いました。髙田延彦VSターザン山本はターザンの引き出し方がうまくて、面白かった。
（江本和隆・東京都中野区・42歳）
◆"UWF"青春の終着駅、髙田VS田村戦への反響がもの凄い！ 大会当日は女房を質に入れてでも、見に行け！

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！ 質問もOK！ 強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

プロレス版 SRS・DX 覆面 裏座談会

第1回 WWE日本上陸をぶった斬る!

X 今度またWWEが日本に来るんだよな。今回はこれを話題にしよう。

Y 来年の1月24日と25日か? なんだよ東京ドームじゃないのか?

Z 国立代々木第一体育館だろ。会場としてはスケールダウンだな。

X ということは始めから力が入っていないということだよ。その程度のメンバーしか来ないんじゃないの?

Y HHHにケインにクリス・ジェリコにRVDにブッカーTか?

X ちょっと弱いよな。なぜなの?

Z それはさあ、WWEが二部制で興行をやっているだろう。それはもし海外で興行をやる時に二派に分けていたら便利だからさ。

X えらく詳しいじゃないか?

Z 二派に分けていたら日本に遠征する〝RAW〟チームが行っても、アメリカの国内では〝スマックダウン〟はやれてる。そういう計算なんだよ。

Y WCWというライバルがなくなったので、競争相手がいなくなった。それで自分たちの中で二つのチームを作って競争させるためじゃないの?

Z もちろん、本当の理由はそれだよ。もう一つ別の理由が世界戦略のサーキットをする時のためなんだよ。

X それを言うなら日本のプロレスファンからすると「なんだよ、これWWEの全選手じゃないじゃないか?」という疑問が出てくる。そうだよな。

Y さっき言ったメンバーじゃどう見ても、どしょっぱいよ。

Z しょっぱいはまだいいけど〝ど〟まで付けなくてもいいんじゃないか?

Y それならHHHは本当に来るの?

X 〝RAW〟の目玉のレスラーだけど彼は大事なところで、よくケガをしたりするというじゃない?

Y 噂だとステロイドの後遺症で大きな大会の時、休んだりするという話をどこかで聞いたことがある。

X でも、一応は来るんじゃないの? HHHはやっぱり来るよ。

Y 前科のある者はあぶないよお。

Z お前、水を差すな。それともアメプロ嫌いなのか?

▲来年は世界戦略を進めるWWEの総帥ビンス・マクマホン。来年の日本上陸ではぜひとも、来日してほしい

プロレス版 覆面

裏座談会 第1回

「闘龍門」のウルティモ・ドラゴンがWWEの選手として逆上陸する？

Y そういうつもりじゃない。

Z じゃあ、オレがとっておきの切り札を教えてやろうじゃないか？

Y なんですか、それは？

X オレも興味あるなあ。

Z あくまでもひょっとしたらの話だよ。「闘龍門」のウルティモ・ドラゴンが、WWEの選手として逆上陸するかもね。

Y 何？ それ、本当かよ。嘘だろ？

Z いや、まだ、何も決まったわけじゃないけど、それはあり得る話で〝ない〟とは言い切れないんだよ。

X ウルティモ校長は何もまだ契約していないんじゃないの？

Z そうだよ、だからこれからどう転ぶか分からないよ。ただ、一つだけ言えることがある。

Y なんだよ、それは？

Z ウルティモが「闘龍門」のブッカーから降りているんだよ。

Y え、そうなの？

Z そうなんだよ。それはどういうことかというと、カード（試合）に関してエージェント制を敷いたんだよ。

X 何、そのエージェント制って？

Z 一つの興行で3試合ずつぐらいOBのレスラーが、エージェントとして付くんですよ。その人がその3試合についてどうするのか、マッチメイクしていくというわけだよ。

Y へ〜、そんなことあるの？

Z あるのと言ったって、すでにWWEではずっとやっているんだよ。総責任者であるエグゼクティブブッカーの下にエージェントがいるというシステムさ。

▲WWE日本再上陸の切り札は、闘龍門の校長ウルティモ・ドラゴンだった

X じゃあ、具体的にはどういうことになっているんだよ？

Z たとえばの話だよ。ストーカー市川という選手がいるだろ。

Y いる、いる。「闘龍門」の中では、おちゃらけキャラだけど、オレはストーカーの試合は好きだよ。笑えるよ。

Z そのストーカーにSUWAがエージェントとして付いたら、その時、ストーカーの試合がファンに受けず「面白くない」と言われたら、その責任をSUWAがとらなければいけないんだよ。

Y なるほど考えてるなあ。さすがWWEはビジネスに徹したシステムを、作り上げているんだ。びっくりしたなあ。

Z そんなこと知らなかったの？ だから日本のプロレスはだめなんだよ。いやプロレスマスコミが遅れているんだよ。

X あ、そうか。アメリカのプロレスに詳しいウルティモは、そのシステムを「闘龍門」に取り入れたのかぁ。さすがと言うしかないなあ。オレは「闘龍門」のファンなんだけど、なぜ「闘龍門」がプロレスとして人気があり、面白いか今はっきり分かったよ。

Z だから遅れていると言うんだよ。君たちは勉強不足だあ。世界のことを知らなすぎる。ダメだなあ。WWEではOBのディーン・マレンコが、ジュニアの試合をエージェントとして、受け持っているんだから。

Y オイ、オイ、オイ。日本のプロレスは10年いや30年、遅れているよ。

Z そうだろ。そう思うだろう。

X まいったなあ、もう。

Z 何を言っているんだよ。もっと言うならスティーブ・オースチンの試合は元フリーバーズのマイケル・ヘイズがやっていたからね。

Y なんだよ、やけに詳しいなあ。

Z 勉強しろよな。お前ら本当に〝プロレス〟大音痴野郎。井の中の蛙、大海を知らずとは、お前らのことだ。アメリカって凄い国だよ。時々「この試合のストーリー、応募します、募集します」とやっているんだよ。

X そんなもの〝アチャー〟の世界だよお。ビジネスに徹しているんだなあ。

Z プロレスってビジネスじゃないとでも思っていたの？ 君たちはおめでたいよ。これじゃあ、エンターテインメントは永久に理解できないよ。あのね、21世紀は〝アイデアの時代〟なんだよ。これはどんなジャンルでも言えることでアメリカはそれをよく分かっているので、アイデアにお金を払うんだよな。

Y 日本は払わないよなあ、いくらアイデアを出しても〝ただ〟でいただいちゃうんだよ。失礼だよなあ。

Z 失礼じゃなくて日本人にはその価値観がないんだから、仕方ないよ。アメリカの成功はみんなアイデアにお金を出すからなんだよ。

X そうか日本も「アイデアは金なり！」と声を大にして言わなくちゃあ。

ウルティモは総責任者の下にエージェントがいるというシステムを「闘龍門」に取り入れた

Ｙ　そういう時代になるとオレなんか大金持ちになれるんだけどなあ。

Ｚ　アイデアに金を払えだよ。でも、失敗例もあるんだよ。かの有名なＷＣＷを崩壊に導いた、ビンス・ルッソー。

Ｙ　誰、それ？　何者？

Ｚ　彼がＷＣＷのブッカーやってブレイク・オーバーさせ、そのついでに自分がＷＣＷの世界チャンピオンになってしまった男だよ。「オレ様がエンピツなんだあ。オレ様が一番、強いんだあ」とテレビでそれをそのままやっちゃった。

Ｙ　なんだよ、それ。アメリカって一方では狂ってるね。クレイジーだよ。

Ｚ　ビンス・ルッソーは元はと言えば日本で言うと、プロレスの裏側に興味あるマニアのファンだったんだよ。

Ｘ　そんな人間がなぜＷＣＷの世界チャンピオンになれるんだよ。おかしいよ。

Ｚ　おかしいだろう。だからＷＣＷは潰れたんだよ。

Ｙ　怖いなあ、アメリカって。いいところと悪いところが、もうぐちゃぐちゃじゃないか？

Ｚ　97年、98年、99年、ＷＷＦ（現ＷＷＥ）が一番、ピークの時、ビンス・ルッソーはストーリーを全部、考えて大成功させた男だからね。セイブルのボインのお姉ちゃんを売り出したのもヤツだからね。エッチ路線を導入したのもアイツ。その根底にあるのは視聴率さえよければいいんだという思想さ。

Ｙ　アメリカってやっぱり面白い国だ。オレも英語ができたらなあ。

Ｚ　最初、ＷＷＦはＷＣＷに84週間、視聴率で負けていたんだよ。マンデーナイトのテレビ戦争でだよ。それを大逆転させたのは、ビンス・ルッソーというシナリオライターがいたからだよ。

Ｙ　プロレスシナリオライターかあ。

Ｚ　ＷＷＥを日本のファンが面白いと言って騒ぐんだったら、そんなことでびっくりしたら笑われるよ。

Ｙ　笑われる？

Ｚ　そうだよ。大衆は面白ければいいんだよ。ルッソーがＷＣＷに移った時、あのニューヨーク・タイムズ紙が「プロレスのシナリオライター、ライバル会社にジャンプ！」とでっかい記事にしたんだよ。日本じゃ信じられないだろ？

Ｘ　ということはアメリカのメディアはＷＷＥすなわちプロレスのことを、全て認知しているんだなあ。それこそ市民権獲得の証拠になるなあ。

Ｚ　ルッソーは元新聞記者というか雑誌記者だったんだよ。でも、傑作なんだよな。アイデア人間というのは「オレが一番、偉いんだよ。オレがこの世界を作っているんだよ」と勘違いしてしまうことなんだよな。

Ｙ　分かるなあ、そうなるのは。

Ｚ　アイデア人間が陥りやすい罠ってわけさ。魔の手にひっかかるんだよ。

Ｘ　オー、怖（こわ）！

Ｙ　ＷＷＥには学ぶべきものが多いけど反面教師的一面もあるんだあ。

Ｚ　今のＷＷＥは〝ＲＡＷ〟と〝スマックダウン〟の二つのグループに分かれて興行をやっているんだけど、圧倒的に〝スマックダウン〟のほうが、面白いと言われているんだよ。日本にどうせ来るならそっちのほうに来てほしかったよ。

Ｙ　なんだ、ダメなほうが来るのかあ。日本はなめられてるなあ。

Ｚ　〝スマックダウン〟のヘッドライターは、ポール・ヘイメン。ＥＣＷ出身の！　〝ＲＡＷ〟のヘッドライターはハリウッドのドラマを書いていたヤツ。ドラマ畑の人間。だから今いちプロレスのことを、よく分かっていないんだよな。この間もネクロフェリアといって、死体に姦通するおかしなストーリーをやって、世間から凄くバッシングを受けたばっかりなんだよ。

Ｙ　ええ、大丈夫なの？　そうなったらウルティモ・ドラゴンが、ＷＷＥとして逆上陸するしかないなあ。ウルティモファンのオレとしては、ぜひそういう展開になってほしいなあ。

Ｘ　もし、そうなったらいいギャラもらえるんだろうなあ。

Ｚ　それは甘いよ。向こうの考えは日本とまったく違うからね。ＷＷＥはギャランティーマネーという発想がない。最初のギャラは決して高くない。むしろ安いぐらいだよ。人気が出たらそのつどギャラは上がる。つまりさあ、ギャラは集客力があるか、ないかによってアップ、ダウンしますよと言っているんだよ。

Ｙ　じゃあ、全日本プロレスで武藤が社

▲来年の１月24日と25日、代々木第一体育館で２連戦を開催することになったＷＷＥが、10月30日、都内のホテルで記者会見を開いた。選手で出席したのは、左からマーク・ヘンリー、アイボリー、ブラッドショーの３人だ

プロレス版 覆面

裏座談会 第1回

WWEの年商は456ミリオン。日本円にすると500億円!!

▲今年の3月1日に開催された横浜アリーナ大会は大成功。代々木第一体育館も興奮のるつぼとなるのか？

長になった時、スティーブ・ウイリアムスのギャラを、ダウン提示したのはそれと同じこと？

Z そのとおりだよ。全日本もWWEと同じ考え方をしてきたんだよ。アメリカはトップスターであっても、収入はあくまでペイ・パー・ビュー（PPV）やTシャツなどのグッズのパーセンテージだったりするわけだよ。ファイトマネーに関しては最低限度の保証はするけどそれから先は「分かりません！」とはっきり言うんだ。

X 正常な考えだねえ。それを日本で適用したら、大変なことになるなあ。

Y そうだよ。日本選手はギャラに見合う働き、仕事、人気はないと言えるね。合格点を取っているレスラーは、本当に少ないんじゃないの？

Z 日本って日本人レスラーのギャラを下げられないんだろう？ それってプロの世界ではおかしいよ。プロ野球だったら、成績が悪かったら年俸は下がるんだからねえ。

X プロレス団体はそれができないんだよなあ。坂口会長が新日本プロレスを改革して、5年後を見てくれと言うなら選手のギャラ査定を、真のビジネスライクにしないと、ダメなんじゃないの？ そんなの企業と言えないもん。

Y いや、それは気が付いたみたい。リストラはしないが年俸制度は見直すと「週刊プロレス」に出ていたもん。

X 日本の社会では人情からいってもリストラはできないよな。本当はその壁さえ突破しないとダメなんだけど。

Z 難しいだろうね。WWEは3月に日本に来た時には、良かったよな。マット界にショックを与えただろう。

X 瞬間的ショックを与えたけど、決定的カルチャーショックには、ならなかったよなあ。あれも一過性なのかなあ。

Z 最も評価すべきことは日本のプロレス専門誌（紙）の宣伝とか、バックアップなしで横浜アリーナが、超満員になったことだよ

Y それって専門雑誌的には敗北といえるんじゃないの？

Z あれで分かったことは日本のプロレス専門誌の役割は終わったという事実じゃないの？ だって全然、あの大会を宣伝していなくて客がいっぱいになったんだから、無力ということだろう。WWEを面白いと思っている人たちは、日本のプロレス専門誌なんて、もうどうでもいいんだと思っているんだよ。もう一つはあれで日本の客は、プロレスの正しい楽しみ方をはっきりと見付けたということだろうね。日本のプロレスの試合を見るよりも、テレビでWWEを見ていたほうがずっと面白い。そういう人が増えているんだよなあ。

Y プロレスになんの知識も持っていない人が、たまたまスカパーのチャンネルで、WWEの試合を見たらそれが、彼らにとってのプロレスなんだよ。

Z そうなると日本のプロレス団体は台無し状態になってくるんだよなあ。

X ああ、それってメジャーリーグの野球のほうが、日本のプロ野球より面白いことに気付くのと同じになるなあ。マグナムTOKYOが、ディファ有明でプロレスマスコミ批判をやっただろう。あれマンガなんだよ。だって「闘龍門」を見に来ている女のコは「週刊プロレス」も「週刊ゴング」も見てないし読んでいないんだから。

Y マグナムにお前は週プロと週ゴンは、もう見るな、読むなと言いたいね。「闘龍門」はWWEになればいいんだよ。専門誌に頼らないファンが出てきたというのが現実なんだよ。

Z あれを放映したテレビ東京もやってくれたよな。わざわざタイタンタワーのあるコネチカットに行って、担当副代表の人に「あなたの会社はエンターテインメント宣言して、全部ショーだと断言したそうですが、それは本当ですか？」と最初にその一言を聞いている。そこでちゃんと「ショーです」と言わせているんだよ。それをテレビ東京のビジネス番組でやっていた。

X へえ～。そうだったの？

Z 株のアナリストも出てきてWWEの年商は456ミリオンです。日本円にすると500億円です、と。

Y 日本とはケタが違うなあ。

Z ケタが違うとか、もうそういうレベルの話じゃないよ。

X 新日本の年商はどうなの？

Y 30億から40億の間ぐらいじゃないの？ でも、今年の数字は厳しいんじゃないかな。

Z 年収だって過去、レスラーで1億円もらった人が日本では何人いたんですかと。アメリカでは7人、8人いますよ。〝ストーンコールド〟オースチンは一時、10億超えていたんだからね。

Y ムチャだねえ。

Z ムチャだよお。WWEのことを知れば知るほど、日本のプロレス界はつくづく終わったなあと思うもんね。

X とにかくHHHは絶対に1月日本に来い。そしてウルティモも一緒に来い。そう言うしかないなあ。■

編集後記

◎デザインをやっていて、頭の中から何もイメージが出てこない時がある。文章を書こうとすれば、今度は言葉が出てこない。理由は頭の中にネタとなる“絵”が足りないからだ。ターザン山本さんが「お前らもっと映画を観ろ！」と言っていた。映画を観て「無数の絵をインプットしろ」と言うわけか？　インプットしてアウトプット。これってメシ喰ってウンコするのと同じだ。バンバン喰ってバンバン出すぞ！（のじ）

◎今回の編集後記の目標は文字をキッチリ隙間なく埋めること。前号では4文字も空いてしまい、ターザン山本さんから「これはだらしがない！　パンツを汚すのと同じですよぉ！　おまえはパンツ大汚れだぁ！」とお叱りを受けてしまった。これは青春が隙間だらけの証拠。56歳で、パンツ一丁で編集部に寝泊まりしている山本さんを見習って、青春の隙間を埋め、抜けてしまった頭の10円ハゲも埋めるぞ！（小松）

◎12月14日、小林聡がタイへ乗り込むのだが、この日はキックの重要な試合がもう一つある。日本キック連盟の小野瀬邦英が引退試合を行うのだ。派手な舞台には縁遠かった。念願の武田幸三戦も（大人の事情で）実現しなかった。でも、キックファンの心には、彼の本能ムキ出しのファイトが焼き付いている。試合は見られないが、引退記念インタビューは絶対にやりたい。何があってもページをブン獲ってやる！（橋本）

◎勝負とは非情だ。何を今さらと笑われるかもしれないが、極真の全日本大会決勝を見て、改めて感じた。数見の出ていない昨年と一昨年の大会を制した木山にとって、今も極真の象徴と言われる数見は目の上のコブ。“数見越え”は切なる願いだった。しかし、結果は数見の辛勝。勝者の奇跡的な復活勝利を嬉しく思いつつも、必死に闘った敗者の気持ちを考えるといたたまれなくなった。勝負とは悲しいなぁ。（林）

◎気が付いたら自分も40を過ぎていたが、その実感はないものの、これが働き盛りかと思うほど毎日が忙しくなってきた。ホント、寝るヒマもなければ机に座っている時間もない。何か自分が大きな渦に巻き込まれていく感じだ。でも、子供の頃から「やりたい！」と思っていた職業で、これほど忙しくしていられるのは、我ながら強運だと思う。ボブ・サップが今の仕事が天職だとしたら、私も負けてない。（谷川）

◎我が家でちゃんこパーティーをやる。豚ちゃんこ、キムチちゃんこと“五番鍋”ぐらいまでやるのだ。その時、昔の映画をみんなで見る。私がいちいち解説する。『仕立屋の恋』はよかったよなぁ。パトリス・ルコント監督は素晴らしいよ。思わずビデオ屋で『髪結いの亭主』を買ってしまったもん。でもまだ見ていない。誰か私とちゃんこパーティーをやる人いない？いたら“この指止～まれ”。楽しいぞ。（山本）

SRS・DX EDITOR'S TALK 裏事情

編集部トーク

本当に『イノキ・ボンバイエ』はあるのか？

A　今年は『Dynamite!』をやったおかげで、あらためて〝格闘技の時代〟を印象付けたけど、去年と比べて違うことと言ったら、『イノキ・ボンバイエ』の存在。いったい、今年は本当に開かれるの？

C　猪木さんは成田会見で「たとえノーテレビになっても開く！」と言ってたし、東スポなんかで永田選手が「1・4ドームと猪木祭りは連動させたほうがいい」と発言していました。藤田選手も、実際「ミルコと闘う！」と宣言して、ロスで総合用のトレーニングを再開したと聞きますね。

B　じゃあ、テレビ局が放送しないかと言ったら、そうじゃない。現に去年は紅白歌合戦の裏で15％近くの視聴率を稼いでいたからね。TBSだってやる気満々だって聞くよ。他の民放はその時間帯、ホント1桁の数字しか出てないんだから。

C　今年は20％はいくんじゃないかって噂もありますよ。なんて言ったって、去年の『イノキ・ボンバイエ』は後半、年越ビンタを30分くらいやってましたからねぇ。あの時間を試合中継に費やしていたら、20％も夢じゃない、と。

B　そうだね。ただ裏事情を話すと、『イノキ・ボンバイエ』にしろ『Dynamite!』にしろ、K―1と『プライド』、そして猪木軍団もからむからあれだけの反響がありながら、それほど儲かる話じゃないみたいなんだ。要するに利益が分配されるわけだから、K―1や『プライド』の単独興行のほうが儲かるわけだよ。だから、主催者としては、あまりやりたくないという本音があるみたいだね。

C　でも、『Dynamite!』の時は、「110億イベント！」という文字が新聞の見出しになってましたよ。

B　そんなわけないでしょ（笑）。たしかに目に見えない経済効果はあるけど、そんな大金、どうして集まるのよ。しかも、他流試合となると、どうしてもファイターに特別なことをやらせなきゃいけない。そうなると、ファイトマネーが莫大にかかってくるんだよ。

A　たしかに選手のファイトマネーが高騰するのは一概にいいとは言えない。それだけ格闘技で食っていける土壌ができたのは素晴らしいことだけど、それでファイターのハングリーさが失せていったり、イベント自体が締めつけを食うほどになってしまうと、結局、この業界が成り立たなくなるからね。

俺は個人的に外人にたくさんのお金をとっていかれるのは、正直ムカつくなあ（笑）。やっぱり、そこでも日本人に頑張ってもらわないと。

B　まぁ、そうした事情もあって発表が遅れているけど、必ずなんらかの形で実現すると思うよ。要は、誰がどういう仕切りでやるかだよ。やっぱり、いくらお金がかかると言っても、見る側は『Dynamite!』のような興行はやってもらいたいからなあ。

C　いやぁ～、見たいですよ。見たいし、紅白の裏でそれほどの視聴率が取れるんだったら、テレビ局はほっておかないと思いますよ。

B　まぁ、あと現実問題として、非常に興行過多になっているのも発表が遅れている原因だろうね。『WRESTLE―1』があって、『プライド23』、『K―1ワールドGP決勝戦』と続くじゃない。さらに、来年1月には新日本と全日本プロレスがドーム大会を開くからね。そこにWWEも上陸するし。それらは全て連動しているからね。そこで年末をやるとしたら、大変なことだよ。

A　ボブ・サップなんか、モテモテだろうなぁ（笑）。

B　そういうこと（笑）。でも、そうなると、本当にいいソフトにお客さんが集まる傾向がはっきりするよ。たとえば、K―1はアンディが亡くなった2000年のグランプリで史上最高の70200人を動員しているけど、今年はそれ以上のチケットの売れ行きらしいからね。今年は史上最高の観客動員数、史上最高の視聴率になるのは、間違いないと言われているからね。

A　ただ、今いい傾向なのは、K―1と『プライド』が協力し合って、夢のカードを次々と実現していることだね。これだけ興行過多になると、どうしても足の引っ張り合いになりかねない。そこをうまくバランスをとっていかないと、本当に食い合いになっちゃうよ。

B　そうだね。同じようなものがいくつも出てもしょうがない。そういう意味で『LEGEND』なんか、モロに『Dynamite!』と食い合っちゃったもんなぁ。1カ月に2つのビッグイベントができるほど、まだまだ選手層は厚くないからね。それに、『プライド』のような試合は、3年から5年が選手寿命だと言われている。選手もうまくインターバルをとらせないとかわいそうだよ。

A　そう考えると、ボブ・サップは偉いし、凄いよなぁ。アメフトで一週間に一度試合をしてきただけのことはあるよ。『イノキ・ボンバイエ』の主役も、やっぱりサップかな（笑）。■

発行・発売：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8859（販売）
協力：フジテレビジョン／フジテレビ出版

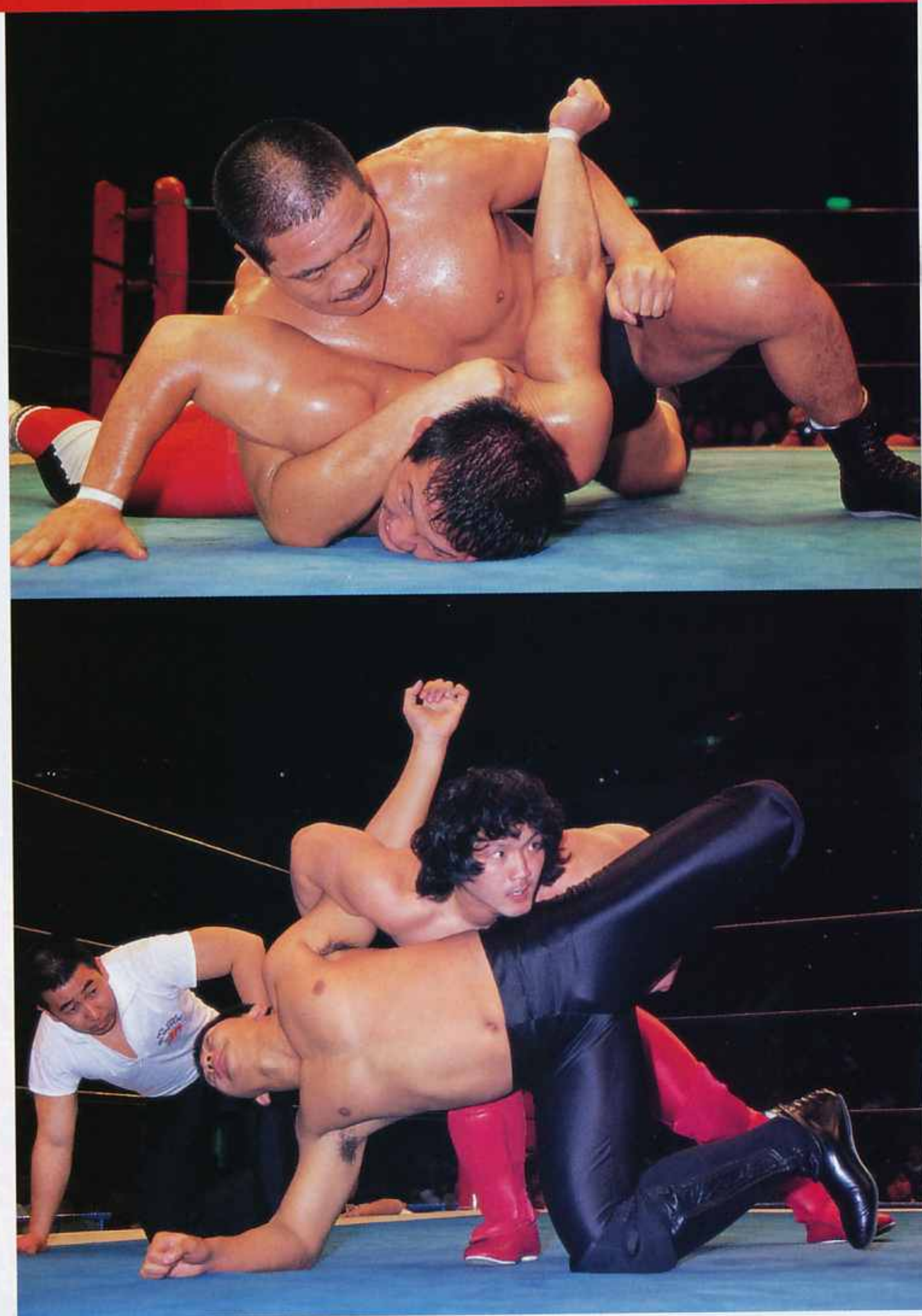
株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445（編集）

発行人：満賀主水　編集人：谷川貞治
DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su・plex、溝口真穂
小林善夫、2in1、ナール企画、NORTON、のじ

PANCRASE HYBRID WRESTLING
11/30
パンクラス横浜大会
最新情報！

ターザン山本、青春の大発見！

みのるVSライガー戦実現で
パンクラスは大人になった!!

PANCRASE

鈴木みのる×獣神サンダー・ライガー

ライガーはマスクを被って試合しろ！ 不平等こそバーリ・トゥードの前提である

鈴木みのると獣神サンダー・ライガーが、パンクラスのリングで試合をする。あのパンクラスでだよ。2人のことを古くから知っている者にとっては「なぜ、どうして、どうなっているの？」と不思議に思うだろう。私もそう思った。

ライガーはマスクマンである。それがパンクラスのリングで、試合をやったらパンクラスのもともとの理念は、どうなっているのかと問いつめたくなる。

ライガーはジュニアヘビー級のレスラーだが、いわゆる〝キャラ〟の人。子供のファンを動員するために作られたアイドルレスラーなのだ。

だから本来、ライガーとパンクラスはイメージ的にあわない。イレギュラーを起こす関係にある。それをあえてライガー戦を実現させてしまったのは、パンクラスにとって大きな賭けでもある。

あるいはそれがもしかすると、狙いかもしれない。物事は前向きにポジティブに考えようというのが、私の考えでもある。だからみのるVSライガー戦は私にとって、絶対に〝是〟なのだ。

〝否〟であるはずがない。パンクラスはこのことによって、一つだけ肩の荷がおりたような感じがする。いいことだ。だからといってそれが信念なき〝なんでも有り〟ということにはならない。

いい意味の〝なんでも有り〟に一歩だけ近付いたと解釈したい。今までちょっと硬い生き方をとってきたパンクラスにみのるが、少し風通しのいい世界にしてくれたぐらいの感じでいいと思う。

パンクラスはパンクラスであり続けなければいけないので、その部分では人は頑固であることは必要なことだし、意固地になることも大事なことなのだ。

しかし、その一方で人は大人になることも、けっこう重要なテーマでもある。私からするとみのるVSライガー戦は、パンクラスが団体として「大人になった！」と理解した。大人ということは物の見方に広がり、奥行き、応用性が出てくることを指している。

それってエンターテインメントということでもある。大人の感覚を持つことによって、人はエンターテインメントすることができる。みのるもライガーもパンクラスもみんな大人だったのだ。

大人の敵は野暮である。野暮なことをガタガタ言うな。身もふたもないことは言うな。言う前にみのるVSライガー戦を見ろ。言うなら見てから言えだ。

見てからだったら何を言ってもかまわない。それはみのるもライガーもパンクラスもプロだから、よく分かっている。

でも、ライガーってマスクをしてみのると試合をやるのだろうか？ パンクラスのルールではそれは可能なのか、それとも認められているのか？

いいじゃないか？ マスクをして試合をすることは、パンクラスのリングでは明らかに不利となる。勝負を争う試合でプラスになることではなく、マイナスになることをやるというなら「どうぞやってもけっこうである。やってください」というのが、私の考えでもある。

いや、マスクをかぶって「やれ！」である。ウン、これはライガーの側からみるとハンディキャップマッチだ。素顔とマスクマンでは、体重にたとえるとマスクをかぶっているほうが、10キロ以上体重が軽いのと同じ状況にある。

視界が狭まるしマスクが邪魔になって、動きが抑制されるからだ。体重別に分けて強さを追求しているパンクラスにとっては、これは異端のカードだ。

試合をやる条件が不平等になっているのが、フリーファイトやバーリ・トゥードの前提でもあるからだ。だから強さを証明するには、前提や条件を平等にした中で答えを出していくものと、それを不平等の中で出していくものと、二つあるということである。

〝無差別級〟という言い方は、後者の哲学を表している。素顔のみのる対マスクのライガー戦は別名〝無差別級マッチ〟と言わなければならない。

一見するとマスクマンが総合系のリングで試合するのは、こっけいに見えたりマンガにしか見えないが、その見方を外して見ると、これぞまさしくフリーファイトの試合と言える。

ましてライガーにとってマスクは、命の次に大切なもの。それを取ることはマ

▲若手時代のライガーは、藤原喜明が関節技の手ほどきをする『藤原教室』（船木、鈴木も、ここで技を磨いた）の一番弟子で、格闘技的な面でも最も素質を見込まれていた。写真は、上が86年10月23日の藤原戦。下が87年12月27日の船木優治（現・誠勝）戦（Photo©平工幸雄）

HYBRID WRESTLING PANCRASE
11/30
パンクラス横浜大会
最新情報！

スクマンとしては、死と同じだ。パンクラスの謙吾が『DEEP2001』のリングで、マスクマンのドス・カラスJrとすでに闘っているので、ライガーの件は議題にもなりえない。

何度も言うが「大いにけっこうな話」なのだ。みのるとライガーがリングに上がって向かい合い、ゴングがカーンとなって試合が始まれば、新日本プロレスがどうの、パンクラスがどうのというものはその時、みんな吹っ飛んでいるはずだ。

観客の立場からすると「見たものは得する」のだ。なぜなら試合を見ないと何も語れないからだ。私からすると「この2人は試合で何をやらかしてくれるのか？」という興味がある。

どっちが勝つかということより、遥かにそちらのほうに好奇心が沸く。関心がある。それを〝プロレス流の見方〟というのだ。俗に我々は〝プロレス的見方〟と呼んでいる。

格闘技の興行や試合も全て私は、そのつもりで見ていく。選手（ファイター）は勝つために試合をするが、それとともに「何をしでかしてくれるの？」「何をやらかしてくれるのか？」なのだ。

〝勝ち〟だけにこだわるもよし。それはそれで美しい。ただ、観客はそれだけを求めているわけではないことを、選手はどれだけ分かっているかである。

鈴木みのるという人は〝鈴木選手〟という言い方よりも、呼び捨て気味に〝鈴木みのる〟もしくは〝みのる〟と言ったほうが、私としてはすっきりする。

そこであえて言う。「鈴木みのるに会ってみたい」。もう、10年以上、会っていないような気がする。新日本プロレスと藤原組時代の鈴木みのるは、手のつけられないガキ（失礼）だった。

酒の席で私の上着をわしづかみにしてわめいたことがある。青春の苛立ちと反抗。「それをマスコミのオレにぶつけるな！」と言いたかったが、今となってはあんなにかわいい若者がまだいたんだと懐かしさがこみあげてくる。

みのるは突っ張っていたよな。船木と2人でね。まさに陽と陰の絶妙なコンビだった。あれは明らかに2人して〝2人なりの青春〟をしていたのだ。

だからこそ今、みのるに会ってみたいのだ。「あの時の君はいったいなんだったんだ？」と質問してみたい。みのるの口からその答えを聞きたい。というのは私は彼がトシを重ねていった時、どういう生き方をするのか、そこをしっかりとジャッジメントしたいのだ。

「お前、若い時は偉そうにして突っ張っていたけど30、40、50になったらただのおっさんかよ！」と私に言われたくはないだろう。私は現在、56歳になったがまだ、青春の延長戦をやり続けているからだ。そのため2回も離婚した。

みのるだってバツ1ではないか？　青春とは青春の延長戦を、どれだけやり続けることができるか？　早い話、死ぬまでやれというのだ。

第一次青春、第二次青春、第三次青春と、それを限りなく続けていく。それは一度でも世間およびもの分かりのいい大人に反抗したものの責任でもある。

というわけでライガーには悪いが、私はみのるVSライガー戦は、みのるのほうに力点を置いて見る。ライガーにはそうしたみのると私の個人的、私的な関係を「ふざけるな。何を甘っちょろいことを言ってやがるんだ！」ということで、みのると私をシュートしてほしい。

その点ではライガーへの期待度も大きい。つまり、これは〝三者三様〟のバトル、闘いなのだ。そう考えるとオレたち3人、いつまでも子供っぽくていいよなあ。そう思わない？　青春とは子供っぽい人間にだけ与えられた特権かも……。

（ターザン山本）

▲みのるの対マスクマンといえば思い起こされるのが、3・30『DEEP2001』でのエル・ソラール戦。この時はソラールの度重なる金的蹴りで反則決着となり、みのるは「お面被って出てくんな！　真剣勝負をナメるな！」と激昂。だが、今回のライガー戦はおのずと意味合いが違ってくる

▲▶10月中旬、美濃輪育久とともに山梨県の山中で合宿を張ったみのる。体力トレーニングを徹底して行い、ライガーに負けないパワー養成に努めた

青春を限りなく続けていくことが
大人に反抗してきたみのるの責任でもある

“強い菊田”を再確認せよ！

思いつきでグラバカ道場開設！「これで僕はもっと強くなる」

『プライド』、『LEGEND』というビッグマッチを経て、菊田早苗がついにパンクラスのリングに戻ってくる。しかも、試合の直前、11月下旬にグラバカのジムもオープン。自分の城を得て、菊田はさらなる野望に燃えていたのだった。

聞き手◎橋本宗洋

──ジムを作ることになった菊田さんなんですが。なんでまたいきなり？

菊田　え～っと……。他誌でも取材受けてるんで、違うこと言わなきゃいけないっすよね。

──いや、素直に考えてることを言ってくれればいいです（笑）。

菊田　あ、そうですか。いろんな理由があるんですけど、まずは今年の『ネオブラッド・トーナメント』に選手を出せなかったのが寂しくて。少数精鋭でやるのもいいんですけど、新しい選手を育てるのも重要なんじゃないかと。あとスポセン（新宿スポーツセンター）で練習するのも限界があるかなと。公共の施設なんですけど、ファンの人が見学に来たりとかもあるし。それとみんなの練習時間も合わなくなってきてるんですよ。集まったはいいけど時間がなくなったり。

──ああ、閉館時間がきっちりありますからね。

菊田　試合直前に休館日があったり。それだと先に続かないなぁと。ファンの人たちも来やすくて、僕らも自由な時間に練習できる場所が欲しいなと。

──まあ、今までそうじゃなかったのが不思議なくらいですからね。

菊田　それと、僕、小さい頃からいろんなジムに入っちゃあやめての繰り返しだったんですよ。「こういうジムは嫌だな」とか「こういうふうだと続かないんだよな」っていうのを体感してますから。「自分だったらこうするのに」っていうのがかなりあるんですよ。他のジムをやめた経験がある人でも、楽しく続けられるようなジムを作りたくて。

──まあ、菊田さんはいろんなとこやめてますからね（笑）。

菊田　もう、どんだけやめたか（笑）。ボクシング、シュートボクシング、タイガージム……。柔道もやめてますしねぇ。それはいいんですけど（笑）。だから、できるだけ自分のやりたいことをできるように、全部自分で手がけました。

──いいスポンサーが付いたから作るっていうんじゃないんですね。

菊田　協賛してくれる人はいますけど、基本的には自分で。物件探しから内装の指示から全部。自分のジムなんで、そうすると団体の垣根もなく、いろんな大会に出れるし。

──どんな方針のジムにしたいですか？

菊田　まず、楽しくないとダメですよね。楽しく練習して、帰りにみんなで一杯やって、みたいなのがいいですよね。あと場所もね、通いやすいとこじゃないといけないんで。東中野近辺だけを重点的に物件探ししたんですよ。

──それはいつ頃から？

菊田　10月に入ってからですね。10月に入ってからジム作ろうと思って。

──じゃあ2カ月弱で道場開きですか？メチャ早いですね。

菊田　思い付きで生きてますから（笑）。パッと決めて。

──今度はやめられないですよ（笑）。

PANCRASE HYBRID WRESTLING
11/30
パンクラス横浜大会
最新情報！

ノゲイラ戦では原点を思い出させられた「永田、中西とやりたい」発言？　それは……

菊田　いや〜、さすがにそれはないでしょ。ジムとしては、強くなった時の保証もしっかりしたいんですよ。僕がアマチュアの頃は「このままやってプロになれるのか」とか不安があったんですよ。そういう部分はしっかり道筋をつけてあげたいですね。逆にビギナーの人もね、楽しく入れるように。いきなり強い人に混じったりとか、延々シャドーばっかりとかイヤじゃないですか。あと運がいいことにグラバカにはレスリングの強い奴、柔道の強いヤツ、打撃のできるヤツと揃ってるんで、幅広く教えられるし。総合だけじゃなくって、レスリングだけのクラスとか、道衣だけのクラスも作って。それで、強い人が出てきたら昼間の（プロの）練習に加わってくれれば。

——自分のジムができることで、選手としては何か変化がありそうですか？

菊田　それはありますねぇ。例えば専属のレスリングのトレーナーを付けてマンツーマンで練習したりもできるし。そういうのもスポセンじゃ難しかったんで。

——じゃあ、今までよりも一段階上に。

菊田　行けるでしょうねぇ。それは確実ですね。

——で、ジム開設と今度の試合が同時期にあるわけなんですが。その前に『LEGEND』のノゲイラ戦について聞いておきたいんですよ。

菊田　打撃やるつもりはなかったんですけどねぇ……。失敗しました。だから原点を思い出させられた試合でしたね。「今までこういうやり方で勝ってきたんじゃねえだろ」っていう。いくら蹴りがうまくなっても、自分にはもっと得意なものがあるわけじゃないですか。

——アブダビ王者なんですからねぇ。

菊田　そういう意味で、自分のやるべきことがね、改めてバチッと見えたというか。今度の相手も柔術は紫帯ですからね。苦戦してらんない、一本取らなきゃいけないと思ってますよ。

——ハイアンの弟子ですけど、どっちかっていうと打撃系みたいですね。

菊田　みたいですねぇ。ヴァンダレイ（・シウバ）のタイプかなと。ヘンゾが売り込んできたって話なんで、いい選手なのは間違いないでしょう。

——まあでも負けられないですよね。特に今回は復帰戦でもあるし。

菊田　いやいやいやいや。とんでもない。復帰戦とか、そういうつもりじゃないですよ。8月にノゲイラとやる時点で、KOされようとされまいと次は11月の横浜って決めてましたから。例えば2カ月に1回ずつ試合してもいいんですけど、早いペースで試合したからって、それなりの相手で済ますって立場でも時期でもないと思うんですよ、今の自分は。

——「前回キツい試合だったから、今回は軽めの相手で、一応ファンに顔を見せて」みたいなのではないと。

菊田　じゃないですね。

——そういう意味で、今回の相手のエドワルド・パンブロナっていうのはどうなんですか？

菊田　「打撃かぁ……」って。

——「打撃かぁ……」（笑）。やっぱり嫌なトラウマが（笑）。

菊田　そうではないけど（笑）。でも情報がほとんどないんですよ。ビデオもないし。そういうね、怖さじゃないけど。「変に苦戦とかしたらマズイよな」っていうのもあるし、でも逆に、そこまでの選手だったら嬉しいなっていうのもあるし。

——ヘンゾが認めた選手だったら、かなり強いでしょう。アルメイダにしてもマット・セラにしても、あとホドリゴとかダニエル・グレイシーもそうですけど、一定以上のレベルにならないとプロの舞台に出さないですからね。無名だけど意外に強いかもしれない。

菊田　それはあるかもしれないですねぇ。前にやったアイツもそうだったじゃないですか、アレックス・スティーブリング。

——そう、スティーブリングの初来日の相手って菊田さんだったんですよね。菊田さんが攻めっぱなしで、最後は出血ストップで無効試合になったんですけど。

菊田　その時は分からなかったけど、実際は強かったじゃないですか、『プライド』でイズマイウに勝ったりして。そういうことってあるんですよ。今もう、総合はみんなレベル高いですからね。「お、強いな」って思わせて、でも僕が勝つのが最高（笑）。

——この試合で今年は最後になると思うんですけど、来年以降の目標としては？

菊田　やっぱり2回くらいは大きな舞台に出たいですねぇ。誰とっていうのは考えてないですけど、まあその時に旬な人と盛り上がれる試合をしたいなと。

——『プライド』にもまた出たい？

菊田　もちろん。僕はべつに、『プライド』になんのわだかまりもないんで。

——あと、この前の後楽園大会で「永田、中西とやりたい」って言ったって報道されてましたけど。

菊田　いやいや、あれはねぇ……。新日本との対抗戦があるかもっていう話の中で「どうせならミスマッチな人がいい」って言っただけなんですよ。そしたら「永田、中西は？」って聞かれたんで「それでもいいですね」って。僕からやりたいとは言ってないですよ。僕が言ったのはジャイアント・シンとかね。

——ジャイアント・シン！（笑）。

菊田　いや（笑）、例えとしてですよ。とにかく、ファンの人が気になる試合をしていきたいと。で、僕のファンになってくれた人は、ジムで一緒にいい汗を流しましょうって感じですね。■

▶11月1日に行ったインタビュー時は工事中だったジム。「雑誌が出る頃には、内装も完璧に仕上がってますよ」（菊田）

キミもGRABAKAの一員になれる！

11月下旬オープンのGRABAKAジムの詳細は下記のとおり。菊田、郷野聡寛、佐々木有生らGRABAKAの選手たちの直接指導が受けられるぞ。また、GRABAKAのオフィシャルサイトもついに完成！ http://www.grabaka.comで最新情報をいち早くどうぞ！

『GRABAKA格闘スポーツジム（仮）』
◎所在地/東京都中野区東中野4-27-26ビューフラット1F
◎アクセス/JR総武線「東中野」駅より徒歩7分、地下鉄東西線「落合」駅より徒歩1分、地下鉄大江戸線「中井」駅より徒歩6分、西武新宿線「中井」駅より徒歩7分
◎入会金/男性20,000円、女性15,000円、高校生10,000円　※11月中は一律10.000円のキャンペーン中
◎月会費/10,000円
◎OPEN/18:00　CLOSE/22:30　※土曜のみ14:30〜21:30　日曜定休
◎お問い合わせ/GRABAKAジム☎03-5348-3092、ワールドパンクラスクリエイト『GRABAKAジム係』☎03-5792-7077

考えるな、ただ感じろ！美濃輪育久とはそういう男である!!

佐々木戦を前に、美濃輪はさらに進化していた！

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）　撮影◎吉澤晃

美濃輪育久の試合は常になんだか理解不能の凄さがある。秋山戦で凄さを見せ付けたかと思えば、佐藤戦でコロっと負け、田村戦ではもの凄い試合で観客を魅了する美濃輪。そんな彼が11月30日、横浜文体で佐々木有生と対戦する。一度は一本勝ちした佐々木との再戦を受けた美濃輪は、どんな試合を見せようとしてるのか？

―11月30日に佐々木有生戦が決定しましたが、何か特訓は考えてますか。

美濃輪　いや、今のところは考えてないですね。

―残念です！　ボク、美濃輪さんの特訓話が大好きなんですよ。この前の田村戦では人がやらない特訓ってことで富士登山したんですよね（笑）。

美濃輪　やりましたね（笑）。

―なんで富士登山なんだろうって。

美濃輪　いや、前から行きたいとは思ってて、でも、ただ行くだけじゃダメだと思ったんですよね。

―だから30キロくらい荷物持ってったんですよね。

美濃輪　それにパワーリストとパワーアングルを手足につけて。

―どんな荷物を持っていったんですか。

美濃輪　水を5、6リットルですね。それくらい必要かなって思って。あとはお菓子。

―お菓子？（笑）。

美濃輪　お菓子と非常食ですよね、グレープフルーツとかバナナとか。

―基本的には人のしない特訓ってことで富士登山をチョイスしたんですよね。

美濃輪　そうですね、一応半分遊びっていうか、趣味で登るつもりだったんですけど、みんなキツいって言うんで、これは中途半端じゃダメだなって思って、なんかこう、ちょっと伝説残したかったんですよ。

―伝説になりますよ、それは（笑）。

美濃輪　やっぱり、頂上まで行ったらみんな最強だと思うんですよね、普通に。でも、ボクの中で一番大事なのはどう登るかであって。最高の登り方、自分にとっての究極の登り方をしようと思ったんですね。

―究極だと思いますね。ちなみにお菓子は何を買いましたか？

美濃輪　お菓子はポテトチップスです。それに『キン肉マン』の本持っていきましたけど、それは失敗しましたね（笑）。

―なぜ、マンガ本を（笑）。

美濃輪　友達に頂上で見せてやろうと思って、それが最高で最強。それもまた伝説（真顔）。

―ホント面白いですね、大好きです、そういうの（笑）。そこでは何か得るものはありましたか？

美濃輪　やっぱ、一日生きるのが相当大変なんだなって思いましたね。山の夜は寒いんですよ。その寒さの中を自分の持ってきた毛布だけで過ごすっていうのは凄いッスね。あと、ぶっ倒れても自分で降りてこないと帰ってこれないっていう。そういう意味で、ああ、結局自分でなんとかしなきゃダメなんだなって。

―生きるってことを考えますよね。

美濃輪　結局そこに戻りますね。それは

PANCRASE HYBRID WRESTLING
11/30
パンクラス横浜大会
最新情報！

これまでのボクは人間として大切なモノを忘れてましたね

鈴木さんと行った合宿の時にも感じましたね。結局、自分が洗濯しないと乾いてくんないし、自分が起きないと、動かないし。なんか、身体が一回洗い流された感じがしましたね。

――悪いものが取れた？

美濃輪　悪いものが取れて、悪いものが見えたっていうか。

――え～と、例によってそれは技術的な話じゃないですよね。

美濃輪　そう、全部ですね（力強く）。

――その合宿ですけど、朝は何時くらいに起きてました？

美濃輪　朝は、日の出と共に起きてましたね。太陽がワ～っと照って来るんで起きちゃうんですけど、自然と。

――それでメシ食って練習ですか。

美濃輪　練習は9時くらいからですね。走ったり、ダッシュしたり。あとは川ダッシュしましたね。そんなメニューなかったんですけど。川で走ってちょっと泳いで洗濯もしました。アホかって言われましたけど（笑）。

――なんか楽しそうだなぁ、その部分だけを抜き出すと（笑）。

美濃輪　抜き出すと楽しいですけど10日間はキツイですね。でも、人としての暮らしとか。やっぱり日の出と共に起きるのが普通だろうなとか。

――じゃあ、それ以後生活態度も変わってきたと。

美濃輪　そうですね、朝ちゃんと起きて、朝飯を食うようにしましたね。

――昼はどんな練習を。

美濃輪　体育館でボールを使ったトレーニング。いろんな方向に投げて重心とかを確認したりしましたね。

――それは何時間やってるんですか？

美濃輪　夕方まで。

――3時間くらい？

美濃輪　そうですね。というか、時間がよく分かんないんですよ。だいたい太陽の位置で時間とか見てるんで、時計持ってないんで。日の出で起きて、日が沈む頃に練習が終わるみたいな。で、月が出る頃に帰る。

――原始な感じですね（笑）。

美濃輪　それが普通だと思うんですよ。

――なんか美濃輪さん的には凄いものを得て来たような気がしますね（笑）。練習とかそういうもんじゃなくてもっと大きな、人間として大切なものというか。

美濃輪　そうですね、大切なモノを忘れてましたね。時の止め方を覚えたというか。それが僕の中で一番の収穫ですね。

――やっぱり特訓話は面白い！（笑）。ちなみに、鈴木さんから何か注意とかされませんでした？

美濃輪　最初に（ピー）禁止って言われました。それだけですね（笑）。

――我慢しました？（笑）。

美濃輪　しましたね。鹿とイノシシの鍋を食べた夜はキツかったですけど（笑）。

――だって、イノシシってメチャメチャ精つきますよ（笑）。

美濃輪　いや、凄いッスよ！　その時は鈴木さんも起きて「ア～」とか言ってて、やっぱり、寝れないんだって（笑）。

――鈴木さんも言った手前ね（笑）。

美濃輪　いやもう、ホント、いろいろ生活が大変でしたね。生活全部ですね。

――今までやってきた特訓の中で最高のものってなんですか？

美濃輪　最高の特訓？　いろいろありますね。ヒンズースクワット3千回とか。でもそれはレスラーにとっては普通のことなんで、普通ですね。それは二十歳の誕生日の前にやりました。

――誕生祝い？（笑）。

美濃輪　そうですね。

――子供の頃はどういうことしてました？

美濃輪　何したかな？　富山の専門学校時代に岐阜の実家まで歩いて帰ろうとしたことはありましたけど。バッグ持って、ギターを背負って。

――ギターはどうしても弾きたかったんですか？

美濃輪　ギターはちょうどハマってた時だったんで、家でも弾こうって思って。

――バッグには何が入っていたんですか

美濃輪　ビデオデッキですね。

――え！　なんで？（笑）。

美濃輪　いや、プロレスのビデオをダビングするために。すぐ持ってけるかなって思って（笑）。

――それはメチャクチャ凄い特訓ですね、特訓っていうか……。

美濃輪　特訓じゃないですね。

――ですね（笑）。では、最後に佐々木戦はどんな試合になりそうですか。

美濃輪　ボクが勝ちますね。ボクはボクの道を行って勝ちますね。

――美濃輪節だ（笑）。判定はやっぱり認めませんか？

美濃輪　いろんな見方があるんだなって最近理解しましたね。大人の世界というか。

――ようやく（笑）。

美濃輪　そうですね。ただ、ボクはボクが身に付けた感覚で言ってるだけで、何が正しいかは分からないです。それに佐々木さんは凄いと思うし、面白い試合になると思うんで。

――でも、最終的にはオレが勝つと。

美濃輪　いや、勝手にしやがれって感じですね。そんなに白星が欲しけりゃくれてやるぜって。

――勝手にしやがれですか（笑）。

美濃輪　でも、ボクが勝ちますね（笑）。

――美濃輪さんにしてみれば、前回の佐々木戦は一本勝ちしてるんであえて受ける必要はなかったと思うんですね。

美濃輪　でも、結構ファンも望んでるんでやってみたいんですよ。今年最後の試合になると思うし。

――では、思い切り暴れてください（笑）。

美濃輪　はい。勝手に暴れます（笑）。■

▲昨年5月13日、佐々木と対戦した美濃輪は3R、アンクルホールドで一本勝ちしている。この勝利によって美濃輪はブレイクした

このリングはパンクラスか修斗かいったいどっちなんだっ!?

またも脱藩者がやってきた!

撮影◎吉澤晃

今大会のメインは、修斗のライセンスを返上して参戦してきた竹内出。前ミドル級王者ネイサン・マーコートを相手に終始、上のポジションを取り続け、3－0の判定勝ちでパンクラス初戦を飾った

★第8試合・メインイベント/ミドル級5分3R
○竹内出（3R判定3-0）ネイサン・マーコート●
〈SKアブソリュート〉　〈コロラド・スターズ〉
※採点…29-28、30-29、29-28

▲開始直後に飛びヒザ蹴りを放ち、その後も竹内が屈んだところに顔面蹴りを見舞うなど、打撃ではマーコートが優勢

▲下になる場面が多かったマーコートだが、ガードポジションの巧さはさすが。それほど劣勢という印象は与えなかった

▲試合後、マイクを握った竹内。「1位の人に勝ったので、その上の人とやらせてください」と、國奥麒樹真が持つミドル級王座への挑戦をアピール

なんで今更そんなことを書くんだと言われるかもしれないけど、この大会で僕が一番感じたことなので、やっぱり書いておきたい。

〝これ、修斗とどこが違うの?〟

今大会のメインには、竹内出が出場した。元・修斗のライトへビー級ランカーだった男がライセンスを返上、ジムもKzファクトリーからSKアブソリュートに移籍してパンクラスに乗り込んできたのだ。

修斗を辞めた理由は、この際どうでもいい。それより大事なのは、竹内が修斗からパンクラスへ、スルッと平行移動してきたこと。実際、竹内は修斗でやっていたのとまったく変わらない闘い方で試合を進め、そして勝ったのだ。

何があっても上になり、それをキープすることで竹内は勝利を掴んだのだった。ネイサン・マーコートの打撃には必死で耐えた。三角絞めやスイープといった下からの仕掛けも、丁寧に潰していった。修斗でやっていた選手が、修斗と変わらない闘い方をしてパンクラスのリングで勝ち、そしてパンクラスのランキングに入った。

そう、細かいルールの違いこそあれ（それだって、絶対に対処できないってほどのもんじゃない）、なんにも変わらないのである、やってることは。なんにも変わらないんだけど、竹内は修斗を辞めたからパンクラスに上がることになったのであって、

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2002
SPIRIT TOUR
10.29★後楽園ホール

▲第６試合で大石幸史（ｉｓｍ）と闘ったのは、トッド・メディーナの弟子ワン・アヤラ。ローカル系ＶＴ大会のベルトを持つアヤラだったが、大石の猛攻に耐えるのが精一杯。大石はニーオンザベリーからのパンチや顔面蹴りで攻めに攻めたが、肝心の関節技をことごとく失敗。結局、判定勝ち（３－０）にとどまった

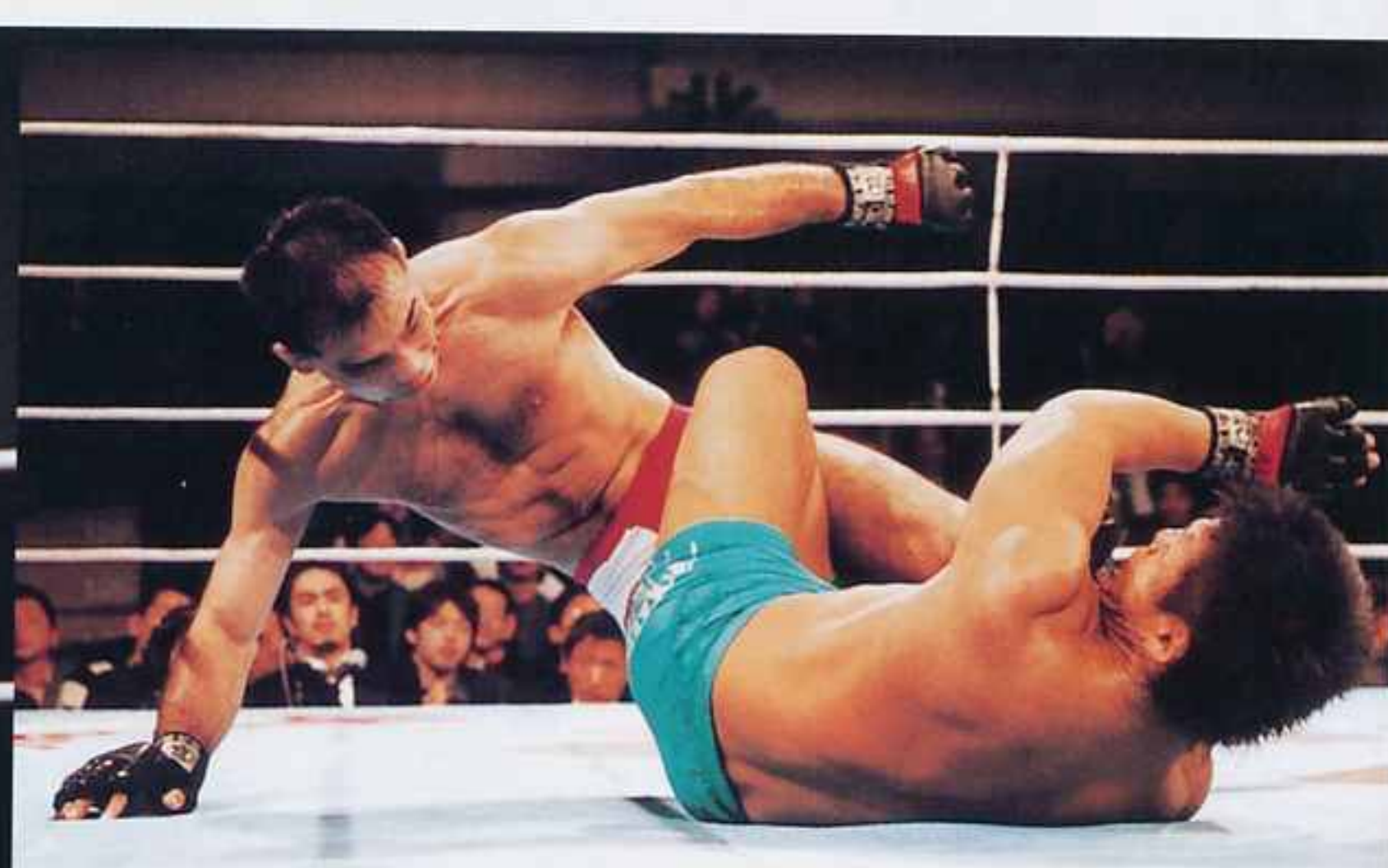
▲今大会ベストバウトは第３試合。アライケンジ（ｉｓｍ）と加藤丈博（ＫＩＧＵＣＨＩ ＷＯＲＫＯＵＴ ＳＴＵＤＩＯ）が思い切りのいい打ち合いを展開した。極真空手出身の加藤が強烈なパンチを見舞えば、アライもハイキックから後ろ回しの連続蹴りをヒットさせる。勝負は判定となり、グラウンドでも優勢だったアライが２－０の判定勝ち

▲〈第４試合〉大道塾の山崎進はパンクラス２度目の参戦。１Ｒ、佐藤光留（ｉｓｍ）のヒザ十字に機先を制されると、その後も後手後手に回る。何度かバックを奪ってチョークを狙ったりと反撃、結果としてはドローだったが、どうしても勝ちが欲しかっただけに「アマチュア全開で情けない」と山崎

ism若手軍団、他流試合４連戦で意地の３勝負けなし！

◀クリス・ライトル（ＩＦアカデミー）は星野勇二（ＲＪＷ）に鮮やかな一本勝ち。テイクダウンを許し、コーナーに押し込まれたものの、そこからあっという間に三角絞めで捕獲してみせた（１Ｒ２分12秒）

▶木口道場の木口会長も、本部席で尾崎社長と試合を観戦。これも珍しい光景だ

▲試合直前の北岡は、いつになく気合いの入った表情。若手中心のカード編成だけに、どの選手も責任を感じていたようだ

▲〈第５試合〉キックで一時代を築き、現在は総合で活躍中の港太郎（ＫＩＢＡ）はネオブラッド準優勝の北岡悟（ｉｓｍ）と対戦。北岡の早い仕掛けの前に得意の打撃を出させてもらえず、２－０の判定負けを喫した。足関節を取られながら顔面に蹴りを入れるなど、随所にセンスの良さは感じさせてくれたのだが……

修斗を辞めなかったらパンクラスのランキングに入ることもなかった。

これ、メチャクチャ異常なことだよ。竹内の試合を見ていたら、改めてそう思ってしまった。いや、竹内だけじゃない。今大会には、木口道場の選手も出ていればＲＪＷの選手もいた。木口道場とＲＪＷは、どちらも修斗にも選手を出している。

パンクラスの所属選手にしたってそう。この日出場したアライケンジや北岡悟が、もし修斗のジムで育った選手だと仮定して、修斗のリングで闘う姿を想像しても、そこにはまったく違和感がない。強いか弱いか、魅力があるかどうか。それはまた別の話だが。

「なんでマッハはパンクラスに出ないの？」

ビギナーのファンにそう聞かれたらどうする？

言うまでもなく、修斗とパンクラスは絶縁状態である。過去にいろんないきさつがあってそうなったわけで、どっちが悪いかとかそういう問題ではない。それはもういい。

それに同じようなことは修斗・パンクラス間のことだけじゃなく、空手界やキック界にもある。ただ、それらに比べて総合格闘技は歴史の新しいジャンル。なぜ同じ過ちを繰り返してしまったのだろうか。もう、立て直しようはないんだろうか。

もし、パンクラス側が修斗と差別化を図りたいのなら、竹内をスター候補生として超ＶＩＰ待遇するか、逆に招かれざる客として徹底的に叩き潰すべきだった……。

しかし我ながら不毛な原稿を書いてしまったと思う。でも、この原稿が不毛だということ事態が、つまり異常さの証明なのだ。（橋本）

あっと驚く破壊的企画 女子レスラーがK—1ワールドGPを大予想！

中西百重ちゃん、MVPだ

サップって“タテベそ”じゃん

母性本能をくすぐったアーツ
格好良さでは断然セフォー

文◎ターザン山本

あっ、でもこの写真タテベソじゃないや……

今井良晴リングアナウンサー
〈全日本女子プロレス〉

高橋奈苗
〈全日本女子プロレス〉

チャパリータASARI
〈フリー〉

井上貴子
〈フリー〉

男の魅力がプンプンする。セフォーにはナンパされてみたい（井上貴子）

11月3日、全日本女子プロレスの後楽園大会に突入。いきなり入口を入ったところで今井リングアナに会った。

え〜い、ついでだから今井さんにもK—1ワールドGPの優勝者を、予想してもらおう。お願いしま〜す。

「優勝してほしい人？　決まってるじゃないですか、ボブ・サップですよ。プロレスのためにも絶対にボブ・サップに優勝してほしいですね……」

え、どこがそんなに気に入ったの？

「サップは正真正銘、プロレスラーでしょう。全ての面で。ボクは彼のことを〝プロレス代表〟だと思っています」

もの凄い惚れようである。

「それぐらいの気で試合を見たほうがプロレスファンとしては、面白いじゃないですか？　テレビのバラエティー番組に出演してさあ、こっちがやってほしいと思っていることを、全てやる。あの気の利いた言動に感動すらおぼえますね」

まったく今井さんが言うとおりだね。サップは食うは、暴れるはでいつも抜群のパフォーマンスを展開。

「最高！　もうこれまで来日した外国人レスラーの中で、最高の選りすぐりでしょう。俺、大好きですよ」

今井さん、ありがとう。そうだよね。ボブ・サップはプロレスラーの心を持っているもんね。でもさあ、1回戦の相手がねえ、セーム・シュルトというのはちょっとねえ。いや〜な予感がしないでもないんだけどなあ……。

さすがに今井さんはノリがいい。トップバッターとしては、十分にその責任を果たしてくれました。これはパチ、パチ、パチものですよ。

さて、ここでいよいよ全女のレスラーに登場してもらい、K—1ワールドGPの優勝者を予想してもらおう。

まずは高橋奈苗ちゃん。私は彼女のことは、よく知らないのだ。もちろん、初対面である。

「え？　K—1ワールドGP？　知りません。あ、K—1は知っています」

いいねえ、このストレートな反応。奈苗ちゃんは埼玉県川口市出身、昭和53年12月23日生まれ。アニマル浜口ジムからプロレスラーになった。

「あ、この人、ボブ・サップ、知ってる。このトーナメント、見に行きたい。ピーター・アーツ、強いんじゃないですか？　マーク・ハント？　聞いたことある。バンナ？　知らない。やっぱり優勝するのはボブ・サップか、ピーター・アーツじゃないんですか……」

分かった、奈苗ちゃんはサップとアーツを知っているのでこの2人を、優勝候補にあげたというわけです。分かりやすくていいなあ、本当に。

「でも（優勝者は）一個（ひとりではない）にしたほうがいいですよね。だってボブ・サップ、一番、大きいじゃないですか？」

あのね、奈苗ちゃん、それは無茶というものだよ。奈苗ちゃんは『SRS・DX』の本で、トーナメントに出場する7人の外国人選手の中で、サップの写真が一番大きかったのでそう言ったのだ。

体の大きさじゃないんだよ。写真の大きさで決めたというわけ。まいったなあもう。

「あれ、サップって堀田さんとやったアメージング・コングに似ているよ」

アーツは結局、エスカップのCMに出ているので、奈苗ちゃんのアンテナにも届いていたというわけ。CMの宣伝効果って、やっぱり侮れないよね。

「武蔵、負ける。こんなに凄いのがいたら負けちゃうよ。外人は強いよ」

もう、武蔵も奈苗ちゃんにバッサリ切られてしまったのだ。悲しいよね。

「でも、みんなと一緒でボブ・サップじゃつまらないからこの人、強そうだしシュルトにします。あ、だめだシュルトはボブ・サップと当たる」

こうして奈苗ちゃんは最後にマーク・ハントを優勝者にあげてくれました。

この人（ハント）、わたしの初恋の人に似てる（中西百重）

「2連覇してくれないかなあ……」だって。ハントはないと思うけどね。ちなみに奈苗ちゃんは現在、WWWA世界タッグのチャンピオンなのです。

あれ、チャパリータASARIちゃんがいる。彼女にも聞いてみよおっと。

「わたしボブ・サップしか知らない。あ、武蔵さん、ピーター・アーツ、知ってる。サップの魅力はインパクトが凄いじゃないですか？ 武蔵さんはやっぱり日本人なので、頑張ってほしいけどもう、結論はボブ・サップかな」

なんだよ、それじゃあ武蔵を上げといて、落としてるのと同じだよ。最後に彼女は自分の興行を宣伝していった。

「11月22日、金曜日、ディファ有明で私はデビュー10周年の興行をやります。試合開始は午後7時。飛鳥さんとタッグを組んで、アジャ様、京子さんのコンビとメインで対決します」

ASARIちゃんこそ頑張ってね！

お待たせしました。次に私のお気に入りの女子レスラー、井上貴子さんに出てもらいましょう。減量したのか顔まですっかり変わっているみたい。

でも、美人であることに異議なし。

「今、素っぴん。いいんでしょう？」

間近で見るとかわいい！

「ええ、かわいいとかあんまり言われたことないから、びっくりしちゃったよ」

かわいいよ、魅力的だよ。

「K―1？ わたしK―1好きよ」

助かったあ。ああ、初めてK―1を好きな女子レスラーがいた。

「わたしねえ。ここに出てないけどミルコ・クロコップが大好きなの。ケガしちゃったんですか？ 残念よね」

それにしても冷たい〝鉄仮面男〟ミルコが好きだとは、貴子さん変だよ。

「あの人、強くない？ 強いでしょう？ わたしプロレスの男の人は、あまり好きじゃないけど、あれ、これ書かないでね。試合、見てないから分かんないのよ。K―1とか『プライド』とかキックボクシングとかは好き。好きなのはボブ・サップ。アーツはどうなの？ 優勝するのは大穴でレイ・セフォーです」

オ、やっとサップ以外に注目する選手を、言ってくれたね。さすがベテランの味、貴子さんだね。

「男の魅力がプンプンする。野性的でこの人（セフォー）にはナンパされてみたいという感じかな。ハ、ハ、ハ、ハ、ハ。かっこいいね」

まいったなあ、ナンパときたか。

「なんか、あぶない感じでいいじゃないですか？ わたしあぶない感じ、好きなんですよ。昔、不良だった系の。でもわたし私生活、地味ですから。マジメですから変に思わないでよ」

なんの話をしているんだよ。K―1ワールドGPの優勝予想なのに、女のコが相手だとつい私は興味が別のほうにいってしまうのだ。そこで彼女には全試合を予想してもらった。以下は私と貴子さんの会話である。

「1回戦、セフォー対アーツ。どっちの勝ち？」「アーツに勝ってもらいたい」「アーツは少し落ち目だよ」「落ち目の人って一番力を発揮するでしょう。でも勝つのはセフォー。こっちはボブ・サップが上がってくる」「なるほどね。じゃ反

MOMO KAYO で―――す!

納見佳容
〈全日本女子プロレス〉

MOMO KAYO で―――す!

中西百重
〈全日本女子プロレス〉

©平工幸雄

ラス・カチョーラス・オリエンタレス　下田美馬&三田英津子
〈フリー〉

過去の人だからピーター・アーツにもう1回、頑張ってもらいたい（藤田愛）

対のグループは？」「そっちのグループはバンナが決勝に出てきて、セフォーと優勝戦をする」「え、じゃあセフォーがサップに勝つの？」「そう、奇跡の勝利よ。その勢いでセフォーがバンナを破って初優勝。どう、わたしの予想？」「抜群です。どうぞナンパされてください」

貴子さんは自分から私に「もう33ですから――」と言った。一番の熟れ時だ。

「ああ、そう言ってくれるといい。みんな、もう、ああ、おまえはババアだなど言うでしょう？」

私が冗談で「君を食べさせて。食べてみたいよお」と言ったら「みんな食べかけで帰っちゃうからしょうがないです」と貴子さんは、そう言ったのだった。

真打ち登場。WWWAのシングルとタッグの二冠王、中西百重ちゃんだ。

「わたし〝清原命〟です」

野球のこと聞いてるんじゃないんだよ。このすかし方、手強いなあ。

「だって欠場していたのにいきなり出て、ホームランを打つんだもん」

納見佳容さんがいたので彼女にK―1のことを聞いてみた。

「暴れ馬が好きです」

競馬じゃないんだよね。

「違います。ボブ・サップです」

ああよかった。するとまた百重ちゃんが、かき回してくれた。

「暴れ馬ってヒース・ヒーリングのことよ。わたし、あの人のこと大好き！」

こりゃだめだ。取材にならない。そして百重ちゃんはボブ・サップの写真を見て「この人〝タテベそ〟」と叫んでしまった。まいった、まいりました。

百重ちゃんにこの企画のMVPをあげちゃうぞ。決～めた。ハントを見てさらに「この人、わたしの初恋の人に似てる」と言い出す始末。

もうハチャメチャの女子レスラー。こんな人、見たことない。ということで百重ちゃんと佳容ちゃんは、本命に怪獣のボブ・サップを指名してくれた。

ラスカチョ（下田美馬と三田英津子）は、K―1を知っているのだろうか？

Etsu（三田英津子）は「わたしピーター・アーツの大ファン。ボブ・サップはプロレスやっているサップは好きじゃない。嫌いよ。K―1とか『プライド』をやるから好きなの」と言った。

みまたん（下田美馬）は「わたし全然分かんない」の一言。「その代わり〝闘龍門〟なら知ってる。CIMA選手の大ファンです」。だったらEtsuに語ってもらうしかないか？

「アーツはトシを感じる。セフォーが勝つんじゃないの。サップはシュルトに勝ってほしい。ハントは最近ちょっと弱い面が見えてきちゃって……」。ここでみまたんが「わたしビジュアルから入るから優勝はセフォーにする」と発言。

Etsuは「プロレスやんないで……」という願いをこめて「優勝はサップにします」と言った。12月7日、K―1の優勝戦がある日、ラスカチョは品川から屋形船に乗ってファンの集いをやる。鍋パーティーとか。参加者、募集中！

蹴りを武器にしている前川久美子選手にも予想してもらおう。

「勢いとか迫力満点のイメージがあるボブ・サップよりも、純粋なK―1ファイターのアーツは、逆に応援したくなる。本家には頑張ってほしいんです。でもパンクラス時代のシュルトを知っているので、シュルトが出てきてもおかしくないけど……。サップがプロレスラーならなおのこと、K―1の選手には〝打倒サップ〟じゃないですか？　やっぱりプライドがあるじゃない。個人的にアーツが好きなのでアーツ優勝です」

あと前川選手はハントとか佐竹選手は体型的に許せないと言っていた。日本人選手では中迫選手のファンとか。基本的に外国人選手のほうが好きと言っていた。

11月4日、アルシオンが後楽園ホールで試合をやっていたので、そっちのほう

前川久美子〈全日本女子プロレス〉

AKINO〈アルシオン〉

吉田万里子〈アルシオン〉

藤田愛〈アルシオン〉

あっと驚く破壊的企画
女子&男子レスラーが大予想！

12・7 K-1 WORLD GP

にも足を伸ばして取材をする。トップバッターはＡＫＩＮＯ選手だ。

「ああ、わたしマーク・ハント大好きよ。まわりはエリートなのにこの人は貧乏でやってきてるでしょう。あのけなげなところがいい。地道に努力してのし上がってきたから好き。今年もわたしはハントを応援してるの。もうひとりレイ・セフォーも好きなんですよ。突進型のファイトスタイルが好き。セフォーとサップが勝ち、反対側はハントとバンナが出てくると思う。決勝戦はサップ対ハントになってパンチ対決。蹴りなしの。ハントは倒れないのでレフェリーストップでサップの勝ちになるような気がする」

彼女はタイに行ってムエタイの練習までしている人。どんなタイプの男性が好きなのかと言ったら「筋肉デブ。筋肉の上に肉がのっかってるやつ。小島さん（小島聡）が大好きなのです。自分は……だから全日本の試合は知らない顔して一番前の席で試合を見ています」と言った。

次に吉田万里子さんにアタック。

「Ｋ―１？　テレビで見ている。知ってる選手はピーター・アーツ、亡くなったアンディ（アンディ・フグ）。アーツとアンディはＫ―１がこんなに人気になる前に武道館に試合を見に行って、一緒に写真なんか撮ってもらったりしたことがあるんですよ。わたし個人的に好きなのはレイ・セフォー。ガードさげたりしてプロレスっぽいかなあと。ハントはサモアの血が違うなという印象が強い。殴られても倒れないじゃないですか？　持って生まれたものって格闘技には大事だと思う。ボブ・サップが優勝してその風をプロレスにも巻き込んでもらえれば、いいんじゃないかなあ。そのほうが面白いかな。決勝はサップとバンナの打ち合いが見たい。武蔵選手にはバンナを破って名前を上げてほしいですね」

ウーン、セフォーって女のコに人気あるんだなあ。じゃあ藤田愛はどうなのだろうか？

「この人（ステファン・レコ）以外はみんな知っている。私的には過去の人だからピーター・アーツにもう１回、ここで頑張ってもらいたい。かつて無敵を誇った男だから、まだまだ、頑張ってほしいじゃないですか？　あの強いアーツをもう１回見たい。絶対に実力はあるはずなのだから、強いところを見せてほしい。自分、ボクシングの試合の時、打たれても前へ行けと言われたので、前へ前へ行くハントも好き。打たれてもひるまないで突っ込んで行くのが好きよ。技術を持っていても精神面でやられちゃったら負けるパターンもあるじゃないですか？」

一般的に言えるのはＫ―１の試合は見てみたいと思っているけど、女子プロのレスラーは、Ｋ―１をナマで見ている人は意外と少ない。多くはテレビ観戦だ。

藤田選手の場合は〝Ｋ―１ゲーム〟をやっているそうだ。決勝戦の予想は「サモアの血恐るべし」というので藤田選手はハントを押した。ハント対セフォーで決勝戦が行われ、高山善廣対ドン・フライ戦みたいな激しい打ち合いになると言うのだ。

最後にこの人に締めてもらおう。会場にはなぜかＬＬＰＷの代表である神取忍が来ていたからだ。神ちゃんはＫ―１をどう見ているのだろうか？

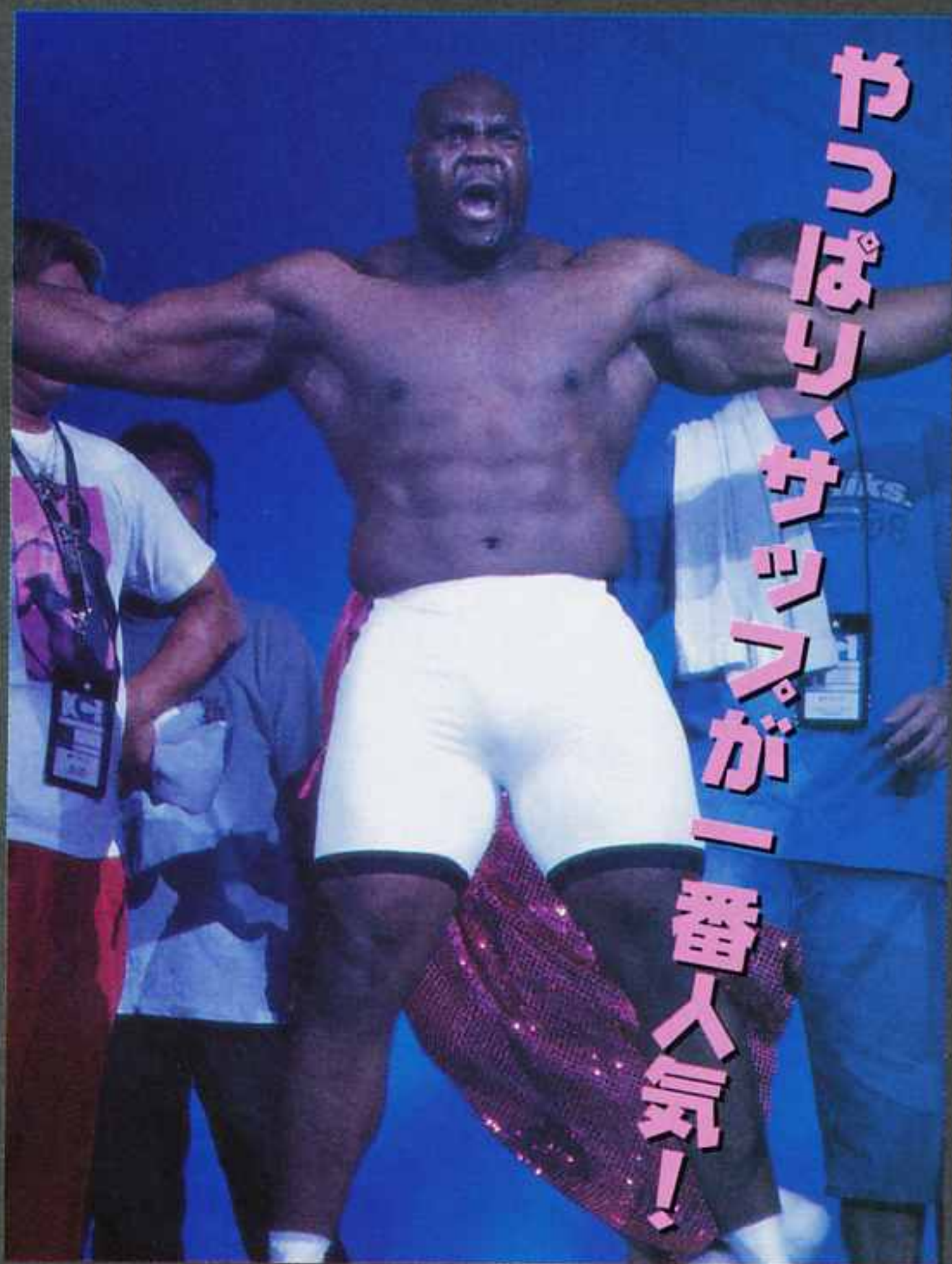
「え、Ｋ―１の今年の予想？　そんなの分かんないよお。ボブ・サップ！」

なんだ、分かんないと言いながら分かってるじゃないか？

「ボブ・サップ！　だってパワーが勝つんじゃないの？　パワーのほうがテクニックよりも勝つと思うなあ。どうだろうか？　でも、でもこないだの『Ｄｙｎａｍｉｔｅ！』の時でも予想がはずれているから、あまり期待しないでよお。ノゲイラ対サップ戦でノゲイラが勝っちゃったから。わたしの予想は断然、サップだったんだけどなあ～。でも、わたしは逆らわずボブ・サップ！　これはいくね。いくいくいっちゃうね。今みたいにね、みんな世の中が新しい力を求めている時代だろう。そんな時、サップみたいに計り知れない力を持っていたら、それに乗っかりたいじゃない。優勝はボブ・サップ以外考えられないね、ウン！」

いやあ、神ちゃんはいいよ。今回の取材をやって思ったことは、専門家の予想よりもそうでない人のほうが、よっぽど面白くて楽しいこと。それが分かっただけでも大収穫だったと思っている。■

神取忍〈LLPW〉

やっぱり、サップが一番人気！

1位　ボブ・サップ　7票　　2位　マーク・ハント　3票
3位　レイ・セフォー　2票　　4位　ピーター・アーツ　1票

これは女子レスラーのおまけか!? K―1ワールドGP大予想・男子レスラー編

武藤敬司〈全日本プロレス〉

――武藤さん、サップも出るK―1の決勝戦の優勝予想をしていただきたいんですけど。

武藤 （サップVSシュルトのカードを指しながら）これぇ、最初から見たくなかったですよね。これ一番面白そうだったんだよな、バラに使ったら。

――これは選手が自分で組み合わせを選ぶ方式なんで。

武藤 これ下手したら、ボブ・サップ行かねぇ可能性もあるもんね。こいつ（シュルト）強えもん。タッパあるし。たぶん、ボブ・サップ食らっちまうよ、これリーチ長いから。これ、ボブ・サップ上がれないよ。そうしたら、対抗のこっち（バンナ）しかないよな。（1回戦は）簡単だし。

――ダッハハハハ。

武藤 いや、簡単とかそういう部分じゃなくて、楽できる可能性あるじゃん。

――武蔵はワールドGPじゃ結果は残してないですから上がりやすいし。ハントも……。

武藤 元気なかったよね、リングサイドで見てたけど。だから、こっち（バンナ）だよね。ダントツで行っちゃうかもしれないよな。

――サップのいる山は難しいですね。

武藤 こいつ（シュルト）、強え気がするんだよな。で、ボブ・サップ、こんなデカイ奴とやったことないじゃん。こいつデカイもんね。これバラで使ったほうが面白かったのにな。

――みんな、思ったんですよね。じゃあ、具体的にこの選手はご存知ですか？

武藤 うん、この間見たよ。ピーター・アーツでしょ。これ（セフォーVSアーツのカードを指しながら）、どっち強いの？

――最近、アーツは調子が悪いんですよ。

武藤 ケガしている？ 本当は普通に結論出すんだったら、こいつ（シュルト）ってなっちゃうんだろうけど、やっぱりサップってしておかなきゃいけないもんな、今の立場上。

――立場上（笑）。

武藤 っていうか、頑張ってもらうしかねぇじゃん。まあ、ボブ・サップとバンナだろうな。この人誰？ 初顔？

――いや、違います。ステファン・レコです。

武藤 名前聞いたことあるな。デカイ？

――いえ、見たとおり普通です。

武藤 こいつ（シュルト）、デカイなぁ。彼（サップ）が小さく見えるもんな。

――馬場さんと一緒です。

武藤 （小声で）これ（サップ）とこれ（バンナ）やらせたら、面白かったねぇ。

――最初はそういうのが見たかったんですよね。サップとシュルトは別にしたかったんですけど。

武藤 うん。俺、これね、3Rいったら、ボブ・サップはバテると思う。こいつ絶対、倒れねぇもん。でも、上がってもらうしかないもんな。で、こっちの山はバンナだな。

――で、優勝は？

武藤 だから、彼（バンナ）だろうな。

――バンナ。

武藤 でも、面白くしたほうがいいの？

――いや、率直な意見で。

武藤 でも、餅屋は餅屋だもんな。

――でも、サップもホーストに勝ってますよ、世界チャンピオンに。

武藤 ただ、タイプが違うじゃないですか。倒すパンチを持っているじゃないですか。

――意外とバンナもバテやすいんですよ。打たれ弱いし。

武藤 あ、本当に。安田に負けたもんな。

――ダッハハハハ。負けました。

武藤 もしかしたら、デカイ奴には勝てないかもしれないな。■

やっぱりサップってしておかなきゃいけないもんな、今の立場上

武蔵さんと会ってみたいです

K―1の予想ですか。はいはい。（本誌の組み合わせ表を見ながら）はぁ～、凄いなぁ。やっぱり、武蔵さんに優勝してもらいたいです。武蔵さんと会ってみたいですけど、お会いしたことあるんですよ。試合は見たことないんですよ。（決勝でサップVS武蔵は？）ああ、それは凄いですね。やっぱり、日本人の人が頑張っていると「ガンバレ！」って思いますね。

あっと驚く破壊的企画
女子＆男子レスラーが大予想！

12・7 K-1 WORLD GP

番長にそろそろ優勝してもらいたいですね

金原　K―1の予想ですか。僕はボブ・サップファンですからね。アーネスト・ホーストに勝った時は、僕も興奮しましたよ。やっぱ、大きいことって凄いですね。普通のパンチでも違うんでしょうね。僕はボブ・サップファンなんで、ボブ・サップに勝ってもらいたい。セーム・シュルトに勝ってもらって。でも、ボブ・サップが勝つには、全部1Rで勝つしかないですよね。3R闘ったら、次の試合できないんじゃないですか。

――金原さん、K―1の試合に出ますか？

金原　それは体重的に（笑）。

――で、これが組み合わせなんですけど。

金原　アーツはコンディション的にはどうなんですか？

――良くないですね。最近、ケガが多いですよね。

金原　右の山はハントとバンナですよね。で、左はアーツのコンディションが気になるんですよね。コンディションが良ければ、アーツはやっぱり強いので。

――レイ・セフォーも最近調子いいですよ。

金原　そうですか。意外とセーム・シュルトが決勝まで行きそうですね。

――え、じゃあそこは、シュルトの勝ち。

金原　シュルトはデカイですからね。違うんですもん。他のメンツだったら、ボブ・サップが行くような気がするんですよ。セーム・シュルトだけは、ヒザ蹴りと前蹴りでバンバン。

――背の高い奴が、自分より背の高い奴とやるのも嫌でしょうね。

金原　そうそう。で、背も高いから、パンチも体重を乗せられないでしょうね。セームが行きそうだなぁ。でも、番長が意外と好きなんで、番長にそろそろ優勝してもらいたいですね。

――番長って、誰のことですか？

金原　レ・バンナ。

――準決勝はバンナとハントになりますかね。

金原　1勝1敗でしたっけ。どっちが勝つか分からないですよね。予想が難しいですよ。

――ズバリ優勝は。

金原　優勝はバンナにしようかな。組み合わせで変わってきますよね。人のいる位置で。

――金原さん、シュルトとやってみたいと思いませんか？

金原　セーム・シュルトですか？　全然思いませんね（笑）。

――ボブ・サップは？

金原　いや、全然思わないですね。嫌ですよ。体重みんな、落としてくれるならいいですよ。だって、リングスの時に散々やりましたもん、デカイ奴。■

金原弘光〈フリー〉

サモアンパワーを小錦、曙で肌で感じている

一宮章一〈フリー〉

Ｋ－１の予想？　優勝は、う～ん、マーク・ハント。サモアンパワーを小錦、曙で肌で感じているんで。世界の人類でサモアンパワーに勝るモノはないと。そういう意味では、マーク・ハントがやっぱ。体型も相撲取りに近いですしね。打たれ強いし、もう。トーナメントを勝ち抜いていくっていう部分では、マーク・ハントじゃないかなと。一戦一戦ではボブ・サップが勝ったりっていうのがあるかもしれないけど、勝ち抜くっていう部分では、マーク・ハントが有利なんじゃないかなぁと思っております。※アイアンマンヘビーメタル級ベルト奪取直後にコメント

WCWを代表してボブ・サップが優勝

高木三四郎〈DDT〉

優勝はですね、決勝戦がマーク・ハントとボブ・サップで、プロレス界の威信を賭けてボブ・サップですね。Ｋ－1王者が勝つか、怪物が勝つか。もう、プロレスの威信を賭けてもらって、ボブ・サップにはやってもらいたいですね。もう、ＷＣＷを代表してボブ・サップが優勝と。ＷＣＷはなくなりましたけども、ＷＣＷを代表して、アメプロを代表して。アメプロ代表ボブ・サップＶＳＫ－１王者マーク・ハント。これしかないでしょう。優勝の可能性ですか？　う～ん、69パーセントぐらいでボブ・サップが優勝するでしょうね。69パーセントで優勝ボブ・サップで間違いないんじゃないですか。

知名度のなさではステファン・レコがナンバー1…

女子レスラーも男子レスラーの間でもやっぱり、ボブ・サップの知名度は抜群だったが、反対にみんな組み合わせ表を見ながら、「これは誰ですか？」と言われてしまったのがステファン・レコ。髪型とチームを変えて、気分一新で頑張って、知名度を上げてほしい

12・7K-1 WORLD GP決勝トーナメント

武蔵
ジェロム・レ・バンナ
マーク・ハント
ステファン・レコ
セーム・シュルト
ボブ・サップ
ピーター・アーツ
レイ・セフォー

ジン・キニスキー 73歳 × ターザン山本 56歳 足して129歳の青春対談！

「俺はなんでもイチバンが好きなんだ！」

「イチバンって言葉をたくさん言っているね」

10・27全日本プロレス30周年記念日本武道館大会には、往年の名レスラーたちが登場した。その中の1人、かつてNWAのチャンピオンで、ジャイアント馬場との死闘が語り種となっているジン・キニスキーは、ターザン山本が「強くなりたければ、ピーナッツを食え」という教えを受けた思い出深い人物。いまだに、その教えを守ってピーナッツを食べることを欠かさないターザン山本が、大会翌日、成田空港に向かう車中でキニスキーの元気の秘密を聞き出した。

成田空港へ向かう途中の車の中で行われたキニスキー（写真左）とターザンの対談。車にはAWAのチャンピオンだったニック・ボックウィンクル（写真右）も同乗していた

キニスキー　ご機嫌はどうだい、ヤマモト！　コンニチワ！

ターザン　おお〜、サンキュー！　なんで、あなたはそんなに元気なんですか？

キニスキー　おお、オレはまだ若いんだ！

ターザン　若いぃ!?　年はいくつなんですか？　俺は56ですよぉ。

キニスキー　73歳だ。11月には74になるよ。年は食っているけど、気持ちは若いんだよぉ！

ターザン　74!?　お年寄りなのに派手な赤いジャンパーを着ていますね。

キニスキー　違う！　オレは若いんだ！　体は年寄りだけど、頭の中は19歳だ！

ターザン　19！　頭の中が進歩していないんじゃないかぁ（笑）。

キニスキー　年を取ったら死ぬだけだから、オレはもう若いと思い込むようにしているんだ。年寄りは肩が痛いとか辛気くさいことしか言わないけど、気持ちが若いからこういう赤を着たりできるんだ。

ターザン　素晴らしいセンスだね。毎日、どんな生活しているんですか？　まず、これは興味がありますよぉ！　何時に起きるんですか？

キニスキー　毎朝8時30分！

▲10・27全日本プロレス日本武道館大会で、キニスキーたちの控室に乗り込んだターザンは、ニックのAWAのベルトを腰に巻いてご満悦。なぜか、島田レフェリーも記念撮影に入っていた。一番左はテリー・ファンク

体は年寄りだけど、頭の中は19歳だ！〈キニスキー〉

19！頭の中が進歩していないんじゃないかぁ！〈山本〉

ターザン　早起きだねぇ。朝飯は何を食べるんですか？

キニスキー　体重をコントロールするために、朝飯は食わないんだ。食事は魚と野菜を中心にしている。

ターザン　今、日本人は健康ブームなんだけど……。

キニスキー　（遮るように）オレは女にもてるんだよぉ！　オレにはバイアグラなんて必要ねぇんだ。ただ、1回だけ使ったことはあるけどな（笑）。それから午後3時に昼食を食べる。

ターザン　それは誰が作るんですか？

キニスキー　料理する必要なんかない。そのまま野菜をむしゃむしゃ食うんだよ。

ターザン　エエッ！　ムチャだねぇ。薬は飲んでないんですか？

キニスキー　スコシ。血液の流れを良くする薬をちょっとだけ飲んでいる。

ターザン　年を取ってからは、2つ必要なことがあるんだよね。パートナーと趣味という。

キニスキー　パートナーなんていらないよぉ。オレは18歳ぐらいの女の子が好きなんだ。パートナーだと年を取っちゃうじゃないか。それだったら、若い子と付き合ってたほうが面白いね（笑）。

ターザン　何時頃寝るの？

キニスキー　夜の12時30分だ。

ターザン　いったい、キニスキーさんは1日をどのように過ごしているんですか？

キニスキー　まず起きてからベッドを掃除してから新聞を読む。それから、3時間トレーニングし、シャワーを浴びてヒゲを剃って、昼寝をする。テレビでニュースを見て、月曜日は水泳に行くんだ。泳いだ時は王様のような気持ち、そして少年のような純粋な気持ちになるなぁ。

ターザン　タバコは吸うんですか？

キニスキー　ハマキ！

ターザン　おお、馬場さんと一緒ですよぉ。馬場さんはキューバの葉巻を吸っていたんですよ。

キニスキー　ババにキューバのハマキを持っていったんだ。

ターザン　馬場さんは葉巻を吸っていた時が一番幸せだったよ。馬場さんはラスベガスで博打をするのが好きだったんですけど、ギャンブルはどうなんですか？

キニスキー　ギャンブル？　あれをするヤツは馬鹿だ！

ターザン　エエッ！　馬鹿ぁ！　理由を教えてくださいよぉ。

キニスキー　ラスベガスには美しいホテルがあるのに、そんなところで金を失う必要はない。

ターザン　僕はお酒はワイルド・ターキーが好きなんだけど、何が好きなんですか？

キニスキー　オレは酒を飲まない。

ターザン　エエ？　アメリカはジャック・ダニエルがうまいよ。

キニスキー　オレはサッポロビールが好きだな。試合の後では毎日サッポロビールを6本飲んでいたんだけど、引退してからは一切飲まないな。

ターザン　健康的だねぇ。日本の刺身はどうなんですか？

キニスキー　アメリカにも寿司バーが至る所にあるんだけど、うまいよ。

ターザン　馬場さんはコーヒーが好きだったんだけど、コーヒーと紅茶はどっちが好きなの？

キニスキー　コウチャ、コウチャ！　日本の緑茶も好きだよ。コーヒーを飲むと興奮して、手が震えるのでお茶にしてい

▶全日本30周年に駆け付けた往年の名レスラーたち。左からジン・キニスキー、ニック・ボックウィンクル、デストロイヤー

©平工幸雄

るんだ。

ターザン　そういえば、去年テロが起きた時は、どんな気持ちになりましたか？

キニスキー　ひどかったね。あんな狂ったヤツはオレが殺してやる！　あんなヤツらは、このキニスキーにとって大したことじゃないよ。

ターザン　元気だねぇ。映画なんか見ないんですか？

キニスキー　面白くないからな。演劇なんかのほうが好きなんだよ。アンドリュー・ルーのステージがイチバンだ！　音楽を聴くことが自分にとって凄い鳥肌が立つような経験を与えてくれる。

ターザン　あ、そう！　どんな音楽を聴くの？

キニスキー　クラシックやカントリーなんかだな。ラララララ〜。

ターザン　うまいねぇ！　なんていう歌なんですか？

キニスキー　『トップ・オブ・スモーキン』。ラララララ〜。

ターザン　ムチャだなぁ！　こんなところでキニスキーの歌を聴けるとは思わなかったよ（笑）。そういえば、昔、あなたが言っていたピーナッツを食べると強くなるっていう話を覚えていますか？

キニスキー　「ピーナッツを食べろ」というのはプロテインを摂れという意味なんだ。その他にウェイトトレーニングもしなきゃダメだけどな。ウェイトトレーニングして、ピーナッツを食え！　それから、水は体をキレイにするから、いっぱい飲め！　1日1本バナナを食って、ポタージュスープを飲め！　そして、人生を楽しむんだ！　毎日、笑っていれば、あなたはバケーションの中にいるような心地になるよ。

ターザン　人生を楽しむというのは僕と一緒ですよぉ。その考え方は、誰から学んだんですか？

キニスキー　おふくろだよ。オレのおふくろさんは賢い人間で、5カ国語しゃべれたんだ。英語、ポーランド語、ドイツ語、ロシア語、イディッシュ語。

ターザン　じゃあ、キニスキー家は何系の家系なんですか？

キニスキー　ポーランド系だよ。ポーランドからカナダに移ったカナダ人だ。

ターザン　ポーランドといえば、ショパンですよぉ！

キニスキー　ショパン、イチバン！　でも、アンドリュー・ルーがイチバン好きだな。ぜひテープを手に入れて聴いてくれ。

ターザン　さっきから聞いていると、「イチバン」っていう言葉をたくさん言っているね。好きなんですか？

キニスキー　そう、オレはなんでも「イチバン」が好きなんだ。ところで、日本に来ると不思議なことがあるんだ。異国の地なのに、みんながオレのことを「キニスキー！　キニスキー！」って言ってくれるのが、不思議なんだよなぁ。

ターザン　それはプロレスファンが多いからですよぉ！

キニスキー　バンクーバーの空港で日本人に会っても、「ハ〜イ、キニスキー！」って寄って来るんだ。その時、日本語で

馬場さんがいないんで寂しいでしょう？〈山本〉
彼は皇帝であり、象徴だった。〈キニスキー〉

ジン・キニスキー　ターザン山本
73歳×56歳
足して129歳の青春対談！

「コンニチワ！　コンバンワ！」って言うとビックリするんだ（笑）。

ターザン　でも、最初に日本に来た時と今の日本は全然違うでしょう？

キニスキー　1969年に初めて日本に来た時は、日本人はみな礼儀正しかった。今の日本人は西洋人みたいになってしまって、礼儀がなくなってしまったよ。

ターザン　ところで、僕はドン・レオ・ジョナサンが好きなんですけど、病気なの？

キニスキー　ガンにかかってしまったよ。あんまり良くはないな……。

ターザン　それはあまりいいニュースじゃないねぇ。日本に来ても馬場さんがいないんで寂しいでしょう？

キニスキー　彼は皇帝であり、象徴だった。精神が大きく、偉大な男だったよ。

ターザン　元子さんはどうしたらいいんですか？

キニスキー　凄い寂しいだろうな。新しい旦那を探せばいいのに、彼女は「馬場さんに一生を捧げる」と言って断っているんだ。これは凄いことだよ。

ターザン　じゃあ、あなたの結婚生活はどうだったんですか？　若くして奥さんを亡くされたでしょう。

キニスキー　彼女は凄く素晴らしい女性だった。彼女の代わりになる人は見つからないよ。

ターザン　ところで、動物は何が好きなんですか？

キニスキー　クマ。カナダではクマのことをキニスキーって呼ぶんだ。ハンターは「キニスキーを殺せ」なんて言いやがる。ある名ハンターはクマのことをジン・キニスキーからとって〝ジン〟と呼ぶんだよ（笑）。

ターザン　これは傑作だなぁ（笑）。いやぁ、それにしてもプロレスは、オレたちファンの人生もクレイジーにするねぇ！

キニスキー　クレイジー？　でも、プロレスはタフだよ。

ターザン　キニスキーさん、プロレスはファンタジーじゃないんですか？

キニスキー　どこへ行っても、ファンはみんな一緒だ。ファンは大げさに騒ぐじゃないか。本当はそういうことはやめて、心の中でリスペクトしてほしいんだ。

ターザン　いや、僕たちプロレスファンはプロレスラーがヒーローだから、一番リスペクトしてますよ。

キニスキー　チョットマッテ！　オレもあなたをリスペクトしているよ。あなたが、有名な雑誌を作って、偉大な文章を書いてくれているからだよ。

ターザン　僕たちは文章を書くことでファンに夢を与えているからね。

キニスキー　チョットマッテ！　ヤマモト、あなたは紳士だ！

ターザン　おお、ありがとう！　キニスキーさんに分かってもらえて、嬉しいよぉ！　長生きしてください。■

PROFILE ◆プロフィール

ジン・キニスキー：1928年11月生まれ。カナダ・アルバータ州エドモント出身、193センチ115キロ。アリゾナ大学時代はフットボールで活躍。卒業後は、プロのエドモントン・エスキモーズに入団。52年のオフからプロレス活動を始め、その後プロレス一筋に。66年、“鉄人”ルー・テーズを破り第45代NWA世界ヘビー級王者となった。初来日は64年の4月、力道山没後に行われた第6回ワールド・大リーグ戦。67年8月14日に大阪球場で行われたジャイアント馬場とのインターナショナルヘビー級王座戦は65分時間切れで、いまだに語り種となっている名勝負だ。得意技はキチンシンク。

恒例！猪木成田会見

12・31『イノキ・ボンバイエ』開催を猪木が明言！「暮れはやります。テレビがどうであろうと」

10月30日、アメリカへと帰る猪木が、成田空港で恒例の記者会見を開いた。今回の会見で中心になった話題は、この時期になっても、やるのかやらないのか噂が錯綜している大晦日恒例の『イノキ・ボンバイエ』。猪木は「暮れはやります」と断言したが、果たして本当に『イノキ・ボンバイエ』は行われるのか？ 恒例の猪木成田会見の一部始終をお届けする。

猪木　どうぞッ！

——次回の東京ドーム、1月4日の大会にボブ・サップを使うおつもりですか？

猪木　俺自身は考えていないんだけど、彼のキャラクターというのは貴重なキャラクターになっちゃいましたんで。

——藤田選手がロスに行くっていうのは、ミルコ対策ですか？

猪木　そうですね。まあ、ロスに行くってことが、べつにどうってことではないんだけど、ある意味で俺が経験したことは、旅をすることによって、いろんなことが見えてくる。そういう意味では俺も相変わらず旅の連続なんですけども。旅の好きな人と嫌いな人がいるから、これは一概には言えないけど。最初、藤田も横着というか、そういうところに出たがらなかったけど、最近はパラオに黙って行ったり、分かってきたようなんで。

——『WRESTLE−1』に、武藤さんが橋本さんや蝶野さんに呼びかけてますけど。

猪木　いや、べつに蝶野がやりたきゃやればいいし。こういうことに関しては、縛るつもりはないし。もう、敵じゃねぇからさ（笑）。選手にはなんのわだかまりも持っていませんよっていうことで、馬場さんの奥さんにも怒りはないけど。ただ、やっぱり馬場さんが死んだ時に、新日本が手を貸したにもかかわらず、それを足をすくうような形は、これは許さんぞという話であって。反則行為は許されるというプロレスのルールであっても、道義的な部分で何が正しいのかっていうのは、メッセージとしてちゃんと送っておかなきゃいけないと思う。

——『プライド』のほうでは吉田選手とドン・フライが闘いますけど。

猪木　まあ、吉田の決断というのは大変評価すべきじゃないかなと。これは正直言って、何べんも言うようだけど「いつまで柔道衣、着てんの？」っていう。だったらプロに来る必要がねえんじゃねえのっていう。要は「金が欲しいんだろ？」と。「金を稼ぐためにリスクを背負わなければしょうがないんじゃないの？」っていう。そういう意味では今回『プライド』ルールでやるんでしょ？ そりゃあもう大変な決断というか。まあ一つアドバイスとして、やっぱりプロの世界というのは別の世界であるということを早く認識したほうが。これは逆に言えば勝っても負けても、勝ちゃあそれはそれで大変なことだし、負けても評価は下がらないんじゃないかなっていう。あえて高田の件で言えば、まあ「ご苦労さんです」と。彼は1回引退しているわけだから、まあ「幕引きだけはきれいに幕引いたらどうですか？」と。あとはあえて言わせてもらえば、大バカになって高田の良さを幕引きの中で見せてほしいなっていうのはね。

——吉田選手の試合はどういった闘いになると思われますか？

猪木　分かんない。だって、吉田のこと知らないから（笑）。まあイメージどおりで言ったら、やっぱり打撃系を練習してなければまったく不利だよな。……何か最近みんなの心がみんな見えちゃうんだよ。言っていいんだよ、「暮れはどうするんですか？」って（笑）。ホントに全部読めちゃうんだよ、最近。ハッハッハ！ 暮れはやります。テレビがどうであろうとね。

——今回の『イノキ・ボンバイエ』のコンセプトは？

猪木　もしテレビも関係ないっていうことになれば、ぜひグラディエーターっていうか、アテネに向けての第一歩を踏み出すという。

——一昨年がプロレスのオールスター戦、去年は「猪木軍VSK−1」という格闘技色の強い大会だったんですが、今年はどういった形の大会になるんでしょうか？

猪木　いや、分かんねえんだ、だから。分かんねえってことはないんだろうけど。まあ、テレビが乗っかってくれるんであれば、それはそれで。どちらにしてもちょっとの時間だけ待とうと思っています。

——去年は『プライド』との提携があったわけですが、今回に関しては？

猪木　それはもうやる。基本の方向です。

——『猪木祭』にサップを出したいというお考えはありませんか？

猪木　最初からずっとそのつもりで。俺じゃないけど、今回、裏に仕掛けている人がいますから。そういう方向性で来てますから。

——会場などはまだ決定していないという感じですか？

猪木　だから押さえてはいないんですよ、まだ。問題はテレビとの問題。まあ、皆さんもご存知のとおりですから。テレビがやらないからやらないんじゃなくて、やらなくてもやりますよと。逆に最初の『ボンバイエ』は大阪ドームですから、地方へ行くことだってありえる。東京にこだわる必要はないと思うんで。いいですか？ どうも。■

▲会見後、空港内のレストランでざるそばを食べる猪木。これを報道陣が見守るのが、猪木会見での恒例行事となっている

あのHHHも来る！

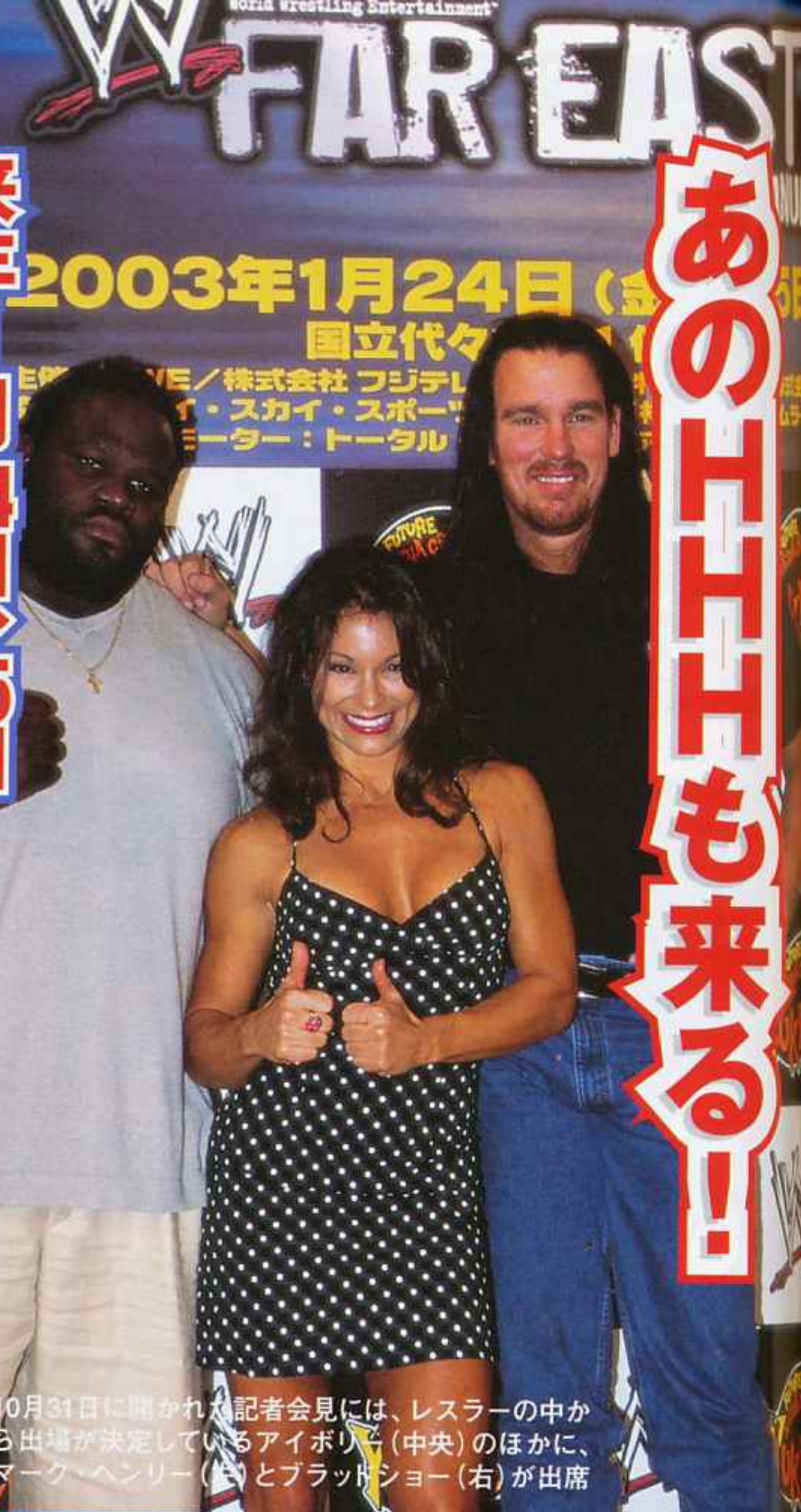
来年1月24日、25日WWE日本再上陸！

2003年1月24日、25日
『FAR EAST TOUR』
参加決定レスラー

HHH
ケイン
クリス・ジェリコ
ロブ・ヴァン・ダム
ブッカーT
テスト
ジェフ・ハーディー
クリスチャン
ゴールドダスト
ステイシー・キーブラー
トリッシュ・ストラータス
アイボリー

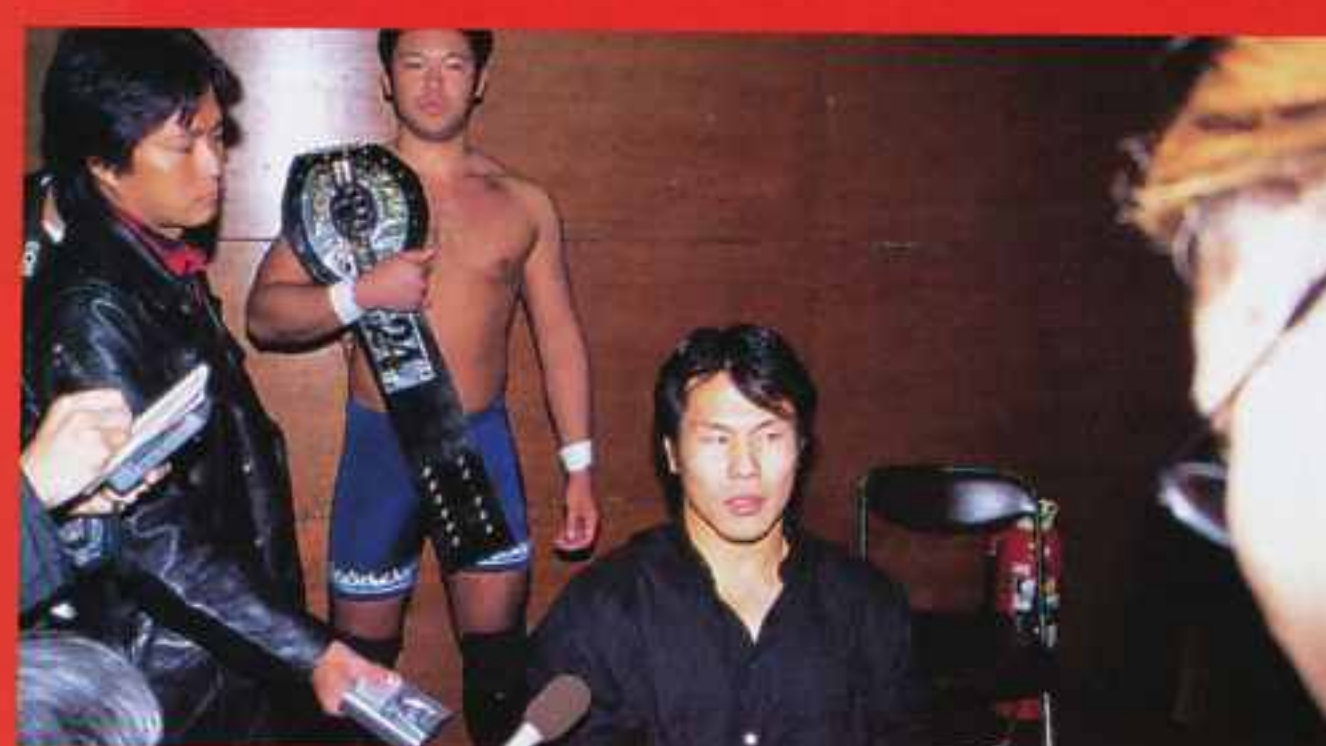
▶会見中、「ビールを飲みたい」というブラッドショーの要望で、会見出席者全員で乾杯。ちゃんと、こうしたパフォーマンスを忘れないのだ

▶やはり、WWEの日本上陸は注目度が高い。100人近いマスコミ関係者が会見場に詰めかけた

10月31日、都内のホテルでWWEの記者会見が行われ、来年1月24日と25日、東京の代々木第一体育館で『FAR EAST TOUR』の開催が発表された。会見に出席したのはWWEのエグゼクティブ・バイス・プレジデントのロジャー・マーメント氏、トータル・スポーツ・アジアのマーカス・ルア社長、ユークスの谷口社長、そしてアイボリー、マーク・ヘンリー、ブラッドショーの3人のレスラーだ。今回のこのツアーはWWEとフジテレビが共同で主催するもので、来年、WWEは海外戦略に力を入れるということもあり、日本にも2～3回は来る計画があることも発表された。また、オフィシャルファンクラブの設立、iモードモバイルサイトの開始も合わせて発表された。今年の3月1日の横浜大会は大盛況だったが、今度は2日間連続興行。『WRESTLE―1』との比較も楽しみなWWEの日本再上陸だ。■

10月31日に開かれた記者会見には、レスラーの中から出場が決定しているアイボリー（中央）のほかに、マーク・ヘンリー（左）とブラッドショー（右）が出席

田村、DSEに不信感…

ヤマケンとの遺恨が再燃

▲アマチュアの大会ではあるが、結構楽しめるのがU―FILEの大会。ジム生が各大会で活躍しているのもうなずける。写真の試合は、大久保一樹と越後隆のプロレス。大久保が9・7DEEPで一宮章一から奪ったアイアンマンヘビーメタル級のタイトルマッチ。逆さ押さえ込みで越後が勝利したが、大会終了後に一宮に襲われ、アッと言う間に王座から転落した。このベルトは、24時間いつでも挑戦できるタイトルなのだ

▲大会終了後、マスコミに囲まれた田村だったが、大会の総括に終始し、髙田戦やヤマケンとのことについては一切しゃべることなく会場をあとにした。この囲み取材のあと、U―FILEのスタッフX氏の口から、「田村がDSEに不信感を持っている」と発表されたのだ

やはり、過激団体Uインターの遺恨の火種は残っていた。『プライド23』で髙田延彦の引退試合の相手を務める田村潔司が主宰するジム・U―FILE CAMPのアマチュア大会で、大会後に田村側からDSEに対して声明が発表された。その内容は、『プライド23』で組まれているカードに田村側が疑問を持ち、DSEに対して不信感が生じたという内容のものだ。田村側は具体的な名前は出さなかったものの、かつて「偽善者」呼ばわりされた山本喧一であることは明白。田村サイドとしては、DSEと話し合いをするというが、果たしてどうなるのか？■

U―FILEスタッフX氏のコメント

「先日、『プライド23』のカード発表がありましたが、その中にDSEさんに一部不信感が生じるカードがありましたので、今DSEさんと話をしているところです。過去のいきさつ等をDSEさんも知っているかと思われますが、DSEさんのほうに田村に対する配慮がなかったと。出場しないという形にはしたくないのですが、なくはないと思います」

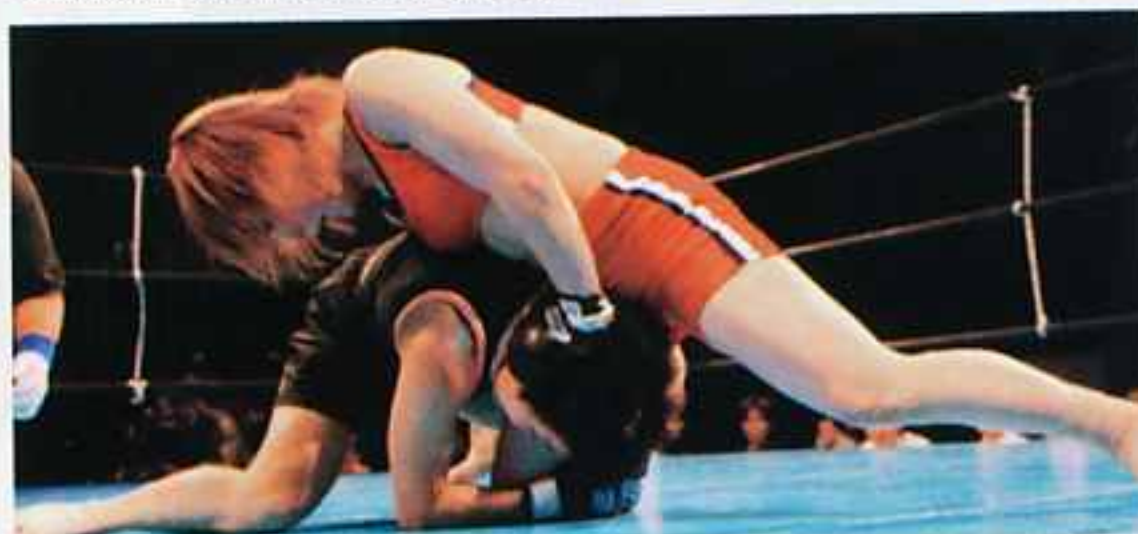
自分のジムが主催する興行『U―FILE2』で挨拶をした田村。案の定、髙田戦については何も触れなかった

SMACK GIRL

JAPAN CUP2002 エピソード2

10.8★ディファ有明

次回、日本最強のオンナが決まる!

▶〈ライト級トーナメント準決勝〉「飛びヒザの練習台になってもらう」、「勝って当たり前」などビッグマウスも爽快な打撃屋・渡邊久江（LIMIT）は山田純琴（y−park）に圧勝。伸びのある蹴り、身長差を活かしたヒザで追い詰め、トドメはパンチの連打。2度のダウンを奪って決勝進出を決めた（1R1分31秒、KO）

▲〈ライト級トーナメント準決勝〉決勝で渡邊と対戦するのは、大本命のしなしさとこ（GIRL FIGHT AACC）。準決勝の今回は大門まい子（闇愚羅）にヒールホールドで一本勝ちしたが、何度も十字を極めきれなかったりで調子はいまひとつ。自己採点は「3点」だった（2R1分28秒）

▶オリジナルのマスクで入場してきた辻。よく見ると目の部分に"辻"の文字が

▲〈ミドル級トーナメント準決勝〉この夏から仕事を辞めてプロに専念、女子総合を代表する選手に成長した辻結花（闇愚羅）は杉本由美子（禅道会）に十字で一本勝ち。得意の低空タックルに加え一本背負いでもテイクダウン。好調ぶりをうかがわせた（1R4分13秒）

▲〈ミドル級トーナメント準決勝〉ウィンディ智美（作真会館）と金子真理（禅道会）は今回が2度目の対決。前回は判定で敗れた金子だが、今回はウィンディの打撃を徹底してタックルで潰す作戦でペースを掴む。2Rにはカメの状態でボディへキックを連打されるピンチもあったが、なんとか耐え切って3−0の判定勝ち。1Rのウィンディのイエローカード（ロープ掴み）も採点に響いたか

強すぎ、デカすぎで相手がいない! "女ボブ・サップ"石原美和子の悲劇

誰かワタシンと闘って!

撮影◎丸山剛史

この日は男と3人掛け!

無差別級トーナメントへの出場が決定していたものの、他の選手のケガなどもあって今回はエキシビジョンを行った石原。なんと男子選手が相手の3人掛けだったが全て秒殺！　息も乱さずに「（今日の相手は）みんなよく頑張ったと思います」と余裕のコメント。凄ェ！

ロイヤルランブルをやったりタッグトーナメントをやったりとアイディア勝負の興行を打ってきた『スマックガール』だが、この秋からは階級別のトーナメントという正攻法、ド直球な企画をスタートさせた。

そしてこれが大当たり。準決勝が行われた今大会は、ここ何回かと比べても抜群に面白いものになった。女子総合格闘技は、選手個々のキャラと実力だけでも充分に観賞に耐えうるものになってきているのだ。

ただ、そんな充実の『スマックガール』の流れから完全にはぐれてしまった選手が一人いる。本人はなんにも悪くないのに。

それが、禅道会の石原美和子だ。はっきり言ってこの石原、デカすぎる。そして強すぎる。まさに女ボブ・サップ。故に相手がいない。今大会では、ついにリング上から対戦相手を募集。マッチメイクする篠代表の苦労もしのばれるというものだ。

海外にはエリン・トーヒルやマーロス・クーネンなど、石原に勝った選手もいる。だが今の女子総合のマーケットでは、頻繁に外国人選手を招聘したり、海外遠征に行ったりすることも難しい。

強いが故の悲劇が起こるのは、このジャンルがまだ黎明期にある証拠。石原という凄玉をクサらせないだけの奥行きを持つこと。それが女子総合の世界がより豊かなものになるための指標となるはずだ。

（橋本）

野良犬と心中だっ！

11・17後楽園→12・14タイ→1・4後楽園
小林聡はオレが追う！（橋本）

SATOSHI KOBAYASHI

SATOSHI KOBAYASHI

SATOSHI KOBAYASHI

▶小林の師匠は藤原ジム・藤原敏男会長。かつてタイ人以外で初めてムエタイの殿堂ラジャダムナンのベルトを巻いた伝説の男である

どんな無様な姿を晒しても〝次〟が見たくなる それが小林聡という男のカリスマ性なのか

ぼくが日本映画で一番好きなのは北野武監督の『キッズ・リターン』だ。ボクサーとヤクザになった2人の高校生の挫折を描いた、苦い青春の物語。ビデオも、サントラCDも持っている。だけど去年あたりから、映画のラストで鳴り響く主題曲を聴きながら、別のことも頭に浮かぶようになってしまった。

小林聡のことが。

小林の入場テーマ曲が『キッズ・リターン』なのだ。おかげで映画の感動と同時に、小林の試合での高揚感もぶり返してくる。完全にハマッた。虜だ。

小林聡。いま最もぼくを惹き付け、興奮させ、夢中にさせてくれるファイターである。ラジャダムナン王者テーパリットを拳の台風に巻き込んでノックアウトした熱狂。オスマン・イギン戦で2度のダウンを右一発で跳ね返した常識外れの大逆転劇、わずか1R1分24秒の濃密さ。小林の試合は見る者の魂を震わせ、感情の奥深くにまで降りてくる。

その小林が、12月14日、タイ・ルンピニースタジアムで開催される『TOYOTAタイランド ムエマラソン』に出場することになった。その名のとおりTOYOTAがスポンサーとなり、TVでも生中継される8人制トーナメントに、日本代表としてのオファーが届いたのだ。それ以外に、全日本キックのエースとしての仕事もきっちりと果たす。11月17日、それに来年1月4日にも、後楽園での試合が予定されているのだ。1カ月あまりで3連戦。トーナメントで決勝まで勝ち上がれば5連戦だ。あまりにも無謀なスケジュール。それに『ムエマラソン』は、出場選手の多くがタイのランカー、チャンピオンクラスで占められ、休憩時間もワンマッチも挟まないという過酷極まりないトーナメント。小林が優勝できるという保証はどこにもない。

しかも小林は今年、ルンピニー王者に2連敗を喫しているのだ。3月にはナムサックノーイに技術で翻弄され、9月はサムゴーに力で叩き潰された。レベルの違いを見せつけられての惨敗。今回のトーナメントにも、サムゴーが出場するという。冷静に考えて、サムゴーと小林の差が縮まったとは思えないのだが……。

「絶対、行かなきゃいけない」

タイ遠征の話を聞いた時、すぐに思った。行かなきゃいけないのだ、小林の試合なら。冷静になどなれない。次こそ何かある。絶対にタダじゃ終わらない。そう信じてしまう。

次ページの戦績表を見てもらえば、その理由の一端は分かってもらえると思う。35勝(24KO)13敗2分というのは、決してエリートが辿る道筋ではないだろう。KO勝ちは多いが、大事な試合での負けもまた多い。初めてのタイトルマッチ、初めてのタイ遠征。小林はいずれも負けている。他団体から古巣の全日本キックに復帰した、その第1戦でもまさかの敗退。どの試合も「もうやめた」となってもおかしくない大きな挫折だったが、小林は絶対に音を上げなかった。

ぼく自身、小林の試合はデビュー当時から見ているが、ここまでノシ上がってくるとは夢にも思わなかった。まして自分が記者としてキックボクシングを担当し、公平を旨とすべき立場もわきまえずに「とにかく小林聡の試合だけは絶対に見ろ」などと書くようになるとは。

格闘家には好漢が多いが、普段の小林ほど気さくで気取らない男も珍しい。服装の基本はジャージ。靴よりサンダル。マスコミの人間と会っても、まるで構えたところがない。それに深刻な話になればなるほど、途中で冗談を挟む。そういう一種の〝照れ〟はよく分かる。ぼくと小林は同い年。ビートたけしを見て人格を形成されてしまった世代なのだ。そんな男が口にする〝覚悟〟や〝決意〟は、だから余計に重く感じられる。サムゴー戦の前、常軌を逸したハードな練習を終えた小林は、ポツリとこう漏らした。

「不安ですよ。練習をやればやるほど不安になる。今回が人生を左右する闘いになると思う。それに向き合ってる自分が怖いっていうか……」

横で聞いていて、涙が出そうになった。こいつは本気だ。本当の〝強さ〟を持っている。試合を怖いと感じる自分まで素直に認めて、それでも「キック以外やることないから」と大きな敵に挑もうとしている。今回だってそうだ。

「勝算なんてないですよ。でもサムゴーともう一回やりたい。やり返さなきゃ気が済まない」

キックボクシングは、どちらかと言わなくともマイナーなジャンルである。国立競技場に9万人を集める大会がある今、キックは〝辺境の地〟だろう。でも、そんなマット界の片隅で、とてつもないことが起ころうとしているのだ。

多くの人は、まだそのことに気付いていない。だったら、独占してやろうじゃないか。「所詮マイナー」と思われてきたキックの世界で、小林聡という凄まじい求心力を持つ強烈な個性が、今まさに爆発しようとしているのだ。それを見る喜びを、どこまでも追い続けてやる。その記者として小林聡と心中してやる。その覚悟はできている。

何度負けても、どれだけ無様な姿を晒してもしぶとく生き残り、1度はラジャダムナン王者をKOするまで這い上がってきた〝野良犬〟。であれば、ルンピニー王者に2連敗を喫しても「だったら次だ」と確信できる。たとえタイのトップクラスが集うトーナメントであろうと、小林なら何かやってくれるはずだと。

〝オレたち、もう終わっちゃったのかな?〟

〝バカ野郎、まだ始まってもいねえよ〟

『キッズ・リターン』。そのラストに用意されたセリフである。

(橋本宗洋)

▶小林の練習は常軌を逸した激しさでつとに知られる。藤原会長の罵声と反撃を浴びながらのミット打ちは、まさに狂気を感じさせる

SATOSHI KOBAYASHI

SATOSHI KOBAYASHI

“名勝負”にこれだけ敗戦が多いのも小林らしさか

小林聡BEST BOUTS

小林聡　全戦績

(1) 91.10.26後楽園	中島稔倫（大和）○判定
(2) 11.17韓国	金相浩(韓国）◎KO2R
(3) 92. 5.30後楽園	内田康弘（S.V.G.）●判定
(4) 12.19後楽園	宮本裕行（町田金子）◎KO2R
(5) 93. 6.20後楽園	佐藤孝也（大和）●KO2R
(6) 94. 2.28後楽園	パーサクノーイ・チョーチューチット（タイ）●判定
(7) 3.26後楽園	兜甲児（不動館）○判定
(8) 4.23後楽園	宮本隆行（町田金子）○判定
(9) 6.17後楽園	林亜欧（S.V.G.）◎KO1R
(10) 10.30後楽園	杉田健一（勇心館）◎KO3R
(11) 95. 1. 7NK	内田康弘（S.V.G.）●KO3R
(12) 3.23ラジャ	スーラサッグ・ソー・セントーン（タイ）●TKO2R
(13) 7. 2後楽園	崔永益（韓国）△ドロー
(14) 9.29後楽園	崔永益（韓国）●KO1R
(15) 96. 4.29後楽園	今井武士（治政館）◎TKO4R
(16) 10. 6NK	斉藤直弘（藤）◎KO1R
(17) 12. 8長崎	勝山恭次（S.V.G.）○判定
(18) 97. 1.19後楽園	ガウナー・ソー・ケッタリンチャン（タイ）●判定
(19) 4. 6後楽園	高津広行（小国）◎KO3R
(20) 9.28後楽園	金沢久幸（TEAM-1）◎KO4R
(21) 98. 4.12オランダ	オスカム・オクタイ（オランダ）●判定
(22) 7.24後楽園	ライアン・ディアス（カナダ）◎TKO2R
(23) 9.22後楽園	須藤信充（神武館）◎KO2R
(24) 10.25両国	井瀬活大（シーザー）◎KO1R
(25) 11.14武道館	外　智博（FA田無）○判定
(26) 99. 1.22後楽園	チャナペック・ガッティンディ（タイ）●TKO3R
(27) 4.29昭島	ヨードラック・ソー・チットパッタナー（タイ）○判定
(28) 6.18後楽園	佐藤堅一（士道館）◎TKO2R
(29) 7.13後楽園	五十嵐ヨシユキ（アクティブJ）●判定
(30) 9. 3後楽園	林亜欧（S.V.G.）◎KO2R
(31) 11.22後楽園	五十嵐ヨシユキ（アクティブJ）◎KO3R
(32) 00. 1. 21後楽園	金沢久幸（TEAM-1）○判定
(33) 3.16後楽園	モハメッド・ヤマニ（フランス）◎KO1R
(34) 5.24後楽園	デビッド・ガーン（ニュージーランド）△ドロー
(35) 6.18後楽園	明日華和哉（飛鳥塾）◎KO1R
(36) 7.30後楽園	マルコ・コスタグータ（イタリア）◎KO4R
(37) 10.22後楽園	クリストファー・レベック（フランス）○判定
(38) 11.29後楽園	ダニエル・ハッチ（ニュージーランド）◎KO2R
(39) 12. 9イタリア	マルコ・コスタグータ（イタリア）○判定
(40) 01. 1. 4後楽園	アンドレ・ロンキー（イタリア）○判定
(41) 3.16後楽園	サッダム・ギャットヨンユット（タイ）●判定
(42) 5.17後楽園	ジャン・スカボロスキー（フランス）◎KO2R
(43) 6.10長野	ルーラウィー・サラウィテー（タイ）◎KO2R
(44) 7.22後楽園	マーシャル・エリザベス（オランダ）◎KO2R
(45) 9. 7後楽園	テーパリット・シットクヴォンイム（タイ）◎KO4R
(46) 11.30後楽園	オスマン・イギン（ベルギー）◎KO1R
(47) 02. 1. 4後楽園	金沢久幸（TEAM-1）○判定
(48) 3.17後楽園	ナムサックノーイ・ユッタガーンガムトーン（タイ）●TKO2R
(49) 7.21後楽園	ヨセフ・ブリーチ（ハンガリー）◎KO3R
(50) 9. 6後楽園	サムゴー・ギャットモンテープ（タイ）●KO3R

◆50戦35勝（24KO）13敗2分

小林聡（藤原ジム）
1972年3月16日、長野県出身
身長／170センチ　得意技／左フック、ローキック

#1

3度目となる現役ムエタイ王者との対戦だったが、強烈な左ミドルを浴びまくって地獄を見る。小林は序盤こそパンチ、ローで攻め立てたのだが、いざサムゴーが本気を出すとリング上は公開リンチの場に。小林の右腕は蹴り潰されて重度の打撲。サムゴーのあまりの強さは、キックマニア以外のファンにも大きな話題となった。

2002.9.6　後楽園ホール
VSサムゴー・ギャットモンテープ
（3R2分10秒、KO負け）

#2

世界タイトル防衛戦の相手は老猾な技巧派イギン。守りが堅いタイプだけに判定決着も予想されたが……。なんと小林がいきなりハイキックでダウン。目もブッ飛んだ状態でKO負け寸前の大ピンチ。しかしその直後、小林が右ストレート一発、大逆転KOで勝ったから場内は興奮の坩堝。かくして野良犬はカリスマとなった。

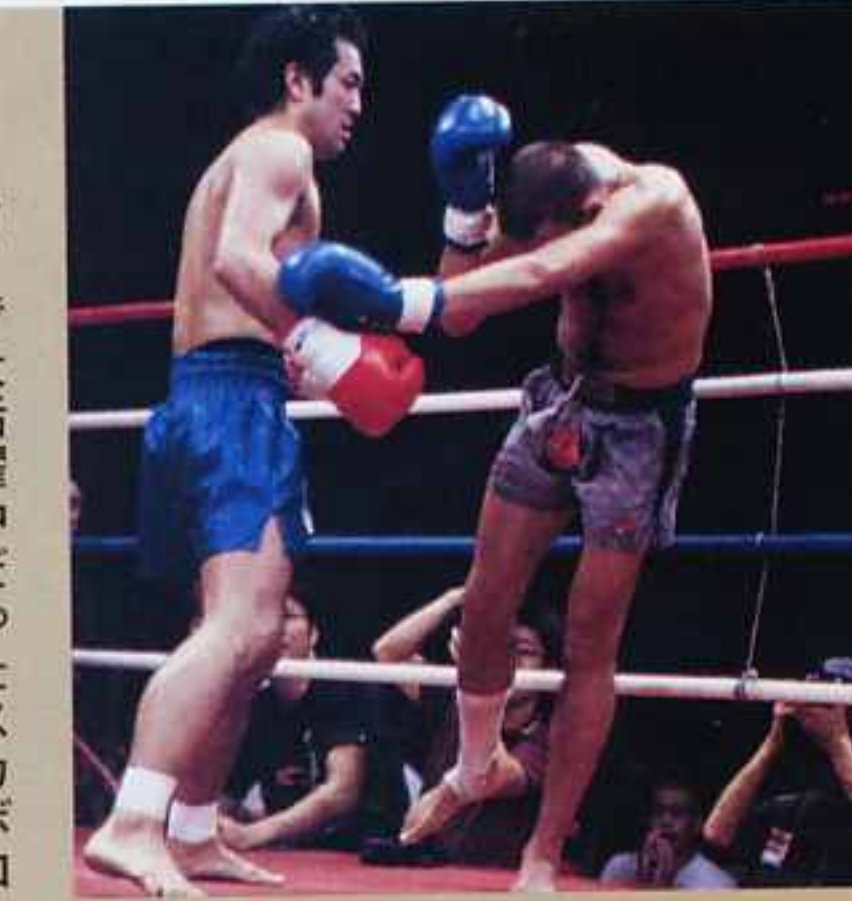
2001.11.30　後楽園ホール
VSオスマン・イギン
（1R1分24秒、KO勝ち）

#3

最高の夜だった。無謀とも思えた現役ラジャ王者との対戦で、劇的すぎるKO勝利。ゴング直後、相手コーナーに突進する小林に、テーパリットもムキになって打ち返す。いつ果てるともしれないハードヒットの応酬。危ない場面もあった小林だが、それでも殴り、殴り、また殴って“強さの象徴”をマットに這わせた。最高だった。

2001.9.7　後楽園ホール
VSテーパリット・シットクヴォンイム
（4R0分21秒、KO勝ち）

#4

タイで大活躍中だったスカボロスキーが待望の初来日。しかしこの男、何を考えたか試合前に夜遊び三昧で契約体重をオーバーしてしまう。大物との対戦で「実はビビッてた」という小林だが、この事態に怒りが爆発。鉄拳制裁で3度のダウンを奪い完勝を収める。この一戦で、小林は“世界”への手応えを掴むことになった。

2001.5.17　後楽園ホール
VSジャン・スカボロスキー
（2R1分31秒、KO勝ち）

#5

悔やんでも悔やみきれない敗戦だっただろう。打倒ムエタイロードを歩み始めた、その初戦でのつまずきである。しかも、一度は相手を出血させて優位に立っていたのだ。パンチで2度のダウンを奪われての判定負けに「結果が全て」とうなだれた小林だったが、どれだけ攻め込まれても真っ向勝負を貫いた姿勢は見事だった。

2001.3.16　後楽園ホール
VSサッダム・ギャットヨンユット
（3-0判定負け）

#6

かつて小林にKO負けした金沢が「昔の僕じゃない」と全日本王者として立ち塞がった一戦。小林も「これはプライドをかけた闘い」と意地を張り通し、戦前から両者ともライバル意識をムキ出しに。試合は技巧と闘志が100％噛み合った名勝負となり、3Rに右フックでダウンを奪った小林が判定勝利で王座も獲得。

2000.1.21　後楽園ホール
VS金沢久幸
（3-0判定勝ち）

#7

7月の五十嵐戦でまさかの敗北を喫した小林。この再起戦では、自分に対する怒りを丸ごと林亜欧に叩き付けるようにしてKO勝ちを強奪してみせた。序盤からローが効いたと見るや、左右の足を徹底して痛めつけた闘いぶりはまさに執念のカタマリ。試合後に見せた涙が、小林がどれだけ追い詰められた状況にいたかを物語っていた。

1999.9.3　後楽園ホール
VS林亜欧
（2R2分52秒、KO勝ち）

#8

この試合もあえて“名勝負”に数えたい。K—Uから全日本キックに出戻っての第1戦。派手に勝って存在をアピールするはずが、なんと初回に2度のダウンを奪われてしまう。その後の猛追も及ばず、まさかの判定負け。こういうポカをやっていた小林が、数年後にタイの王者をKOするまでになると誰が予想しただろうか……。

1999.7.13　後楽園ホール
VS五十嵐ヨシユキ
（3-0判定負け）

勝利者続出！儲けぬ事には何も始まらない!!

追加販売決定！限定5800個！
このチャンス！逃がすもつかむも
あなたしだい！運命の別れ道！

大当り！成績トップ！商売繁盛！美・健康、理想の自分！愛に満たされ、癒される！ツキまくり人生！

大金掴んで健康・愛に満ち癒され、仕事・学業トップの身分。どれがカケても意味がない！
全ての願・欲望が現実のものとなる!!それが、人生完全無敵！ガナドールパワー!!

おしゃれにうるさい業界人が大絶賛!!
畑山隆則さんも大絶賛!!
もうすでに芸能関係者のステイタスシンボル、『ガナドール』!!
芸能・スポーツ界、愛用者多数!!

ガナドールはセンスの良さでも大人気!!
芸能界でも有名なシルバーフリーク
スタイリッシュなデザイン!!
俺はシンプルなデザインが最高に気に入って愛用してるよ！おしゃれ好きに絶対オススメだね！

大反響 "ガナドール" 驚異の衝撃的パワーが今明かされる!!

三位一体のパワーを持つガナドール！人類史上最驚異の壮絶なパワーは世界中をにぎわせている。日本では当社だけの独占販売!!この世の全てのものにパワーを与え、復活させるパワーをもつピラミッドパワー。その中心部には、世の中を見通すあなたの第三の目！さらにその瞳にはパワーストーンの最高位、『征服されざる勝利者』へと持ち主を導く宇宙エネルギーの最上級、至宝の天然ダイヤモンドがうめこまれている。願望を現実に出来るのはガナドールを持つ者だけ！チャンスは目の前。あなたも究極の幸運を掴んで下さい。

何事にも惑わされない確実な判断、決断力を与える第三の目があなたに宿る！

- ギャンブルで勝ちを見逃さない目！
- ヤレる女、理想の相手を見抜く目！
- 人間関係・ライバル・商談等、相手の心理を見抜く目！
- 強運を絶対見逃さない目！
- 危険から身を守る目！
- 自分にプラスになる人、情報を見極める目！

人生何をするにも駆引きだらけだ！今迄チャンスを逃し、失敗を繰返した自分と決別!!第三の目が宿る事で決断・判断・直感力に狂いの無い自分に。もう何も恐れる事も無く、後悔無しの自信満々人生だ！

持つ者に永遠の栄光を約束する！パワーストーンの最高位、ダイヤモンド。第三の目は永遠に輝き続ける！

何ものにも侵されぬ力を与え、征服されざる勝利者へと導くパワーを持つ、万物の冠たる至宝、普遍の輝き、ダイヤモンド。持つ者に奇跡的な運命を与え、永遠に現実の栄光へと導く!!その周囲は強いエネルギーに満たされている。

富・財・権力・愛の象徴！第三の目がチャンスを確実に見極める！

- 今の状況を脱したい。
- 大金を手にして成功したい。
- 不運や悪い力から守られたい。
- 才能を身に付けたい。
- 美しい理想的な自分になりたい。
- ビジネスや学業でもトップでいたい。
- 勘の冴えた自分になりたい。
- ストレス、悩みから解放されたい。
- 心身共に健康になりたい。
- 愛する人と結ばれたい。復活したい。
- 複雑な人間関係から解放されたい。
- 何事にも負けのない人生となりたい。

結局何か一つカケても幸せとは言えない!!あなたの持つその願望を全て現実のものとし、本物の幸せを掴み、勝ち続ける人生となるのです。ご注文はお早めに！

"ガナドール"の驚異の衝撃的パワーにはまだ秘密が！3つのシンボルマークに 衝撃の事実!!

左図（例バングル）の様に、シンボルマーク3点を結ぶもう1つのピラミッドにあなたの腕や指が入ることでガナドールパワーは常にあなたの肉体に驚異的で壮絶なパワーを与えるのです。プレートもあなたが持つお財布やカバン、もしくはポケットに入れることであなた自身にパワーが宿ります。ガナドールのアクセサリーには、ひとつひとつハンドメイドでバングル、リングは裏側に、プレートは表側に♆と♃の文字が刻印されています。

霊力者セブ・マキュリア
あの有名な霊力者、セブ・マキュリアらにより1個1個丹念に刻印し、ガナドールダイヤはあなたの情報をセブ占術により融合させ、あなたの潜在能力に直接働きかけるさらなる至宝となっています。つまりお手もとのガナドールは世界でたった1つ、あなただけのものなのです。

♃ 大海の底知れぬ深さと、全てを洗い流し、幻想を現実世界に引き出す。
♆ 金銭・物質・精神・愛情面に於ける安らぎ、発展、成功を約束する。

◎至宝ガナドールには貴方がすでにお持ちの貴石のパワーをも増幅させる相乗効果も!!

1つ1つハンドメイド！あなたの"ガナドール"は世界でたった1つ！

本物の大幸運を呼ぶ、ガナドール。あなたのライフスタイルにあわせてお選び下さい。

◆バングル 限定1926個
商品番号 メンズ:D-B 71
レディース:D-B 72
シルバー950製（メッキ加工はしていません）

◆リング 限定1934個
商品番号 D-R 81
シルバー950製（メッキ加工はしていません）
ー注文時、サイズ（号）をお伝え下さい。ー

◆プレート 限定1940個
商品番号 D-I 91
シルバー950製
（メッキ加工はしていません）

衝撃のモニター実験

使用前 サーモ ／ 使用後 サーモ

付けてすぐなのに自動販売機前で拾った封筒に10万円!!

モニター宮木良太様（メンズバングル装着）
ガナドールを使用してわずか4分43秒後、脳内α波と共に体内エネルギーが上昇。ガナドールのエネルギー浸透率は驚異的早さである。
（城山 晃 博士による見解）
1999年12月

●ダイヤ原石 ／ カットダイヤ
数千年前にインドで最初に発見されたダイヤ。ガナドールのダイヤは58面体のラウンド・ブリリアント・カットされた、100%天然のダイヤです。

モニター実験結果 驚くべき事実!! 願望達成率98.91%!!

各広告、インターネットでガナドール効果実験モニターを全国で募集し、他にもいろいろな商品購入経験のある男女計20000人によるモニター調査結果を発表!!

▼男性10000人
98.91% もの凄い効果を感じ、手放せない

▼女性10000人
98.91% もの凄い効果を感じ、手放せない

「金も女もギャンブル、仕事、何をやっても成功する!!」「金持ちになって自由な生活」「彼氏が大富豪だった」「宝くじに当ってお金使い放題」…モニターから結果を調査したところ男女共にこの現実離れした衝撃的現実に例え様の無い笑顔を見せていた。
（1999年11月実施）

ハリス鉱物エネルギー分析研究所 ロイス・マクベリー博士 研究所内騒然！

「科学的にも証明されているようにダイヤモンドは鉱物の中で最も硬く、鉱物から発するエネルギーも最高値が計測されている。
腐った物でも復活させる威力を持つというピラミッドの形状との融合であるガナドールは、予防医学的パワーや1/f、つまり癒しのリズムとも言える波動の放出も確認できる。さらに今まで数多く発見されているあらゆるパワーストーンの解明の依頼を受けたが、ガナドールは他と比較にならない、現代科学では計測不可能なエネルギーを放出している」

★ガナドールのコピーを販売する悪徳な業者にお気を付け下さい。

●リングサイズコード（宝飾品共通サイズコード）

号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
mm	40.8	41.9	42.9	44.0	45.0	46.1	47.1	48.2	49.2	50.3	51.3	52.4	53.4	54.5	55.5

号	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
mm	56.6	57.6	58.6	59.7	60.7	61.8	62.8	63.9	64.9	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0

暴走!

すべての風向きは
ターザンとグレート・アントニオに向いている!!

総決算直前!
これを着てメートルあげろ!

●UWFインターロゴTシャツ
（黒×パープル、白×黒、白×赤、白×オレンジ／サイズXS・M・L・XL）¥3,800（税別）

サップブーム到来!
これを着て時代を感じろ!

FRONT　BACK

●ボブ・サップTシャツ(ver.2)
（白／サイズXS・ M・L・XL）
¥4,000（税別）

なぜか大人気!
これを着て馬鹿になれ!

●TARZAN Tシャツ
（白／サイズXS・M・L・XL）
¥3,500（税別）

●TARZAN パーカー
（ヘザーグレー／サイズM・L・XL）
¥6,000（税別）

猪木さんが応援!
これを着てファスティングをやれ!

●猪木ファスティングTシャツ
（白／サイズS・M・L・XL）
¥3,500（税別）

【大盛況御礼!】11/3のボブ・サップサイン会はたくさんの方にご来店いただきまして、本当にありがとうございました。アイ・ラブ・サップ!!
【CASIO&グレート・アントニオ】またもやG-SHOCKリリース決定!　昨年の猪木&桜庭モデルに続いて、今度は武藤敬司モデル!　発売はたぶん12月頃!
【『WRESTLE-1』プログラムカード】 11・17『WRESTLE-1』パンフ制作完了。100枚のカード形式にしました。武藤の社長名刺や馳の議員名刺、ゴキータカードやBAPEカード封入のスペシャルなやつ!　当日、会場でお求めください。

ご注文方法

ご注文は電話 or サイト受付のみです

『グレート・アントニオ』&『ヤマダ元気』通販専用NAVIダイヤル
☎ **0570-007800** ※携帯電話からは掛かりません。
☎ **03-3295-4450** ※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00
グレート・アントニオ
http://www.great-antonio.jp
ヤマダ元気
http://www.yamadagenki.com
【24時間受付】

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、通販のご注文は受け付けておりません。

ACCESS MAP

とうふパン専科 グレート・アントニオ

○神保町駅（半蔵門線/都営新宿線/都営三田線）より徒歩5分
○小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
○淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
○竹橋駅（東西線）より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

たっつぁん万座ビーチ

やっぱり今は、ボブ・サップだよね。WRESTLE−1がちょ〜楽しみ!

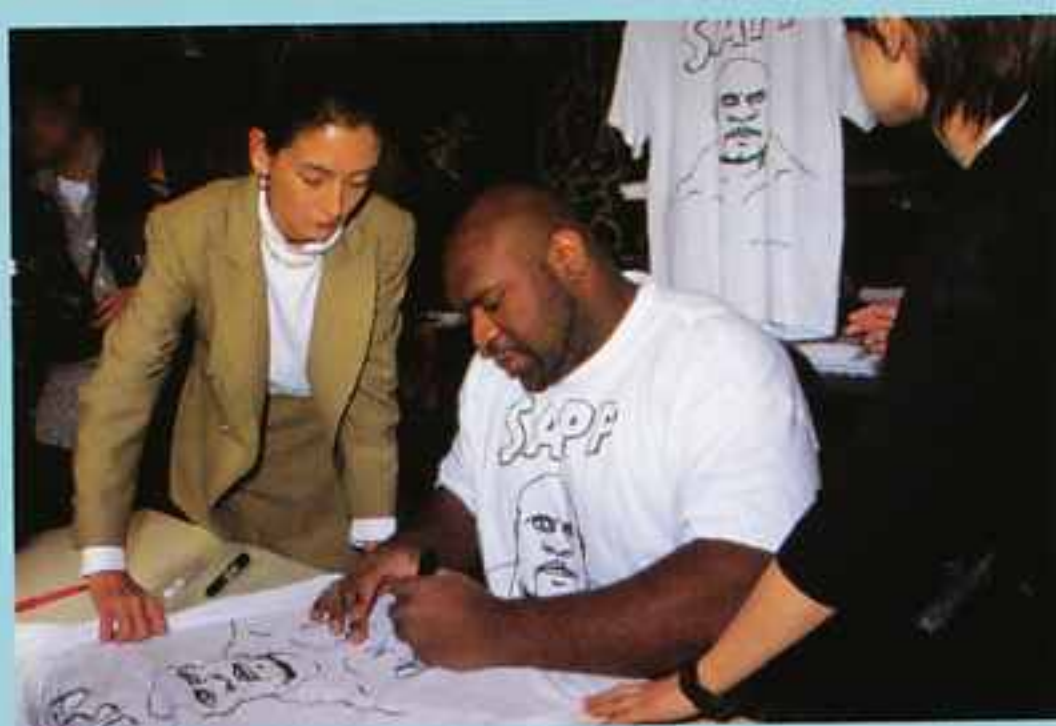
読者プレゼント

【本誌提供】

グレート・アントニオでのサイン会で頂戴しまちた!

ボブ・サップTシャツ

本人サイン入り!(サイズ S・M・L 各1枚)

3名様

※パトカーが様子を見に来るくらい盛り上がったサップサイン会。サップ様が、サイン会に来られなかった本誌読者のためにもサインを入れてくれたぞ!

【グレート・アントニオ提供】

これを着てキミもファスティングに励むのだ!

ファスティングTシャツ

(白/サイズ S・M・L・XL)

3名様

好評につき再チャンス! 11・24が待ち遠しいぜっ!

UWFインターロゴTシャツ

(黒×パープル、白×黒、白×赤、白×オレンジ/サイズ XS・M・L・XL)

各2名様

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせ&ご購入は、グレート・アントニオ ☎03-3219-9550、http://www.great-antonio.jpまで

【新紀元社提供】

ターザン本2連発!
読んで損なし、絶対に読めぇぇぇぇぇ!

プロレス、元気ですか!

5名様

ターザン山本 往生際日記 2 昭和プロレス望郷の旅編

5名様

※本誌でもガンガンとぶっ飛ばしまくっているターザン山本さんの本を読めば元気になること間違いなし! ターザン本は明日への活力だっ! 『プロレス、元気ですか!』定価1,500円(税別)、『ターザン山本 往生際日記 2』定価1,500円(税別)。全国の書店にて好評発売中。

応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう!

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、

❶郵便番号・住所・電話番号
❷お名前
❸年齢・ご職業
❹希望プレゼント名
❺今号で面白かった記事とその理由(複数可)
❻今号で面白くなかった記事とその理由(複数可)
❼本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください!

あて先は 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ㉜』係まで

締め切り…2002年11月28日(木)当日消印有効

【ヴァリス提供】

世界初のインターネット対応プロレスカードバトルゲーム!!

最後の切札

3名様

※マジック・ザ・ギャザリングをベースとした独自のルールで行う、世界初のインターネット対応プロレスカードゲーム『最後の切札』は12月13日に発売。定価は5,800円(税別)(ただし、プレイ料金は1カ月1,000円)。お問い合わせ&詳細は(株)ヴァリス ☎03-5351-5181まで。『最後の切札』に関する最新情報はhttp://www.tokonv3.comで

【WWE提供】

WWEが来春、再び上陸! またまた大フィーバーの予感だぁ

WWE RAW Tシャツ

1名様

back

※来年1月24日、25日の両日、代々木第一体育館で行われる『WWE Far East Tour January 2003』。今から情報をしっかり入手しとかなきゃね。

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

第１章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第３章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第７章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第９章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上:全て目次より）

MEN'S BODY POWER UP　一生に一度の男の手術
24時間直接電話相談 0120-508-550
メンズ総合テープ案内 0120-087-008
24時間無料電話相談　一生に一度の男の手術　無痛! 無傷! 安心!
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

地域	電話	所在地
札幌	011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル4F
仙台	022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F
新潟 (NEW)	025-241-4000	新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F
大宮	048-642-1000	さいたま市宮町2-11 ハシモトビル7F
東京	03-3274-4000	中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル14F
上野	03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル4F
渋谷 (NEW)	03-5784-3000	渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F
新宿	03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F
横浜	045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F
千葉	043-221-8000	中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F
浜松	053-452-6000	浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F
名古屋	052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F
京都	075-352-5000	下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F
大阪北	06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル2F
大阪南	06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル8F
岡山	086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F
福岡	092-415-6000	博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F
鹿児島 (NEW)	099-812-3800	鹿児島市中央町3-36 西駅M.Nビル5F

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com

SRSDX 11・28 No.82

平成14年11月28日発行　第4巻・23号・通算82号
発行人／蒲賀主水　編集人／谷川貞治　発行・発売／(株)扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1　TEL.03-5403-8859(販売)
(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
TEL.03-3295-4445(編集)　協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

特集『PRIDE 23』直前情報

定価680円 本体648円

FUJISANKEI COMMUNICATIONS GROUP

雑誌21584-11/28　T1121584110684

印刷／(株)廣済堂
printed in Japan